

《周南公立大学情報科学部 学生確保（資料） 目次》

資料番号	資料名	ページ
資料1	周南公立大学 新設学部設置構想についてのアンケート調査人材需要アンケート	1
資料2	『徳山大学』公立化および学部・学科に関する受容性把握調査	53
資料3	周南公立大学 新設学部設置構想についてのアンケート調査高校生アンケート	82
資料4	競合校の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、定員充足率	105
資料5	周南公立大学既存学部の過去5年間の入学志願状況	106
資料6	徳山大学公立化検討第2回有識者検討会議参考資料	107
抜粋資料1	2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン	146
抜粋資料2	『徳山大学』公立化および学部・学科に関する受容性把握調査	148
抜粋資料3	「徳山大学公立化の検討に係る事業所等アンケート調査」	151
抜粋資料4	今後の高等教育の将来像の提示に向けた論点整理	153
抜粋資料5	IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果	155
抜粋資料6	Dell EMC 、約800社の中堅企業を対象にした「IT投資動向調査」	157
抜粋資料7	AI戦略2019	160
抜粋資料8	令和3年度第1回山口県デジタル推進本部会議	170
抜粋資料9	周南市スマートシティ構想	183
抜粋資料10	まち・ひと・しごと創生基本方針2021	226
抜粋資料11	徳山大学公立化検討第2回有識者検討会議参考資料	228
抜粋資料12	AI戦略等を踏まえたAI人材の育成について	231
抜粋資料13	「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」について	238
抜粋資料14	データサイエンティストの採用に関するアンケート	245

②3 学部 4 学科設置構想についての採用意向アンケート調査

設置構想についてのアンケート調査概要

目 的	周南公立大学が令和 6 (2024) 年 4 月に設置を構想している 3 学部 4 学科※ (別表 1) について、本アンケート調査より人材需要の見通しを測ることを目的とする。
対 象	周南公立大学既存学部の就職実績等と、3 学部 4 学科が卒業後の進路に想定する業種・職種を踏まえ、全国の事業所に調査を依頼した。
時 期	令和 4 (2022) 年 10 月～12 月
調 査 方 法	調査対象先の採用担当者あてに依頼状・アンケート調査用紙・学部学科概要・返送用封筒を送付し、調査を実施した。
調 査 内 容	主に選択肢式の 19 問。※一部記述あり 回答元の基本情報 (所在地、種別、勤務人数等)、周南公立大学が設置構想中の 3 学部 4 学科の採用意向等。
回 収 件 数	782 件

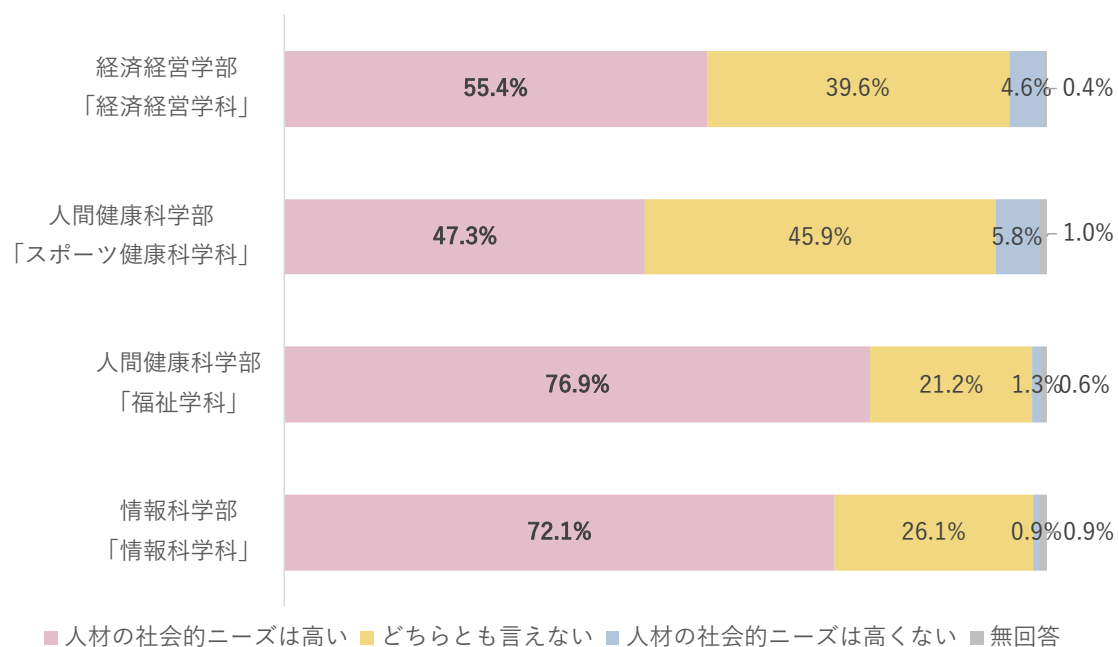
※別表 1

学部名	学科名
経済経営学部	経済経営学科
人間健康科学部	スポーツ健康科学科
	福祉学科
情報科学部	情報科学科

人材需要の見通しについての考察

周南公立大学が構想する以下の3学部4学科が養成する人材の社会的ニーズについては、いずれの学部学科も「人材の社会的ニーズは高い」とした回答が最も多い。人間健康科学部「福祉学科（仮称）」、情報科学部「情報科学科（仮称）」については、回答元の7割以上が養成する人材の社会的ニーズは高いと回答している。

問4、問7、問10、問13の各学部学科が養成する人材の社会的ニーズについての回答件数				
	人材の社会的ニーズは高い	どちらとも言えない	人材の社会的ニーズは高くない	無回答
経済経営学部 「経済経営学科」	433	310	36	3
人間健康科学部 「スポーツ健康科学科」	370	359	45	8
人間健康科学部 「福祉学科」	601	166	10	5
情報科学部 「情報科学科」	564	204	7	7



※各学部学科名称は仮称である。

周南公立大学が構想する 3 学部 4 学科の採用意向および採用可能と思われる人数は、以下の表の通りである。

問 5、問 6、問 8、問 9、問 1 1、問 1 2、問 1 4、問 1 5 の各学部学科の採用意向について				
学部名	学科名	入学定員	採用したい	採用可能人数
経済経営学部	経済経営学科	160 名	383 件	624 人
人間健康科学部	スポーツ健康科学科	80 名	282 件	487 人
人間健康科学部	福祉学科	60 名	297 件	535 人
情報科学部	情報科学科	100 名	358 件	539 人

※採用可能人数では、「人数は未定だが最低 1 名」を 1 人とカウントしています。

3 学部 4 学科のそれぞれの採用可能人数は、予定する入学定員の経済経営学部「経済経営学科（仮称）」は約 4 倍、人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」は約 6 倍、人間健康科学部「福祉学科（仮称）」は約 9 倍、情報科学部「情報科学科（仮称）」は約 5 倍となっている。

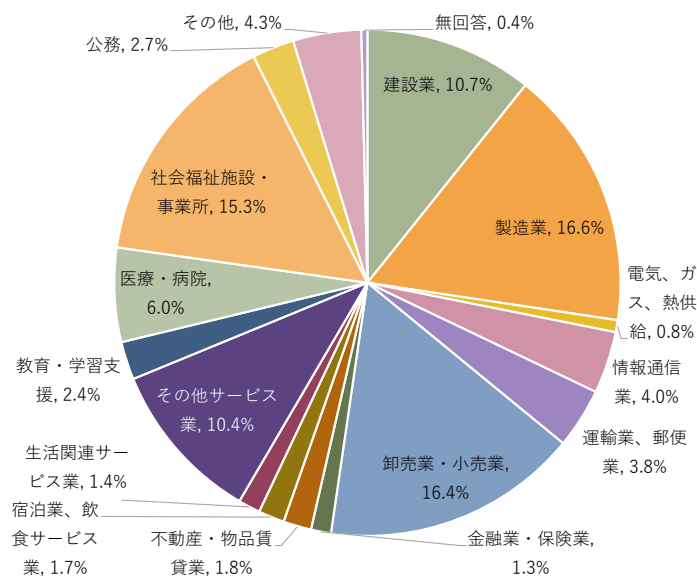
上記の結果から社会的ニーズへの評価も含め、各学部学科の卒業生については、十分な需要があると考えられる。

調査結果について

1 回答元の基本情報（業種）-問 1

回答元の業種は、「製造業」が 130 件（16.6%）で最も多く、続いて「卸売業・小売業」が 128 件（16.4%）、「社会福祉施設・事業所」120 件（15.3%）となっている。

選択肢	件数
建設業	84
製造業	130
電気、ガス、熱供給	6
情報通信業	31
運輸業、郵便業	30
卸売業・小売業	128
金融業・保険業	10
不動産・物品賃貸業	14
宿泊業、飲食サービス業	13
生活関連サービス業	11
その他サービス業	81
教育・学習支援	19
医療・病院	47
社会福祉施設・事業所	120
公務	21
その他	34
無回答	3

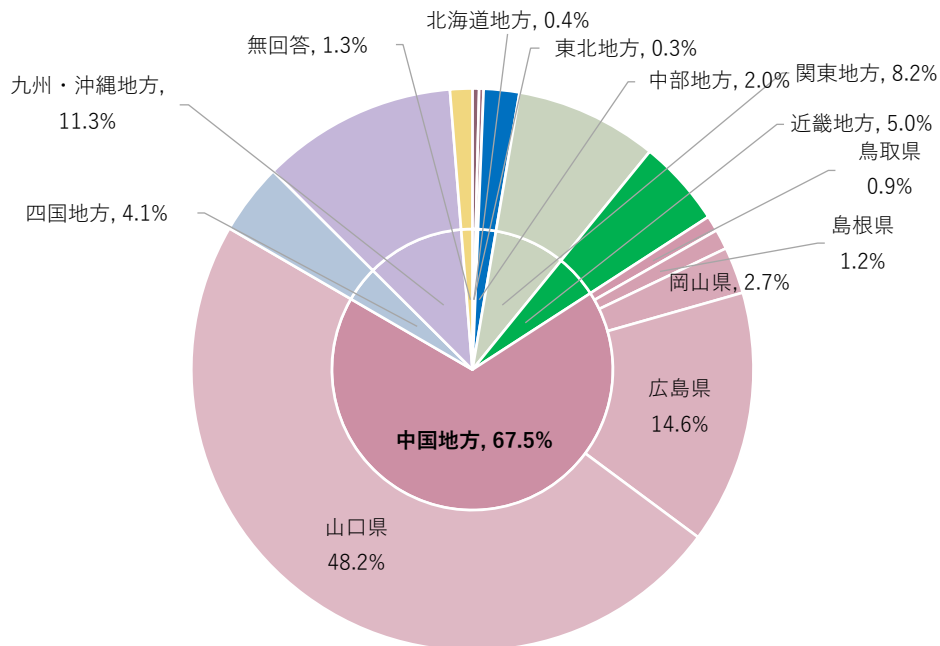


2 回答元の基本情報（所在地）-問2

回答元の所在地について、周南公立大学が立地する「山口県」が377件（48.2%）で最も多く、次いで広島県の114件（14.6%）となっている。両県を含む中国地方が67.5%となっている。ついで、九州・沖縄地方が11.3%、関東地方が8.2%と続いている。

選択肢	件数	選択肢	件数	選択肢	件数
北海道	3	静岡県	3	香川県	10
宮城県	1	愛知県	9	愛媛県	17
福島県	1	三重県	1	高知県	2
茨城県	2	京都府	7	福岡県	71
栃木県	1	大阪府	20	佐賀県	3
群馬県	1	兵庫県	10	長崎県	1
埼玉県	4	奈良県	1	熊本県	3
千葉県	4	鳥取県	7	大分県	5
東京都	49	島根県	9	鹿児島県	5
神奈川県	3	岡山県	21	無回答	10
新潟県	1	広島県	114		
富山県	1	山口県	377		
岐阜県	2	徳島県	3		

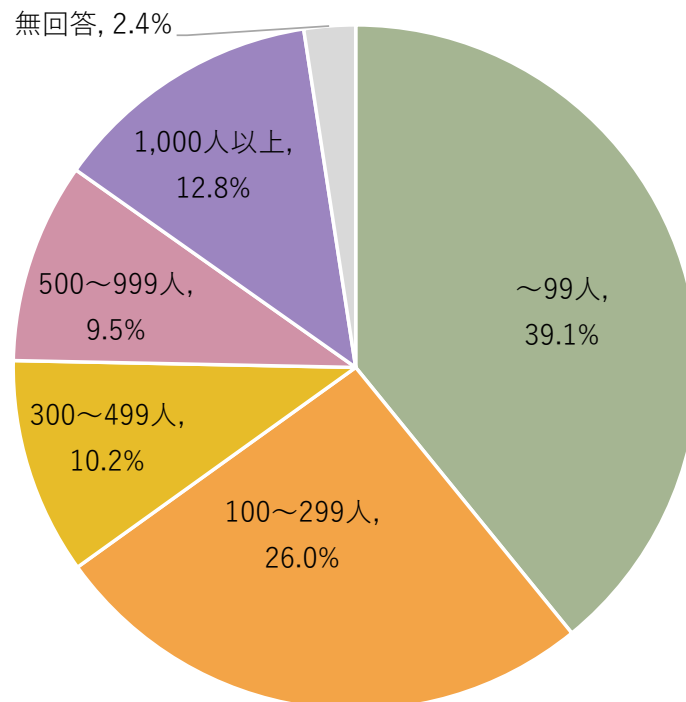
※回答があった都道府県のみ掲載



3 回答元の基本情報（従業員規模）-問3

回答元の従業員規模で最も多かったのが、「～99 人」で 306 件（39.1%）となっている。ついで、「100～299 人」が 203 件（26.0%）と続いている。

選択肢	件数
～99 人	306
100～299 人	203
300～499 人	80
500～999 人	74
1,000 人以上	100
無回答	19

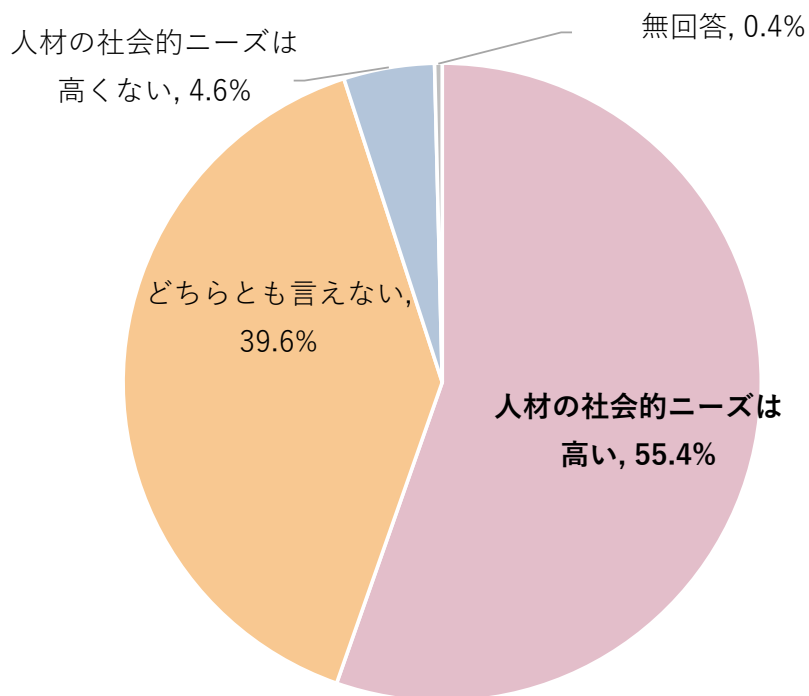


4 経済経営学部「経済経営学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ-問4

経済経営学部「経済経営学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズについて、全体の半数以上が「人材の社会的ニーズは高い」と回答している。（433 件/55.4%）

一方で、「どちらともいえない」が 310 件（39.6%）、「人材の社会的ニーズは高くない」が 36 件（4.6%）となっている。

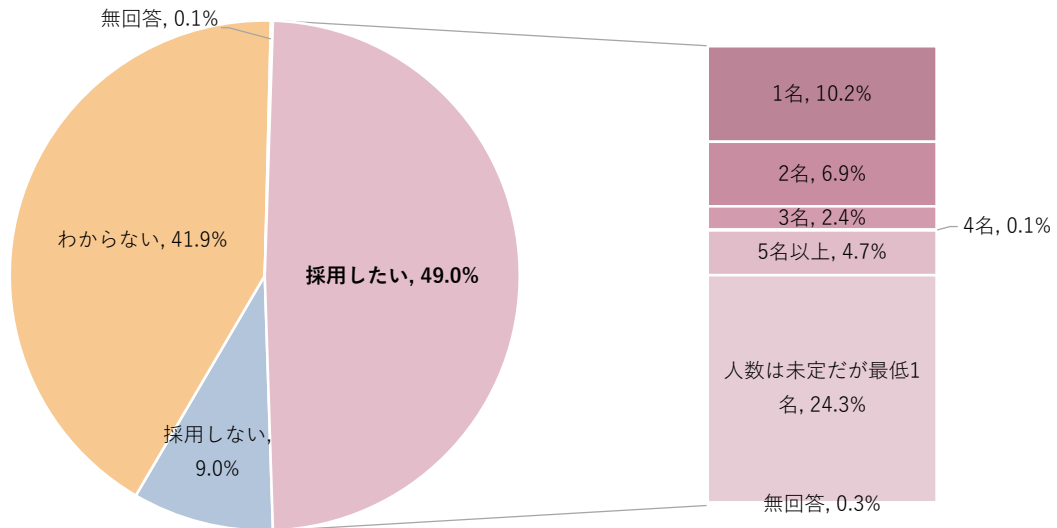
選択肢	件数
人材の社会的ニーズは高い	433
どちらとも言えない	310
人材の社会的ニーズは高くない	36
無回答	3



5 経済経営学部「経済経営学科（仮称）」が養成する人材の採用意向-問 5、問 6

経済経営学部「経済経営学科（仮称）」を卒業する学生の採用意向について質問したところ、「採用したい」が 383 件（49.0%）となっている。

「採用したい」と回答した 383 件に対し、採用可能な人数を質問したところ、合計が 624 人となっている。



選択肢	件数
採用したい	383
採用しない	70
わからない	328
無回答	1
合計	782

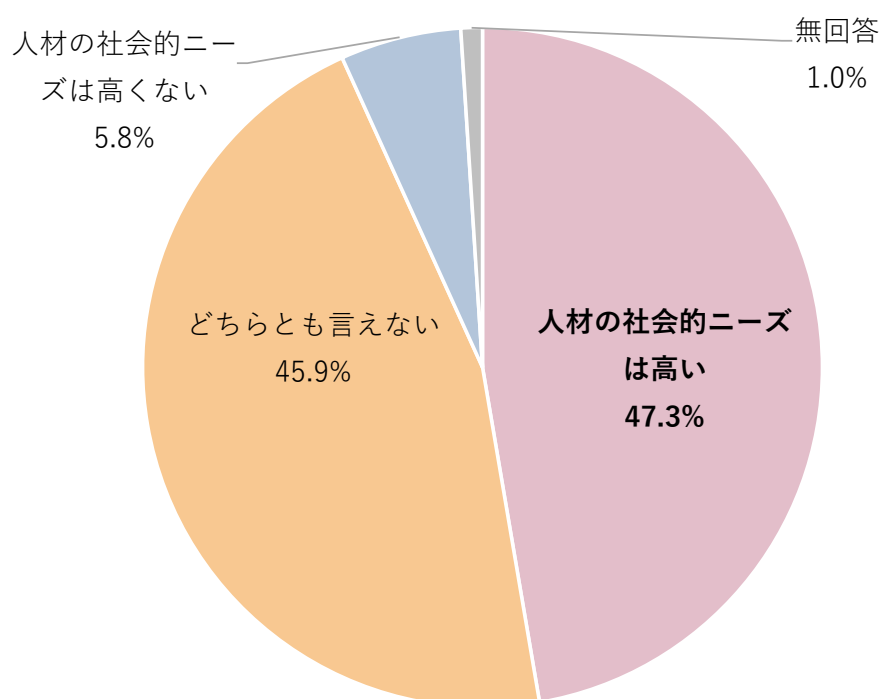
選択肢	件数	人数
1 名	80	80
2 名	54	108
3 名	19	57
4 名	1	4
5 名以上	37	185
人数は未定だが最低 1 名	190	190
無回答	2	—
合計	383	624

※「人数は未定だが最低 1 名」を 1 人としてカウントしています。

6 人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ-問7

人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズについて、「人材の社会的ニーズは高い」が370件（47.3%）で最も高くなっているが、「どちらとも言えない」も359件（45.9%）の回答があった。

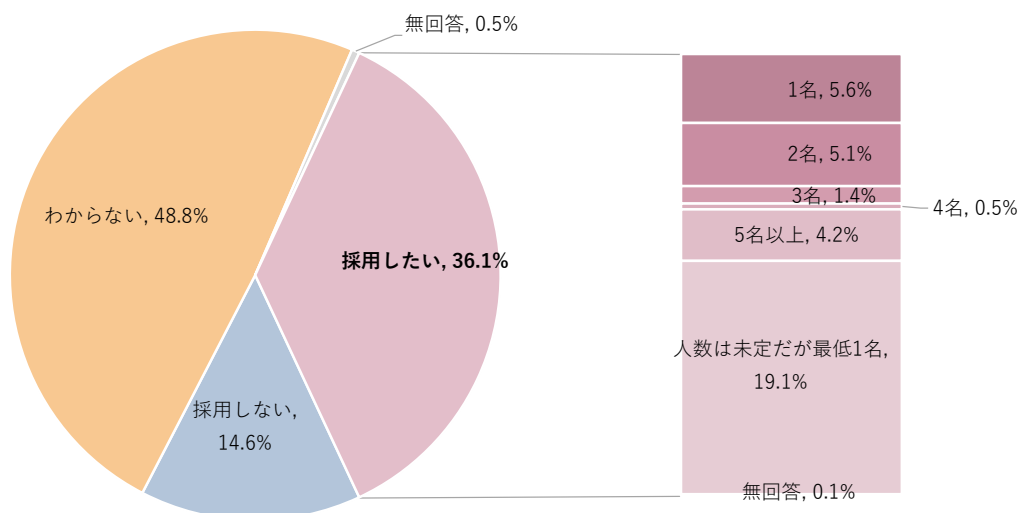
選択肢	件数
人材の社会的ニーズは高い	370
どちらとも言えない	359
人材の社会的ニーズは高くない	45
無回答	8



7 人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」が養成する人材の採用意向-問8、問9

人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」を卒業する学生の採用意向について質問したところ、「採用したい」が282件（36.1%）となっている。

「採用したい」と回答した282件に対し、採用可能な人数を質問したところ、合計が487人となっている。



選択肢	件数
採用したい	282
採用しない	114
わからない	382
無回答	4
合計	782

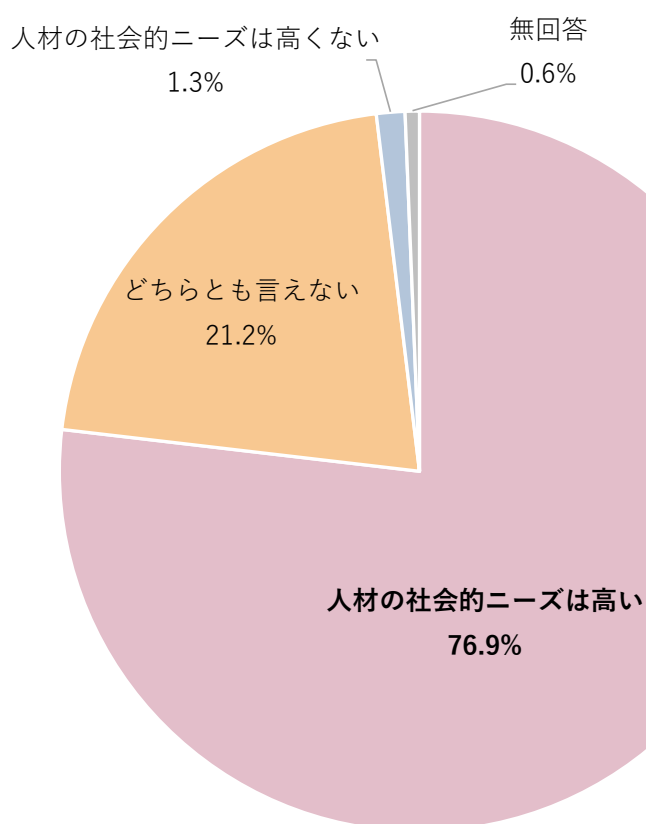
選択肢	件数	人数
1名	44	44
2名	40	80
3名	11	33
4名	4	16
5名以上	33	165
人数は未定だが最低1名	149	149
無回答	1	—
合計	282	487

※「人数は未定だが最低1名」を1人としてカウントしています。

8 人間健康科学部「福祉学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ-問10

人間健康科学部「福祉学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズについては、回答元の7割以上が「人材の社会的ニーズは高い」と回答した。（601件/76.9%）

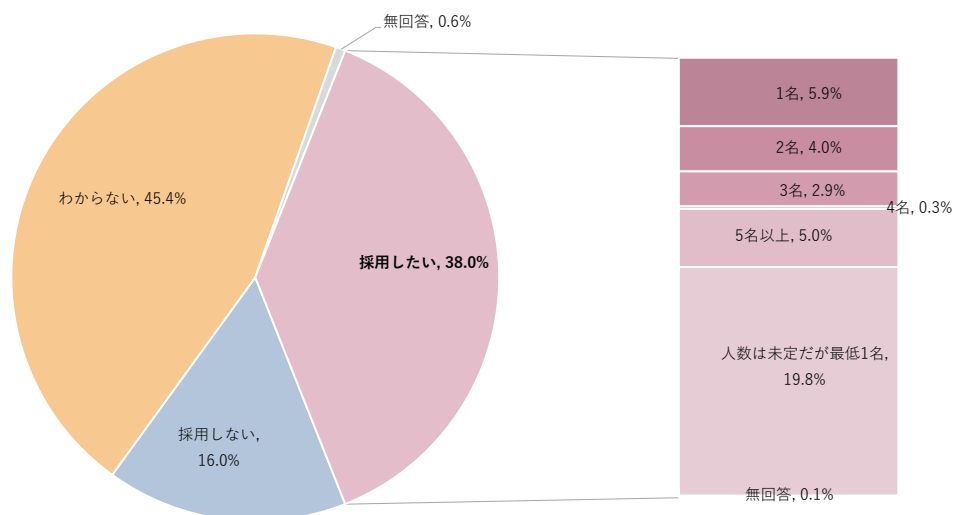
選択肢	件数
人材の社会的ニーズは高い	601
どちらとも言えない	166
人材の社会的ニーズは高くない	10
無回答	5



9 人間健康科学部「福祉学科（仮称）」が養成する人材の採用意向-問11、問12

人間健康科学部「福祉学科（仮称）」を卒業する学生の採用意向について質問したところ、「採用したい」が297件（38.0%）となっている。

「採用したい」と回答した297件に対し、採用可能な人数を質問したところ、合計が535人となっている。



選択肢	件数
採用したい	297
採用しない	125
わからない	355
無回答	5
合計	782

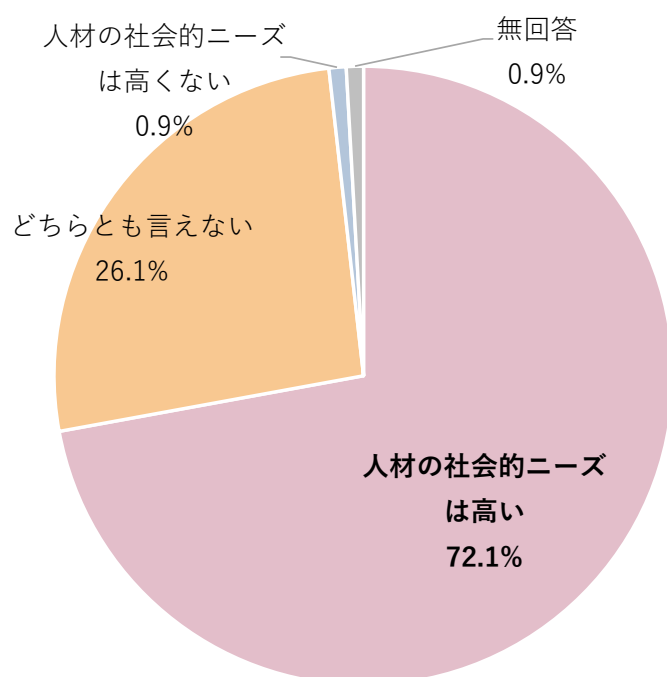
選択肢	件数	人数
1名	46	46
2名	31	62
3名	23	69
4名	2	8
5名以上	39	195
人数は未定だが最低1名	155	155
無回答	1	—
合計	297	535

※「人数は未定だが最低1名」を1人としてカウントしています。

10 情報科学部「情報科学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ-問13

情報科学部「情報科学科（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズを回答元の7割以上が「人材の社会的ニーズは高い」と回答した。（564件/72.1%）

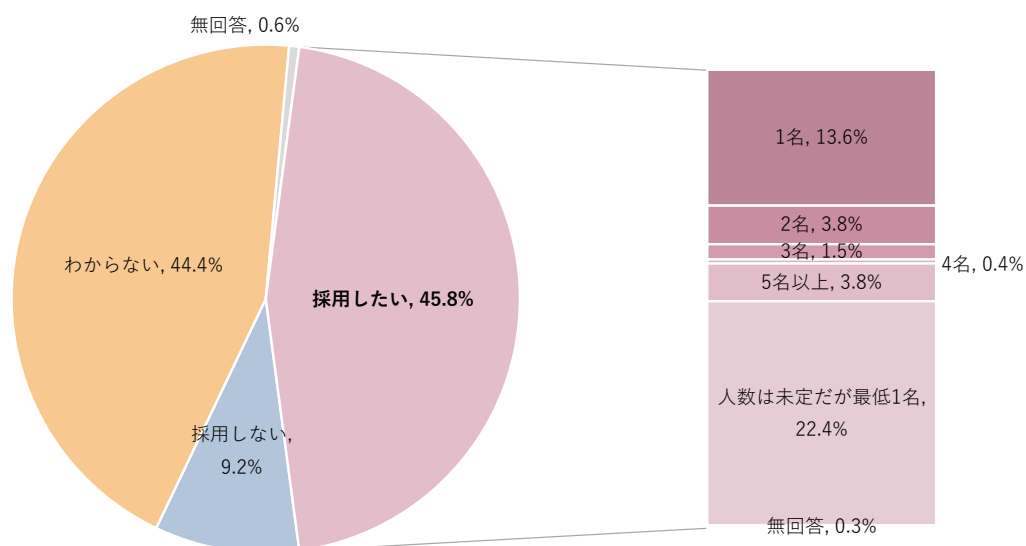
選択肢	件数
人材の社会的ニーズは高い	564
どちらとも言えない	204
人材の社会的ニーズは高くない	7
無回答	7



11 情報科学部「情報科学科（仮称）」が養成する人材の採用意向-問14、問15

情報科学部「情報科学科（仮称）」を卒業する学生の採用意向について質問したところ、「採用したい」が358件（45.8%）となっている。

「採用したい」と回答した358件に対し、採用可能な人数を質問したところ、合計が539人となっている。



選択肢	件数
採用したい	358
採用しない	72
わからない	347
無回答	5
合計	782

選択肢	件数	人数
1名	106	106
2名	30	60
3名	12	36
4名	3	12
5名以上	30	150
人数は未定だが最低1名	175	175
無回答	2	—
合計	358	539

※「人数は未定だが最低1名」を1人としてカウントしています。

12 新設学部学科に対し、期待される点・ご要望-問16～問19

※以降、すべて原文ママ

経済経営学部「経済経営学科」（仮称）について
地域での人材確保、人材育成にとっても期待しております。
より実践的な授業が望まれると思います。
・最新のケーススタディを通じて、企業活動やマーケットへの影響を実務的に学べるゼミがあると面白そうです。
・商学部の方が良いのでは
「経済経営」というネーミングに古さを感じる。
地方および地域創生のためには何ができるのかを新たな視点で捉え、起業ができるような考え方やパワーのある人物に期待します。
人間が尊重される経済活動とはいかなるものか取り上げてほしい。
法人運営の総合職、管理マネジメント候補職員としての採用検討
マネジメント、コミュニケーション能力を養ってもらいたい
現代社会や企業課題を発見し、課題解決や目的達成に力を発揮できる人材育成
マネジメントに必要なリーダーシップの取れる人材を育成して頂きたい。
周南コンビナートという全国でも有数の技術地域において工学部がないので、地元根ざし若手で有望者を県外、市外に出さないために工学部の方が必要と思われる。
工業、商業の高校はあるのに大学がない
地元に残る人材の育成をお願いします。
今後の日本経済を担う人材育成、海外の人材に負けない知識や発想力を持った人材育成
物流業界において経済、経営といった分野を専攻されてきた学生様は大変重宝されると考えております。弊社としましては是非就職、求人関連のご説明をさせていただけると幸いです。
よくある学部学科とならないようにしてほしい。
リアルなコミュニケーション力を養っていただきたい
多角視点をもったチャレンジ精神溢れる学生様の育成。
インターンシップへの積極参加。
企業が欲しがらるような専門的能力の開発に期待します。
（経営企画、企業会計、法規ができるような）
県内に類似する学部、学科があるため特色のあるカリキュラムを取り入れてほしい。
周南コンビナートの存在、山口県が化学工業県であることなどを知る学生は全くいないのが現状です。
山口県内の産業の魅力を勉強することで地元就職を促すことも出来るのではないのでしょうか。
以下 すべての学科について共通です。
我々の業種は知識よりも人間力が問われると考えております。
人の機微を敏感に感じとれる人材の育成を期待しております。
将来当社の経営の中核を担う人材を期待しています。
一般的な経済学部や経営学部と貴学の特色がどう違うのか？
または同じなのか早めにアピールとして謳ってほしい。
今はコロナで企業のCM価格も特に地方局は安いとも聞く。
ネット、TVなど利用されると良い。地方紙の記事広告も良い。
小売業であるため、経済学部卒業の社員は多くいます。
店舗だけでなく、本部スタッフとしても幅広く活躍しておりますので、マーケティングに興味のある学生と出会う機会があれば嬉しいです。
現代の速い動きでも対応できる学生
資格取得のみならず、課題解決や達成に向けた姿勢や力を養っていただきたいです。

交流会や就職説明会など学生の方々と知り合える機会があれば
土曜、夜間に開講する社会人コース 他大学の教授のオンライン講義
経済経営学学科理論を経営どころか、実際に役立つ人材を育成するための学科がよく分からない。
経済経営学部にて期待する事は分かりませんが、私は当時の経済学部経営学科にて学びました。 経営学科を選んだ理由は経済だと思いや考え方に偏ってしまい、頭でっかちになりそうなのでより実務を学べる経営学科を選び、現に今 30 年以上が過ぎ経営者となりましたが、そこで学んだ事が役立っています。 今は 1 つの学科になったようですが、より実務を学べる学科になってほしいです。
理系要素のある授業をたくさん組み込んでほしい これからの社会は文系のみの人材はコンピューター（AI）にとって関わる。とくに工学系の知識のある経営学科卒業 のるがほしい。
物流現場の最前線で業務や作業を行うことに抵抗感なく、能動的に動ける人材を求めています。
積極的にコミュニケーションを取れること
貴校だからこそ育つ学生等が知りたいです。
経済状況を把握し、行動できる人材を求めます
ビジネスや経営者視点のことを学べる学部だと面白く感じました。
全ての企業で働き方改革が進められている中、労働者と利益追求集団である企業とのギャップを埋めるための経営学は、これからの社会において必要不可欠と思います。
コミュニケーション力の事前育成に期待したい（学部生の 4 年間で）
経営の理解者（管理者）として貢献してほしい。 後継者問題で会社存続の危機にやる気と情熱で取り組む人材の確保は必要。 M&A ではなく養子的なシステムがあると良い （例）将来の会社運営に興味のある方とか マッチングの時または募集の時に書き込む事で良いのか難しい問題である
企業や地域の課題解決に主体的に取り組むことの出来る人材を育成してほしい
課題解決や目的達成にリーダーシップを発揮できる人材の育成に期待したい
情報科学科にも言える事ですが、近年 DX 等のデジタル化に伴い、IT での需要と電子化が課題となっているので、プログラムの基礎が仕組み等の知識があるといいのではないかと思います。
活躍の場（就業の地）を地元でこだわらないでもらいたい。
試験のための学問ではなく、知識として身に付け実践出来る人、時代は変化していますがビジネスマナー、社会人の常識、普遍的な部分は学んでほしい。 人間力、考える力、想像力、相手の立場になって考えること
福祉業界も経営や経済を理解して運営に携われる人材が必要
当社は「ひとり一人のやる気を採用基準に」幅広く学生の採用を行っております。 貴校の学生様におかれましても、是非選択肢の 1 つとしてご検討頂けると幸いです。 今後ともよろしくお願いいたします。
経済経営学部の卒業というだけでは採用しません。 その学生が取得している資格によります。
地方のマーケティングいかに把握しているかどうかにかかっており、卒業後県外に戻る前提では採用どころではないと思う
経営的な観点から、会社を俯瞰できる人材に期待しています。
どの学部についても、今までの徳山大学からどのように変わるのか、変わっていくのかわからないので答えようがありません。 イメージで採用することはありません。 もっと具体的に各学部で目指す教育方針を少なくとも出してもらいたいと思います。 授業料が安いだけのうりでは困ります。

経営に対する知識のある学生さんを採用したい
中央志向ではなく地方で活躍の場を求めている
4年後にはぜひご縁をいただきたいです。
各業界、職種に適応しやすい学部として企業側の人材ニーズも高いと思います。 ただし、同様の学部は他大学にもたくさんあるという点においてどのようにカリキュラムや体験をさせ、他学と差別化したスキルや経験をもたせるかがキーになると思います。
起業家精神はじめ、自律的に考える人材を担ってほしい
リーダーシップのとれる人材に入社前から育てていただけるのには期待できる
日本企業の海外への展開や外国人労働者が今後ますます増加することが予想されることから、外国語の話せる人材を併せて養成されることを希望します。
経営や経済を学ぶことにより社会全体のお金の流れを理解したり、自身のライフスタイルを描く事ができる人材が育成されると感じる。
・テストの成績よりも実践力が必要 ・コミュニケーション能力（聴く力、伝える力）の高い人材を求めます
どこにでもある
海外との取引や外国人労働者を想定すると、英語の話せる人を養成していただくとありがたいと思います。
学内の企業合同説明会の予定があれば参加させて頂き面談等で物流業に対する知識が高い方がいれば採用につながりたいと思う。
一般の経済経営関係は特色が分かりにくい。専門などを活かすものがあれば良いと思います。
何大学でも被っていることが多い学科のため、ニーズとしてどうなのかと思う。何か特徴としてある場合は需要も高くなる。
利益を生むために、業種ごとにどのような課題達成が必要か学んでほしい。 損益計算書の読み方も大事。
地域により根ざした教育の実施
地元企業に就職していただける学生が増えるように協力していただきたい
地域社会、地域経済の発展のために活躍できる人材の育成に期待します。（各学部共通）
地元で活躍できる若い人材の育成と地元での就職を可能な限り進めていただきたいです。
福祉施設運営においては、介護保険の下での運営は厳しい状況となっております。 視点を変えて考える事のできる人を求めたいです。
体育会系が望ましい
・経営者の能力向上、営業の能力向上 ・専門学科（工学系）を除く部分の能力向上を期待する
全学部、全学科な共通して、将来を担う人材として活躍する為にそれぞれの専門分野を学んで活かしていただきたいと思います。
実践的な体験をされた学生を期待したい
IT 情報知識も習得できていれば良いと思います。
事務部門だけの採用は現在なかなか財源不足で厳しいのですが、将来ケアマネジャーやレセプト請求業務などが担当できる者なら施設としても歓迎します。
若者が集まることはとてもよい。 学力向上が必須である。
どの学部にも言えることだが 自分は「最高学府」の卒業者だと誇れるよう 知識と教養をしっかりと身に付けた上で立派な社会人としてチャレンジしてほしい。
経済的知識の探求に加え、積極性、忍耐力が備わった人材の育成を希望します。
面白くなくても、係数重視、経営数学重視の育成をしてもらいたい

企業経営の課題を発見する力は、多くの企業で求められると思います。 当社も必要とする人材です。
地域社会や地域貢献の人材が出てくれることに期待したい
リーダー職など役職がつくにつれ、簿記やマネジメントに関する知識が必要とされるため、その点は期待できるかと思います。
リーダーシップを発揮できる人材に期待したい
福岡県、地方都市の小さな会社です。 業種的、また大卒採用を行っていないこともあり 回答しづらい面があり申し訳ありません。
経済、経営、会計の基礎を学び、視野が広い人材となってほしい。
地域社会の課題に取り組む姿勢だけでなく、何事にも主体性を持って自走できる学生を採用したいと考えております。そのよう学生を多く輩出して頂きたいです。 また、安定志向ではなく、変化を好む学生であると尚、ありがたいです。
コミュニケーション能力→チームとして動ける人材
どの学部にも言えることですが山口県の活性化に是非つなげてもらいたいと思います。
地域の企業の活性化を担える人材の育成を期待する
社員の研究として
時代の変化に柔軟に対応できる能力やスキルを身につけてもらいたい
全学部とも、山口県内、特に周南に就職する事に期待します。
社会に出て仕事をする上で経済を知るという事は切っても切れないので、必要不可欠な分野であると感じる
市場の労働ニーズがマッチを感じない。 県外、海外（留学生のそのまま帰国）ニーズのイメージが強い。 その学生をどう地元と共に産業化させたいのかがイメージが湧かないのが残念です。
教員免許取得
弊社は文理問わず広く採用しております。 実際に経営学部出身でエンジニアとして活躍している社員は多数おります。 ぜひ、ITに興味をお持ちの学生さんにご縁があればと考えております。 将来的には役職者に上がっていく中で、勉強された経済経営学の視点を大いに活かして頂けるとと思います。
幅広く企業活動に興味をもち学んできた方を採用したいと考えます。
課題解決能力、提案力 ビジネスの展開など
経営に関する実務へつながった知識習得をされると良い
福祉に対して熱い心がある方であれば資格を問いません。
当社の将来を担う人材として各事業の所長としてお迎えしたいと考えます。
変化の激しい時代に対応した経済を学び、自ら考え行動できる人材育成をしてほしい。 依存型→自立型
専門学校との差別化、大学である事の強みを活かして物事に柔軟に対応できる人材を育てていただきたい。
経済学は、就職して活かせるものは少ないと思う。 どんな企業があって、何をを目指すかを明確にできると本当に何のスキルが必要で、これからの４年間で何を学べばよいかが見えてくると思う。 経済学部に入った目的をまず明確にして、志をもった４年間で過ごしてほしい。
大手化学工場の協力的会社等にも採用のチャンスがありますか？
弊社は大卒新人枠がありません。 申し訳ありません。
・広い分野を学ぶことで、視野を広げる事 ・学生経験だけでは経済、経営を理解することは難しいと思いますので、様々な企業を使って学んでもらえたらと思います。

大学で履修したことを会社で今も活かしているか？と尋ねたら恐らく多くの人が NO と答えます。 高い専門性を仕事に活かそうと思ったら、大学院まで行かないとその場を得られないというイメージです。 だからこそ、貴校には 4 年制の中で社会で役に立つ専門知識、専門技術を指導できる大学であってほしいと思っています。
貴校のご卒業生を採用できることを楽しみにしています。
地域経済の発展に貢献できる人材の育成をお願いしたい。
ニーズがございましたら、学内説明会を実施したく存じます。 毎年 15～20 名近い大卒採用を行っておりますので、貴学の学生にも是非興味を持っていただけたら幸いです。
学部、学科に限らず地域経済、地方経済の活性化に前向きな学生を育てていただきたい。
すぐ辞めない 電話に出る 嫌な仕事もやる
会社として新規事業を積極的に立ち上げているので、経営について専門知識をもった方を歓迎します。
どの学部においても、学生自身の社会生活上のキャリア、また社会からのニーズを思考するために必要な観点から、専門教育においても知識、情報の提供、養成を期待します。
積極性、コミュニケーション能力、パソコン能力、専門知識の強化を求めます。
地域振興の為の授業修得（カリキュラム）必要
弊社では店舗ごとに経営をするスタイルですので、課題の発見、解決の能力は非常に活かせると考えます。 また、経営をするにはリーダーシップ力も必要ですので、こちらの学部の目指すところは、どんな企業でも活躍できる人材となるものと期待できます。
地域経済経営、グローバルビジネス、地域ビジネスデザインと 3 つの履修プログラムで各々の専門性を深めることができると同時に 3 つのプログラムを横断的に履修できるなど画一的ではなく学生一人一人の考え、方向性を重視したプログラムで自分の意志をしっかりと持った人材育成が期待できる。
DX 対応に期待したい。
当社は学部学科に関係なく、人間力重視で学生さんを採用しております。 採用人数についても決まりはございません。よろしくお願いいたします。
大学で学んだことを基礎として、社会、会社で求められることを自分で学び続け、そこから確固とした自分の社会、会社で役立つスキルを作り上げる。 このような意識を持つ学生を求めています。
地元で就職し、経営まで出来る人材を育成して欲しい。
少子高齢化問題が深刻化している中、当社の人材派遣業界も次世代を担ってくれる若手の社員確保は非常に重要だと考えていて、そんな中、貴校の新しい学部ができるニュースは非常に期待できると思います。
経済での市場状況の把握と分析ができ自社商品の戦略立てができる人材
様々な目線から課題にアプローチする力を身に付けられること
公立の経済経営学部は珍しいと思うので、地域と連携した学びをされることを期待します。
日本経済新聞などを読んで、経済に関する現状を理解できる人材の育成をお願いします。
現状通りで問題はないと思います
就職後、幹部候補としてはリーダーシップを発揮できる人材の育成を期待しています。
・地元企業インターンシップへの参加（単位付与） ・学内企業説明会の開催（①一つの業界に特化 ②様々な業界を集める） ・地元企業とのコラボレーション（学生ならではの視点をいかした商品企画等）
就活が始まる頃に、自信を持って経験を話せるようになってほしいです。（全学部共通）
公務員に準ずる団体として、将来病院の舵取り役を担う事務職員を育成したいため、現代の動向を読み取る力、リーダーシップ等、組織人に必要な要素を身に付けた学生さんを是非採用したいです。
学部、学科名はともかく、どういった学習内容やスキルが身につくかが重要。 質の高い人材であれば、全国から注目期待が高まると考えます。

社会保障についての今後の見通しについて学習していただき、今後の社会福祉の方向性について検討できる人材を期待している
先のことを予想し、対応できるように広く学んでいてもらいたい
施設の中においても、総合的な政治、経済の諸政策について知識を持っている若い人は必要です。
せっかく周南市に設置するのであれば、地元の企業に就職して活躍できる人材を育てていただけるよう期待します。
課題を自ら発見して解決する能力の育成に期待します。
人材の社会的ニーズおよび地元経済界の期待は大きいものがあると思います。 地場中小企業も期待しております。
人材の周南圏域での就職
ミクロな視点ではなく、マクロな視点を持つことは良いことだと思う。 ただ頭でっかちにならないよう。 その為に必要な法律や、付随知識等点ではなく線で学び、アクションに至るまでの道筋を提示することが必要だと思う。
すべての学部で共通しますが、弊社が求めているものではありません。
自由な発想により業績向上に貢献できる人材を送り出していただきたいと存じます。
経営を学んで、自身で会社を興す能力がつくことを期待しています。
大学で学ぶ経営と実際の経営は同じようで違います。 離職が多いのも、その理想と現実のギャップが違うからだと考えます。 社会人の授業やインターンシップ等を通じて、現実も知って学んでほしいです。
企業の中心的人材となるべく、経営全般知識を習得してほしいです。 経営に関する学際的な学びも積極的に行ってほしいです。 経営と情報、経営と健康、経営と地域貢献、経営と環境などです。
・地元の経済界をリードできるような人材の育成 ・優秀な人材の地元からの流出を阻止できるような特色のあるカリキュラムの構成
座学だけではなくフィールドワークも経験
学生さんにとって魅力ある学部であれば、学生数も増えて地元は活性化したいと思います。 当社を含めて、地元の企業への学生さんの関心が高まれば、採用につながると思います。
企業が発展し続けていくためには、課題発見を行い実行にうつせる人材が不可欠だと思います。 経営の知識を持ち、行動力のある方々のニーズは高いかと思っています。
簿記、会計の実務と文書作成の実務のイメージが学科名にあるとよい。 企業活動マネジメントなど。

人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）について
本音を言うと、お金との直接的な結びつきが将来的に考えると低い学科なのかなと思います。
人間工学や臨床系など人間科学の中でも理系寄りのカリキュラムを充実させると面白そうです。
人生 100 年時代といわれますが、実際には高齢者施設で動けない人も多い。
本来の健康寿命を延ばすことと、その専門の知識者の育成を周南エリアから発信できるように希望します。
体を大事にして、人間としてバランスの取れる健康を科学してほしい
工場等で作業時、体の負荷軽減や体のケアを指導できる人材
地域の活性化に貢献される人材の育成、教育に期待します。
学生生活でスポーツに携わっていた学生さんが営業に興味を持ってくれることに期待します。
注目している
健康寿命延伸のためこれからは「予防」に力を入れないといけないと思っています。そういう人材を求めています。
鍼灸やあんまなどの資格が取れるとスポーツ界では重宝されると思います。（柔道整復師など）
弊社は健康に関わる事業で営みを立てていますので、つながりはあると思われます。
高度な知識、技術を持った専門性の高い人材の育成が良いと思います。
旧徳山大学のように優れたスポーツ選手を入学させることが出来ないのであれば、廃止すべきではないでしょうか。税金の有効活用を期待します。
健康経営ニーズ指向への期待感から
卒業時に国家資格を取得できる体制作りをしてほしい。 ex 健康運動指導士、健康運動実践指導者など
セルフメディケーションの観点から、登録販売者の資格取得支援もあると良いのではないかと思います。
福祉施設や、支援を必要とする方々や子ども達に、スポーツやからだを動かす機会をつくり、体力の向上、自己肯定感を高め、社会参加を積極的に行える指導者、人材を養成して頂きたいです。
2020 年に貴学（旧経済学部ビジネス戦略学科スポーツマネジメントコース）を卒業いたしました。 在学中には、中学校、高等学校（保健体育）（商業）の教員免許とバスケットボールコーチライセンス C 級を取得させていただきました。 実践する機会を多く頂き、このような資格や経験を得ることができたと感じております。 ぜひ、これから同じ道を進む学生方に対面での実践力が磨かれるサポートをしていただけたらと思います。
当社はスポーツ施設の運営・管理を行っておりますが、コロナ禍以降フィットネス業界は深刻な人材不足に直面しています。 コロナの影響によるサービス業離れが大きな要因ですが、業務委託という働き方にも原因があります。 最近はパーソナルトレーナーが注目されフリーで働きたいと思っている若い方が増えました。 専門学校ではパーソナルトレーナーだけでなく、ストレッチ系、整体系の業務委託で働くことをすすめる事も多いようですが、新卒で業務委託で働きはじめたが、客がつかず、食べていけず、やむなく当社の中途採用にエントリーしてくる方が多くなりました。中には他業界へ転職してしまう事も多いようです。
スポーツ健康科学科がどのような人材を目指しているのか分からない
治療から予防への時代となり、非常にニーズが高くなると考えられる中、専門性とスキルの高い人材が求められると思います。卒業後、なるべく短い期間で戦力となる様な授業カリキュラムと実践の経験を積める仕組の充実を希望します。 また、“人間力”が上がるカリキュラムも希望します（社会人外部講師の登用など）
スポーツを通して健康や地域の活性化を行ってほしいです。
スポーツ健康科と言われると、業務とかけ離れてきますので「健康・安全」をテーマとして、企業の取組を実現できる人材を育成される学科であれば、ニーズは多いと思います。

劇的な環境の変化によって、身体も精神も健康を保つ手が以前より難しいと感じる。スポーツの考え方を通じて、現在にアジャストしたマネジメント力を有した人材が増える事で、人間本来の姿での社会活動が営めれば良いと感じる。
忍耐力や体力、ねばり強さ等に期待します。 営業職（ルート営業）の採用を積極的にしていきたいと思います。
弊社は厚生労働大臣認定健康増進施設、指定運動療法施設の管理運営を業務委託されているため、社員は健康運動指導士または、健康運動実践指導者の有資格者としています。 貴校で新設のスポーツ健康科学科にて資格が増える事に期待いたします。
弊社は、子ども向けスポーツスクールを展開している会社です。 2年前に、山口県にも開校しました。 人材が確保できれば事業展開が広げられるため、当学科の新設に期待しております。
高齢化が急速に進んでいく中では、“健康”は更に重要な人生におけるポイントになります。地域に根づいた活動は、地域の活性化直結すると思いますので、若い世代の方の積極的な地域参加を期待します。
スポーツビジネスについても学べる環境を期待します。
これから高齢者は、できないことが増える中でもできることでいろいろスポーツを楽しみたいと考えていると思うので、そのあたりのプラン等を発信できる学生を採用したい。
スポーツや健康といった視点はどの業界にも必要とされるもので、 そのための基礎知識や経験は各所で活かすことができますと思います。 大学で学ぶ際も専門的な仕事、職場のイメージだけではなく、健康経営や心身ともに健康が重要視されていることを広く視野で身につけてほしい。
生涯スポーツ指導員、教員（保健体育）の育成に力を入れて欲しい
めざせる資格の部分でアシスタントマネジャー資格は強みになると思いました。
これからの医療は地域へ健康寿命の延伸を魅力的に発信することも大きな役割だと考えます。 その大切な役割を担える人材を育ててほしい。
コロナ禍を経て“出勤の必要性”が問われほぼリモートになった者も少なくない。 ここから更にスポーツ健康科学の必要性は高まると思う。
最近増えてきた学科であり、もう遅いのではないか。 ただし、公立の強み（学費が安い）を活かしての学生獲得は期待できる。
スポーツを通して健康や、地域の活性化を行ってほしいです。
内容的に社会の受け皿が少ないと感じる。 学習内容にPT、OTが必要かと。
スポーツを通して、心技体を養い、人間力向上できる環境で育った学生を積極的に採用したいと考えております。
他校は「体育科の教員育成を目的にしている」と伺うことがある。 どのような特色を出され、どのような就職をされるのかを明確にされたら良いと思います。
高齢化や予防医学の観点から必要性が高い
スポーツをしにくる学生の受け皿とならないか心配
社員の健康維持にも役に立つのではないのでしょうか
福祉施設では、高齢の方の利用者が対象です。 要介護状態となった利用者について、人間の健康という分野から見て日常生活を送る事が出来るかをサポート出来るのではないかと考えます。
体育会系が望ましい。
在学中にチーム帯同経験など積んでいただきたい
建設業などでは、外部で働く仕事为主なので、そういう仕事に対応出来る人を希望しています。 そういう仕事を希望する人が非常に少ないです。
将来のOT PTさんの補助ができたり、体力的に自信のある方なら免許取得（介護福祉士など）に向けての勉強もできますし、ライセンスがあれば、給与の面でも手当が付きよいのではないのでしょうか。

健康志向が高まる中、「予防」の観点からスポーツと健康づくりの取組みが重要になると思います。
健康寿命の延長が健全なる国家運営に寄与すると思う
スポーツを通して明るく元気な人材と多くの企業で求められると思います。
必ずしも当社の事業に合致するものではないかもしれないが多様な人材の育成と輩出をお願いしたい
ワークライフバランスが重要視される昨今、スポーツを通じ組織のリーダー（健康生活・労災防止）となる人材となって欲しい
部活動の地域移行や各種スポーツイベントの企画運営等総合的にコーディネートできる人材育成を期待する。
弊社が食品会社ですので、スポーツに関する食品の知識、開発に期待します。
インターンシップを1年生から派遣してほしい。
スポーツを通してのチームワーク
理学療法士、作業療法士の資格取得の門扉も検討して頂きたい。
スポーツ系の部員は就職時に惑うことも多いと聞く。
自らの経験を活かし、運動を通じて社会とのつながりを喜びとできる人材の育成をしてもらいたい。
健康寿命を伸ばそうと意識高い方も多くなっていて、ジム等通われる方も増えてるのでこれから活躍できる分野と感じる。
山口県内の関係施設や団体との連携をとり、学生のときから交流し、現場で必要とする人材、資格等を取得できるように。
就職後、即戦力として活躍できる人材やプログラム開発を育成してほしい。
教員免許取得
熱中症等、製造業の現場に利用できる知識を習得されると良い。
スポーツ健康学を履修された多くの方が当社で活躍しています。
人生100年を想定し、「健康寿命を上げる」ためのスポーツの取組みを地域と共創してほしい
これから日本のスポーツレベルを上げる為には、もっと身近に学べて、取り組めることが必要だと思う。ただ、仕事の飯が食えるかといえばシビアかもしれない。
特に官が主体的に道を作ってあげれば、明るいのではないだろうか。
類似する大学も少ないと思いますので、スポーツ健康分野に関心のある学生の学習の場として選択肢を広げて貰えたらと思います。
当社はスポーツ経験豊富な学生も多数活躍しています。
是非よろしくお願い致します。
御校のご卒業生を採用できることを楽しみにしています。
スポーツの知識、キャリアを社会に生かしてほしい
特にございません。
メンタル面の事務についても学ばれると強みになると存じます。
人生100年時代と言われるが、健康寿命の貢献する専門指揮者の養成は重要になってくると思う。
現場作業員として即戦力として期待する。
将来のビジョンは現場監督。
・子供から高齢者まで幅広く健康増進に関われる人材を養成して頂きたい。
・地域のクラブ活動（スポーツ少年団や中学校の部活動）へ積極的に関われる方が増えると良いと思います。
スポーツを通じて人間形成をして欲しい。
幅広いニーズに対応できる基礎基本がしっかりしている人材（専門性より基礎学問）様々な指導対象現場に興味を持ち、成長志向が高い人材
健康経営に取り組む会社も増えており、一般企業では活躍の場があるのではないかとと思う。
幅広い知識。専門的すぎない方が良いと思います。
スポーツを通して地域の活性化を実現されることを期待します。
知的な分野に加えて、体力的・実践的なカリキュラムをもって多彩に備えてわかりやすく明示してほしい。

わざわざ新たに設置する学部として、地域社会にとってそこまでニーズのある学科（学問）なのかやや疑問を感じる。 それよりも、周南工業地域に構える大学としては、理工系学部の設置および優秀なエンジニアを育成されることを期待します。
身体を動かすことが健康につながり、健康を維持することが国の経済に良い影響を及ぼすなど広い視点をもてる人間を育ててもらいたい。
スポーツのできる人材、スポーツの指導ができる人材を育ててほしい。 障がい者施設の生活指導員として、スポーツのできる人が1名ほしい。
各大学のスポーツ科は所属選手のみフォーカスされることが多いですが、スポーツに対するマネジメントや分析、情報科学が表に出るようになれば、いわゆるセミプロの方を引っぱりあげられると思う。
組織をまとめることにより、業績向上に貢献できる人材を送り出していきたいと存じます。
スポーツには色々な可能性があり、スポーツ経験で培った力は仕事においても大きな力を発揮できると思っています。 また、これからの日本は健康が注目されると思っています。 ですので、健康を広める事業を展開できる能力がつくことを期待しています。
少子高齢化が一層進む社会において、健康、運動は非常に重要性が高まってくると考えられます。 健康寿命を延ばすことや、生涯スポーツの推進などによって、地域の人々のQOLを向上させることのできる人材を育ててほしいと願います。 企業においても、健康経営の取り組みが盛んとなってきていますので、社外リソースとして、または社内人材としてどのように取り組むことができるのかなど勉強していただきたいです。
教育や子どもへの支援という目的を持った学生の獲得に期待しています。
・地元高校からの優秀なスポーツ人材の確保 ・地元の特色あるスポーツの強化（レスリング、バトミントン、ハンドボール等）
PCスキルも身に付ける
超高齢社会において、スポーツ健康科学科の学びは非常に役に立つものかと思います。 弊社では福祉用具専門相談員として、道具を通してご利用者様の生活をサポートしております。 こちらの学科で学ばれた専門知識や技能を活かしていただきたいと思います。
スポーツビジネスが拡大していく。 地域のスポーツ団体への科学的トレーニングの必要性。

人間健康科学部「福祉学科」（仮称）について
介護福祉士のプロフェッショナルを育成して、深刻な人手不足を解消してほしいです。
介護の現場では、質の悪い介護士の話をよく耳にしますので、学生時代の教育で意識づけをしてほしい。
現実問題として現場の人間が足りていない分野だと思うので、その点を学んで欲しいと思います。
バイオ系を売りにすると面白そうです。より医学に近い学問の充実。
スポーツ健康科学科にも通じることですが、健康寿命を伸ばして認知症等を予防するため、または発症しないための研究をしてほしい。
福祉をする側とされる側の意見が違うテーマを取り上げてほしい。
日本の福祉を支える人材を育ててほしい。
最近の若者は福祉といっても相談支援希望などと言うが、現場経験のない者では良い相談支援はできない。現場の介護、支援のプロを育てる学部となっていただきたい。
社会に必要とされる分野であり、知識の高度化により就職後に高い所得水準を得ることが可能となる様な教育をお願いします。
高齢化社会や格差のある社会における人材育成と介護サービスに理解があり魅力を発信できる人材育成
保育、介護のニーズはかなり高いので期待しております。
福祉人材増加の起爆剤となるような人材育成を期待
理学療法士や作業療法士の資格が取れると幅広く活躍できると思います。
現在、社会福祉業界における人材確保は、我々の業界の最大の課題となっています。
必要な職種として、保育士、児童指導員、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士等ですが、こうした資格者の育成を大いに期待します。
当社は小規模のため、栄養士、調理師の採用しかしておりません。
社会福祉主事任用資格の取得者は採用時において期待したい
学生の方の希望では、ソーシャルワークを希望される方が多く、利用者に近い現場やケアワークに興味を示される方が少ないように感じます。
ソーシャルワークを行う基盤として、現場やケアワークの重要性を認知して頂けるようなカリキュラムを希望します。
（現場実習含む）
理想と現実のギャップが大きい分野であるため、社会に進出した時に自分自身のメンタルを保つことが重要であるため、そのようなカリキュラムがあっても良いのではないのでしょうか
福祉人材は不足しており、ぜひ設置してほしい。
平均年齢層が高くなるにつれ、必要性が求められる
必要とされている施設等へ、共に活動し支援する人材を育成して頂きたいです。
地元で活躍する、福祉、介護人材の育成と輩出に力を入れていただきたいです。
看護師、介護士との養成の方が社会的ニーズは高い
介護職員初任者研修を必須としてほしい
介護福祉士取得プログラムがありますと、福祉施設などでは活躍の場が多くあると思います。
ぜひ在学中からフィールドワークを実践し、地域によって様々なニーズがあることを体感して頂きたい。
福祉のニーズは今後更に高まるものと思います。
ただ当社の業界とはミスマッチになります。
福祉都市を目指し、若者を教育していただきたいと思います。
福祉は、これからの社会では重要な分野です。人材育成だけでなく、福祉業界で働く者の地位向上と技能向上にも尽力いただける学部である事を期待します。
今後、現在においても人材が不足しており、求人を出してもなかなか応募がないのが現状です。専門的知識を習得後であれば即戦力になると思われます。
利用者さまの目線での福祉職養成に期待します。

田舎の老人施設で働きたいというケアマネジャーを育てていただきたいです。
社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士等 資格の取得
本会の職員採用は、出身学部を限定しておりません。
福祉学科のみならず、貴学学生のご応募をお待ちしております。
社会福祉士等国家資格者のニーズはますます高まっていく
福祉学科の開設は超高齢社会のニーズに合っている。
当社の事業とのマッチングも高いと考えます。
複雑化している問題を広い視野で受け止められる人材が必要
ニーズは高いと思いますが、弊社イメージは沸きません。
社会福祉法人なので、福祉について学んでいる学生さんを採用したい
障害者への対応
福祉系の学部学科が減少していく中で、新たに福祉の人材育成を行って頂ける学部学科を新設して頂ける事は、ありがたい事ですし、福祉のプロフェッショナルを1人でも多く輩出して頂ける事を期待しています。
業界における人材不足の状況は深刻だと思います。
ぜひ1人でも多くの福祉業界に携わり、そして業界へ新しい風をふかせられるような人間力の高い人材育成をお願い致します。
高齢社会におけるリーダーとして活躍できる人材を育成してほしい。
福祉学科は全国的に少なくなり、困っている。
高校にきちんとアプローチし、それなりの学生が確保できれば大いに社会に貢献できる。
福祉業界で勤務する場合、福祉の知識だけでは難しい為、精神まで学べる学科が良いと思われる。
福祉の現場では、ソーシャルワーカー的な人材よりも、ケアワーカー的な人材不足が深刻で必要とされる数も多い。
また、現実的に現場経験の有無が相談業務の内容にも影響する事も否めないと思われるので、福祉学科のめざせる資格に介護福祉士受験資格がないのはいかなものかと考える。
また、日本人の若者の絶対数にも限りがあるため、介護福祉士を目指す外国人留学生確保も検討してほしい。
高齢化社会に向け必要性が高まる
実践的実習経験による自分の就業意識の確立をさせる教育の実施
高齢化社会となってくるにあたり、福祉関連は必要不可欠と思う。
学生数がどれほど確保できるのか気になるところ。
めざせる資格として、社会福祉士を持って入社される学生の方がチェリーゴードにも多数います。
山口から入社される方も毎年1名以上いますので、安心していただければと思います。
当社での採用はないと思うが、大事な仕事の資格が取れる学部だと思う。
福祉分野において人材不足が問題となっている。
求人に対して応募が無く、現場は真綿で首をしめる様にだんだんと疲弊していつている。
公立の大学としてこの問題を解決出来るように人材育成に努めてもらいたい。
当法人は福祉施設を運営しています。
福祉人材は不足しています。
専門的知識を持った人材を採用したい。
福祉に関わる人の地位向上を目指していきたい。
介護人材が不足している。
確保に大変苦勞しているので、ぜひ介護福祉士の資格が取得できるようお願いしたい。
福祉学科の方は社会福祉士、ケアマネジャー、介護福祉士など介護系の施設には必須の分野なのでぜひ活躍してほしいです。
医療と福祉の連携が取れる人材が必要と思います。
必ず重要になります。
マスコミに流れるハラスメントを起こさない、起こさせない学習を希望します。
今後の日本は高齢化が進むので必要だと思います。

必ずしも弊社の事業に合致しないものであるかもしれないが、多様な人材を社会に輩出していただけることを期待する。
介護福祉士、社会福祉士等の実務の資格。 初任者研修やその他社会福祉分野の資格。
これからの高齢化に向け、必要とされていくと思う
ケースワーカーとして勤務できる人材育成を期待する。
介護福祉士の資格取得ができるようなカリキュラムをお願いしたい。
これから益々需要が高まるのは間違いなく、地域に就職することを積極的に支援してもらいたい。
介護福祉士の養成をして頂きたいと思います。 若い人が夢を持って介護を担えるよう、大学と介護の現場で協力しあえると良いと思います。
寿命も上がり高齢化が進んでいるので、仕事にするにしてもプライベートにしても必要な知識だと思う
地元でもニーズを感じるが、弊社にはイメージができない
福祉という観点で、社会からのニーズは高いと思われます。 ご高齢の方や社会的弱者の方と実践的にコミュニケーションを取りながら学び、相手に配慮できるような人材に育つとよいと思いました。
高齢者への社会的な対応が望まれる
社会福祉士の資格を取得いただいて地域福祉や相談、援助に興味のある方、学校でスキルを身に付け受験していただきたい。
まさに当社の求める学部です。 ケアスタッフというスペシャリストで活躍していただきたいと考えます。
元々ニーズの高い分野ではあるため、福祉関係の仕事を志す学生を社会に送り出してもらえることを期待したいです。
マインドフルネス 心身の健康について学び、地域に貢献してほしい。
その学部で学んだ学生が他事業に就職するのではなく学んだ事を活かせる業種に就職する学生が多いとありがたいと思います。
人手不足が深刻な業界だが、新しいアイデアで対応することへの可能性に挑戦してほしい。
福祉人材不足なので、福祉の現場で働く福祉力のある学生の養成を期待しています。 弊社は児童養護施設を運営しており、ぜひ、私たちと一緒に子ども達の支援をしていただける方が増えることを願います。
社会福祉だけではなく介護福祉士の資格を得られるプログラムがあれば良い
電カルなので、PCを多少使えた方が良い。 実技よりも、責任感やチームワーク力を高められるような人を育ててほしい。
問 16 同様
学内就職セミナーや企業、業界研究セミナーがあれば参加させて頂きたいです。
貴校のご卒業生を採用できることを楽しみにしています。
現在の超高齢化社会において、介護人材のニーズはかなり高い。 ご縁があれば、多くの人材を採用したい。
どうあるべきかを考えられる、社会の中で隙間になっている部分に気づける、感性の器用さを育むなどペーパー上だけではない学びのできる学科となってほしい。
会社で訪問介護事業を行う予定なので、専門的な知識をもった人を積極的に採用したいと考えています。
周南公立大学福祉学科を卒業された生徒さんには、周南市及び下松市管内で就職していただければ良いと思います。
対応力を身に付けるためボランティアで相談経験を積んだり、幅広い人間力を培うようなカリキュラムがある といいと思います。
社会福祉士の資格を取られ県内に就職されることを期待します。（県内就職はどの学部も共通です。）

当社では必要無いが専門の知識を持った人材を社会は多く必要としている
将来的に人材の深刻化が見込まれる福祉の専門職養成校として大いに期待します。
約3人に1人が65歳以上である高齢化社会のなか、医療従事者の養成は高まっており人材の確保は重要。時代の要請に対応した新設であると思う。
業種柄、弊社にニーズがないと考えます。
人手不足となる分野ですので、教育、育成機関が増えると心強いと思います。 事業所の運営にも関わられるような、運営にも興味を持つ人材が育つと良いと思います。
高齢者や障害者そして子どもなど社会的に弱い立場になりがちな人々への施策も人権を中心とした価値観の変化により大きく変わろうとしています。 人権意識をしっかりと身に付け課題に積極的に取り組む人材育成を期待します。
福祉に関する専門的な知識と実践に役立つスキルを身に付けて頂きたいと思います。
福祉、介護の本質を理解している人材
地域と連携して実践的な学びをされることを期待します。
看護学科は医療病院との連携ネットワークをしっかりとつくってほしい。 福祉学科はややもすると抽象的になりやすいので、具体的なカリキュラムを外部からでもわかるように明示してほしい。
介護実務にあたる人材確保が困難なため、このままでは介護職員の不足から事業継続が困難になることも危惧される。 公立大学として、周南地域の福祉を支える人材の育成をしていただきたいと思います。
福祉、介護について当法人で活躍が大いに期待できるので、即戦力としての採用を考えている。 ぜひ実習に来ていただきたい。
福祉の分野から社会を動かせるように広い視野を持ち、多方面と関わりながら責任をもって福祉の分野を充実させられる人材を育ててもらいたい。
社会福祉士の資格の取得は、卒業時および卒業後となると思うが、当園では資格取得の援助をするので就職してから資格取得という方向を考えてほしい。 福祉の世界はチームワークで行う仕事なので、豊かな円満な人格の人を育成してほしい。
高齢化社会の中、人材を養成される学科を新設されるかもしれないということは非常に有意義で、期待値が高いです。 ゆくゆくは定員を広げて、幅広く人材を集めて貴校の名を高めていっていただきたいと存じます。
年々複雑化、多様化、深刻化する福祉課題の解決に向けて、幅広く柔軟な視点を持った福祉人材の育成を期待しています。 すぐの採用予定はありませんが、ご縁がありましたら一緒に働けると良いと思います。
介護の需要曲線や障害、児童の分野において分析をすれば非常にこれから約2040年までは需要が一定担保できることがわかるが供給側の人材が圧倒的に不足することがわかる。 3Kであるが、政府としても重要な業界と位置づけており、また世界的にみても諸外国にまだ優位性がある業界である。 また、「地域貢献」のニーズの中で福祉は一部であるとPRすれば若者の関心も引けるのではないか。
知識を活用し、交渉を重ねながら課題を解決することにより業績向上に貢献できる人材を送り出していただきたいと存じます。
私は徳山大学の時に福祉情報学部在籍していました。 現在は福祉とは異なる業界の企業で勤務していますが、高齢社会に突入する日本において福祉を学んでいた事がとても役に立っています。ですので、これからの日本の重要課題に向き合う学科として期待しています。
福祉は様々な立場の関係者と円滑なコミュニケーションを取りながら問題解決に取り組むという能力や方法を学べると期待します。そのような能力は、福祉業界のみならず一般企業でも大いに役立つと思います。
社会福祉の幅広い知識と熱意を持った学生の獲得に期待しています。 そのために施設として、大学にできる支援があれば協力して行いたいです。

・福祉学科、看護学科については幅広く対応できる人材の育成 (リハビリテーション関連の学科の検討等)
福祉力のある人材はこれからの時代、ますます重要度が高まっていくかと思います。 また ICT や最新機器の導入等、エビデンスに基づく科学的な介護を行っていくうえでは情報技術のある若い世代の方々への期待は大きいものがあります。 道具を活用しながら、サービスの質の向上、介護をする側の負担の軽減につなげていただきたいと思います。 福祉用具や最新機器等で何かお役に立てることがありましたら幸いです。
福祉現場、福祉情報への情報機器の導入を拡大していく

情報科学部「情報科学科」（仮称）について
専門性の高くない SE のニーズが高まっているので、スペックが中間層の SE 候補をたくさん生み出して、企業と連携して就職まで結びつけられるようなポジションの学部になることを期待します。
Excel、Word、PowerPoint 等の知識があるとより良いのではないかと思います。
中小企業にも必要な人材となると思います。
おもいきって滋賀大学のデータサイエンス学部のような学部の方が面白そうです。 社会人コースがあれば聴講したいです。
今後の DX 化で一層情報については重視されるので、デジタル社会を生き抜くためにどうすれば良いか、地元中小企業へのアドバイスができることを期待。
必要ないように思う。数学か物理の面から情報科学を研究するのが良いように思う
IT 企業での即戦力となる人材の育成をしてほしい。 基本情報、応用情報は 2 年生までに取得し、3 年以降はプラスアルファの資格に挑戦してもらいたい。
弊社においては情報学部の卒業生様は面接を是非させて頂きたい要望でありますので新学部新設後ご連絡をお待ちしております。よろしくお願いいたします。
AI、DX 等必要な人材がほしい
ビッグデータを扱うためにデータベースの構造を理解してほしい。 (システム開発でつまづきやすい部分のため)
スポーツも経験がある PC だけではない人材
日本が遅れている分野であり、人材育成に期待しています。
情報系に詳しい学生さんが弊社に入社することを期待しております。
DX 推進に伴い社内 SE としての求人募集を予定しておりますので将来的にお声掛けさせて頂きたく存じます。
よくある感じにならないようにしてほしい。
これからの社会で最も必要とされる分野だと思います。
近年、DX 化が進んでおりますのでニーズは高いと思われます。
DX 人材など今後必要とされる人材の育成を期待しています。
自動車学校は特に IT 化が遅れている業種なので、SNS、HP 戦略、社内ネットワークの改善に興味のある学生に期待しております。IT 関連に特化した専属部署が弊社にはあります。
ゲーム開発以外のデータベースやネットワーク（通信）などに強い人材の育成に期待します。
製造業において IT エンジニアの人材確保は年々厳しさが増えています。 中小企業の中にも優れた技術力を持った会社も多くあり、IT エンジニアが増えることによって採用できる可能性も高まりますので、地元での人材育成を期待しています。
情報系の企業だけでなく、一般企業にも情報系の社員が必要できる。 一般企業では、ネットワーク構築、アプリケーション設定だけでなく会計や勤怠をある程度理解しなければ

ばシステム設計をすることができないため、会計や労務の基礎的なカリキュラムを導入すると良いと思います。
情報化社会への今後の対応
柔軟なシステム開発ができる人材
IT エンジニアが不足しており、技術レベルの高い学生の採用が社内でも課題となっているため
福祉業界の IT 化に対応できる人材の育成をお願いしたいです。
情報科学科でどういう人材を育成するのかイメージがわからない
データサイエンティストや SE を募集しているので、専門的に学んだ学生を是非採用したいと思います。
エンジニアのニーズはあると思いますが、実用的な採用は見込めないかと思います。
プログラミング資格を持った学生であれば採用したい。
データの活用のしかた、分析されたデータから何を導き出すかが学べると面白いと感じました。
これからの情報社会において、必要不可欠な人材であるにもかかわらず企業では部署や部内の位置づけがない状況です。 情報処理が企業の利益に直結している事を知らしめる学科にして下さい。 建設業でも電子入札、見積等書類の PDF 化、出退勤管理をスマホで処理する等、デジタル化が進んでいきますので今後も必要な人材になると思います。
実用的なプログラミングやエクセル VBA のスキル育成が望ましい。 コミュニケーション力の事前育成に期待したい（学部生の 4 年間で）
電気設備工事の会社のため、技術職を必要とする。 本人の希望に合う職種であるかは疑問。 建設業は選択に入らないのでは？
IT を用いて、企業や地域の課題を解決できる IT リテラシーの高い人材を育成してほしい。
IT 部門がありますので
中小企業の DX に取り組んでもらえる人材を輩出していただければ有難いです。
卒業時点でどれほどのスキルが備わるかが分からないが、データを分析した後に、それを基に応用し具体的な行動目標の設定までができる人材であればニーズは高いのではないかと思います。
・実務イメージした学習や実習の実施 ・FE 以上の資格取得 ・大学と企業の協定型インターンシップの実施
DX に貢献していただきたい
弊社であれば、高齢者である農業従事者へ情報をどのように発信するか、また IT、IoT に対しての教育をどのように提案するかが重要になるため、提案力、応用力が必要であると考えます。
DX を推進するデジタル人材の確保が必要になっていることから情報科学科の育成に期待したい。
高齢者が好きであれば採用はしたいが、情報化学科の勉強が直接活かされるかというところではない
世の中の DX 化や情報スピードの変化に対応できる人材としてはもちろんのこと、「対人」に関してのスキルも同時に醸成しながら学びを深めてほしい。

IT、IoT、DX など企業における IT リテラシーを学んでほしい
どこにでもある
弊社は検査装置の自社開発そしてソフトも自社開発を行っています。 基礎知識があれば様々なシーンで活躍が期待できます。 どの学部学科も協働力を身に付けた人間を目指していくことでどの分野でも活躍できると思っています。
情報分野は需要は大きいと聞いていますが、殆どが大都市勤務が多い。（リモートも含めて） お示しの3分野はITの技術（資格）とは少し異なるが、その内容が分からないと思います。 また「地域課題」に対応する人材が地域に残る工夫があれば良いと思います。
情報プログラマー等、今後ますます必要性が高くなるため
卒業される学生様の進路はPG、SE等が多いと想像致しますが、ある一定規模の会社ではどのような業界でも社内システムの保守管理、企画を行う社内SEのような人材を求めている企業は多いと思います。 学生様に対して「各種業界」×「大学で学んだこと」が活かせる企業も多くあるのだという事を知って頂く、またはご指導頂けると幸いに存じます。
・情報系の学科を普段している大学が多い中、福祉同様にどれだけ確保できるかが重要 ・理系の人材不足という観点からは非常に良いと思う。
プログラム言語も必要ですが、ハード面の勉強もして下さい。 サーバの構成、PCの組み立て、インフラの組み方など。 課題でアプリゲームを作るのも望ましいです。
デジタル人材は国内自体に少ないため、プログラミングの基礎知識をベースにツール導入に向けた企画力や新規サービスの創出など育成を期待します。
DXやIT化を望んでいて動けない企業が多数あります。 ベンチャーなど会社の大小でなく、やりたいことをすすめられる人材育成
ITスキルも大切だが、それを活かすためのコミュニケーションスキルも併せて学べるとよいと思う
福祉施設の分野でもIT化が進んでいます。 利用者情報、サービス内容等ほとんどがデータ化されています。 情報処理を正しく行い、今後の対応に活かしていけるのではないかと考えております。 いずれにしても現場を知らずして先には進めないなと思います。
・デジタル社会のこれからを支える人材を期待する ・CADデータなどの活用を考えていただければ、建築系も幅広く社会に役立つのではないかと
情報系の資格取得を推奨いただきたいです。
経済（経理）関連知識も少しでも習得できれば良いと思います。
情報学科の方の採用も近年福祉業界ではIT化が進んでいますので必要になりつつあります。 介護記録もコンピューター化されていますし、レセプトも電子通信になっています。 徐々に必要とされるのではないのでしょうか。
弊社のグループ会社でも、IT関連の分野に力を入れておりますので 情報系に強い学生様がいらっしゃることは

情報を活かし商品販売していただける人材を育ててほしい。
ツールと講師次第かな？
今の時代は情報社会でありますので、ITなどを先に勉強していればなお多くの企業に求められると思います。
AI化に対応しうるリテラシーを持った学生を期待したい
弊社の社員の大半がエンジニアであるため、基本情報などの資格を有していないと就職活動時に専門学生に劣るため、資格の質、数に期待しております。 (特に主要都市の専門学校は資格数が多いです。)
システム系の即戦力を期待します。
情報化の現代、SE職は中小企業も求めています。 プログラミング基礎、WEBデザイン、アプリケーション開発、市販ソフトカスタマイズの知識を持つ人材となってほしい。
働き方の変化において、新技術などが出てくると思う。 それに対応する人材育成が望まれる。
自治体DXの推進に対応できる人材育成を期待する
・分析能力/・データ処理能力
育てた人材を地域に定着させる取り組みを学校全体で行ってほしい。
バックヤードの人材として
IT人材はこれからもっと必要だと思うので、期待大である。
データの活用において地域や企業がどのような問題を解決できるかを見つけて考える力も養われることを期待します。
義務教育学校との交流の推進
やはり4年間学んだ基礎がある方は、戦力としてぜひ来ていただきたい人材だと思います。 開発言語を学ぶ方は多いですが、サーバやネットワーク等ITインフラに強い方も多く求められている傾向です。ぜひ採用につながればと考えております。
最先端の技術の知識/技術系資格の取得
IoTやDX等、今後に活用できる知識を習得されると良い。
介護とDXは今まさに求められるシナジーです。 入社後、現場の課題をしっかりと認識していただき、当社で活躍してくださることを期待しております。
メタバース等、中高年には理解しづらい時代となる。 情報格差が広がらないよう地域を底上げしてほしい。
専門的なスキルを習得して、福祉介護人材の社会での価値を高められることに期待したい
基礎的な知識だけでなく、実践的な知識を学んでもらい、即戦力のある学生さんを育てて欲しい。
DXを企業に取り込むことが必要な世の中、学んだことがすばやく実践に活かせる学びを提供してほしい。
3Dデータも扱える学生がいると頼もしいです(DX等がからんだ)

貴校のご卒業生を採用出来ることを楽しみにしています。
宿泊業において、IT やシステムは日進月歩で進んでおります。 これからの時代、「情報科学科」出身のホテルマンという人材がさらに求められてくると考えられます。
・ SNS で発信したいので、活躍してほしい ・ 数値などを Data 化して活用したい
弊社の事業内容と一致したところもありそうなので今後注目してみたいと思う
半導体分野のカリキュラム
・ 専門家不足が現在も言われており当分この傾向は続くと思われる
デジタル社会への切り替えがまだまだ進んでいないので貴学で学んだ学生は入社後は活かせると思います が、要望に応えるための理解力、コミュニケーション力も必要なのでそこも学べると尚更良いと答えます。
DX は新たなビジネスモデルを創出していくことが期待でき、それを支える情報技術者の養成、IT を用いた課題解決能力のある人材養成に即した学部で期待できる
業種柄、弊社にニーズがないと考えます。
様々な情報収集力と分析力/それを自社マーケティングに活かせる人材
この 4 つの学科から弊社が求める人材はこの学科になると思います
IT システム等の知識を学生の皆様が身に付けられること
IT 社会で活躍する人材を育成されることを期待します。
数理系につよい人材を育成してほしい。
就職後、即戦力として活躍できるように実践的な教育を実施してほしい。 新たな技術、分野に柔軟に対応できるよう幅広い領域の基礎学習を作って欲しい。 学問のみならず、人間的にも成長できるような教育も取り入れて欲しい。
システムエンジニア養成へ向けての多彩なカリキュラムコースの拡充が必要だと思います。
・ 地元企業インターンシップへの参加（単位付与） ・ 学内企業説明会の開催（①一つの業界に特化 ②様々な業界を集める） ・ 地元企業とのコラボレーション（学生ならではの視点をいかした商品企画等） ・ 地元到新設される情報系の学部学科として、将来的なキャリアイメージ等含め情報交換を行いたい。
地方の会社は平均年齢が高い傾向にあるため、情報機器やシステムに関して困っている場合も多いと思いますので、若い方でそういった知識を持たれている学生さんの需要はかなり高いと考えます。
情報と経営を理解できると、IT 系の企業で役に立つと思います。 これからはどちらかの視点が欠けていると答えにたどりつかない可能性があります。
業界でも、デジタルソリューションの波が訪れている。他の企業体では考えられない最先端を走るエンジニアとして活躍していただきたい。
各方面で活躍が期待されています。責任のある仕事をやりとげられるよう知識を習得してもらいたいと思います。
パソコンを通しての経理のできる人材がほしい。施設において、今後は総務職員の役割は大きい。

システム屋としてベンダーだけでなく各企業に新卒で（特に情報、IT 関連が弱い会社）なんでも屋さんとして入る人材も需要があるのではないかと。 地方の中小企業ではメールが使えないというのが当たり前であり、生産性の低下も招いて首都圏との差が広がる一方である。
現場の課題を的確に把握し粘り強く課題解決に取り組むことにより業績向上に貢献できる人材を送り出していただきたいと存じます。
今後の社会で非常に重要で求められる知識、技能となってくると思います。 少子化の中では少ない人数で生産性を高めて価値を生んでいく経営が求められ、その際にデジタルスキルは非常に役立ちます。 具体的な技術を学ぶことももちろんですが、課題を発見し、その課題をどのようなソリューションで取り組むことがベストなのかを検討するような体験もしっかりと行ってほしいです。
ネットワーク、通信インフラの構造の知識に長けた人材の育成。無線の知識に長けた人材の育成。 また、学生以外でもそういった講義が受けられるなら受講したい。
・システム関連については、地元中小企業にも採用の需要があると思われるので、地元の人材を地元採用できるような連携、仕組みづくり
一般常識も身に付ける コミュニケーション能力も
介護業界においても、ICT や最新機器等の活用でより一層データに基づいた根拠が求められています。 情報科学科での学びはどの業界においてもニーズが高いかと思います。
具体的業務への情報機器の応用を中軸にする必要がある。

全体集計結果

※パーセンテージはいずれも、小数点第2位を四捨五入し記載。

問1 貴社・貴団体の主たる業種をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
建設業	84	10.7%
製造業	130	16.6%
電気、ガス、熱供給	6	0.8%
情報通信業	31	4.0%
運輸業、郵便業	30	3.8%
卸売業・小売業	128	16.4%
金融業・保険業	10	1.3%
不動産・物品賃貸業	14	1.8%
宿泊業、飲食サービス業	13	1.7%
生活関連サービス業	11	1.4%
その他サービス業	81	10.4%
教育・学習支援	19	2.4%
医療・病院	47	6.0%
社会福祉施設・事業所	121	15.5%
公務	21	2.7%
その他	34	4.3%
無回答	2	0.3%
合計	782	100.0%

問2 貴社・貴団体の所在地についてお教えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
北海道	3	0.4%
青森県	0	0.0%
岩手県	0	0.0%
宮城県	1	0.1%
秋田県	0	0.0%
山形県	0	0.0%
福島県	1	0.1%
茨城県	2	0.3%
栃木県	1	0.1%
群馬県	1	0.1%

埼玉県	4	0.5%
千葉県	4	0.5%
東京都	49	6.3%
神奈川県	3	0.4%
新潟県	1	0.1%
富山県	1	0.1%
石川県	0	0.0%
福井県	0	0.0%
山梨県	0	0.0%
長野県	0	0.0%
岐阜県	2	0.3%
静岡県	3	0.4%
愛知県	9	1.2%
三重県	1	0.1%
滋賀県	0	0.0%
京都府	7	0.9%
大阪府	20	2.6%
兵庫県	10	1.3%
奈良県	1	0.1%
和歌山県	0	0.0%
鳥取県	7	0.9%
島根県	9	1.2%
岡山県	21	2.7%
広島県	114	14.6%
山口県	377	48.2%
徳島県	3	0.4%
香川県	10	1.3%
愛媛県	17	2.2%
高知県	2	0.3%
福岡県	71	9.1%
佐賀県	3	0.4%
長崎県	1	0.1%
熊本県	3	0.4%
大分県	5	0.6%
宮崎県	0	0.0%
鹿児島県	5	0.6%

沖縄県	0	0.0%
無回答	10	1.3%
合計	782	100.0%

問3 貴社・貴団体の従業員規模をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
～99 人	306	39.1%
100～299 人	203	26.0%
300～499 人	80	10.2%
500～999 人	74	9.5%
1,000 人以上	100	12.8%
無回答	19	2.4%
合計	782	100.0%

問4 周南公立大学が設置構想中の経済経営学部「経済経営学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
人材の社会的ニーズは高い	433	55.4%
どちらとも言えない	310	39.6%
人材の社会的ニーズは高くない	36	4.6%
無回答	3	0.4%
合計	782	100.0%

問5 経済経営学部「経済経営学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
採用したい	383	49.0%
採用しない	70	9.0%
わからない	328	41.9%
無回答	1	0.1%
合計	782	100.0%

問6 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
1名	80	20.9%
2名	54	14.1%
3名	19	5.0%
4名	1	0.3%
5名以上	37	9.7%
人数は未定だが最低1名	190	49.6%
無回答	2	0.5%
合計	383	100.0%

問7 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
人材の社会的ニーズは高い	370	47.3%
どちらとも言えない	359	45.9%
人材の社会的ニーズは高くない	45	5.8%
無回答	8	1.0%
合計	782	100.0%

問8 人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
採用したい	282	36.1%
採用しない	114	14.6%
わからない	382	48.8%
無回答	4	0.5%
合計	782	100.0%

問 9 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
1 名	44	15.6%
2 名	40	14.2%
3 名	11	3.9%
4 名	4	1.4%
5 名以上	33	11.7%
人数は未定だが最低 1 名	149	52.8%
無回答	1	0.4%
合計	282	100.0%

問 1 0 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「福祉学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
人材の社会的ニーズは高い	601	76.9%
どちらとも言えない	166	21.2%
人材の社会的ニーズは高くない	10	1.3%
無回答	5	0.6%
合計	782	100.0%

問 1 1 人間健康科学部「福祉学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
採用したい	297	38.0%
採用しない	125	16.0%
わからない	355	45.4%
無回答	5	0.6%
合計	782	100.0%

問 1 2 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
1 名	46	15.5%
2 名	31	10.4%
3 名	23	7.7%
4 名	2	0.7%
5 名以上	39	13.1%
人数は未定だが最低 1 名	155	52.2%
無回答	1	0.3%
合計	297	100.0%

問 1 3 周南公立大学が設置構想中の情報科学部「情報科学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
人材の社会的ニーズは高い	564	72.1%
どちらとも言えない	204	26.1%
人材の社会的ニーズは高くない	7	0.9%
無回答	7	0.9%
合計	782	100.0%

問 1 4 情報科学部「情報科学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
採用したい	358	45.8%
採用しない	72	9.2%
わからない	347	44.4%
無回答	5	0.6%
合計	782	100.0%

問 1 5 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの 1 つにマーク）

選択肢	件数	構成比
1 名	106	29.6%
2 名	30	8.4%
3 名	12	3.4%
4 名	3	0.8%
5 名以上	30	8.4%
人数は未定だが最低 1 名	175	48.9%
無回答	2	0.6%
合計	358	100.0%

【資料】周南公立大学 3学部4学科 アンケート調査用紙



周南公立大学 新設学部学科設置構想についての採用意向アンケート調査 (対象：人事・採用ご担当者様)

周南公立大学（山口県周南市）は、2024年4月に経済経営学部「経済経営学科」、人間健康学部「スポーツ健康科学科」、「福祉学科」、情報科学部「情報科学科」（すべて仮称）の開設を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、将来的に卒業生の採用をご検討いただく皆様から率直なご意見をお伺いし、さらなる計画の充実を図って参りたいと考えております。ご回答いただいた情報は当該学部学科の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査へのご協力を謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は周南公立大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。
※リーフレット及びアンケートに記載されている当該学部学科の内容については予定であり、変更される可能性があります。

【アンケート記入にあたっての注意事項】

記入は必ずシャープペンシル、または黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
※正しい回答のように丁寧にマークしてください。誤った回答の場合、正確に読み込めず判断できない場合があります。



問 1 貴社・貴団体の主たる業種をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|--|
| ☐ 建設業 | ☐ 製造業 | ☐ 電気、ガス、熱供給 | ☐ 情報通信業 |
| ☐ 運輸業、郵便業 | ☐ 卸売業・小売業 | ☐ 金融業・保険業 | ☐ 不動産・物品賃貸業 |
| ☐ 宿泊業、飲食サービス業 | ☐ 生活関連サービス業 | ☐ その他サービス業 | ☐ 教育・学習支援 |
| ☐ 医療・病院 | ☐ 社会福祉施設・事業所 | ☐ 公務 | ☐ その他 <input type="text"/> |

問 2 貴社・貴団体の所在地についてお教えてください。（あてはまるもの1つにマーク）

- | | | | | | | |
|---------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|
| ☐ 北海道 | ☐ 青森県 | ☐ 岩手県 | ☐ 宮城県 | ☐ 秋田県 | ☐ 山形県 | ☐ 福島県 |
| ☐ 茨城県 | ☐ 栃木県 | ☐ 群馬県 | ☐ 埼玉県 | ☐ 千葉県 | ☐ 東京都 | ☐ 神奈川県 |
| ☐ 新潟県 | ☐ 富山県 | ☐ 石川県 | ☐ 福井県 | ☐ 山梨県 | ☐ 長野県 | ☐ 岐阜県 |
| ☐ 静岡県 | ☐ 愛知県 | ☐ 三重県 | ☐ 滋賀県 | ☐ 京都府 | ☐ 大阪府 | ☐ 兵庫県 |
| ☐ 奈良県 | ☐ 和歌山県 | ☐ 鳥取県 | ☐ 島根県 | ☐ 岡山県 | ☐ 広島県 | ☐ 山口県 |
| ☐ 徳島県 | ☐ 香川県 | ☐ 愛媛県 | ☐ 高知県 | ☐ 福岡県 | ☐ 佐賀県 | ☐ 長崎県 |
| ☐ 熊本県 | ☐ 大分県 | ☐ 宮崎県 | ☐ 鹿児島県 | ☐ 沖縄県 | | |

問 3 貴社・貴団体の従業員規模をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

- ☐ ～99人 ☐ 100～299人 ☐ 300～499人 ☐ 500～999人 ☐ 1,000人以上

以降の設問は別紙リーフレットをご覧ください。

問 4 周南公立大学が設置構想中の経済経営学部「経済経営学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 人材の社会的ニーズは高い ☐ どちらとも言えない ☐ 人材の社会的ニーズは高くない

問 5 経済経営学部「経済経営学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 採用したい ☐ 採用しない ☐ わからない





<<問6は、問5で「採用したい」と回答された方のみにお尋ねします。>>

問6 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 1名 ☐ 2名 ☐ 3名 ☐ 4名 ☐ 5名以上 ☐ 人数は未定だが最低1名

問7 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 人材の社会的ニーズは高い ☐ どちらとも言えない ☐ 人材の社会的ニーズは高くない

問8 人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 採用したい ☐ 採用しない ☐ わからない

<<問9は、問8で「採用したい」と回答された方のみにお尋ねします。>>

問9 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 1名 ☐ 2名 ☐ 3名 ☐ 4名 ☐ 5名以上 ☐ 人数は未定だが最低1名

問10 周南公立大学が設置構想中の人間健康科学部「福祉学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 人材の社会的ニーズは高い ☐ どちらとも言えない ☐ 人材の社会的ニーズは高くない

問11 人間健康科学部「福祉学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 採用したい ☐ 採用しない ☐ わからない

<<問12は、問11で「採用したい」と回答された方のみにお尋ねします。>>

問12 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 1名 ☐ 2名 ☐ 3名 ☐ 4名 ☐ 5名以上 ☐ 人数は未定だが最低1名

問13 周南公立大学が設置構想中の情報科学部「情報科学科」（仮称）で養成する人材は社会的ニーズが高いと思われますか（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 人材の社会的ニーズは高い ☐ どちらとも言えない ☐ 人材の社会的ニーズは高くない

問14 情報科学部「情報科学科」（仮称）の卒業生を採用したいですか。（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 採用したい ☐ 採用しない ☐ わからない

<<問15は、問14で「採用したい」と回答された方のみにお尋ねします。>>

問15 「採用したい」とした場合の採用可能人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

☐ 1名 ☐ 2名 ☐ 3名 ☐ 4名 ☐ 5名以上 ☐ 人数は未定だが最低1名





以下の問16～問19では、周南公立大学が設置構想中の新設学部学科に対して期待される点やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

問 16 経済経営学部「経済経営学科」（仮称）について

問 17 人間健康科学部「スポーツ健康科学科」（仮称）について

問 18 人間健康科学部「福祉学科」（仮称）について

問 19 情報科学部「情報科学科」（仮称）について

質問は以上です。ご回答ありがとうございました。



【資料】学部学科概要

地域の成長エンジンとして
社会が求める人材を常に意識し
生涯に渡って活かせる学びを提供します



2022年4月に
開学しました！
(旧徳山大学)

周南公立大学は 新しい学部学科を構想中です

学部名	学科名
経済学部	- 現代経済学科 - ビジネス戦略学科
福祉情報学部	人間コミュニケーション学科

改組後 学部名	学科名
経済経営学部	経済経営学科(160名)
情報科学部	情報科学科(100名)
人間健康科学部	- スポーツ健康科学科(80名) - 看護学科(80名) - 福祉学科(60名)

2024年4月開設(仮称・設置構想中)
※記載の内容は現在計画中であり、変更される可能性があります。

2024年4月の 学部学科改編のポイント

- 3つの学部を開設、カリキュラムも一新
これまでの学びを再編し、新しく情報科学や看護学が学べるように。2学部3学科制から3学部5学科制となり専門性の高い学びを提供
- 「地域に求められる」学びを調査・研究
周南市の協力のもと、地元企業100社にアンケートを実施。必要とする人材像のアンケート結果をもとに、新学部・新学科を設置
- 学生たちの将来像に合わせた学びを展開
学生たちが社会で活躍する20、30年後を意識した教育を提供し、将来像に向けて学生自らが意欲的に学べるカリキュラムを導入

学びの 特徴

1

「変化する時代」に対応するために 育てる"3つの力"

1 地域の課題×課題解決力

学生が主体となって地域の身近な問題を発見し、解決に向けての調査・分析をはじめ、具体的解決策の提案を行うまでの一連の手法を必修科目として学修します。全ての学生が、課題発見能力と解決能力を身につけます。

2 フィールドワーク×実践力

アーリー・エクスポージャー（早期体験実習）を通して、キャリア形成の意識醸成と、必要となる知識・技能への気付きを得ます。希望・適性を明確に把握して、進路を選択する力と実社会に必要な実践力を身につけます。

3 データ×情報活用力

数理・データサイエンス・AIの基礎的素養に関する科目を通し、地域課題の発見・解決に重要な定量的な評価の手法を学修します。課題の把握、解決目標の設定を、エビデンスに基づき論理的に行う能力を身につけます。

新

2024年4月からの

学部・学科

※設置構想中

※学部、学科名は仮称

養成する 人材像

経済経営学部

経済経営学科

経済学、経営学の基礎・応用の学修を通して、地域社会の課題を発見し、解決方法を提言、実行できる地域社会の礎となる人材を養成



1 現代社会や企業経営の課題を発見、解決できる人材を養成

3つの履修プログラム（地域経済経営、グローバルビジネス、地域ビジネスデザイン）を用意し、各プログラムに沿って科目履修することで専門性を深めます。3つのプログラムを横断して履修し、知識や視野を広げることが可能です。

2 課題解決や目的達成にリーダーシップを発揮できる人材を養成

少人数ゼミ（教養ゼミ、地域ゼミ、専門ゼミ・II）などにグループワークやフィールドワークを積極的に導入。課題解決や事業目的の達成に必要なリーダーシップを発揮し、他者と連携・協働できる力を養います。

こんなに
やると
-時代に合わせた情報分野もしっかり学びたい
-数値から情報を分析する力を身につけたい

めざせる資格

中学校教諭一級免許状（国）（社会）／高等学校教諭一級免許状（国）（地理歴史・公民）／高等学校教諭一級免許状（国）（商業）／経済学検定／統計検定ほか

想定される進路

公務員／金融機関／インフラ企業／公益企業／一般企業（地元企業等）／グローバル企業／製造業／産社／サービス業／商品開発／事業開発担当者／起業家／ビジネスコンサルタント ほか

類似する大学・学部

山口大学経済学部、下関市立大学経済学部

情報科学部

情報科学科

地方創生に資するビジネスアナリスト、データサイエンティスト、情報エンジニアなど持続可能な地域産業を創るエキスパートを養成



1 これからのデジタル社会を支える情報技術者を養成

これからのデジタル社会を支える鍵となる、AI、データサイエンス、IoT、ビッグデータ解析、またこれらを活用したビジネス展開について学修し、ITの最前線で活躍するための実践的能力を身につけます。

2 ITを用いた課題解決能力のある人材を養成

「ビジネスアナリティクス」、「データサイエンス」、「情報エンジニアリング」の3分野において、IT系企業等で実務経験を積んだ教員から、ITで地域課題を発見・解決する手法を学び課題解決能力を身につけます。

こんなに
やると
-AI、データサイエンスなどに興味がある
-情報技術者として地域発展に貢献したい

めざせる資格

データサイエンティスト検定／統計検定データサイエンス基礎／統計検定データサイエンス発展ほか

想定される進路

データアナリスト／プロジェクトマネージャー／ビジネスデザイナー／データサイエンティスト／データアナリスト／データエンジニア／システムエンジニア／プログラマー／ネットワークエンジニア／WEBエンジニアほか

類似する大学・学部

広島大学情報科学部、広島市立大学情報科学部

学びの 特徴 2

地域のwell-being向上のために、 "他業種協働"を推進

well-being

個人の権利や自己実現が保障され、
身体的・精神的・社会的に良好な状態
にあることを意味する概念。幸福と翻
訳されることも多い。

自分の学部における専門分野だけで
はなく、他分野の科目を履修すること
で幅広い学びを得ることができます。



連携の例

- 経営・情報の理論を習得し、仮説・検証・データに基づく企業経営に貢献できる人材の育成
- データ分析を得意とし、エビデンスに基づく医療・福祉・健康増進を提供できる人材をめざす
- 今後の発展が見込まれる健康産業に関する、確かな知識・視点を有する経営者をめざす

人間健康科学部

スポーツ健康科学科

多様な健康状態、生活環境にある人々に専門知識と技能をもって身体運動を促進させ、健康寿命の延伸に貢献する専門職者を養成



1 人と人をつなぎ、
地域健康増進のリーダーを養成
「健康運動」「アスリートサポート」「スポーツ健康マネジメント」の3つの履修プログラムを設け、身体運動を通じて学びの場でもある地域社会と積極的に関わり、人と人との交流を促進するリーダーを養成します。

2 地域住民の健康寿命の延伸に
貢献する専門職者を養成
人々の健康で幸福な生活の実現にとって不可欠な、医学・保健衛生学の基礎を学び、これらと密接に関わるスポーツ健康科学を基礎から応用まで体系的に学ぶことで、地域の健康寿命の延伸に貢献できる能力を養います。

こんな
ときに
-公立大学でスポーツ健康科学を学びたい
-スポーツで地域を活性化させたい

めざせる資格

中学校教諭一種免許状(国)(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(国)(保健体育)/健康運動実践指導者受験資格/健康運動指導士受験資格/公認スポーツ指導者資格/アシスタントマネージャー受験資格ほか

想定される進路

病院や福祉施設、健康増進施設等での運動指導/トップスポーツ選手のコンディショニングケア/地域で展開されるスポーツクラブの運営/スポーツの団体・選手を支えるスポーツメーカーほか

類似する大学・学部
大阪大学人間健康学部

看護学科

人々が病気を治すのに必要な知識と技能を身につけて、その人らしい豊かな健康生活を実現することを支える看護師の養成



1 複雑化・多様化する
保健医療提供体制に対応できる人材
あらゆる健康状態の人々に対する看護場面を再現したシミュレーション教育および医療機関、在宅ケア、地域のさまざまな保健福祉施設での実習を通して、ひとりに応じた質の高い看護実践能力を身につけます。

2 地域の健康生活を創生する
実践力を備えた人材
チーム医療における多職種との連携はもとより他職種との連携を学ぶことによって、地域の保健、医療における課題を見出し、あらゆる健康状態にある地域住民の豊かな健康生活をつくり出す実践力を身につけます。

こんな
ときに
-看護の力で病気や障がいをもつ人を支えたい
-他職種と協働し地域の健康生活を支えたい

めざせる資格

看護師(国)受験資格/保健師(国)受験資格(看護課程修了)/第一種衛生管理員(国)(保健師養成課程修了者のみ)/看護教諭二種免許状(国)(保健師養成課程修了者のみ)

想定される進路

医療機関(病院・診療所)/保健所/保健センター/訪問看護ステーション/地域包括支援センター/企業の健康増進センター/進学(大学院、修士課程等)ほか

類似する大学・学部

山口県立大学看護学部、県立広島大学保健福祉学部

福祉学科

福祉の視点から地域を繋ぎ、さまざまな社会的資源を用いることで地域課題を解決できる、福祉力のある人材を養成



1 福祉力のあるコンシェルジュ・
福祉力のある生活の案内人
ソーシャルワークを基盤に保育や介護といったケアワークの専門知識や技能を備え、どのような健康状態にあっても、誰しも、住み慣れた地域で、安心して豊かに暮らすための福祉支援を提供できる能力を身につけます。

2 地域資源を活かし円滑な
地域づくりに寄与する人材を養成
地域課題を発見し、解決に必要な地域資源と結びつけるネットワークの構築能力はもとより、独自に社会的資源を作り出すための鋭い洞察力および柔軟な発想力の素地と、高いコミュニケーション能力を身につけます。

こんな
ときに
-地域と連携した、実践的な福祉を学びたい
-多様な世代の人に関わる福祉を学びたい

めざせる資格

社会福祉士(国)受験資格/社会福祉士主任資格/保育士(国)受験資格(選択制)/介護職員初任者研修(選択制)

想定される進路

児童相談所(児童福祉司)/児童養護施設(児童指導員)/地域包括支援センター(社会福祉士)/介護保険施設(生活相談員)/社会福祉協議会(福祉活動員)/公立・民間保育所(保育士)/福祉関連産業の企業ほか

類似する大学・学部

山口県立大学社会福祉学部、高知県立大学社会福祉学部

入学金・授業料 (2022年度実績)

	入学金	授業料
市外在住の方	282,000円	535,800円
市内在住の方	141,000円	

※市内在住の方とは、次のいずれかに該当する方です。

(1)入学の日の1年以上前から引き続き周南市内に住所を有する方 (2)入学の日の1年以上前から引き続き周南市内に配偶者または1親等の親族が住所を有する方
※入学金・授業料以外に諸会費(120,000円程度、1年次のみ)の納入が別途必要となります。 ※その他、教科書代や学外実習費などが別途必要となります。

公立化、
学部学科
改編

周南公立大学は変わり続けます

本学のめざす未来

MISSION〈使命〉

地域の持続的発展と価値創造のための「成長エンジン」となる

VISION〈めざす姿〉

地域に根差し、地域の課題を地域とともに解決し、地域に愛され、地域に信頼され、地域が誇りに思う「地域に輝く大学」となる

VALUE〈価値観・判断の基準〉

学生のためになるかどうか、地域の発展につながるかどうか

教育・研究・社会貢献を通して地域のwell-beingを高めるべく、周南公立大学は邁進していきます。

The Latest News!

新校舎建設予定(2024年)



Access

- 「徳山」駅から「久米温泉口」または「ひばりヶ丘」バス20分
大学高専下 下車 徒歩3分
- 山陽自動車道「徳山東I.C.」より車で5分



お問い合わせ

法人経営課

〒745-8566 山口県周南市学園台843-4-2 TEL:0834-28-4600

『徳山大学』 公立化および学部・学科に関する 受容性把握調査

最終報告書

2020年11月2日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

株式会社アンド・ディ

調査概要

▶調査目的

- ・徳山大学が計画している「公立化」および新学部学科設置について、周辺エリア所在高校の2年生に受験意向・入学検討意向を聴取し、受容性を確認する。

▶調査対象

- ・山口県にある公立・私立高等学校の2年生
- ・調査対象校に事前に調査協力を依頼し、承諾を得た対象校へ調査票を送付。ホームルームなど教室で配布・回収。

▶調査期間

- ・学校へのお渡し開始：2020年8月18日（火）～締め切り：2020年9月30日（月）まで到着分

▶有効回答数

- ・22校／3384件（有効回答率82.9%） 23校／4080票配布に対し

▶調査機関

- ・株式会社アンド・ディ

▶調査協力校

- ・学科の内訳：普通科95.6%、総合学科4.4%
- ・設置者の内訳：県立66.5%、私立33.5%

調査票

徳山大学 公立化および学部・学科に関するアンケート

調査ご協力のお願い

徳山大学では現在、社会に求められる人材の養成に対する社会的ニーズや受験生の進学ニーズならびに大学を取り巻く環境の変化等に対応するため、公立化および新学部の設置や入学定員増など組織の再編を計画しております。

そこで、このたびの再編計画をより充実させるために、貴校生徒の皆様にご協力をお願いしてアンケート調査を実施し、新しい構想を練りあげる基礎資料としたいと考えております。

ご回答内容については回答結果のみをコンピュータ処理し、個人情報を使用されることはございません。

本調査の主旨をご理解いただき、ご協力よろしくお願いいたします。

2020年8月

徳山大学

あなたご自身についてお聞きます。

問1. 性別（ひとつに○）

1. 男性

2. 女性

問2. 現在お住まいのエリア（ひとつに○）

1. 周南市

2. 下松市

3. 光市

4. 岩国市

5. 玖珂郡

6. 柳井市

7. 熊毛郡

8. 大島郡

9. 山口市

10. 防府市

11. 宇部市

12. 山陽小野田市

13. 美祢市

14. 下関市

15. 長門市

16. 萩市

17. 阿武郡

18. 島根県

19. 広島県

20. その他（具体的に→）

問3. 所属クラス（ひとつに○）

1. 文系

2. 理系

3. あてはまらない

問4. あなたは、高校卒業後どのような進路に進みたいと思っていますか。（いくつでも○）

1. 大学（4年制・6年制）

2. 専門職大学（4年制・6年制）

3. 短期大学

4. 専門職短期大学

5. 専門学校

6. 就職

7. その他（具体的に→）

8. まだ考えていない

問4で選んだ番号のうち、最も希望する進路の番号を右欄にひとつだけ書き下さい。

以下、問4で「1.大学」「2.専門職大学」「3.短期大学」「4.専門職短期大学」「5.専門学校」いずれかを選択した方にお聞きます。

問5. 進学先で学ぶ分野として、あなたはどの分野に興味を持っていますか。（いくつでも○）

1. 教育・保育

2. 法律・政治・地域政策

3. 経済・経営・商

4. 文化・地理・歴史

5. 観光

6. 社会学

7. 美術・デザイン

8. 音楽

9. 国際関係・国際文化

10. 外国語

11. 文学・宗教・哲学

12. 心理学

13. 情報科学

14. 理工学

15. 環境・エネルギー

16. 医学・歯学・薬学

17. 看護学

18. 福祉

19. 体育学・スポーツ・健康科学

20. 農・水産学

21. その他（具体的に→）

問6. あなたは、高校卒業どのエリアでの進学を希望しますか。(いくつでも○)

- 〈山口県内〉 1. 周南地区
2. 岩国・柳井地区 3. 山口・防府地区 4. 宇部・小野田地区 5. 下関地区 6. 萩・長門地区
- 〈山口県外〉 7. 広島県 8. 島根県・鳥取県 9. 福岡県 10. 九州(福岡県を除く)
11. 北海道 12. 東北 13. 関東 14. 甲信越 15. 北陸
16. 東海 17. 関西 18. 四国
19. その他(具体的に→) 20. まだ考えていない

問7. あなたは、将来どのエリアでの就職を希望しますか。(いくつでも○)

- 〈山口県内〉 1. 周南地区
2. 岩国・柳井地区 3. 山口・防府地区 4. 宇部・小野田地区 5. 下関地区 6. 萩・長門地区
- 〈山口県外〉 7. 広島県 8. 島根県・鳥取県 9. 福岡県 10. 九州(福岡県を除く)
11. 北海道 12. 東北 13. 関東 14. 甲信越 15. 北陸
16. 東海 17. 関西 18. 四国
19. その他(具体的に→) 20. まだ考えていない

問8. あなたが、進学先の大学・短大・専門学校を選ぶ際に大切だと思うのはどのようなことですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 伝統や実績があること | 2. 校風や雰囲気が良いこと |
| 3. 学びたい学部・学科・コースがあること | 4. 教育方針・カリキュラムが魅力的であること |
| 5. 教育内容のレベルが高いこと | 6. 資格取得に有利であること |
| 7. 就職に有利であること | 8. 社会で役立つ力が身につくこと |
| 9. 語学力が身につくこと | 10. 教授・講師陣が魅力的であること |
| 11. 先輩・卒業生が魅力的であること | 12. 学生の学力が高いこと |
| 13. 学生の面倒見が良いこと | 14. キャンパスがきれいであること |
| 15. 奨学金などが充実していること | 16. 学生生活が楽しめること |
| 17. クラブ・サークル活動が盛んであること | 18. 周囲の人からの評判が良いこと |
| 19. 偏差値が自分に合っていること | 20. 教養が身につくこと |
| 21. 交通の便が良いこと | 22. 学費が高くないこと |
| 23. 地元から通えること | 24. 市街地に近いこと |
| 25. その他() | |

ここからは、現在計画中の「公立化した徳山大学」についてお聞きます。

別途お配りしたリーフレット表面『公立化構想のポイント』をよくお読みいただき、お答え下さい。

問9. 以下は、「公立化した徳山大学」が今後計画している取り組みや特徴の例です。

魅力があると思うもの、最も魅力があると思うものをそれぞれお選びください。

	魅力的 である (いくつでも○) ↓	最も 魅力的である (ひとつに○) ↓
1 将来を見据えた魅力ある学部学科の設置	1	1
2 地域連携の強化	2	2
3 何を学んだかが実感できるカリキュラムの提供	3	3
4 大学の教育理念、ミッション・ビジョン	4	4
5 周南地域および山口県東部地区唯一の公立大学	5	5

問10. あなたは、「公立化した徳山大学」に進学先として興味・関心がありますか。(ひとつだけ○)

1. 興味・関心がある
2. やや興味・関心がある
3. あまり興味・関心はない
4. 興味・関心はない

問11. 「公立化した徳山大学」では、県内高校在籍者を対象とした『地域推薦枠入試』の実施を予定しています。
もし、「公立化した徳山大学」を受験するとしたら、あなたは『地域推薦枠入試』を利用したいと思いますか。
(ひとつだけ○)

1. 利用したい
2. 利用したくない

ここからは、「公立化2年後に設置を計画している新しい学部・学科」についてお聞きます。
別途お配りしたリーフレット裏面『新たな学部学科構成』をよくお読みいただき、お答え下さい。

問12. 「公立化した徳山大学」が以下のような学部・学科になった場合、あなたはどの程度受験したいと思いますか。
それぞれの学科ごとに、あてはまるものをお答えください。(それぞれ、ひとつに○)

			受験 したい	受験先の 1つとして 検討したい	あまり 受験したく ない	受験したく ない
経済経営学部	経済経営学科	→	1	2	3	4
情報科学部	情報科学科	→	1	2	3	4
人間健康科学部	スポーツ健康科学科	→	1	2	3	4
	看護学科	→	1	2	3	4
	福祉学科	→	1	2	3	4

問13. 「公立化した徳山大学」の学部・学科を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。
それぞれの学科ごとに、あてはまるものをお答えください。(それぞれ、ひとつに○)

			入学 したい	入学するか 検討したい	あまり 入学したく ない	入学したく ない
経済経営学部	経済経営学科	→	1	2	3	4
情報科学部	情報科学科	→	1	2	3	4
人間健康科学部	スポーツ健康科学科	→	1	2	3	4
	看護学科	→	1	2	3	4
	福祉学科	→	1	2	3	4

問14. 問12にあげた学部・学科のほか、もし「公立化した徳山大学」にあれば進学を検討したいと思うような分野はありますか。(いくつでも○)

1. 教育・保育
2. 法律・政治・地域政策
3. 文化・地理・歴史
4. 観光
5. 社会学
6. 美術・デザイン
7. 音楽
8. 国際関係・国際文化
9. 外国語
10. 文学・宗教・哲学
11. 心理学
12. 理工学
13. 環境・エネルギー
14. 医学・歯学・薬学
15. 農・水産学
16. その他 (具体的に→)

ここからは、「現在の学部・学科で公立化した徳山大学」についてお聞きます。

※以下の説明をよくお読みいただき、お答えください。

- **経済学部 現代経済学科**
変化する経済社会の諸現象に注目し、その理論的背景に興味を持って論理的に分析・解明し、その結果を社会における様々な場でいかすことができる人を育てていきます。
- **経済学部 ビジネス戦略学科 経営コース**
経営を理解するためには、時代の流れを読む戦略的な思考が欠かせません。経営の実際の側面を理解し、社会生活において通用する“実践的行動力”を育てていきます。
- **経済学部 ビジネス戦略学科 知財開発コース**
天然の資源に乏しい日本にとって、世界的に評価されているマンガやアニメ、ゲーム、映像などの知的財産は、重要な産業基盤です。あなたの「好き」な分野のコンテンツ制作を学び、さらにそれを“ビジネス”に展開していく力を身につけます。
- **経済学部 ビジネス戦略学科 スポーツマネジメントコース**
オリンピックやサッカーW杯、野球のWBCなど、スポーツは今や世界的規模で展開されるビッグビジネスとなっています。経営学の視点からスポーツにアプローチし、次代のスポーツ文化を創造できる人材を育成します。
- **福祉情報学部 人間コミュニケーション学科**
「人間と人間のコミュニケーション」について、福祉学・情報学・心理学をベースに掘り下げ、福祉施設や一般企業をはじめ、情報化された現代社会におけるあらゆる活動現場において、高度なヒューマンスキルを活かして活躍できる人を育てていきます。

問15. 「公立化した徳山大学」を、あなたはどの程度受験したいと思いますか。

それぞれの学科ごとに、あてはまるものをお答えください。(それぞれ、ひとつに○)

			受験 したい	受験先の 1つとして 検討したい	あまり 受験したく ない	受験したく ない	
経済学部	現代経済学科		→	1	2	3	4
	ビジネス戦略学科	経営コース	→	1	2	3	4
		知財開発コース	→	1	2	3	4
		スポーツマネジメントコース	→	1	2	3	4
福祉情報学部	人間コミュニケーション学科		→	1	2	3	4

問16. 「公立化した徳山大学」の学科・コースを受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。

それぞれの学科ごとに、あてはまるものをお答えください。(それぞれ、ひとつに○)

			入学 したい	入学するか 検討したい	あまり 入学したく ない	入学したく ない	
経済学部	現代経済学科		→	1	2	3	4
	ビジネス戦略学科	経営コース	→	1	2	3	4
		知財開発コース	→	1	2	3	4
		スポーツマネジメントコース	→	1	2	3	4
	福祉情報学部	人間コミュニケーション学科		→	1	2	3

問17. 「公立化した徳山大学」について、ご意見・ご要望などをお書きください。

質問はこれで終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。

地域の成長エンジンとして
まちづくりと健康づくりをリードする人財を育て
地域の発展につながる研究を展開します

2021年4月に
創立50周年を
迎えます

徳山大学は 公立化を構想中です

Ⅰ 公立化構想のポイント!!

1. 将来を見据えた魅力ある学部学科の設置

学生の皆さんが社会の中心となって活躍する10年、20年先の社会を見据えて、魅力ある学部学科を新設します。3学部5学科からなる新体制を構想中です。

2. 地域連携の強化

地域ゼミなどのCommunity Based Learningによって地域の課題発見と解決に学生時代から取り組みます。地域から学ぶことは、SDGsをはじめとする世界の課題解決につながります。

3. 何を学んだかが実感できるカリキュラムの提供

卒業後に必要な専門的知識や技術ならびに人間力を身につけたことが、卒業時に実感できるカリキュラムを提供します。充実した教育環境を整備するとともに、魅力ある教員を国内外の大学や産業界から招聘します。

大学の使命、ありたい姿、教育理念



ミッション

地域の持続的発展と価値創造のための「成長エンジン」になる。



ビジョン

地域に根差し、地域に愛され、地域に信頼され、「地域に輝く大学」となる。



教育理念

個性の伸長を本旨とする「知・徳・体」一体の教育を行う。

公立化への思い

周南地域を活性化するために
大学としてできることを実行する



学長 高田 隆

1978年広島大学卒、1982年大学院修了。IAOPなど国内外の学会会長を歴任。カンボジア王国友好勲章や多くの学会賞を受賞。広島大学理事・副学長を経て2019年から現職。

徳山大学は1971年(昭和46年)に、旧徳山市から土地及び建設費と経常経費の提供を受け、公設民営の大学として設立されました。地域によって作られ、地域に支えられて育った徳山大学が、どうすればこの地域の成長エンジンとなって地域の発展に貢献できるのか。社会連携や産学連携に携わってきたこれまでの経験をもとに、市や地域の企業、住民の皆様と連携し、地域貢献型として全国から注目される大学を作っていきたいと考えています。

新たな学部学科構成で地域や時代にあった学びを

公立化後に開設を構想している3学部5学科

経済経営学部	情報科学部	人間健康科学部
●経済経営学科	●情報科学科	●スポーツ健康科学科 ●看護学科 ●福祉学科

3学部は有機的に連携し、それぞれの学部には専門領域の学びに加えて、学際的な学びができます。例えば、データサイエンスや経済経営に関する教育を学部横断的に行い、情報科学のわかるビジネスパーソンや医療・福祉人材、あるいは経営のわかる医療・福祉人材やデータサイエンティストの育成を目指します。また、人間力を培うEQ(人間力)教育、地域からグローバルに展開する際に欠かせない語学教育、教員になるための教職課程教育などもしっかりとサポートします。

経済経営学部 経済経営学科

地域社会の発展のために経済と経営を生かす

経済学と経営学を合わせて学ぶ

広い視野を持ち地域で活躍できる人材の育成を目指します。1、2年次に経済と経営の基礎を獲得した後に、多様なテーマを専門的に学ぶ5つのコースに進みます。

複数のコースに分かれて専門性を深める

経営に必要な情報の収集と分析力を養う経営情報コース、グローバルな地域間の結びつきを学ぶ地域経済コースなどから希望のコースを選択することができます。



こんな
キミに

・経済と経営を基礎から実践までしっかり学びたい
・まちに飛び出し、フィールドワークをしたい

情報科学部 情報科学科

持続可能な地域産業を創るエキスパートになる

データサイエンスによって
地域を活性化させる

地域社会・産業の持続・発展のためにビッグデータを活用し寄与できるデータサイエンティストになる能力を身に付けます。

Society 5.0時代のエンジニアを育てる

AI技術等の情報科学を駆使して、私たちの町を来るべきSociety 5.0に対応させICT化を進める人材をめざします。



こんな
キミに

・地域のICT化を引っ張っていく人になりたい
・高度な情報科学技術を習得したい、時代の最先端の学びがしたい

人間健康科学部

スポーツ健康科学科

公立大学では珍しいスポーツ・健康科学を中心に学ぶ

スポーツを科学し、
スポーツ社会の構築に携わる人材になる

スポーツをレクリエーション、介護予防など様々な角度から捉え、スポーツ社会構築に携わる人材を目指します。保健体育教諭になるコースも設置します。

“生涯スポーツ”を学ぶ

生涯スポーツとは、いつでも、誰でもが気軽にスポーツに参加できるようにする取り組みです。すべての人が楽しみながら健康になる方法を研究します。



こんな
キミに

・子どもたちにスポーツを教える専門的な知識を身につけた体育教員になりたい
・身体を動かすことが好きで、地域を元気にする取り組みがしたい

看護学科

山口県東部待望の4年制大学看護学科で学ぶ

総合的な看護を提供する力を身につける

疾病構造の変化や超少子高齢化の進展に伴って複雑化・多様化する医療・介護提供体制に対応するために課題発見解決力など、総合的な能力を身に付けます。

地域医療のリーダーとして活躍する

看護師としての総合的な能力に加えて、他の資格を目指す仲間と一緒に学びます。そしてチーム医療(多職種協働)の核になる力を身に付けます。



こんな
キミに

・大学4年間でしっかり学び、将来は看護師として地域で活躍したい
・地元医療を支えるため、地域のこともしっかり学びたい

福祉学科

複雑化・多様化する福祉現場で活躍できる人材に

地域での生活を創る人材になる

大きく変化する社会環境の中で、その人らしい生活を創ることをお手伝いする福祉の手法を学び、介護福祉士や社会福祉士国家資格の取得をめざします。

地域が生活を支える仕組みをつくる

すべての人が自分らしく暮らし続けられる地域をつくる専門職になります。医療や予防など地域を作る視点を他の資格をめざす仲間と一緒に学びます。



こんな
キミに

・誰かの役に立つ仕事に興味がある、将来は福祉の現場で働きたい
・地域と連携した実践的な福祉を学びたい

さらなる進化をめざして

徳山大学が学生や市民にとってより魅力があり自慢していただける大学になるために、学部・学科の改編や新設に加えて、学生はもとより住民の方々にもくつろいでいただける美しく居心地の良いキャンパスの整備、海外の大学とのジョイント・ディグリープログラムの開発による留学制度の実施、研究力の強化と産学官連携の推進などの取り組みを強力に進めています。進化する徳山大学には是非ご期待ください。

お問い合わせ

徳山大学 公立大学法人化推進室

〒745-8566 山口県周南市学園台
TEL:0834-28-0411 FAX:0834-28-8790

調查結果

回答者プロフィール

- 回答者の性別は男性49%、女性51%でほぼ半数ずつ。
 - 所属クラス別にみると、文系では女性（59%）、理系では男性（53%）の比率が高い。
- 現在の居住エリアは、「山口・防府地区」（33%）、「周南地区」（31%）が各3割以上。
- 所属クラスは「文系」（43%）、「理系」（31%）、いずれにも「あてはまらない」（24%）。

●Q1N 性別

		男性	女性	無回答
全体	(n=3,384)	48.7%	50.6	0.7
所属クラス別	文系	(n=1,439) 40.7	58.6	0.8
	理系	(n=1,044) 53.0	46.5	0.6
	あてはまらない	(n= 821) 57.1	42.1	0.7
高校所在 エリア別	周南地区	(n=1,033) 47.5	51.9	0.6
	うち周南市	(n= 500) 46.0	53.0	1.0
	うち下松市・光市	(n= 533) 49.0	50.8	0.2
	岩国・柳井地区	(n= 621) 47.8	51.2	1.0
	山口・防府地区	(n=1,210) 52.1	47.0	0.8
	下関・宇部・小野田地区	(n= 520) 44.0	55.4	0.6

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
-10pt 以上低い

●Q2N 現在お住まいのエリア

		山口県・計	周南地区・計	岩国・柳井地区・計	山口・防府地区・計	宇部・小野田地区・計	下関地区	萩・長門地区・計	島根県	広島県	その他	無回答
全体	(n=3,384)	98.4	31.0	18.1	32.6	5.2	11.3	0.2	0.1	0.5	0.6	0.5
性別	男性	(n=1,648) 97.9	30.2	18.2	34.5	3.9	10.9	0.2	-	0.6	1.0	0.4
	女性	(n=1,711) 99.1	32.0	18.1	30.7	6.4	11.7	0.2	0.1	0.2	0.2	0.4
	無回答	(n= 25) 80.0	20.0	12.0	36.0	8.0	4.0	-	-	12.0	-	8.0

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
-10pt 以上低い

●Q3N 所属クラス

		文系	理系	あてはまらない	無回答
全体	(n=3,384)	42.5%	30.9	24.3	2.4
性別	男性	(n=1,648) 35.5	33.6	28.5	2.5
	女性	(n=1,711) 49.3	28.3	20.2	2.2
	無回答	(n= 25) 44.0	24.0	24.0	8.0

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
-10pt 以上低い

<進路検討状況> 高校卒業後の希望進路

- ・「大学（4年制・6年制）」希望者が74%。専門学校まで含む「進学希望者」が合計で88%。
 - ・男女別でみると、合計の「進学希望者」は男性84%、女性92%と女性の方が高いが、「大学（(4年制・6年制)）」は男女とも70%強で並ぶ
 - ・高校設置者別にみると、県立高校では進学希望者が95%にのぼる。
- ・ 第一希望進路では「大学（4年制・6年制）」が69%。

●Q4N あなたは、高校卒業後どのような進路に進みたいと思っていますか。（いくつでも○）

		大学（4年制・6年制）	専門職大学（4年制・6年制）	短期大学	専門職短期大学	専門学校	就職	その他	まだ考えていない	無回答	進学希望者・計	大学・専門職大学（4年制・6年制）計
全体	(n=3,384)	73.7%	5.8	7.2	2.4	20.2	13.8	0.9	3.7	0.1	88.0	75.0
性別	男性 (n=1,648)	74.5	4.6	3.2	2.1	14.7	18.3	0.9	4.7	0.1	83.8	75.5
	女性 (n=1,711)	73.1	7.0	11.2	2.6	25.6	9.4	0.8	2.6	0.1	92.2	74.6
所属クラス別	文系 (n=1,439)	81.5	5.2	8.1	1.7	17.9	9.1	1.0	3.5	-	92.8	82.5
	理系 (n=1,044)	94.8	7.2	4.1	2.3	12.8	2.6	1.0	1.3	-	97.7	95.5
	あてはまらない (n= 821)	33.7	4.6	9.6	3.7	34.1	36.2	0.7	6.7	0.1	68.0	36.4
希望進路×分野別	経済・経営・商 興味あり (n= 541)	95.2	5.2	3.7	1.7	12.6	7.4	1.1	-	-	100.0	95.7
	経済・経営・商 興味なし (n=2,436)	81.2	6.9	9.2	2.9	25.3	6.5	0.4	-	-	100.0	82.9
	情報科学興味あり (n= 215)	86.0	8.8	6.0	4.7	26.0	8.4	1.4	-	-	100.0	87.0
	情報科学興味なし (n=2,762)	83.6	6.4	8.4	2.5	22.7	6.5	0.5	-	-	100.0	85.1
	看護学興味あり (n= 408)	80.1	12.3	7.1	2.0	41.2	4.2	1.0	-	-	100.0	83.3
	看護学興味なし (n=2,569)	84.4	5.7	8.4	2.8	20.1	7.0	0.5	-	-	100.0	85.5
①進学希望者	福祉興味あり (n= 199)	78.9	12.1	12.1	5.0	35.7	9.5	1.0	-	-	100.0	82.4
	福祉興味なし (n=2,778)	84.1	6.2	8.0	2.5	22.1	6.4	0.5	-	-	100.0	85.4
	体育学・スポーツ・健康科学興味あり (n= 388)	85.6	6.7	8.5	2.6	25.5	12.1	1.0	-	-	100.0	86.9
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし (n=2,589)	83.5	6.6	8.2	2.7	22.6	5.8	0.5	-	-	100.0	85.0
	美術・デザイン興味あり (n= 205)	69.3	12.7	13.7	6.8	42.9	9.3	1.0	-	-	100.0	72.7
	美術・デザイン興味なし (n=2,772)	84.8	6.1	7.8	2.4	21.5	6.5	0.5	-	-	100.0	86.1
高校設置者別	県立 (n=2,252)	83.7	5.9	7.8	2.0	18.4	6.9	0.8	2.3	-	94.9	84.5
	私立 (n=1,132)	53.9	5.6	6.2	3.0	23.9	27.4	1.1	6.4	0.4	74.2	55.9
高校所在エリア別	周南地区 (n=1,033)	77.0	5.2	8.3	2.2	17.9	13.0	0.6	3.6	-	89.6	78.1
	うち周南市 (n= 500)	80.0	4.8	7.2	3.0	15.2	9.4	0.8	2.4	-	92.4	81.0
	うち下松市・光市 (n= 533)	74.1	5.6	9.4	1.5	20.5	16.3	0.4	4.7	-	87.1	75.4
	岩国・柳井地区 (n= 621)	70.7	5.8	7.2	1.8	18.7	15.6	1.0	3.1	0.2	86.6	72.3
	山口・防府地区 (n=1,210)	69.9	5.7	7.4	3.0	22.3	14.0	1.2	3.7	0.2	87.4	71.3
	下関・宇部・小野田地区 (n= 520)	79.6	7.1	4.6	1.9	21.7	12.5	0.8	4.4	0.2	87.7	80.4

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
-10pt 以上低い

●Q4SQN 問4で選んだ番号のうち、最も希望する進路の番号を右欄にひとつだけお書き下さい。

		大学（4年制・6年制）	専門職大学（4年制・6年制）	短期大学	専門職短期大学	専門学校	就職	その他	まだ考えていない	無回答	進学希望者・計	大学・専門職大学（4年制・6年制）計
全体	(n=3,384)	68.9%	1.2	2.9	0.9	10.9	9.8	0.6	4.1	0.8	84.8	70.1
性別	男性 (n=1,648)	70.4	0.8	0.6	0.7	7.1	13.5	0.7	5.5	0.8	79.6	71.2
	女性 (n=1,711)	67.7	1.5	5.1	1.0	14.6	6.1	0.5	2.8	0.7	89.8	69.2
所属クラス別	文系 (n=1,439)	75.8	1.0	3.2	0.9	9.1	5.1	0.6	3.6	0.7	90.0	76.8
	理系 (n=1,044)	91.3	1.1	0.5	0.6	3.4	0.8	0.7	1.5	0.3	96.7	92.3
	あてはまらない (n= 821)	29.5	1.7	5.2	1.2	23.5	29.1	0.7	8.0	1.0	61.1	31.2
希望進路×分野別	経済・経営・商 興味あり (n= 541)	91.3	0.6	0.2	0.6	3.3	2.0	0.7	0.4	0.9	95.9	91.9
	経済・経営・商 興味なし (n=2,436)	75.5	1.5	3.9	1.1	14.4	2.2	0.2	0.5	0.7	96.4	76.9
	情報科学興味あり (n= 215)	78.6	0.9	0.5	0.9	12.6	2.8	1.4	0.9	1.4	93.5	79.5
	情報科学興味なし (n=2,762)	78.3	1.3	3.5	1.0	12.4	2.1	0.2	0.4	0.7	96.6	79.7
	看護学興味あり (n= 408)	71.3	2.5	1.7	0.7	21.3	1.2	0.7	0.2	0.2	97.5	73.8
	看護学興味なし (n=2,569)	79.4	1.1	3.5	1.1	11.0	2.3	0.2	0.5	0.8	96.1	80.6
①進学希望者	福祉興味あり (n= 199)	66.8	5.0	3.5	1.5	17.6	2.5	1.0	0.5	1.5	94.5	71.9
	福祉興味なし (n=2,778)	79.2	1.0	3.2	1.0	12.1	2.2	0.3	0.5	0.6	96.5	80.2
	体育学・スポーツ・健康科学興味あり (n= 388)	78.9	1.8	2.6	0.5	10.8	3.1	0.5	0.8	1.0	94.6	80.7
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし (n=2,589)	78.3	1.2	3.4	1.1	12.7	2.0	0.3	0.4	0.7	96.6	79.5
	美術・デザイン興味あり (n= 205)	59.0	2.9	4.4	1.5	26.8	2.4	1.0	1.0	1.0	94.6	62.0
	美術・デザイン興味なし (n=2,772)	79.8	1.2	3.2	1.0	11.4	2.2	0.3	0.4	0.7	96.5	81.0
高校設置者別	県立 (n=2,252)	79.0	1.1	3.0	0.8	8.9	3.7	0.5	2.4	0.6	92.8	80.1
	私立 (n=1,132)	48.8	1.3	2.7	1.1	14.9	21.8	0.9	7.5	1.1	68.7	50.1
高校所在エリア別	周南地区 (n=1,033)	71.7	0.9	3.3	1.2	9.2	8.6	0.4	4.0	0.8	86.3	72.6
	うち周南市 (n= 500)	76.2	0.6	2.6	1.8	9.0	5.8	0.6	2.6	0.8	90.2	76.8
	うち下松市・光市 (n= 533)	67.5	1.1	3.9	0.6	9.4	11.3	0.2	5.3	0.8	82.6	68.7
	岩国・柳井地区 (n= 621)	66.8	1.8	3.5	0.8	11.4	11.1	0.8	3.1	0.6	84.4	68.6
	山口・防府地区 (n=1,210)	65.2	1.2	2.8	0.8	13.6	10.6	0.8	4.2	0.7	83.6	66.4
	下関・宇部・小野田地区 (n= 520)	74.4	0.8	1.3	0.6	7.7	8.5	0.4	5.4	1.0	84.8	75.2

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
-10pt 以上低い

<進路検討状況> 興味のある学問分野

・ 進学先として興味のある分野の上位5つは以下の通り。

・ ①教育・保育 (20%)、②経済・経営・商 (18%)、③理工学 (16%)、④看護学 (14%)、⑤体育学・スポーツ・健康科学 (13%)

・ 所属クラス別にみると、文系では「経済・経営・商」、理系では「理工学」がトップ

・ 文系：「経済・経営・商」(28%)、「教育・保育」(26%)、「法律・政治・地域政策」(16%)、「国際関係・国際文化」(16%)、「外国語」(15%)などが上位。

・ 理系：「理工学」(41%)、「医学・歯学・薬学」(31%)、「看護学」(19%)、「情報科学」(13%)、「教育・保育」(11%)などが上位。

●Q5N1 進学先で学ぶ分野として、あなたはどの分野に興味を持っていますか。(いくつでも○)

		教育・保育	法律・政治・地域政策	経済・経営・商	文化・地理・歴史	観光	社会学	美術・デザイン	音楽	国際関係・国際文化	外国語	文学・宗教・哲学	心理学	情報科学	理工学	環境・エネルギー	医学・歯学・薬学	看護学	福祉	体育学・スポーツ・健康科学	農・水産学	その他	無回答
進学希望者	(n=2,977)	19.9%	8.7	18.2	5.6	4.4	4.2	6.9	4.5	8.8	8.5	4.5	10.0	7.2	16.4	3.4	15.1	13.7	6.7	13.0	4.2	6.6	2.1
全体	(n=2,977)	19.9%	8.7	18.2	5.6	4.4	4.2	6.9	4.5	8.8	8.5	4.5	10.0	7.2	16.4	3.4	15.1	13.7	6.7	13.0	4.2	6.6	2.1
性別	男性 (n=1,381)	16.1	11.7	26.1	6.1	2.6	5.4	4.6	3.2	5.1	4.3	3.2	5.8	11.9	28.0	4.8	11.9	3.2	4.6	17.7	4.5	3.5	2.9
	女性 (n=1,577)	23.1	6.1	11.0	5.1	6.0	3.2	8.9	5.6	12.2	12.0	5.7	13.8	3.2	6.1	2.2	17.9	23.0	8.6	8.8	3.9	9.3	1.5
所属クラス別	文系 (n=1,335)	26.3	15.9	28.0	9.6	7.9	7.6	8.5	5.7	15.8	15.1	8.6	14.4	2.6	0.5	1.1	4.3	9.1	7.2	12.1	1.0	6.4	1.8
	理系 (n=1,020)	11.4	2.9	8.2	1.4	1.1	1.0	3.9	2.5	2.6	2.5	0.7	7.3	12.9	41.4	7.5	30.5	19.1	5.6	8.6	8.9	4.9	0.9
	あてはまらない (n=558)	19.9	2.7	13.3	3.8	2.5	2.5	9.1	4.8	3.9	3.9	2.0	5.0	7.7	7.9	1.1	13.1	13.8	7.2	22.2	3.4	10.2	5.2
希望進路別	進学希望者・計 (n=2,977)	19.9	8.7	18.2	5.6	4.4	4.2	6.9	4.5	8.8	8.5	4.5	10.0	7.2	16.4	3.4	15.1	13.7	6.7	13.0	4.2	6.6	2.1
	大学・短期大学進学希望者 (n=2,667)	21.5	9.5	19.8	6.1	4.6	4.6	6.3	4.4	9.6	9.0	4.9	10.9	7.2	17.8	3.6	15.1	13.2	6.6	13.2	4.3	4.7	1.7
	大学 (4年制・6年制) 計 (n=2,537)	20.1	9.9	20.4	6.1	4.6	4.8	5.9	4.1	9.9	9.3	5.1	11.4	7.4	18.6	3.7	15.6	13.4	6.5	13.3	4.4	4.3	1.7
	短期大学・計 (n=306)	38.2	2.6	9.5	8.5	4.2	3.9	13.1	8.2	6.2	5.9	5.2	9.2	6.2	7.5	2.3	9.5	11.8	10.8	13.4	3.6	12.1	3.3
	専門学校 (n=684)	10.7	2.5	9.9	2.9	5.1	2.2	12.9	7.3	5.8	6.9	1.8	5.7	8.2	6.1	1.6	15.8	24.6	10.4	14.5	3.2	16.5	3.1
高校設置者別	県立 (n=2,137)	20.8	9.2	18.2	6.1	4.8	4.3	6.0	4.0	9.3	8.9	5.0	10.3	6.8	18.2	3.9	15.9	14.6	6.3	9.3	4.8	6.6	1.4
	私立 (n=840)	17.4	7.4	18.1	4.3	3.5	3.9	9.0	5.8	7.6	7.5	3.3	9.0	8.2	11.5	2.0	13.1	11.3	7.6	22.6	2.6	6.5	4.2
高校所在エリア別	周南地区 (n=926)	19.3	9.1	16.4	5.3	4.0	3.7	5.4	3.9	6.6	6.6	4.4	8.2	5.7	20.7	3.7	17.5	15.9	5.8	10.5	4.4	7.2	1.7
	うち周南市 (n=462)	18.2	10.8	16.2	6.3	3.2	4.5	4.5	4.1	6.1	6.9	4.1	9.5	6.1	24.0	4.1	21.2	13.2	5.4	8.9	5.8	7.6	1.3
	うち下松市・光市 (n=464)	20.5	7.3	16.6	4.3	4.7	2.8	6.3	3.7	7.1	6.3	4.7	6.5	5.4	17.5	3.2	13.8	18.5	6.3	12.1	3.0	6.9	2.2
	岩国・柳井地区 (n=538)	23.0	7.8	14.5	4.6	4.3	3.5	7.2	5.4	10.2	10.4	4.3	11.0	9.1	16.5	2.6	15.4	13.4	5.9	9.7	4.1	5.4	2.2
	山口・防府地区 (n=1,057)	18.3	8.1	20.2	5.6	4.4	4.6	7.7	4.7	9.2	8.6	4.5	10.8	7.2	14.3	2.9	14.2	10.6	7.7	17.6	4.3	7.0	2.5
	下関・宇部・小野田地区 (n=456)	20.8	10.3	21.5	7.2	5.7	5.0	7.7	4.2	11.0	9.9	4.8	10.5	8.1	12.1	4.8	12.1	16.9	7.0	11.6	3.5	5.9	2.2
※「全体」と比較して		5pt 以上高い -10pt 以上低い																					

●Q5N2 進学先で学ぶ分野として、あなたはどの分野に興味を持っていますか。(いくつでも○)：大学・専門職大学進学希望者

		教育・保育	法律・政治・地域政策	経済・経営・商	文化・地理・歴史	観光	社会学	美術・デザイン	音楽	国際関係・国際文化	外国語	文学・宗教・哲学	心理学	情報科学	理工学	環境・エネルギー	医学・歯学・薬学	看護学	福祉	体育学・スポーツ・健康科学	農・水産学	その他	無回答
進学希望者	(n=633)	20.1%	9.9	20.4	6.1	4.6	4.8	5.9	4.1	9.9	9.3	5.1	11.4	7.4	18.6	3.7	15.6	13.4	6.5	13.3	4.4	4.3	1.7
全体	(n=2,537)	20.1%	9.9	20.4	6.1	4.6	4.8	5.9	4.1	9.9	9.3	5.1	11.4	7.4	18.6	3.7	15.6	13.4	6.5	13.3	4.4	4.3	1.7
性別	男性 (n=1,245)	17.1	12.6	28.0	6.2	2.6	5.8	3.7	2.7	5.6	4.7	3.4	6.3	11.5	30.1	5.0	12.2	2.9	4.0	17.3	4.5	2.1	2.4
	女性 (n=1,277)	22.9	7.4	12.8	6.0	6.6	4.0	8.1	5.6	14.2	13.7	6.9	16.4	3.4	7.3	2.5	19.0	23.6	8.9	9.3	4.3	6.4	1.1
所属クラス別	文系 (n=1,187)	27.1	17.5	30.7	10.4	8.1	8.5	7.8	5.4	17.4	16.3	9.6	16.0	2.3	0.5	1.2	3.7	8.4	6.9	12.5	1.1	4.4	1.7
	理系 (n=997)	11.5	2.9	8.3	1.2	1.1	0.9	3.7	2.5	2.6	2.4	0.5	7.3	13.1	42.1	7.6	30.8	19.1	5.5	8.4	8.9	4.3	0.9
	あてはまらない (n=299)	20.7	4.3	20.4	5.7	2.7	4.3	6.4	3.7	5.7	5.4	3.3	7.7	8.0	10.7	0.7	12.7	13.0	7.4	31.1	3.3	3.3	4.3
希望進路別	進学希望者・計 (n=2,537)	20.1	9.9	20.4	6.1	4.6	4.8	5.9	4.1	9.9	9.3	5.1	11.4	7.4	18.6	3.7	15.6	13.4	6.5	13.3	4.4	4.3	1.7
	大学・短期大学進学希望者 (n=2,537)	20.1	9.9	20.4	6.1	4.6	4.8	5.9	4.1	9.9	9.3	5.1	11.4	7.4	18.6	3.7	15.6	13.4	6.5	13.3	4.4	4.3	1.7
	大学 (4年制・6年制) 計 (n=2,537)	20.1	9.9	20.4	6.1	4.6	4.8	5.9	4.1	9.9	9.3	5.1	11.4	7.4	18.6	3.7	15.6	13.4	6.5	13.3	4.4	4.3	1.7
	短期大学・計 (n=176)	30.1	3.4	11.4	10.2	4.0	6.3	12.5	7.4	8.0	8.0	8.5	14.2	8.5	11.4	2.8	12.5	14.2	11.4	14.8	4.5	11.9	4.5
	専門学校 (n=318)	11.9	3.5	14.8	3.5	7.2	4.1	11.9	7.5	10.1	9.7	2.5	9.4	9.1	9.1	2.2	17.3	32.1	12.3	17.9	3.5	9.4	0.9
高校設置者別	県立 (n=1,904)	20.9	10.1	19.9	6.6	4.9	4.8	5.3	3.7	10.1	9.6	5.4	11.4	7.1	20.2	4.3	16.2	14.2	6.1	9.3	5.0	4.7	1.2
	私立 (n=633)	17.7	9.3	22.0	4.6	3.6	4.9	7.7	5.5	9.3	8.5	4.3	11.1	8.2	13.7	2.2	13.7	10.9	7.6	25.1	2.5	3.2	3.5
高校所在エリア別	周南地区 (n=807)	19.2	10.3	18.2	5.9	4.1	4.2	4.6	3.3	7.3	6.8	4.8	9.0	6.1	23.4	3.8	18.3	15.2	5.7	10.3	4.7	5.1	1.6
	うち周南市 (n=405)	18.0	12.3	18.0	7.2	3.2	5.2	3.5	3.7	6.7	6.9	4.7	10.4	6.4	27.2	4.4	22.5	12.3	5.4	9.1	6.4	5.4	1.2
	うち下松市・光市 (n=402)	20.4	8.2	18.4	4.7	5.0	3.2	5.7	3.0	8.0	6.7	5.0	7.7	5.7	19.7	3.2	14.2	18.2	6.0	11.4	3.0	4.7	2.0
	岩国・柳井地区 (n=449)	23.2	9.4	16.0	4.9	4.2	4.2	5.3	4.7	11.1	12.0	4.9	12.9	10.0	19.2	3.1	16.0	12.2	5.6	10.2	4.2	2.7	1.8
	山口・防府地区 (n=863)	18.5	9.5	23.3	6.3	4.6	5.4	6.6	4.8	11.0	9.6	5.4	12.9	7.2	16.5	3.4	14.3	11.1	7.4	18.9	4.6	3.8	1.9
	下関・宇部・小野田地区 (n=418)	21.5	10.8	23.4	7.4	6.0	5.5	7.4	3.8	11.5	10.5	5.3	11.0	7.4	13.2	5.0	12.7	15.8	6.9	10.8	3.6	5.5	1.7
※「全体」と比較して		5pt 以上高い -10pt 以上低い																					

<進路検討状況> 進学先決定時の重視項目

- 進学先決定時の重視項目は、「学びたい学部・学科があること」が83%でトップ。
- 就職や、資格取得への有利さなど、“学びたい内容と将来の就職”に関する項目の重視度が高い
他、学生生活が楽しめることや校風や雰囲気の良いなども上位。
 - 重視度の高い項目を順にみると、「学びたい学部・学科があること」（83%）が突出して高い。
 - 以下、「就職に有利であること」（54%）、「学生生活が楽しめること」（48%）、「校風や雰囲気がいいこと」（44%）、「資格取得に有利であること」（43%）などが40%以上で上位となっている。
 - 男女別にみると、全体的に女性の方がスコアが高い項目が多く、上記で上げた項目のほか、「教育方針・カリキュラムが魅力的であること」「奨学金があること」「交通の便が良いこと」などについても男性を上回る。
 - 高校所在エリア別にみると、周南市に立地する高校では「教育内容のレベルが高いこと」「学生の学力が高いこと」の重視度が全体と比較して5ポイント以上高い。

●Q8N あなたが、進学先の大学・短大・専門学校を選ぶ際に大切だと思うのはどのようなことですか。（いくつでもO）

		伝統 や実績 があること	校風 や雰囲気 が良いこと	学び がたい 学部・学 科・コ ー	魅力的 であるこ と	と教育 内容のレ ベルが高 いこと	資格 取得に有 利である こと	就職に有 利である こと	社会で役 立つ力が 身につく	語学力が 身につく こと	教授・講 師陣が魅 力的であ ること	先輩・卒 業生が魅 力的であ ること	学生の学 力が高い こと	学生の面 倒見が良 いこと	キャンパ スがきれ いである こと	奨学金な どが充実 している こと	学生生活 が楽しい こと	クラブ・ サークル 活動が盛 んである こと	周囲の人 からの評 判がよい こと	偏差値が 自分に合 っている こと	教養が身 につくこ と	交通の便 が良いこ と	学費が高 くないこ と	地元から 通えるこ と	市街地に 近いこと	その他	無回答	
進学希望者		20.0%	44.3	83.0	27.9	20.6	42.5	54.4	33.2	11.0	16.8	7.6	9.1	13.8	31.0	18.2	47.8	18.2	25.0	34.7	14.9	31.0	35.2	9.6	11.6	0.3	0.9	
全体	男性	(n=2,977)	20.9	36.6	75.9	21.2	20.8	32.2	51.0	33.2	9.1	13.5	6.4	11.2	11.8	26.5	11.7	39.3	18.9	20.4	29.5	12.3	23.3	29.7	6.4	11.2	0.4	1.3
	女性	(n=1,381)	19.1	51.2	89.5	33.9	20.5	51.7	57.5	33.0	12.7	19.5	8.6	7.3	15.6	35.1	24.0	55.0	17.6	29.0	39.3	17.2	37.7	40.1	12.2	11.8	0.2	0.6
所属クラス別	文系	(n=1,335)	20.4	48.7	83.0	32.0	22.1	41.3	55.7	36.0	16.4	18.7	9.4	8.5	15.0	34.3	19.0	52.1	20.2	25.1	35.1	17.7	33.0	36.6	11.2	13.9	0.1	0.7
	理系 あてはまらない	(n=1,020)	21.6	42.4	85.4	30.0	24.0	44.3	55.0	31.1	6.3	18.3	6.7	13.0	13.5	32.0	16.6	44.2	15.5	25.6	39.1	15.8	30.7	35.4	6.8	11.4	0.5	0.9
進学希望者・計		(n=558)	16.3	39.8	78.1	15.6	11.6	41.4	50.2	31.0	7.0	9.9	5.6	3.4	12.0	22.4	19.5	43.9	18.3	24.9	25.8	8.1	26.5	32.6	11.3	6.5	0.4	1.4
	大学・短期大学進学希望者	(n=2,977)	20.0	44.3	83.0	27.9	20.6	42.5	54.4	33.2	11.0	16.8	7.6	9.1	13.8	31.0	18.2	47.8	18.2	25.0	34.7	14.9	31.0	35.2	9.6	11.6	0.3	0.9
希望進路別	大学（4年制・6年制）計	(n=2,667)	20.0	44.4	83.5	28.9	21.5	42.3	54.5	33.4	11.7	17.2	7.5	9.9	14.1	32.4	17.9	48.1	19.3	25.0	36.2	15.6	31.2	35.4	9.1	12.0	0.3	0.9
	短期大学・計	(n=2,537)	20.5	44.4	83.4	29.1	22.1	41.7	54.7	33.7	11.9	17.5	7.4	10.4	14.0	32.9	17.5	48.4	19.7	24.9	36.3	15.7	30.8	35.2	8.7	12.3	0.3	0.9
専門学校		(n=306)	14.7	49.0	87.6	29.7	14.7	52.9	56.2	33.3	9.5	16.3	8.5	3.9	17.0	31.4	25.2	52.3	17.3	28.4	41.8	14.7	41.2	45.8	14.4	11.1	0.7	0.3
		(n=684)	17.5	48.2	83.2	23.4	12.7	52.5	58.5	35.1	8.2	17.1	9.5	2.3	15.9	26.3	23.4	50.1	13.5	28.7	29.5	12.0	35.5	41.5	13.5	10.4	0.3	0.9
高校設置者別	県立	(n=2,137)	20.1	46.3	85.1	28.7	21.3	43.1	55.2	31.5	10.8	17.3	7.6	9.6	13.1	33.6	18.7	48.8	17.9	25.8	37.9	15.4	32.9	38.0	9.8	13.1	0.3	0.7
	私立	(n=840)	19.5	39.3	77.6	25.8	18.8	41.1	52.4	37.4	11.7	15.6	7.5	7.6	15.6	24.4	17.0	45.2	19.0	23.1	26.5	13.6	26.0	28.2	9.0	7.7	0.4	1.5
周南地区		(n=926)	22.2	43.8	81.4	28.8	21.5	42.3	54.6	31.1	9.9	16.8	5.8	10.6	13.1	30.3	17.7	47.9	15.8	25.2	37.6	14.7	32.6	33.6	6.4	12.5	0.4	0.4
	うち周南市	(n=462)	23.8	43.7	83.5	30.5	27.5	43.9	56.7	30.1	10.6	19.9	4.5	15.4	12.3	31.2	18.0	49.1	17.3	26.2	39.4	15.6	35.9	34.4	7.4	15.8	0.4	0.2
高校所在エリア別	うち下松市・光市	(n=464)	20.7	44.0	79.3	27.2	15.5	40.7	52.6	32.1	9.3	13.8	7.1	5.8	13.8	29.5	17.5	46.8	14.2	24.1	35.8	13.8	29.3	32.8	5.4	9.3	0.4	0.6
	岩国・柳井地区	(n=538)	19.5	47.2	82.0	27.1	21.9	40.0	50.6	30.1	11.3	14.9	7.2	11.0	12.8	33.5	20.1	45.4	19.0	26.4	31.0	13.6	33.3	34.4	6.5	10.0	-	1.1
山口・防府地区		(n=1,057)	20.4	43.0	84.1	29.0	20.7	45.6	55.3	34.1	11.4	17.3	7.9	8.7	13.6	30.0	16.9	46.0	18.4	23.9	33.8	14.2	28.4	34.0	12.2	11.8	0.4	0.9
	下関・宇部・小野田地区	(n=456)	14.7	45.0	84.9	24.3	16.9	38.8	56.4	39.0	12.1	17.8	10.7	4.6	16.9	31.8	20.2	54.4	21.9	25.7	35.3	18.4	30.9	42.5	13.6	10.7	0.2	1.8

※|全体と比較して
5pt 以上高い
-10pt 以上低い

<進路検討状況> 進学・就職希望エリア

- ・「山口県内」への進学希望者は合計で39%。うち周南地区への進学希望者は計5%。
- ・高校卒業後の進学希望エリアを尋ねたところ、山口県内では「山口・防府地区」（29%）が最も多い。
- ・周南地区への進学希望者は、他のエリアは希望せず「周南地区のみ」希望している者が2%、それ以外の地区も含めて「周南地区」を希望している者が3%で、合計5%。
- ・高校所在エリア別にみると、山口・防府地区、下関・宇部・小野田地区に立地する高校では「山口県内」への進学希望率が高く、5割近くにのぼる。ただし、エリアとしては「周南地区以外のみ」の希望者が多い。
- ・将来の就職希望エリアでは、「山口県内」での就職希望者が32%。
- ・就職希望エリアについては35%が「まだ考えていない」と回答したものの、合計で32%が山口県内での就職希望を示した。

●Q6N あなたは、高校卒業後どのエリアでの進学を希望しますか。（いくつでも○）

		周南地区	岩国・柳井地区	山口・防府地区	宇部・小野田地区	下関地区	萩・長門地区	広島県	島根県・鳥取県	福岡県	九州（福岡県を除く）	北海道	東北	関東	甲信越	北陸	東海	関西	四国	その他	まだ考えていない	無回答	山口県内進学希望・計	うち周南地区のみ	うち周南地区以外・周南地区＋	うち周南地区以外のみ	山口県外進学希望・計	
		進学希望者																										
全体	(n=2,977)	4.6%	4.5	29.3	7.5	6.2	1.6	29.5	3.0	34.2	8.3	0.9	0.5	16.8	0.6	0.5	2.3	22.5	2.4	2.5	11.1	1.3	39.0	1.6	3.0	34.4	72.0	
性別	男性	(n=1,381)	4.7	2.3	23.9	6.2	5.6	0.9	27.4	2.0	30.8	8.4	1.0	0.7	20.1	0.8	0.5	3.3	21.3	2.2	2.4	15.1	1.6	31.9	2.0	2.7	27.2	70.4
	女性	(n=1,577)	4.6	6.4	33.9	8.8	6.8	2.2	31.3	3.9	37.0	8.2	0.7	0.4	14.0	0.5	0.4	1.4	23.7	2.6	2.5	7.7	1.0	45.3	1.2	3.4	40.8	73.4
所属クラス別	文系	(n=1,335)	4.9	3.4	31.3	4.4	8.3	1.6	27.3	2.8	34.9	8.8	0.9	0.4	19.2	0.7	0.3	2.5	26.2	1.8	1.6	9.4	1.0	39.4	1.9	3.0	34.5	74.4
	理系 あてはまらない	(n=1,020)	3.1	2.9	30.5	13.3	4.3	1.2	33.6	3.9	35.6	9.8	1.4	0.8	16.5	0.8	0.8	2.2	20.3	3.5	3.7	11.9	1.6	39.9	0.9	2.3	36.8	72.5
希望進路別	進学希望者・計	(n=2,977)	4.6	4.5	29.3	7.5	6.2	1.6	29.5	3.0	34.2	8.3	0.9	0.5	16.8	0.6	0.5	2.3	22.5	2.4	2.5	11.1	1.3	39.0	1.6	3.0	34.4	72.0
	大学・短期大学 大学（4年制・6年制）計 短期大学・計	(n=2,667) (n=2,537) (n=306)	4.3 4.2 8.2	3.9 3.1 12.7	29.8 29.5 38.6	8.0 8.5 11.1	6.5 6.6 9.8	1.4 1.5 2.3	30.2 30.5 30.4	3.3 3.4 1.3	34.0 34.3 36.3	8.7 8.9 7.8	0.9 0.6 0.7	0.6 0.6 -	17.8 18.5 12.1	0.7 0.5 0.3	0.5 2.6 1.0	2.5 24.1 19.3	2.7 2.7 2.0	2.3 2.7 2.9	11.1 11.2 8.8	1.2 1.3 2.9	1.2 38.0 55.2	1.4 2.8 5.9	2.9 3.7 47.1	34.7 33.7 47.1	72.8 73.9 64.4	
高校設置者別	専門学校	(n=684)	8.0	9.9	29.4	7.6	8.3	4.1	31.3	2.2	39.9	7.5	0.6	0.3	11.0	0.3	0.4	1.5	17.0	1.5	1.3	10.7	1.5	44.3	2.8	5.3	36.3	69.6
	県立	(n=2,137)	4.4	4.5	29.3	7.5	6.2	1.6	29.5	3.0	34.2	8.3	0.9	0.5	16.8	0.6	0.5	2.3	22.5	2.4	2.5	11.1	1.3	39.0	1.6	3.0	34.4	72.0
高校所在エリア別	私立	(n=840)	5.0	4.4	20.6	5.4	4.3	1.1	22.9	1.5	28.0	5.5	0.4	0.5	20.5	0.7	0.4	3.0	21.9	2.1	2.1	14.0	1.2	31.4	2.5	2.5	26.4	68.5
	周南地区	(n=926)	7.6	3.2	22.7	7.1	2.9	1.5	33.5	2.7	33.0	6.9	0.9	0.8	15.9	0.5	0.8	2.3	24.7	2.7	3.2	13.5	1.3	33.0	4.0	3.6	25.5	73.7
	うち周南市	(n=462)	5.8	2.6	20.3	6.1	2.8	1.5	33.1	1.7	32.9	6.7	0.9	1.3	18.4	0.4	0.9	3.5	20.3	3.0	4.5	12.6	0.9	29.2	2.6	3.2	23.4	76.6
	うち下松市・光市	(n=464)	9.3	3.9	25.0	8.2	3.0	1.5	33.8	3.7	33.2	7.1	0.9	0.2	13.4	0.6	0.6	1.1	19.2	2.4	1.9	14.4	1.7	36.9	5.4	3.9	27.6	70.7
	岩国・柳井地区	(n=538)	1.9	10.8	18.4	3.5	2.4	0.4	49.3	4.3	19.9	8.1	1.3	0.4	19.7	0.4	0.2	1.5	27.0	3.2	3.2	8.6	1.5	30.3	0.6	1.3	28.4	79.9
山口県外進学希望・計	山口・防府地区	(n=1,057)	4.1	2.8	40.6	7.8	4.7	1.8	21.8	2.2	35.6	8.0	0.7	0.3	17.8	0.8	0.3	2.7	21.0	1.8	1.8	10.0	0.9	45.6	0.5	3.6	41.5	66.1
	下関・宇部・小野田地区	(n=456)	3.1	3.3	29.2	12.5	21.1	2.9	16.2	4.2	30.0	14.0	0.9	0.9	12.9	0.9	0.7	2.0	16.2	2.4	1.8	11.8	2.0	46.3	0.4	2.6	43.2	72.8
※1全体と比較して			5pt 以上高い																									
			-10pt 以上低い																									

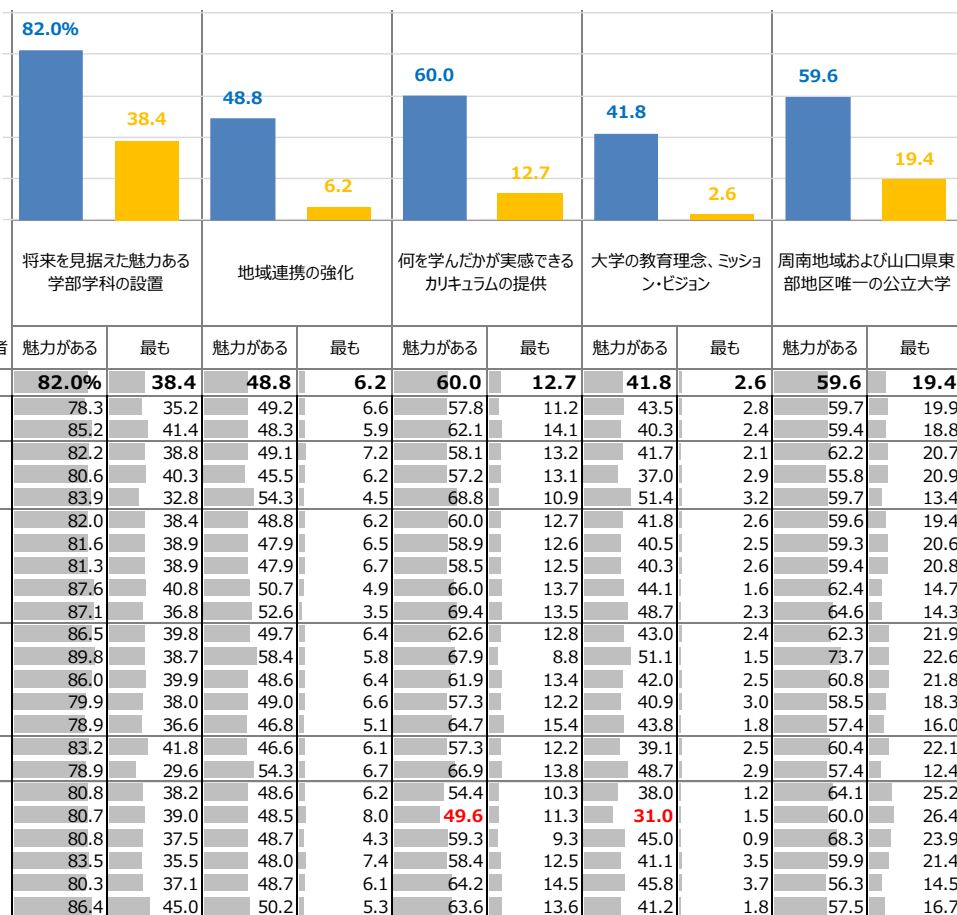
●Q7N あなたは、将来どのエリアでの就職を希望しますか。（いくつでも○）

		周南地区	岩国・柳井地区	山口・防府地区	宇部・小野田地区	下関地区	萩・長門地区	広島県	島根県・鳥取県	福岡県	九州（福岡県を除く）	北海道	東北	関東	甲信越	北陸	東海	関西	四国	その他	まだ考えていない	無回答	山口県内就職希望・計	うち周南地区のみ	うち周南地区以外・周南地区以外のみ	山口県外就職希望・計		
進学者希望者		(n=2,977)	10.4%	7.6	17.4	5.1	6.8	2.0	17.7	1.0	22.1	5.0	0.8	0.5	16.2	0.5	0.3	1.6	15.4	0.8	2.0	34.8	2.3	32.3	5.1	5.3	22.0	47.8
性別	男性	(n=1,381)	9.0	6.8	15.2	4.1	5.5	2.1	16.7	1.2	19.5	5.4	1.3	0.9	17.5	0.7	0.5	2.3	13.6	1.1	1.9	38.2	2.8	27.7	4.7	4.3	18.8	45.8
	女性	(n=1,577)	11.7	8.2	19.2	6.0	8.1	2.0	18.6	0.9	24.4	4.6	0.4	0.3	15.1	0.3	0.1	1.0	16.9	0.6	2.1	31.9	1.7	36.4	5.5	6.2	24.7	49.6
所属クラス別	文系	(n=1,335)	10.2	7.2	18.4	5.5	9.1	2.0	16.6	0.9	23.8	5.5	0.7	0.4	19.7	0.4	0.1	1.9	17.5	0.4	2.1	31.9	1.4	34.2	5.0	5.2	24.0	51.2
	理系 あてはまらない	(n=1,020) (n= 558)	11.1 9.9	5.9 11.3	16.5 16.5	5.9 2.7	5.4 4.3	2.0 2.3	17.0 21.5	1.3 0.5	20.4 20.3	5.4 2.9	1.3 0.4	0.6 0.7	14.5 10.9	0.6 0.2	0.6 1.3	1.3 14.3	1.1	1.6	33.2	4.1	31.4	3.4	6.5	21.5	46.6	
希望進路別	進学希望者・計	(n=2,977)	10.4	7.6	17.4	5.1	6.8	2.0	17.7	1.0	22.1	5.0	0.8	0.5	16.2	0.5	0.3	1.6	15.4	0.8	2.0	34.8	2.3	32.3	5.1	5.3	22.0	47.8
	大学・短期大学進学希望者	(n=2,667)	10.3	7.6	16.9	5.4	7.0	2.1	17.2	1.1	21.6	5.0	0.9	0.5	16.7	0.5	0.3	1.7	15.7	0.7	2.0	35.7	2.2	32.0	5.3	5.1	21.6	46.9
	大学（4年制・6年制）計 短期大学・計 専門学校	(n=2,537) (n= 306) (n= 684)	10.1 10.8 10.8	7.2 9.2 9.4	16.4 24.8 21.1	5.5 4.9 5.1	7.1 6.9 8.5	2.2 2.3 2.5	17.1 19.3 22.1	1.1 0.7 1.0	21.8 23.5 28.4	5.3 3.9 5.0	0.9 1.0 0.6	0.5 1.0 0.7	17.2 13.4 14.5	0.5 0.7 0.4	0.3 1.6 0.3	1.8 1.7 1.5	15.8 17.0 15.5	0.8 0.7 1.0	2.1 31.4 1.9	36.2 31.4 28.2	2.2 40.5 3.1	32.0 4.6 38.0	5.3 6.2 4.4	5.1 29.7 6.4	5.3 45.1 77.2	
高校設置者別	県立	(n=2,137)	12.0	8.0	17.4	6.1	8.3	2.3	18.2	1.2	23.5	5.4	1.0	0.4	15.4	0.4	0.4	1.3	15.2	0.7	1.9	35.5	1.8	34.2	5.9	6.1	22.2	47.2
	私立	(n= 840)	6.3	6.3	17.4	2.6	3.1	1.3	16.4	0.7	18.6	3.9	0.5	0.8	18.1	0.6	0.1	2.3	16.1	1.2	2.5	33.0	3.3	27.6	3.1	3.2	21.3	49.4
高校所在エリア別	周南地区	(n= 926)	23.0	5.6	10.2	2.8	2.2	1.7	18.7	1.0	19.7	4.5	0.5	0.3	14.1	0.4	0.5	1.5	16.2	0.8	2.6	36.8	1.7	28.8	14.8	8.2	5.8	46.2
	うち周南市	(n= 462)	21.6	3.9	9.3	2.2	1.5	1.3	18.6	0.4	22.3	5.2	0.6	0.4	15.2	0.4	0.4	1.7	19.5	0.9	2.8	36.4	1.3	25.8	13.9	7.8	4.1	49.8
	うち下松市・光市	(n= 464)	24.4	7.3	11.0	3.4	2.8	2.2	18.8	1.5	17.0	3.9	0.4	0.2	13.1	0.4	0.6	1.3	12.9	0.6	2.4	37.3	2.2	31.9	15.7	8.6	7.5	42.7
	岩国・柳井地区	(n= 538)	6.9	25.1	7.1	2.2	2.6	1.3	32.3	1.5	13.0	2.6	1.5	0.6	17.1	0.6	-	0.7	16.5	0.9	3.2	31.2	3.7	30.5	1.7	5.2	23.6	55.0
	山口・防府地区	(n=1,057)	4.4	2.5	32.1	5.1	4.0	2.4	13.2	0.8	23.5	4.7	0.7	0.6	17.3	0.5	0.1	2.4	14.6	0.8	1.6	34.1	2.1	34.5	0.6	3.8	30.2	45.1
下関・宇部・小野田地区		(n= 456)	2.9	2.6	10.1	13.2	27.9	2.9	9.0	1.3	34.9	9.2	1.1	0.9	16.7	0.4	0.7	0.9	14.5	0.9	0.7	36.4	2.0	36.6	-	2.9	33.8	48.9
※「全体」と比較して			5pt 以上高い																									
			-10pt 以上低い																									

徳山大学『公立化』について魅力を感じる点

- 魅力を感じる点のトップは「将来を見据えた魅力ある学部学科の設置」（82%）。＜最も魅力があるもの＞でも38%があげる。
- 「周南地域および山口県東部地区唯一の公立大学」については、60%が「魅力がある」と回答。また＜最も魅力がある＞と回答した人が19%にのぼり、5項目中2番目に高いスコア。
 - 高校所在エリア別にみると、周南地区の高校では「周南地域および山口県東部地区唯一の公立大学」という点に対して64%が＜魅力的＞、25%が＜最も魅力的＞と回答しており、他エリアと比較して「公立大学であること」の魅力を高く評価している。

- Q9N1 以下は、「公立化した徳山大学」が今後計画している取り組みや特徴の例です。魅力があると思うものをお選びください。
- Q9N2 以下は、「公立化した徳山大学」が今後計画している取り組みや特徴の例です。最も魅力があると思うものをお選びください。



※「全体」と比較して
 5pt 以上高い
 -10pt 以上低い

公立化した徳山大学への興味・関心度

- 「公立化した徳山大学」について、進学先として「興味関心がある」人は5%。「やや興味関心がある」（25%）まで含めると、合計で30%が興味・関心あり。

- 性別にみると、トップボックス（興味・関心がある）はいずれも5%で差はないが、合計の興味・関心度では男性（28%）より女性（31%）でやや高い。
- 所属クラス別にみると、文系ではトップボックスが6%、理系で4%と、文系でやや高め。
- 高校設置者別にみると、県立ではトップボックスが6%、合計では31%が興味関心を示し、私立（26%）より興味関心度が高い。
- 高校所在エリア別にみると、下松市・光市の高校ではトップボックスが9%、合計では37%と顕著に高い。

●Q10N あなたは、「公立化した徳山大学」に進学先として興味・関心がありますか。（ひとつだけ○）

			進学希望者	興味・関心 がある	やや興味・関 心がある	あまり興味・ 関心はない	興味・関心 はない	無回答	興味・関 心がある・ 計	興味・関 心はない・ 計
全体			(n=2,977)	5.1%	24.5	30.3	38.1	2.1	29.6	68.3
性別	男性		(n=1,381)	5.0	22.9	29.4	39.9	2.8	27.9	69.3
	女性		(n=1,577)	5.1	26.0	31.0	36.5	1.5	31.1	67.5
所属クラス 別	文系		(n=1,335)	6.2	23.9	31.4	36.7	1.8	30.1	68.1
	理系		(n=1,020)	4.1	25.7	29.8	37.9	2.5	29.8	67.7
	あてはまらない		(n= 558)	4.1	22.8	28.5	42.1	2.5	26.9	70.6
希望進路 別	進学希望者・計		(n=2,977)	5.1	24.5	30.3	38.1	2.1	29.6	68.3
	大学・短期大学進学希望者		(n=2,667)	5.5	25.1	30.6	36.6	2.1	30.6	67.2
	大学（4年制・6年制）計		(n=2,537)	5.6	25.3	30.7	36.3	2.1	30.9	67.0
	短期大学・計		(n= 306)	6.9	27.5	33.3	30.4	2.0	34.3	63.7
	専門学校		(n= 684)	6.0	27.3	27.6	36.5	2.5	33.3	64.2
高校設置 者別	県立		(n=2,137)	5.5	25.4	30.7	36.6	1.8	30.9	67.3
	私立		(n= 840)	4.0	22.1	29.2	41.8	2.9	26.2	71.0
高校所在 エリア別	周南地区		(n= 926)	6.6	25.4	27.8	39.2	1.1	32.0	67.0
	うち周南市		(n= 462)	4.3	22.7	26.4	46.1	0.4	27.1	72.5
	うち下松市・光市		(n= 464)	8.8	28.0	29.1	32.3	1.7	36.9	61.4
	岩国・柳井地区		(n= 538)	3.7	25.7	32.5	36.1	2.0	29.4	68.6
	山口・防府地区		(n=1,057)	4.2	22.0	30.2	41.0	2.6	26.2	71.1
	下関・宇部・小野田地区		(n= 456)	5.7	27.0	32.9	31.4	3.1	32.7	64.3

※「全体」と比較して

5pt 以上高い

-10pt 以上低い

地域推薦入試の利用意向

- 受験時に『地域推薦枠入試』を利用する意向のある者が60%。
 - 性別にみると、特に女性で「利用したい」割合が高く、7割に及ぶ。
 - 高校設置者別にみると、県立では62%が「利用したい」と回答し、私立（54%）と比較して高い。
 - 高校所在エリア別にみると、周南地区および下関・宇部・小野田地区では60%以上が「利用したい」。

●Q11N もし、「公立化した徳山大学」を受験するとしたら、
あなたは『地域推薦枠入試』を利用したいと思いますか。（ひとつだけ○）

			利用したい	利用したくない	無回答
進学希望者					
全体			(n=2,977) 60.1%	36.9	3.1
性別	男性	(n=1,381)	50.0	46.0	4.0
	女性	(n=1,577)	68.9	28.9	2.2
所属クラス別	文系	(n=1,335)	61.3	36.0	2.6
	理系	(n=1,020)	56.6	39.9	3.5
	あてはまらない	(n= 558)	63.1	33.5	3.4
希望進路別	進学希望者・計	(n=2,977)	60.1	36.9	3.1
	大学・短期大学進学希望者	(n=2,667)	60.1	36.9	3.0
	大学（4年制・6年制）計	(n=2,537)	60.0	36.9	3.1
	短期大学・計	(n= 306)	67.3	30.7	2.0
専門学校			(n= 684) 65.1	31.3	3.7
高校設置者別	県立	(n=2,137)	62.3	35.2	2.4
	私立	(n= 840)	54.3	41.1	4.6
高校所在エリア別	周南地区	(n= 926)	62.3	35.9	1.8
	うち周南市	(n= 462)	61.0	37.7	1.3
	うち下松市・光市	(n= 464)	63.6	34.1	2.4
	岩国・柳井地区	(n= 538)	57.8	40.0	2.2
	山口・防府地区	(n=1,057)	58.2	38.2	3.6
	下関・宇部・小野田地区	(n= 456)	62.5	32.2	5.3

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
-10pt 以上低い

受験意向・入学意向＜新学部学科＞

- 公立化した徳山大学の＜新学部学科＞に対する受験意向を尋ねたところ、【経済経営学部経済経営学科】の受験意向が最も高く、合計で26%が「受験・検討したい」。
- その他の学部・学科についても、20%前後が「受験したい」または「受験先の1つとして検討したい」と回答。
- 受験意向に関わらず入学意向を尋ねたところ、各学部学科とも25～30%程度が意向を示す。
- トップボックスは【経済経営学部経済経営学科】【人間健康科学部看護学科】で7～8%とやや高め。
- 各学部学科受験意向者でみると、21～32%が「入学したい」強い意向を示す。
- 中でも【人間健康科学部看護学科】が最も高く、受験意向者の32%が「入学したい」。

●Q12. 「公立化した徳山大学」が以下のような学部・学科になった場合、あなたはどの程度受験したいと思いますか。
それぞれの学科ごとに、あてはまるものをお答えください。

		受験したい	受験先の1つとして検討したい	あまり受験したくない	受験したくない	無回答	受験・検討したい計	受験したくない計
	進学希望者							
経済経営学部経済経営学科	(n=2,977)	5.3%	21.0	25.9	45.5	2.3	26.3	71.4
情報科学部情報科学科	(n=2,977)	3.7	15.9	29.0	48.7	2.8	19.6	77.7
人間健康科学部スポーツ健康科学科	(n=2,977)	5.5	16.1	26.7	49.0	2.7	21.6	75.8
人間健康科学部看護学科	(n=2,977)	6.0	16.2	26.2	48.9	2.7	22.2	75.1
人間健康科学部福祉学科	(n=2,977)	3.8	15.8	27.8	49.5	3.0	19.7	77.4

●Q13. 「公立化した徳山大学」の学部・学科を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。
それぞれの学科ごとに、あてはまるものをお答えください。

		入学したい	入学するか検討したい	あまり入学したくない	入学したくない	無回答	入学・検討したい計	入学したくない計
	進学希望者							
経済経営学部経済経営学科	(n=2,977)	7.4%	24.3	26.0	40.1	2.1	31.7	66.1
情報科学部情報科学科	(n=2,977)	4.6	20.7	28.6	43.5	2.7	25.3	72.1
人間健康科学部スポーツ健康科学科	(n=2,977)	6.7	19.7	26.8	44.2	2.6	26.4	71.0
人間健康科学部看護学科	(n=2,977)	7.9	19.2	26.5	43.9	2.5	27.1	70.4
人間健康科学部福祉学科	(n=2,977)	5.3	19.4	27.0	45.3	2.9	24.8	72.3

●Q13. 受験意向者ベース：「公立化した徳山大学」の学部・学科を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。
それぞれの学科ごとに、あてはまるものをお答えください。

		入学したい	入学するか検討したい	あまり入学したくない	入学したくない	無回答	入学・検討意向あり	入学意向なし
	各学部 受験意向者ベース							
経済経営学部経済経営学科	(n= 872)	26.1%		62.9	8.8	2.0 0.1	89.0	10.9
情報科学部情報科学科	(n= 583)	20.9		66.9	9.4	2.1 0.7	87.8	11.5
人間健康科学部スポーツ健康科学科	(n= 642)	27.3		61.1	7.9	3.3 0.5	88.3	11.2
人間健康科学部看護学科	(n= 661)	32.2		57.5	8.0	1.7 0.6	89.7	9.7
人間健康科学部福祉学科	(n= 585)	24.4		63.2	9.1	2.4 0.9	87.7	11.5

受験意向・入学意向＜現学部学科＞

- 公立化した徳山大学の＜現学部学科＞に対する受験意向を尋ねたところ、【経済学部現代経済学科】の受験意向が最も高く、合計で22%が「受験・検討したい」。
- 【経済学部ビジネス戦略学科知財開発コース】（計14%）がやや低いが、それ以外の学部学科については合計で17～20%程度が受験意向あり。
- 受験意向に関わらず入学意向を尋ねたところ、各学部学科とも17～25%程度が意向を示す。
- 各学部学科受験意向者でみると、18～22%が「入学したい」強い意向を示す。

●Q15. 「公立化した徳山大学」を、あなたはどの程度受験したいと思いますか。
それぞれの学科ごとに、あてはまるものをお答えください。

(%)	進学希望者	受験したい	受験先の1つとして検討したい	あまり受験したくない	受験したくない	無回答	受験・検討したい・計	受験したくない・計
	経済学部現代経済学科 (n=2,977)	3.6% 17.8	30.1		44.5	4.0	21.5	74.6
	経済学部 ビジネス戦略学科経営コース (n=2,977)	2.7 16.0	30.8		46.0	4.5	18.7	76.8
	経済学部 ビジネス戦略学科知財開発コース (n=2,977)	1.9 11.8	33.3		48.4	4.6	13.7	81.7
	経済学部 ビジネス戦略学科スポーツマネジメントコース (n=2,977)	3.2 13.4	31.2		47.9	4.3	16.6	79.1
	福祉情報学部 人間コミュニケーション学科 (n=2,977)	3.5 16.4	31.2		44.7	4.3	19.8	75.9

●Q16. 「公立化した徳山大学」の学部・学科を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。
それぞれの学科ごとに、あてはまるものをお答えください。

	進学希望者	入学したい	入学するか検討したい	あまり入学したくない	入学したくない	無回答	入学・検討したい・計	入学したくない・計
	経済学部現代経済学科 (n=2,977)	5.1% 19.9	29.2		42.0	3.8	25.0	71.2
	経済学部 ビジネス戦略学科経営コース (n=2,977)	3.8 18.3	30.6		43.0	4.3	22.0	73.6
	経済学部 ビジネス戦略学科知財開発コース (n=2,977)	2.7 14.1	32.7		45.9	4.6	16.8	78.5
	経済学部 ビジネス戦略学科スポーツマネジメントコース (n=2,977)	4.1 16.6	30.6		44.7	4.1	20.6	75.2
	福祉情報学部 人間コミュニケーション学科 (n=2,977)	4.2 18.6	30.0		43.0	4.3	22.7	73.0

●Q16. 受験意向者ベース：「公立化した徳山大学」の学部・学科を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。
それぞれの学科ごとに、あてはまるものをお答えください。

	各学部 受験意向者ベース	入学したい	入学するか検討したい	あまり入学したくない	入学したくない	無回答	入学・検討意向あり	入学意向なし
	経済学部現代経済学科 (n= 639)	21.0%		70.9		6.7 1.4	91.9	8.1
	経済学部 ビジネス戦略学科経営コース (n= 557)	18.1		72.0		7.7 1.8 0.4	90.1	9.5
	経済学部 ビジネス戦略学科知財開発コース (n= 407)	17.4		73.5		7.4 1.5 0.2	90.9	8.8
	経済学部 ビジネス戦略学科スポーツマネジメントコース (n= 495)	22.2		70.3		6.3 0.8 0.4	92.5	7.1
	福祉情報学部 人間コミュニケーション学科 (n= 590)	19.7		69.3		9.7 1.2 0.2	89.0	10.8

受験意向者数・入学意向者数

▶回答者全体3384人のうち

- 大学・短期大学・専門学校への進学希望者は **2977人** 全体の88.0%
- 大学への進学希望者は **2538人** 全体の75.0%

※大学＝大学(4年制・6年制)＋専門職大学(4年制・6年制)

▶『公立化した徳山大学』の受験意向は…

- 進学希望者のうち、新学部学科のいずれかについて

「受験意向あり・計（受験したい＋検討してもよい）」 **1678人** 全体の46.6%

▶『公立化した徳山大学』への入学意向は…

- 受験意向あり・計のうち、『公立化した徳山大学』の新学部学科のいずれかについて

「入学したい」 **565人** 全体の16.7%

- いずれの学部学科についても、「入学したい」とする人数が予定の定員数を大きく上回る
- 大学進学希望者に限定した場合でも、「入学したい」人数は予定の定員数を十分に上回る

【新学部学科】 受験意向×入学意向		経済経営学部 経済経営学科	情報科学部 情報科学科	人間健康科学部 スポーツ健康科学科	人間健康科学部 看護学科	人間健康科学部 福祉学科	新学部学科 いずれか 意向あり
		▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼
進学希望者	受験意向あり・計	782人	583人	642人	661人	585人	1,678人
	上記のうち「入学したい」	204人	122人	175人	213人	143人	565人
	上記のうち「入学したい・計」	696人	512人	567人	593人	513人	1,516人
		(n=2537)	(n=2537)	(n=2537)	(n=2537)	(n=2537)	
大学進学 希望者	受験意向あり・計	688人	494人	526人	530人	464人	1,425人
	上記のうち「入学したい」	180人	104人	135人	169人	103人	457人
	上記のうち「入学したい・計」	613人	430人	462人	475人	402人	1,280人
入学したい・計＝入学したい＋入学を検討		定員数 160	50	80	80	30	

【現学部学科】 受験意向×入学意向		経済学部 現代経済学科	経済学部 ビジネス戦略学科 経営コース	経済学部 ビジネス戦略学科 知財開発コース	経済学部 ビジネス戦略学科 スポーツマネジメントコース	福祉情報学部 人間コミュニケーション学科	現学部学科 いずれか 意向あり
		▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	
進学希望者	受験意向あり・計	639人	557人	407人	495人	590人	1,128人
	上記のうち「入学したい」	134人	101人	71人	110人	116人	297人
	上記のうち「入学したい・計」	587人	502人	370人	458人	525人	1,025人
		(n=2537)	(n=2537)	(n=2537)	(n=2537)	(n=2537)	
大学進学 希望者	受験意向あり・計	571人	473人	352人	406人	480人	949人
	上記のうち「入学したい」	122人	80人	60人	87人	83人	237人
	上記のうち「入学したい・計」	524人	427人	321人	373人	426人	859人
入学したい・計＝入学したい＋入学を検討		定員数 80	50	20	80	50	

受験意向者数・入学意向者数＜新学部学科＞

●Q13 受験意向者ベース〔新学部学科〕「公立化した徳山大学」の学部・学科を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。

経済経営学部
経済経営学科

情報科学部
情報科学科

人間健康科学部
スポーツ健康科学科

人間健康科学部
看護学科

人間健康科学部
福祉学科

新学部学科		受験 意向者	入学したい	入学・検討 意向あり	受験 意向者	入学したい	入学・検討 意向あり	受験 意向者	入学したい	入学・検討 意向あり	受験 意向者	入学したい	入学・検討 意向あり	受験 意向者	入学したい	入学・検討 意向あり
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
全体		782	204	696	583	122	512	642	175	567	661	213	593	585	143	513
性別	男性	418	113	371	369	86	321	337	112	297	135	34	115	161	39	136
	女性	360	89	322	210	35	187	301	62	266	522	176	474	420	102	374
所属クラス 別	文系	481	128	423	220	46	194	279	78	248	251	82	224	283	68	244
	理系	169	34	152	238	48	205	185	41	164	262	81	237	161	28	140
あてはまらない		115	37	106	110	23	99	158	50	136	132	43	118	124	39	113
希望進路 別	進学希望者・計	782	204	696	583	122	512	642	175	567	661	213	593	585	143	513
	大学・短期大学進学希望者	709	181	632	513	105	449	557	143	492	566	177	508	502	117	439
	大学（4年制・6年制）計	688	180	613	494	104	430	526	135	462	530	169	475	464	103	402
	短期大学・計	71	20	66	62	11	56	84	17	75	78	18	69	90	27	83
専門学校		166	47	150	142	37	125	183	64	161	245	94	224	198	56	175
希望進路 ×分野別	経済・経営・商 興味あり	360	117	321	137	27	122	108	28	93	57	13	52	69	16	61
	経済・経営・商興味なし	422	87	375	446	95	390	534	147	474	604	200	541	516	127	452
①進学希 望者	情報科学興味あり	54	11	46	149	40	137	29	6	26	25	5	24	25	4	21
	情報科学興味なし	728	193	650	434	82	375	613	169	541	636	208	569	560	139	492
	看護学興味あり	53	13	48	41	7	36	92	24	80	326	144	306	154	35	133
	看護学興味なし	729	191	648	542	115	476	550	151	487	335	69	287	431	108	380
	福祉興味あり	43	13	38	25	6	22	50	20	42	92	25	80	145	53	132
	福祉興味なし	739	191	658	558	116	490	592	155	525	569	188	513	440	90	381
	体育学・スポーツ・健康科学興味あり	109	30	97	58	12	49	266	94	239	85	28	75	92	23	78
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし	673	174	599	525	110	463	376	81	328	576	185	518	493	120	435
	美術・デザイン興味あり	46	15	41	45	10	40	38	16	35	32	8	30	34	7	30
	美術・デザイン興味なし	736	189	655	538	112	472	604	159	532	629	205	563	551	136	483
希望進路 ×分野別	経済・経営・商興味あり	344	112	306	128	26	113	105	26	90	51	12	47	62	14	54
	経済・経営・商興味なし	344	68	307	366	78	317	421	109	372	479	157	428	402	89	348
①大学進 学希望者	情報科学興味あり	43	10	38	131	37	121	21	6	20	21	5	20	21	4	17
	情報科学興味なし	645	170	575	363	67	309	505	129	442	509	164	455	443	99	385
	看護学興味あり	45	11	40	35	5	30	78	18	67	271	118	253	127	28	109
	看護学興味なし	643	169	573	459	99	400	448	117	395	259	51	222	337	75	293
	福祉興味あり	34	10	30	18	4	15	37	13	29	72	18	62	119	41	106
	福祉興味なし	654	170	583	476	100	415	489	122	433	458	151	413	345	62	296
	体育学・スポーツ・健康科学興味あり	94	22	82	48	8	39	230	71	204	72	18	63	77	16	64
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし	594	158	531	446	96	391	296	64	258	458	151	412	387	87	338
	美術・デザイン興味あり	35	11	32	31	7	27	26	11	24	24	5	22	19	4	15
	美術・デザイン興味なし	653	169	581	463	97	403	500	124	438	506	162	453	445	99	387
進学希望 エリア別	山口県内進学希望者・計	342	106	313	227	55	201	231	73	205	337	125	311	297	79	265
	うち周南地区	64	23	61	42	8	38	40	17	36	46	21	44	51	13	47
	うち周南地区以外	278	83	252	185	47	163	191	56	169	291	104	267	246	66	218
	山口県外進学希望者・計	338	79	290	259	47	220	321	77	283	266	77	232	241	52	206
	未定	97	18	89	90	17	84	83	23	74	52	9	46	45	12	41
公立化した 徳山大学 への興味・ 関心度	興味・関心あり・計	381	116	356	296	65	266	293	88	272	321	127	302	293	83	267
	興味・関心がある	87	43	84	63	24	55	62	29	58	71	41	68	69	25	61
	やや興味・関心がある	294	73	272	233	41	211	231	59	214	250	86	234	224	58	206
	興味・関心なし・計	397	88	336	280	57	241	340	86	286	333	85	285	287	60	242
高校設置 者別	あまり興味・関心はない	246	51	212	169	28	150	194	44	169	202	50	173	177	34	157
	興味・関心はない	151	37	124	111	29	91	146	42	117	131	35	112	110	26	85
高校所在 エリア別	県立	577	146	518	424	86	372	410	97	361	475	165	432	415	103	368
	私立	205	58	178	159	36	140	232	78	206	186	48	161	170	40	145
	周南地区	243	55	214	180	36	151	198	47	175	225	77	201	185	49	161
	うち周南市	114	23	100	91	16	71	83	16	72	101	30	90	84	22	73
	うち下松市・光市	129	32	114	89	20	80	115	31	103	124	47	111	101	27	88
	岩国・柳井地区	114	28	104	111	24	102	107	32	97	121	41	111	109	25	96
	山口・防府地区	281	77	246	193	39	170	234	69	206	203	52	179	195	49	173
	下関・宇部・小野田地区	144	44	132	99	23	89	103	27	89	112	43	102	96	20	83

受験意向者数・入学意向者数＜現学部学科＞

●Q16 受験意向者ベース〔現学部学科〕「公立化した徳山大学」の学部・学科を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。

経済学部 現代経済学科				経済学部 ビジネス戦略学科 経営コース				経済学部 ビジネス戦略学科 知財開発コース				経済学部 ビジネス戦略学科 スポーツマネジメントコース				福祉情報学部 人間コミュニケーション学科			
現学部学科				受験 意向者	入学したい	入学・検討 意向あり	受験 意向者	入学したい	入学・検討 意向あり	受験 意向者	入学したい	入学・検討 意向あり	受験 意向者	入学したい	入学・検討 意向あり	受験 意向者	入学したい	入学・検討 意向あり	
				(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
全体				639	134	587	557	101	502	407	71	370	495	110	458	590	116	525	
性別	男性	350	73	313	287	56	254	219	38	195	281	72	258	202	35	173			
	女性	286	60	271	266	45	245	187	33	174	212	38	198	386	81	351			
所属クラス 別	文系	384	79	348	292	52	264	210	36	191	237	52	215	323	62	291			
	理系	133	26	126	143	23	128	116	21	110	121	24	117	137	24	119			
	あてはまらない	110	26	101	111	23	100	74	11	62	127	32	116	116	26	101			
	進学希望者・計	639	134	587	557	101	502	407	71	370	495	110	458	590	116	525			
希望進路 別	大学・短期大学進学希望者	587	123	538	494	85	446	366	62	333	429	91	394	508	92	451			
	大学（4年制・6年制）計	571	122	524	473	80	427	352	60	321	406	87	373	480	83	426			
	短期大学・計	64	11	58	59	11	54	48	8	42	61	10	55	77	12	70			
	専門学校	137	27	127	145	35	130	102	21	91	144	38	135	184	44	165			
希望進路 ×分野別 ①進学希 望者	経済・経営・商 興味あり	282	73	255	219	45	197	131	22	116	121	28	112	93	19	83			
	経済・経営・商興味なし	357	61	332	338	56	305	276	49	254	374	82	346	497	97	442			
	情報科学興味あり	46	10	43	44	9	40	41	11	38	27	7	26	42	10	38			
	情報科学興味なし	593	124	544	513	92	462	366	60	332	468	103	432	548	106	487			
	看護学興味あり	41	7	41	49	6	43	36	5	33	53	12	50	96	10	82			
	看護学興味なし	598	127	546	508	95	459	371	66	337	442	98	408	494	106	443			
	福祉興味あり	36	13	35	32	8	30	26	7	25	35	11	34	84	24	81			
	福祉興味なし	603	121	552	525	93	472	381	64	345	460	99	424	506	92	444			
	体育学・スポーツ・健康科学興味あり	86	19	79	74	17	67	55	9	50	174	61	161	86	17	75			
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし	553	115	508	483	84	435	352	62	320	321	49	297	504	99	450			
	美術・デザイン興味あり	44	12	39	45	11	41	38	9	35	36	11	35	54	15	52			
	美術・デザイン興味なし	595	122	548	512	90	461	369	62	335	459	99	423	536	101	473			
希望進路 ×分野別 ①大学進 学希望者	経済・経営・商興味あり	272	71	246	211	43	190	128	21	113	118	26	109	88	18	79			
	経済・経営・商興味なし	299	51	278	262	37	237	224	39	208	288	61	264	392	65	347			
	情報科学興味あり	37	9	35	34	8	31	35	11	33	22	7	21	36	10	32			
	情報科学興味なし	534	113	489	439	72	396	317	49	288	384	80	352	444	73	394			
	看護学興味あり	36	6	36	42	4	37	31	4	28	39	8	36	83	8	72			
	看護学興味なし	535	116	488	431	76	390	321	56	293	367	79	337	397	75	354			
	福祉興味あり	31	11	30	26	6	25	19	4	19	25	9	24	66	19	64			
	福祉興味なし	540	111	494	447	74	402	333	56	302	381	78	349	414	64	362			
	体育学・スポーツ・健康科学興味あり	76	16	71	64	13	60	47	7	44	146	46	133	72	12	62			
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし	495	106	453	409	67	367	305	53	277	260	41	240	408	71	364			
	美術・デザイン興味あり	35	10	30	32	6	28	30	8	27	25	8	24	38	10	37			
	美術・デザイン興味なし	536	112	494	441	74	399	322	52	294	381	79	349	442	73	389			
進学希望 エリア別	山口県内進学希望者・計	269	71	250	218	48	192	166	36	152	174	50	169	253	64	235			
	うち周南地区	50	20	49	42	14	39	31	8	28	36	14	36	34	9	33			
	うち周南地区以外	219	51	201	176	34	153	135	28	124	138	36	133	219	55	202			
	山口県外進学希望者・計	281	47	253	260	39	237	183	23	164	254	44	227	268	37	227			
	未定	79	11	74	72	11	66	54	10	51	61	14	56	63	13	58			
公立化した 徳山大学 への興味・ 関心度	興味・関心あり・計	329	79	309	286	53	269	223	38	208	266	57	249	287	62	266			
	興味・関心がある	74	32	72	58	17	55	49	19	47	59	18	55	57	21	55			
	やや興味・関心がある	255	47	237	228	36	214	174	19	161	207	39	194	230	41	211			
	興味・関心なし・計	304	52	272	267	46	229	181	32	160	224	52	204	295	50	251			
	あまり興味・関心はない	192	24	173	157	25	138	109	16	97	137	28	126	175	29	150			
	興味・関心はない	112	28	99	110	21	91	72	16	63	87	24	78	120	21	101			
高校設置 者別	県立	474	99	436	403	74	364	297	54	278	323	69	296	428	89	385			
	私立	165	35	151	154	27	138	110	17	92	172	41	162	162	27	140			
高校所在 エリア別	周南地区	196	40	180	177	34	160	124	27	115	157	28	140	159	32	139			
	うち周南市	90	12	79	84	11	76	60	10	56	68	9	62	63	12	56			
	うち下松市・光市	106	28	101	93	23	84	64	17	59	89	19	78	96	20	83			
	岩国・柳井地区	102	20	93	88	16	83	71	9	63	78	15	75	103	19	88			
	山口・防府地区	221	47	203	194	33	170	138	25	126	179	48	168	219	46	199			
	下関・宇部・小野田地区	120	27	111	98	18	89	74	10	66	81	19	75	109	19	99			

公立化した徳山大学に希望する進学分野

- ・新学部学科としてあげた分野以外で、進学を検討したい分野としては、①教育・保育（24%）、②医学・歯学・薬学（18%）、③理工学（15%）、④心理学（13%）、⑤法律・政治・地域政策（10%）が10%以上で上位。

・文系：教育・保育（30%）、法律・政治・地域政策（18%）、国際関係・国際文化（17%）、心理学（17%）、外国語（15%）

・理系：理工学（38%）、医学・歯学・薬学（34%）、教育・保育（13%）、心理学（10%）

●Q14N 問12にあげた学部・学科のほか、もし「公立化した徳山大学」にあれば進学を検討したいと思うような分野はありますか。（いくつでも○）

		教育・保育	法律・政治・地域政策	文化・地理・歴史	観光	社会学	美術・デザイン	音楽	国際関係・国際文化	外国語	文学・宗教・哲学	心理学	理工学	環境・エネルギー	医学・歯学・薬学	農・水産学	その他	無回答	
進学希望者		(n=2,977)	23.7%	10.1	5.1	5.0	5.2	7.6	6.4	9.6	9.2	5.2	12.8	15.3	3.9	18.2	4.7	4.6	13.2
性別	男性	(n=1,381)	19.2	13.8	6.0	3.6	6.7	4.4	3.6	5.6	5.3	3.7	9.1	26.2	5.9	13.6	4.9	3.5	16.5
	女性	(n=1,577)	27.5	7.0	4.3	6.2	3.7	10.3	8.8	13.0	12.4	6.5	16.1	5.6	2.1	22.2	4.6	5.5	10.3
所属クラス別	文系	(n=1,335)	29.7	17.7	8.6	8.2	8.6	8.5	6.9	16.5	14.9	9.1	16.6	0.9	1.6	7.9	1.0	4.2	12.4
	理系 あてはまらない	(n=1,020) (n=558)	12.6 29.4	2.9 6.1	1.2 4.3	1.7 3.6	1.8 3.6	4.5 11.5	4.2 9.1	3.8 4.1	3.4 6.3	1.4 3.0	10.1 9.1	38.1	7.5 2.3	33.5 15.4	9.6 4.5	4.0 6.5	11.4 17.6
希望進路別	進学希望者・計	(n=2,977)	23.7	10.1	5.1	5.0	5.2	7.6	6.4	9.6	9.2	5.2	12.8	15.3	3.9	18.2	4.7	4.6	13.2
	大学・短期大学進学希望者	(n=2,667)	24.4	11.0	5.5	5.2	5.4	6.5	5.7	10.2	9.3	5.6	13.2	16.5	3.9	18.0	4.9	4.2	12.4
	大学（4年制・6年制）計	(n=2,537)	22.9	11.4	5.6	5.0	5.7	6.1	5.3	10.4	9.6	5.7	13.7	17.2	4.1	18.4	4.8	4.0	12.7
	短期大学・計	(n=306)	43.1	5.6	6.9	6.9	4.6	13.1	12.4	8.2	5.9	7.2	9.8	7.5	2.0	10.1	5.2	6.5	7.8
希望進路×分野別	専門学校	(n=684)	19.7	3.8	3.1	5.4	3.4	14.6	11.0	8.0	8.6	2.2	12.4	6.3	2.5	21.9	4.1	8.0	17.4
	進学非希望者（未定含む）・計	(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	経済・経営・商 興味あり	(n=541)	21.1	30.3	9.4	8.3	13.1	4.6	4.6	12.4	7.9	6.1	12.9	7.4	3.7	7.0	2.2	4.3	18.3
	経済・経営・商 興味なし	(n=2,436)	24.3	5.7	4.1	4.3	3.4	8.2	6.8	8.9	9.4	5.0	12.8	17.0	3.9	20.6	5.3	4.7	12.1
①進学希望者	情報科学興味あり	(n=215)	9.3	6.0	4.2	3.3	5.6	7.9	9.3	6.0	4.2	4.7	15.8	47.4	9.8	14.0	3.7	2.3	19.5
	情報科学興味なし	(n=2,762)	24.8	10.5	5.2	5.1	5.1	7.5	6.2	9.8	9.6	5.2	12.6	12.7	3.4	18.5	4.8	4.8	12.7
	看護学興味あり	(n=408)	24.5	2.7	1.2	2.0	2.0	5.4	5.6	6.1	7.4	2.0	16.4	3.9	1.5	46.8	3.7	4.4	15.9
	看護学興味なし	(n=2,569)	23.6	11.3	5.7	5.5	5.7	7.9	6.5	10.1	9.5	5.7	12.2	17.0	4.2	13.6	4.9	4.6	12.8
希望進路×分野別	福祉興味あり	(n=199)	26.1	7.0	4.5	4.5	7.5	7.0	7.5	7.5	5.0	3.5	23.1	3.5	3.5	30.2	5.5	7.5	15.1
	福祉興味なし	(n=2,778)	23.5	10.4	5.1	5.0	5.0	7.6	6.3	9.7	9.5	5.3	12.1	16.1	3.9	17.3	4.6	4.4	13.1
	体育学・スポーツ・健康科学興味あり	(n=388)	35.6	8.2	3.9	4.6	3.6	3.9	4.9	7.0	7.0	2.1	9.3	5.2	3.6	18.3	4.4	7.5	19.8
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし	(n=2,589)	21.9	10.4	5.3	5.1	5.4	8.1	6.6	10.0	9.5	5.6	13.3	16.8	3.9	18.2	4.8	4.2	12.2
希望進路×分野別	美術・デザイン興味あり	(n=205)	13.7	7.3	9.3	7.3	6.8	74.6	16.1	10.2	10.7	9.8	20.0	8.8	5.9	6.3	4.4	3.9	7.3
	美術・デザイン興味なし	(n=2,772)	24.5	10.4	4.8	4.8	5.1	2.6	5.7	9.5	9.1	4.8	12.3	15.7	3.7	19.0	4.7	4.7	13.6
	経済・経営・商 興味あり	(n=518)	21.0	31.3	9.3	8.3	13.1	4.1	4.4	12.2	8.3	6.0	12.9	7.5	3.7	6.6	2.3	4.1	18.3
	経済・経営・商 興味なし	(n=2,019)	23.3	6.2	4.7	4.2	3.8	6.6	5.5	10.0	10.0	5.6	13.9	19.7	4.2	21.4	5.5	4.0	11.2
希望進路×分野別	情報科学興味あり	(n=187)	9.6	5.9	4.8	3.7	5.3	5.3	8.6	5.9	4.8	4.3	15.0	51.9	9.6	16.0	3.7	2.1	19.3
	情報科学興味なし	(n=2,350)	23.9	11.8	5.7	5.1	5.7	6.2	5.1	10.8	10.0	5.8	13.6	14.5	3.7	18.6	4.9	4.1	12.1
	看護学興味あり	(n=340)	23.2	2.4	1.2	2.4	2.4	4.1	5.9	7.4	7.9	2.1	17.1	4.7	1.8	47.1	4.1	4.4	15.3
	看護学興味なし	(n=2,197)	22.8	12.7	6.3	5.5	6.2	6.4	5.2	10.9	9.9	6.3	13.2	19.2	4.5	13.9	5.0	3.9	12.2
①大学進学希望者	福祉興味あり	(n=164)	26.2	7.3	4.9	3.7	9.1	4.9	5.5	7.3	4.3	3.0	23.8	4.3	4.3	29.9	5.5	7.3	17.7
	福祉興味なし	(n=2,373)	22.6	11.6	5.7	5.1	5.4	6.2	5.3	10.7	10.0	5.9	13.0	18.1	4.1	17.6	4.8	3.8	12.3
	体育学・スポーツ・健康科学興味あり	(n=337)	36.5	8.3	3.9	4.7	3.9	3.3	5.3	7.1	7.4	2.1	9.8	5.9	3.6	16.6	3.9	7.1	20.2
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし	(n=2,200)	20.8	11.8	5.9	5.1	6.0	6.5	5.3	11.0	10.0	6.3	14.3	19.0	4.2	18.6	5.0	3.5	11.5
希望進路×分野別	美術・デザイン興味あり	(n=149)	13.4	9.4	10.7	8.7	8.1	72.5	12.8	12.1	10.7	24.2	10.1	7.4	7.4	4.0	4.0	8.1	9.2
	美術・デザイン興味なし	(n=2,388)	23.5	11.5	5.3	4.8	5.5	2.0	4.9	10.3	9.5	5.4	13.0	17.7	3.9	19.1	4.9	4.0	12.9
	山口県内進学希望者・計	(n=1,162)	30.0	9.7	6.2	4.6	4.9	6.8	6.0	9.1	7.9	6.1	13.7	13.5	3.4	21.4	5.4	4.8	10.0
	うち周南地区	(n=137)	30.7	16.1	8.0	4.4	5.8	8.0	6.6	8.0	5.8	3.6	14.6	10.2	5.8	22.6	4.4	4.4	8.0
希望進路×分野別	うち周南地区以外	(n=1,025)	30.0	8.9	6.0	4.6	4.8	6.6	6.0	9.3	8.2	6.4	13.6	14.0	3.1	21.3	5.6	4.9	10.2
	山口県外進学希望者・計	(n=1,445)	20.3	10.9	4.0	5.9	5.7	8.1	7.1	10.7	10.4	4.3	12.2	15.7	3.8	16.7	3.8	4.7	14.4
	未定	(n=331)	18.1	9.1	6.3	2.1	4.2	8.2	5.1	6.3	8.2	5.7	13.6	19.6	5.7	13.9	6.3	3.9	14.5
	興味・関心あり・計	(n=880)	28.4	12.7	6.6	5.7	6.5	7.5	6.7	10.6	8.5	6.4	16.5	15.3	4.5	19.4	4.4	5.0	9.0
公立化した徳山大学への興味・関心度	興味・関心がある	(n=151)	33.8	20.5	9.9	4.6	11.9	4.6	2.6	11.3	11.3	7.3	18.5	11.9	3.3	19.2	3.3	3.3	9.9
	やや興味・関心がある	(n=729)	27.3	11.1	5.9	5.9	5.3	8.1	7.5	10.4	8.0	6.2	16.0	16.0	4.8	19.5	4.7	5.3	8.8
	興味・関心なし・計	(n=2,034)	21.9	9.3	4.6	4.7	4.6	7.7	6.3	9.2	9.5	4.7	11.1	15.2	3.6	17.9	4.7	4.5	14.0
	あまり興味・関心はない	(n=901)	25.2	10.1	5.3	5.2	5.2	8.5	7.0	9.8	9.4	5.4	12.7	16.1	4.4	18.9	5.0	3.3	9.2
高校設置者別	興味・関心はない	(n=1,133)	19.2	8.6	4.0	4.2	4.1	7.0	5.8	8.7	9.6	4.1	9.8	14.6	2.9	17.1	4.4	5.4	17.8
	県立	(n=2,137)	23.2	10.4	5.3	5.4	5.3	7.1	6.0	10.3	9.4	5.7	12.7	17.1	4.2	19.6	5.3	4.4	11.6
	私立	(n=840)	25.1	9.4	4.6	4.0	4.9	8.8	7.4	7.6	8.7	3.9	13.1	10.5	3.0	14.5	3.2	5.0	17.3
	周南地区	(n=926)	24.2	10.2	4.6	4.8	4.4	6.7	5.1	7.7	7.3	4.4	10.0	17.3	4.3	21.6	5.6	5.6	11.8
高校所在エリア別	うち周南市	(n=462)	21.0	10.6	5.2	4.1	3.5	5.6	5.0	6.9	6.9	3.2	10.4	18.8	4.3	24.2	6.3	5.8	12.1
	うち下松市・光市	(n=464)	27.4	9.7	4.1	5.4	5.4	7.8	5.2	8.4	7.8	5.6	9.7	15.7	4.3	19.0	5.0	5.4	11.4
	岩国・柳井地区	(n=538)	26.8	8.7	5.2	5.4	5.8	8.0	8.0	10.4	11.2	5.4	15.1	16.2	3.3	18.4	4.1	3.0	13.4
	山口・防府地区	(n=1,057)	21.9	9.8	4.5	5.1	5.3	8.4	7.8	10.4	9.6	6.1	13.2	14.0	3.3	16.4	4.1	4.9	14.3
高校所在エリア別	下関・宇部・小野田地区	(n=456)	23.5	12.5	7.2	4.8	5.3	6.8	4.2	10.5	9.4	4.4	14.9	12.9	4.8	15.1	5.0	3.7	13.4

※「全体」と比較して

5pt 以上高い

-10pt 以上低い

【公立化した徳山大学】についての意見・要望

・「公立化」自体への期待

- ・地域がより活性化しそうでとてもいいと思いました。興味がある学科を調べてみたいです。（文系／女性）
- ・山口県には公立大学がとても少ないので良いと思う。（文系／女性）
- ・山口県東部に唯一の公立大学というのはとても良い強みだと思う（文系／男性）
- ・公立化してください（文系／男性）
- ・公立化は賛成です。とても良いと思います。（文系／女性）
- ・たのしみです。（理系／女性）
- ・公立化するのはいいと思いました。（他／女性）
- ・高校生の夢が広がると思うのでとても良い考えだと思った。（文系／女性）
- ・公立化はいいと思う。（文系／男性）
- ・自分たちが入れる代にできていたら、ぜひ受験したかったです。（他／女性）

・公立化による学費負担の軽減に対する期待

- ・私立は学費が高いので公立化することで視野に入れることができる。また、地元なので通いやすくて、良いと思う！（文系／女性）
- ・公立化したら学費なども安くなるのでいいと思った。（他／男性）
- ・奨学金制度でどれくらいまかなえますか？（理系／女性）

・医療・福祉・教育関連の学部・学科・コースの設置要望

- ・もっとはやく看護学を始めてほしい。（理系／女性）
- ・私は看護に興味があるので、看護学科があると嬉しいです。（文系／女性）
- ・理学療法士か、放射線化がほしいです。（他／男性）
- ・心理学＋養護教諭の資格のとれる学科がほしいです。（理系／女性）

・その他学部・学科・コース全般に対する期待と要望

- ・山口県内で、公立化した徳山大学に行きたくなるもう少し魅力的な学部があるといいと思った。（文系／女性）
- ・徳山大学が自分の学力に合っており受験したいと考えている。その中で自分のなりたい社会科の教諭になれる経済学科はあるが、もう少し歴史などの専門的な分野も学びたい他、外国語や国語も学びたい。（他／男性）
- ・今、高校2年生なのですが、受験までに新しい学科・学部を設置して欲しい。受験科目はどうなのか。（文系／女性）
- ・専門のコースをもっと作ってほしい。（文系／女性）
- ・美術系の学科があればいいです。（文系／女性）

参考資料

各学部学科への受験意向・入学意向詳細

受験意向 <新学部学科>

● Q12 「公立化した徳山大学」が以下のような学部・学科になった場合、あなたはどの程度受験したいと思いますか。

受験・検討したい・計

			新学部学科				
			経済経営学部 経済経営学科	情報科学部 情報科学科	人間健康科学部 スポーツ健康科学科	人間健康科学部 看護学科	人間健康科学部 福祉学科
進学希望者							
全体	(n=2,977)	26.3%	19.6	21.6	22.2	19.7	
性別	男性	(n=1,381)	30.3	26.7	24.4	9.8	11.7
	女性	(n=1,577)	22.8	13.3	19.1	33.1	26.6
所属クラス別	文系	(n=1,335)	36.0	16.5	20.9	18.8	21.2
	理系	(n=1,020)	16.6	23.3	18.1	25.7	15.8
	あてはまらない	(n= 558)	20.6	19.7	28.3	23.7	22.2
	進学希望者・計	(n=2,977)	26.3	19.6	21.6	22.2	19.7
希望進路別	大学・短期大学進学希望者	(n=2,667)	26.6	19.2	20.9	21.2	18.8
	大学（4年制・6年制）計	(n=2,537)	27.1	19.5	20.7	20.9	18.3
	短期大学・計	(n= 306)	23.2	20.3	27.5	25.5	29.4
	専門学校	(n= 684)	24.3	20.8	26.8	35.8	28.9
希望進路 ×分野別 ①進学希望者	経済・経営・商 興味あり	(n= 541)	66.5	25.3	20.0	10.5	12.8
	経済・経営・商興味なし	(n=2,436)	17.3	18.3	21.9	24.8	21.2
	情報科学興味あり	(n= 215)	25.1	69.3	13.5	11.6	11.6
	情報科学興味なし	(n=2,762)	26.4	15.7	22.2	23.0	20.3
	看護学興味あり	(n= 408)	13.0	10.0	22.5	79.9	37.7
	看護学興味なし	(n=2,569)	28.4	21.1	21.4	13.0	16.8
	福祉興味あり	(n= 199)	21.6	12.6	25.1	46.2	72.9
	福祉興味なし	(n=2,778)	26.6	20.1	21.3	20.5	15.8
	体育学・スポーツ・健康科学興味あり	(n= 388)	28.1	14.9	68.6	21.9	23.7
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし	(n=2,589)	26.0	20.3	14.5	22.2	19.0
	美術・デザイン興味あり	(n= 205)	22.4	22.0	18.5	15.6	16.6
	美術・デザイン興味なし	(n=2,772)	26.6	19.4	21.8	22.7	19.9
	経済・経営・商興味あり	(n= 518)	66.4	24.7	20.3	9.8	12.0
	経済・経営・商興味なし	(n=2,019)	17.0	18.1	20.9	23.7	19.9
	情報科学興味あり	(n= 187)	23.0	70.1	11.2	11.2	11.2
	情報科学興味なし	(n=2,350)	27.4	15.4	21.5	21.7	18.9
希望進路 ×分野別 ②大学進 学希望者	看護学興味あり	(n= 340)	13.2	10.3	22.9	79.7	37.4
	看護学興味なし	(n=2,197)	29.3	20.9	20.4	11.8	15.3
	福祉興味あり	(n= 164)	20.7	11.0	22.6	43.9	72.6
	福祉興味なし	(n=2,373)	27.6	20.1	20.6	19.3	14.5
	体育学・スポーツ・健康科学興味あり	(n= 337)	27.9	14.2	68.2	21.4	22.8
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし	(n=2,200)	27.0	20.3	13.5	20.8	17.6
	美術・デザイン興味あり	(n= 149)	23.5	20.8	17.4	16.1	12.8
	美術・デザイン興味なし	(n=2,388)	27.3	19.4	20.9	21.2	18.6
	山口県内進学希望者・計	(n=1,162)	29.4	19.5	19.9	29.0	25.6
	うち周南地区	(n= 137)	46.7	30.7	29.2	33.6	37.2
進学希望 エリア別	うち周南地区以外	(n=1,025)	27.1	18.0	18.6	28.4	24.0
	山口県外進学希望者・計	(n=1,445)	23.4	17.9	22.2	18.4	16.7
	未定	(n= 331)	29.3	27.2	25.1	15.7	13.6
	公立化した徳山大学への興味・関心あり・計	(n= 880)	43.3	33.6	33.3	36.5	33.3
	興味・関心がある	(n= 151)	57.6	41.7	41.1	47.0	45.7
の興味・関心度	やや興味・関心がある	(n= 729)	40.3	32.0	31.7	34.3	30.7
	興味・関心なし・計	(n=2,034)	19.5	13.8	16.7	16.4	14.1
	高校設置者別						
高校設置 者別	県立	(n=2,137)	27.0	19.8	19.2	22.2	19.4
	私立	(n= 840)	24.4	18.9	27.6	22.1	20.2
高校所在 エリア別	周南地区	(n= 926)	26.2	19.4	21.4	24.3	20.0
	うち周南市	(n= 462)	24.7	19.7	18.0	21.9	18.2
	うち下松市・光市	(n= 464)	27.8	19.2	24.8	26.7	21.8
	岩国・柳井地区	(n= 538)	21.2	20.6	19.9	22.5	20.3
	山口・防府地区	(n=1,057)	26.6	18.3	22.1	19.2	18.4
	下関・宇部・小野田地区	(n= 456)	31.6	21.7	22.6	24.6	21.1

※「全体」と比較して

5pt
-10pt

受験意向 <新学部学科>

●Q15 「公立化した徳山大学」を、あなたはどの程度受験したいと思いますか。

受験・検討したい・計

			現学部学科				
			経済学部 現代経済学科	経済学部 ビジネス戦略学科 経営コース	経済学部 ビジネス戦略学科 知財開発コース	経済学部 ビジネス戦略学科 スポーツマネジメント コース	福祉情報学部 人間コミュニケーション 学科
進学希望者							
全体		(n=2,977)	21.5	18.7	13.7	16.6	19.8
性別	男性	(n=1,381)	25.3	20.8	15.9	20.3	14.6
	女性	(n=1,577)	18.1	16.9	11.9	13.4	24.5
所属クラス別	文系	(n=1,335)	28.8	21.9	15.7	17.8	24.2
	理系	(n=1,020)	13.0	14.0	11.4	11.9	13.4
	あてはまらない	(n= 558)	19.7	19.9	13.3	22.8	20.8
希望進路別	進学希望者・計	(n=2,977)	21.5	18.7	13.7	16.6	19.8
	大学・短期大学進学希望者	(n=2,667)	22.0	18.5	13.7	16.1	19.0
	大学（4年制・6年制）計	(n=2,537)	22.5	18.6	13.9	16.0	18.9
	短期大学・計	(n= 306)	20.9	19.3	15.7	19.9	25.2
	専門学校	(n= 684)	20.0	21.2	14.9	21.1	26.9
希望進路×分野別	経済・経営・商 興味あり	(n= 541)	52.1	40.5	24.2	22.4	17.2
	経済・経営・商興味なし	(n=2,436)	14.7	13.9	11.3	15.4	20.4
	情報科学興味あり	(n= 215)	21.4	20.5	19.1	12.6	19.5
	情報科学興味なし	(n=2,762)	21.5	18.6	13.3	16.9	19.8
	看護学興味あり	(n= 408)	10.0	12.0	8.8	13.0	23.5
	看護学興味なし	(n=2,569)	23.3	19.8	14.4	17.2	19.2
①進学希望者	福祉興味あり	(n= 199)	18.1	16.1	13.1	17.6	42.2
	福祉興味なし	(n=2,778)	21.7	18.9	13.7	16.6	18.2
	体育学・スポーツ・健康科学興味あり	(n= 388)	22.2	19.1	14.2	44.8	22.2
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし	(n=2,589)	21.4	18.7	13.6	12.4	19.5
	美術・デザイン興味あり	(n= 205)	21.5	22.0	18.5	17.6	26.3
	美術・デザイン興味なし	(n=2,772)	21.5	18.5	13.3	16.6	19.3
希望進路×分野別	経済・経営・商興味あり	(n= 518)	52.5	40.7	24.7	22.8	17.0
	経済・経営・商興味なし	(n=2,019)	14.8	13.0	11.1	14.3	19.4
	情報科学興味あり	(n= 187)	19.8	18.2	18.7	11.8	19.3
	情報科学興味なし	(n=2,350)	22.7	18.7	13.5	16.3	18.9
	看護学興味あり	(n= 340)	10.6	12.4	9.1	11.5	24.4
	看護学興味なし	(n=2,197)	24.4	19.6	14.6	16.7	18.1
①大学進学希望者	福祉興味あり	(n= 164)	18.9	15.9	11.6	15.2	40.2
	福祉興味なし	(n=2,373)	22.8	18.8	14.0	16.1	17.4
	体育学・スポーツ・健康科学興味あり	(n= 337)	22.6	19.0	13.9	43.3	21.4
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし	(n=2,200)	22.5	18.6	13.9	11.8	18.5
	美術・デザイン興味あり	(n= 149)	23.5	21.5	20.1	16.8	25.5
	美術・デザイン興味なし	(n=2,388)	22.4	18.5	13.5	16.0	18.5
進学希望エリア別	山口県内進学希望者・計	(n=1,162)	23.1	18.8	14.3	15.0	21.8
	うち周南地区	(n= 137)	36.5	30.7	22.6	26.3	24.8
	うち周南地区以外	(n=1,025)	21.4	17.2	13.2	13.5	21.4
	山口県外進学希望者・計	(n=1,445)	19.4	18.0	12.7	17.6	18.5
	未定	(n= 331)	23.9	21.8	16.3	18.4	19.0
公立化した徳山大学への興味・関心度	興味・関心あり・計	(n= 880)	37.4	32.5	25.3	30.2	32.6
	興味・関心がある	(n= 151)	49.0	38.4	32.5	39.1	37.7
	やや興味・関心がある	(n= 729)	35.0	31.3	23.9	28.4	31.6
	興味・関心なし・計	(n=2,034)	14.9	13.1	8.9	11.0	14.5
高校設置者別	県立	(n=2,137)	22.2	18.9	13.9	15.1	20.0
	私立	(n= 840)	19.6	18.3	13.1	20.5	19.3
高校所在エリア別	周南地区	(n= 926)	21.2	19.1	13.4	17.0	17.2
	うち周南市	(n= 462)	19.5	18.2	13.0	14.7	13.6
	うち下松市・光市	(n= 464)	22.8	20.0	13.8	19.2	20.7
	岩国・柳井地区	(n= 538)	19.0	16.4	13.2	14.5	19.1
	山口・防府地区	(n=1,057)	20.9	18.4	13.1	16.9	20.7
	下関・宇部・小野田地区	(n= 456)	26.3	21.5	16.2	17.8	23.9

※「全体」と比較して

5pt
-10pt

入学意向 <新学部学科>

● Q13 「新学部学科」「公立化した徳山大学」の学部・学科を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。

※受験意向あり×入学意向トップボックスに該当する人の、進学希望者に占める割合

			新学部学科						
			経済経営学部 経済経営学科	情報科学部 情報科学科	人間健康科学部 スポーツ健康科学科	人間健康科学部 看護学科	人間健康科学部 福祉学科	いずれか意向あり	
進学希望者									
全体		(n=2,977)	6.9%	4.1	5.9	7.2	4.8	19.0	
性別	男性	(n=1,381)	8.2	6.2	8.1	2.5	2.8	17.9	
	女性	(n=1,577)	5.6	2.2	3.9	11.2	6.5	19.9	
所属クラス別	文系	(n=1,335)	9.6	3.4	5.8	6.1	5.1	18.8	
	理系	(n=1,020)	3.3	4.7	4.0	7.9	2.7	15.7	
	あてはまらない	(n= 558)	6.6	4.1	9.0	7.7	7.0	24.2	
希望進路別	進学希望者・計	(n=2,977)	6.9	4.1	5.9	7.2	4.8	19.0	
	大学・短期大学進学希望者	(n=2,667)	6.8	3.9	5.4	6.6	4.4	18.1	
	大学（4年制・6年制）計	(n=2,537)	7.1	4.1	5.3	6.7	4.1	18.0	
	短期大学・計	(n= 306)	6.5	3.6	5.6	5.9	8.8	21.2	
	専門学校	(n= 684)	6.9	5.4	9.4	13.7	8.2	28.9	
希望進路×分野別	経済・経営・商 興味あり	(n= 541)	21.6	5.0	5.2	2.4	3.0	24.2	
	経済・経営・商興味なし	(n=2,436)	3.6	3.9	6.0	8.2	5.2	17.8	
	情報科学興味あり	(n= 215)	5.1	18.6	2.8	2.3	1.9	21.9	
	情報科学興味なし	(n=2,762)	7.0	3.0	6.1	7.5	5.0	18.8	
	看護学興味あり	(n= 408)	3.2	1.7	5.9	35.3	8.6	37.3	
	看護学興味なし	(n=2,569)	7.4	4.5	5.9	2.7	4.2	16.1	
	福祉興味あり	(n= 199)	6.5	3.0	10.1	12.6	26.6	34.2	
	福祉興味なし	(n=2,778)	6.9	4.2	5.6	6.8	3.2	17.9	
	体育学・スポーツ・健康科学興味あり	(n= 388)	7.7	3.1	24.2	7.2	5.9	29.6	
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし	(n=2,589)	6.7	4.2	3.1	7.1	4.6	17.4	
①進学希望者	美術・デザイン興味あり	(n= 205)	7.3	4.9	7.8	3.9	3.4	19.0	
	美術・デザイン興味なし	(n=2,772)	6.8	4.0	5.7	7.4	4.9	19.0	
	経済・経営・商興味あり	(n= 518)	21.6	5.0	5.0	2.3	2.7	23.6	
	経済・経営・商興味なし	(n=2,019)	3.4	3.9	5.4	7.8	4.4	16.6	
	情報科学興味あり	(n= 187)	5.3	19.8	3.2	2.7	2.1	23.0	
	情報科学興味なし	(n=2,350)	7.2	2.9	5.5	7.0	4.2	17.6	
	看護学興味あり	(n= 340)	3.2	1.5	5.3	34.7	8.2	36.5	
	看護学興味なし	(n=2,197)	7.7	4.5	5.3	2.3	3.4	15.2	
	福祉興味あり	(n= 164)	6.1	2.4	7.9	11.0	25.0	31.7	
	福祉興味なし	(n=2,373)	7.2	4.2	5.1	6.4	2.6	17.1	
希望進路×分野別	体育学・スポーツ・健康科学興味あり	(n= 337)	6.5	2.4	21.1	5.3	4.7	26.7	
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし	(n=2,200)	7.2	4.4	2.9	6.9	4.0	16.7	
	美術・デザイン興味あり	(n= 149)	7.4	4.7	7.4	4.7	2.7	18.1	
	美術・デザイン興味なし	(n=2,388)	7.1	4.1	5.2	6.8	4.1	18.0	
	山口県内進学希望者・計	(n=1,162)	9.1	4.7	6.3	10.8	6.8	24.5	
	うち周南地区	(n= 137)	16.8	5.8	12.4	15.3	9.5	39.4	
	うち周南地区以外	(n=1,025)	8.1	4.6	5.5	10.1	6.4	22.5	
	山口県外進学希望者・計	(n=1,445)	5.5	3.3	5.3	5.3	3.6	14.9	
	未定	(n= 331)	5.4	5.1	6.9	2.7	3.6	17.5	
	公立化した徳山大学への興味・関心度	興味・関心あり・計	(n= 880)	13.2	7.4	10.0	14.4	9.4	34.5
興味・関心がある		(n= 151)	28.5	15.9	19.2	27.2	16.6	55.6	
やや興味・関心がある		(n= 729)	10.0	5.6	8.1	11.8	8.0	30.2	
興味・関心なし・計		(n=2,034)	4.3	2.8	4.2	4.2	2.9	12.7	
高校設置者別		県立	(n=2,137)	6.8	4.0	4.5	7.7	4.8	18.0
私立		(n= 840)	6.9	4.3	9.3	5.7	4.8	21.5	
高校所在エリア別		周南地区	(n= 926)	5.9	3.9	5.1	8.3	5.3	18.5
		うち周南市	(n= 462)	5.0	3.5	3.5	6.5	4.8	15.8
		うち下松市・光市	(n= 464)	6.9	4.3	6.7	10.1	5.8	21.1
		岩国・柳井地区	(n= 538)	5.2	4.5	5.9	7.6	4.6	18.6
	山口・防府地区	(n=1,057)	7.3	3.7	6.5	4.9	4.6	18.3	
	下関・宇部・小野田地区	(n= 456)	9.6	5.0	5.9	9.4	4.4	22.1	

※「全体」と比較して

5pt
-10pt

入学意向＜現学部学科＞

●Q16 「現学部学科」「公立化した徳山大学」の学部・学科を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。

※受験意向あり×入学意向トップボックスに該当する人の、進学希望者に占める割合

		現学部学科					
		経済学部 現代経済学科	経済学部 ビジネス戦略学科 経営コース	経済学部 ビジネス戦略学科 知財開発コース	経済学部 ビジネス戦略学科 スポーツマネジメント コース	福祉情報学部 人間コミュニケーション 学科	いずれか意向あり
進学希望者							
全体	(n=2,977)	4.5%	3.4	2.4	3.7	3.9	10.0
性別	男性 (n=1,381)	5.3	4.1	2.8	5.2	2.5	10.8
	女性 (n=1,577)	3.8	2.9	2.1	2.4	5.1	9.3
所属クラス別	文系 (n=1,335)	5.9	3.9	2.7	3.9	4.6	11.8
	理系 (n=1,020)	2.5	2.3	2.1	2.4	2.4	5.4
	あてはまらない (n= 558)	4.7	4.1	2.0	5.7	4.7	13.4
希望進路別	進学希望者・計 (n=2,977)	4.5	3.4	2.4	3.7	3.9	10.0
	大学・短期大学進学希望者 (n=2,667)	4.6	3.2	2.3	3.4	3.4	9.4
	大学（4年制・6年制）計 (n=2,537)	4.8	3.2	2.4	3.4	3.3	9.3
	短期大学・計 (n= 306)	3.6	3.6	2.6	3.3	3.9	9.8
	専門学校 (n= 684)	3.9	5.1	3.1	5.6	6.4	14.2
希望進路×分野別	経済・経営・商 興味あり (n= 541)	13.5	8.3	4.1	5.2	3.5	18.5
	経済・経営・商興味なし (n=2,436)	2.5	2.3	2.0	3.4	4.0	8.1
	情報科学興味あり (n= 215)	4.7	4.2	5.1	3.3	4.7	9.3
	情報科学興味なし (n=2,762)	4.5	3.3	2.2	3.7	3.8	10.0
	看護学興味あり (n= 408)	1.7	1.5	1.2	2.9	2.5	4.9
	看護学興味なし (n=2,569)	4.9	3.7	2.6	3.8	4.1	10.8
①進学希望者	福祉興味あり (n= 199)	6.5	4.0	3.5	5.5	12.1	15.1
	福祉興味なし (n=2,778)	4.4	3.3	2.3	3.6	3.3	9.6
	体育学・スポーツ・健康科学興味あり (n= 388)	4.9	4.4	2.3	15.7	4.4	18.6
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし (n=2,589)	4.4	3.2	2.4	1.9	3.8	8.7
	美術・デザイン興味あり (n= 205)	5.9	5.4	4.4	5.4	7.3	16.1
	美術・デザイン興味なし (n=2,772)	4.4	3.2	2.2	3.6	3.6	9.5
希望進路×分野別	経済・経営・商興味あり (n= 518)	13.7	8.3	4.1	5.0	3.5	18.1
	経済・経営・商興味なし (n=2,019)	2.5	1.8	1.9	3.0	3.2	7.1
	情報科学興味あり (n= 187)	4.8	4.3	5.9	3.7	5.3	9.6
	情報科学興味なし (n=2,350)	4.8	3.1	2.1	3.4	3.1	9.3
	看護学興味あり (n= 340)	1.8	1.2	1.2	2.4	2.4	4.1
	看護学興味なし (n=2,197)	5.3	3.5	2.5	3.6	3.4	10.2
①大学進学希望者	福祉興味あり (n= 164)	6.7	3.7	2.4	5.5	11.6	15.2
	福祉興味なし (n=2,373)	4.7	3.1	2.4	3.3	2.7	8.9
	体育学・スポーツ・健康科学興味あり (n= 337)	4.7	3.9	2.1	13.6	3.6	16.6
	体育学・スポーツ・健康科学興味なし (n=2,200)	4.8	3.0	2.4	1.9	3.2	8.2
	美術・デザイン興味あり (n= 149)	6.7	4.0	5.4	5.4	6.7	14.8
	美術・デザイン興味なし (n=2,388)	4.7	3.1	2.2	3.3	3.1	9.0
進学希望エリア別	山口県内進学希望者・計 (n=1,162)	6.1	4.1	3.1	4.3	5.5	12.6
	うち周南地区 (n= 137)	14.6	10.2	5.8	10.2	6.6	24.8
	うち周南地区以外 (n=1,025)	5.0	3.3	2.7	3.5	5.4	10.9
	山口県外進学希望者・計 (n=1,445)	3.3	2.7	1.6	3.0	2.6	7.8
	未定 (n= 331)	3.3	3.3	3.0	4.2	3.9	9.7
公立化した徳山大学への興味・関心度	興味・関心あり・計 (n= 880)	9.0	6.0	4.3	6.5	7.0	18.3
	興味・関心がある (n= 151)	21.2	11.3	12.6	11.9	13.9	33.8
	やや興味・関心がある (n= 729)	6.4	4.9	2.6	5.3	5.6	15.1
	興味・関心なし・計 (n=2,034)	2.6	2.3	1.6	2.6	2.5	6.4
高校設置者別	県立 (n=2,137)	4.6	3.5	2.5	3.2	4.2	9.3
	私立 (n= 840)	4.2	3.2	2.0	4.9	3.2	11.8
高校所在エリア別	周南地区 (n= 926)	4.3	3.7	2.9	3.0	3.5	10.2
	うち周南市 (n= 462)	2.6	2.4	2.2	1.9	2.6	7.6
	うち下松市・光市 (n= 464)	6.0	5.0	3.7	4.1	4.3	12.7
	岩国・柳井地区 (n= 538)	3.7	3.0	1.7	2.8	3.5	8.6
	山口・防府地区 (n=1,057)	4.4	3.1	2.4	4.5	4.4	10.3
	下関・宇部・小野田地区 (n= 456)	5.9	3.9	2.2	4.2	4.2	10.5

※「全体」と比較して

Spt

-10pt

周南公立大学 御中

周南公立大学 新設学部設置構想についてのアンケート調査

高校生アンケート ご報告書

2022 年 12 月 16 日
株式会社高等教育総合研究所

目 次

設置構想についてのアンケート調査概要.....	3
学生確保の見通しについての考察.....	4
調査結果について	5
全体集計結果.....	12
【資料】 アンケート調査用紙.....	16
【資料】 学部学科概要	19

設置構想についてのアンケート調査概要

目 的	周南公立大学が令和 6（2024）年 4 月に設置を構想している 3 学部 5 学科（以下の別表 1）について、本アンケート調査により学生確保の見通しを測ることを目的とする。
対 象	周南公立大学既存学部への志願状況、学力水準および所在地等を踏まえて、調査対象高校を選定した。アンケート対象者は令和 6（2024）年に大学入試を受験する可能性が最も高い、令和 4（2022）年度現在の高校 2 年生とした。
時 期	令和 4 年 10 月～12 月
調 査 方 法	各校の教職員の監督の元で、アンケート用紙と学部学科概要を配布し、調査を実施。
調 査 内 容	選択肢式の 10 問。 回答者の基本情報（居住地、性別、希望進路）、周南公立大学が設置構想中の 3 学部 5 学科への受験・入学意志等。
回 収 件 数	116 校 15,783 件

<別表 1>

学部名	学科名
経済経営学部	経済経営学科
人間健康科学部	スポーツ健康科学科
	看護学科
	福祉学科
情報科学部	情報科学科

※学部学科名称はいずれも仮称である。

学生確保の見通しについての考察

周南公立大学が構想する新設学部への進学意向では、いずれかの学部学科へ「受験したい」が6,009人、「入学したい」が1,325人、「入学するか検討したい」が4,608人となっている。

学部学科ごとの集計値は以下の通り。いずれの学部学科も全て予定する入学定員を上回る入学意欲が集まっている。

問7、問8の集計結果より	入学定員	受験したい	入学したい	入学を検討
経済経営学部「経済経営学科」	160名	2,039人	460人	1,556人
人間健康科学部「スポーツ健康科学科」	80名	1,140人	257人	865人
人間健康科学部「看護学科」	80名	1,256人	301人	937人
人間健康科学部「福祉学科」	60名	556人	121人	425人
情報科学部「情報科学科」	100名	1,018人	186人	825人
合計		6,009人	1,325人	4,608人

※学部学科名称は全て仮称

また、問3の高校卒業後の希望進路で「進学」を選択した14,179件と、上記の件数とのクロス集計の結果は以下の表の通りである。

問3、問7、問8の集計結果より	入学定員	受験したい	入学したい	入学を検討
経済経営学部「経済経営学科」	160名	1,866人	408人	1,438人
人間健康科学部「スポーツ健康科学科」	80名	987人	220人	751人
人間健康科学部「看護学科」	80名	1,208人	280人	911人
人間健康科学部「福祉学科」	60名	507人	110人	387人
情報科学部「情報科学科」	100名	910人	157人	746人
合計		5,478人	1,175人	4,233人

※学部学科名称は全て仮称

「進学」、とのクロス集計の結果、各学部学科の「入学したい」の人数は予定する入学定員の経済経営学部「経済経営学科（仮称）」は2.6倍、人間健康科学部の「スポーツ健康科学科（仮称）」は2.8倍、「看護学科（仮称）」は3.5倍、「福祉学科（仮称）」は1.8倍、情報科学部「情報科学科（仮称）」は1.6倍となっている。

以上の結果より、周南公立大学が2024（令和6）年4月に設置構想するいずれの学部学科も、予定する入学定員を上回る結果となっているため、新設学部学科の学生確保については、十分可能であると考えられる。

調査結果について

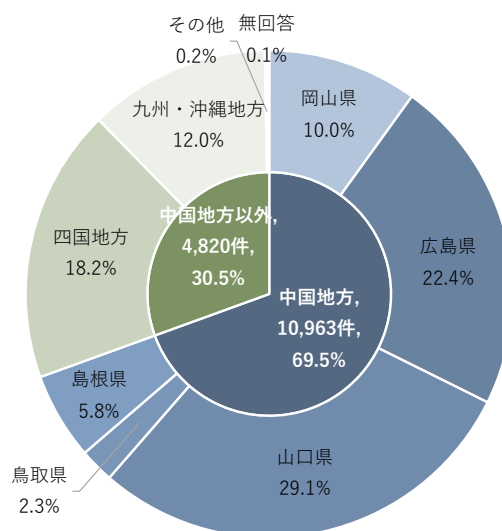
① 回答者の基本情報（居住地、性別）-問1、問2

回答者の居住地は、周南公立大学の所在地である「山口県」が4,588件（29.1%）で最も多く、「広島県」が3,532件（22.4%）、「岡山県」が1,571件（10.0%）と続いている。それらを含む中国地方の居住者が7割近い結果となっている。

回答者の性別は「男性」が7,072件（44.8%）、「女性」が8,325件（52.7%）、「回答しない」が340件（2.2%）で、「女性」の方が「男性」よりも多くなっている。

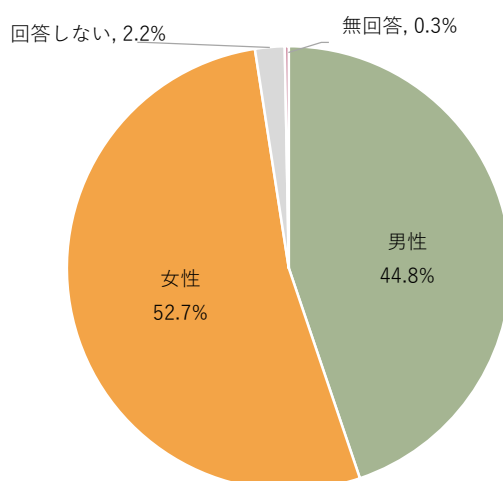
居住地

選択肢	件数	選択肢	件数
岡山県	1,571	佐賀県	1
広島県	3,532	長崎県	524
山口県	4,588	熊本県	114
鳥取県	361	大分県	240
島根県	911	宮崎県	496
香川県	628	鹿児島県	142
徳島県	83	沖縄県	8
愛媛県	1,791	その他	28
高知県	372	無回答	19
福岡県	374		



性別

選択肢	件数
男性	7,072
女性	8,325
回答しない	340
無回答	46



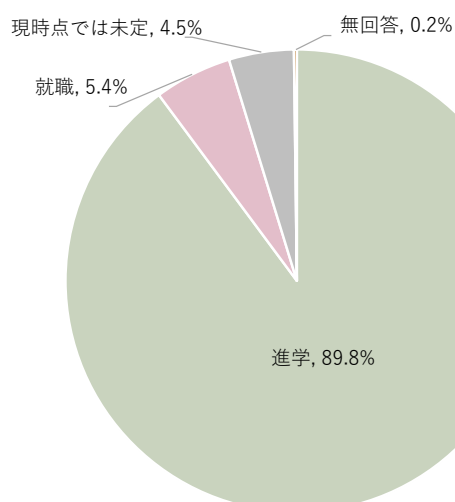
② 回答者の希望進路、学問分野など-問3、問4

回答者が高校卒業後に希望する進路は、「進学」が14,179件（89.8%）で約9割となっており、「就職」が856件（5.4%）、「現時点では未定」が716件（4.5%）と続いている。

回答者の志向する学問分野は、「文系志向」と「どちらかといえば文系志向」の合計が、7,426件（47.1%）、「理系志向」と「どちらかといえば理系志向」の合計が、5,889件（37.3%）となり、文系分野が理系分野よりも多くなっている。

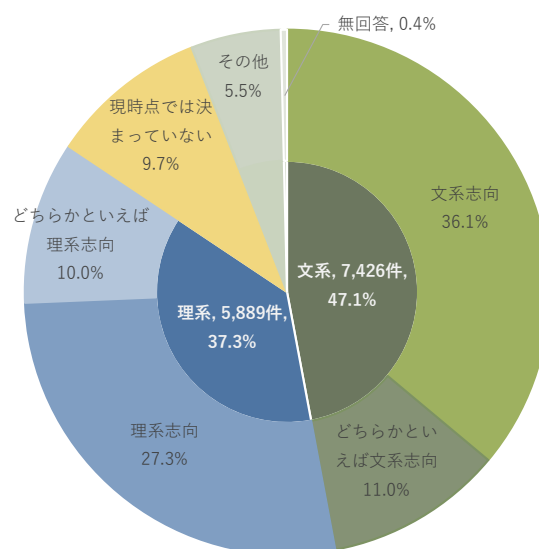
希望進路

選択肢	件数
進学	14,179
就職	856
現時点では未定	716
無回答	32



志向する学問分野

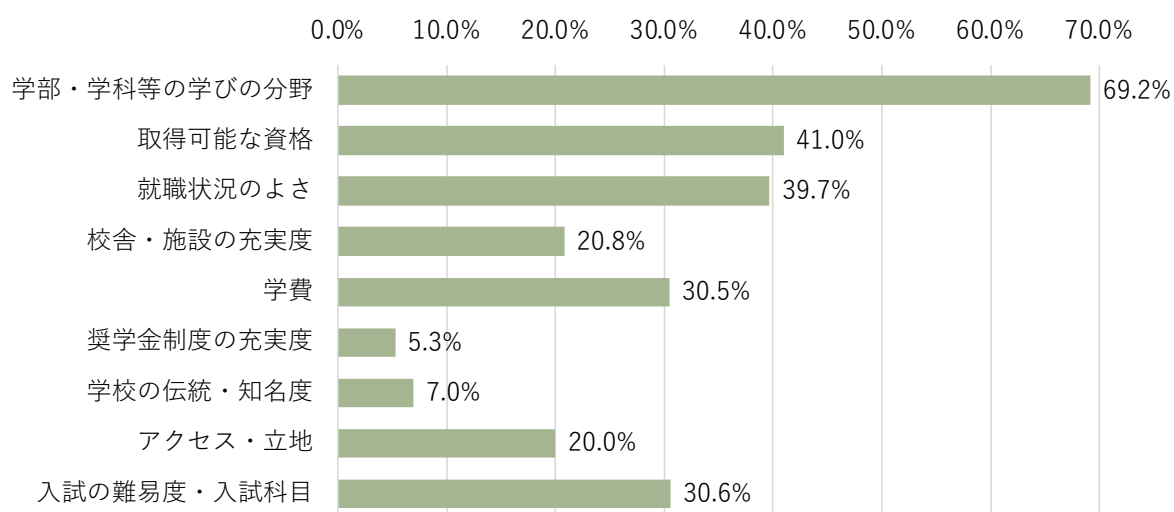
選択肢	件数
文系志向	5,694
どちらかといえば文系志向	1,732
理系志向	4,307
どちらかといえば理系志向	1,582
現時点では決まっていない	1,533
その他	874
無回答	61



③ 進学先の学部学科等を決定する際に重視すること-問5

回答者に進学先の学部学科等を決定する際に重視することを質問したところ、「学部・学科等の学びの分野」が10,919件(69.2%)で最も多く、「取得可能な資格」が6,472件(41.0%)、「就職状況のよさ」が6,269件(39.7%)と続いている。

選択肢	件数
学部・学科等の学びの分野	10,919
取得可能な資格	6,472
就職状況のよさ	6,269
校舎・施設の充実度	3,289
学費	4,812
奨学金制度の充実度	833
学校の伝統・知名度	1,098
アクセス・立地	3,159
入試の難易度・入試科目	4,828

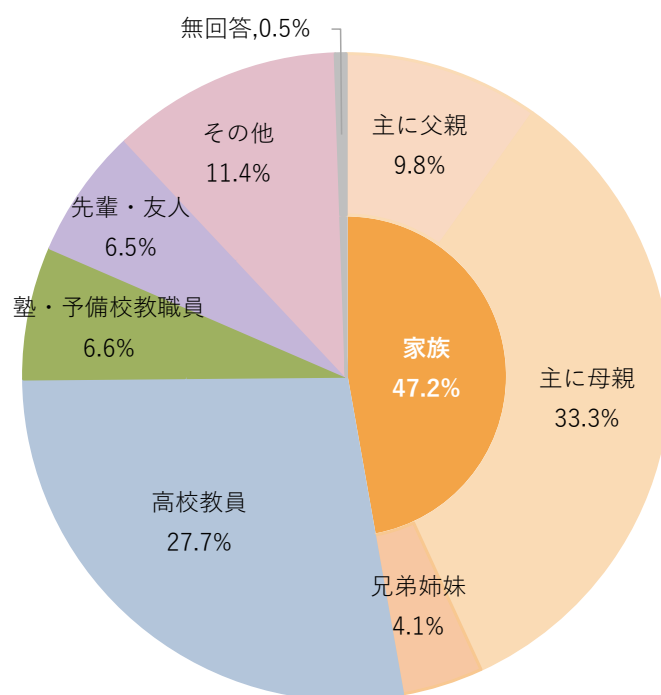


④ 志望校選びの際に誰の意見を参考にするか-問6

回答者に志望校選びの際に誰の意見を参考にするかと質問したところ、「主に母親」が5,260件（33.3%）で最も多く、ついで「高校教員」が4,366件（27.7%）である。

回答者の家族である父母や兄弟姉妹の意見を参考にと回答した者の合計が、7,450件（47.2%）と約半数を占める結果となっている。

選択肢	件数
主に父親	1,549
主に母親	5,260
兄弟姉妹	641
高校教員	4,366
塾・予備校教職員	1,048
先輩・友人	1,027
その他	1,806
無回答	86

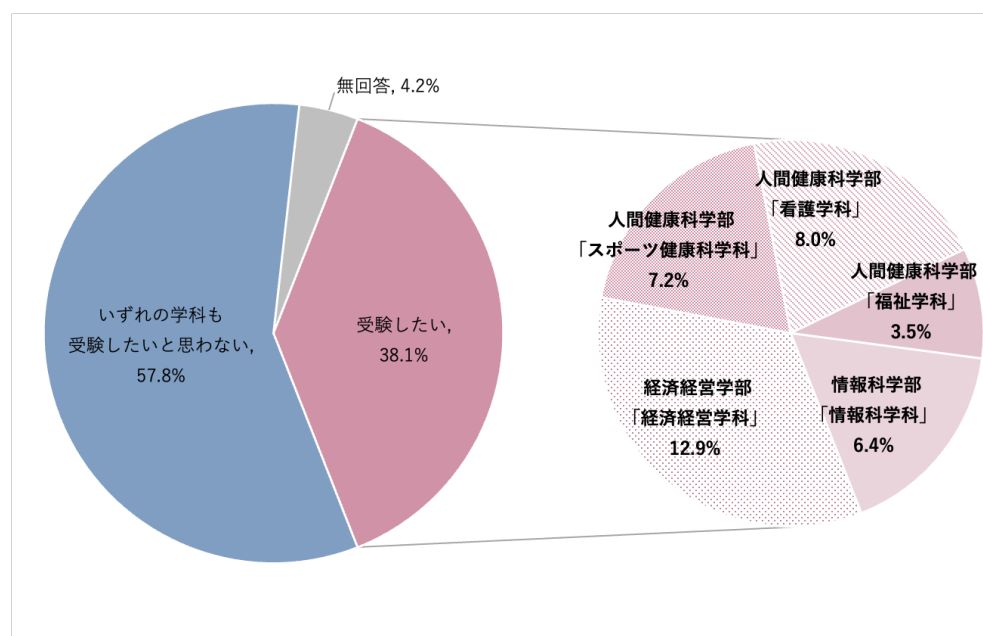


⑤ 新設学部学科への受験意向-問7

回答者の新設学部学科への受験意向は、経済学部「経済経営学科（仮称）」が2,039件（12.9%）と最も多く、人間健康科学部「看護学科（仮称）」が1,256件（同8.0%）、「人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」が1,140件（同7.2%）、情報科学部「情報科学科（仮称）」が1,018件（同6.4%）、人間健康科学部「福祉学科（仮称）」が556件（3.5%）である。

新設学部学科のいずれかを「受験したい」とする者の合計は、6,009件（全体の38.1%）であった。

選択肢	件数
経済経営学部「経済経営学科（仮称）」を受験したい	2,039
人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」を受験したい	1,140
人間健康科学部「看護学科（仮称）」を受験したい	1,256
人間健康科学部「福祉学科（仮称）」を受験したい	556
情報科学部「情報科学科（仮称）」を受験したい	1,018
いずれの学科も受験したいと思わない	9,117
無回答	657



※学部学科名称は全て仮称

⑥ 新設学部学科への入学意向-問8

回答者の周南公立大学が構想する新設学部学科を受験したいと回答した者の入学意向は、「入学したい」が1,325人、「入学するか検討したい」が4,608人となっている。

新設学部学科への受験・入学意向の内訳は以下の通りである。

問7、問8の集計結果より	入学定員	受験したい	入学したい	入学を検討
経済経営学部「経済経営学科」	160名	2,039人	460人	1,556人
人間健康科学部「スポーツ健康科学科」	80名	1,140人	257人	865人
人間健康科学部「看護学科」	80名	1,256人	301人	937人
人間健康科学部「福祉学科」	60名	556人	121人	425人
情報科学部「情報科学科」	100名	1,018人	186人	825人
合計		6,009人	1,325人	4,608人

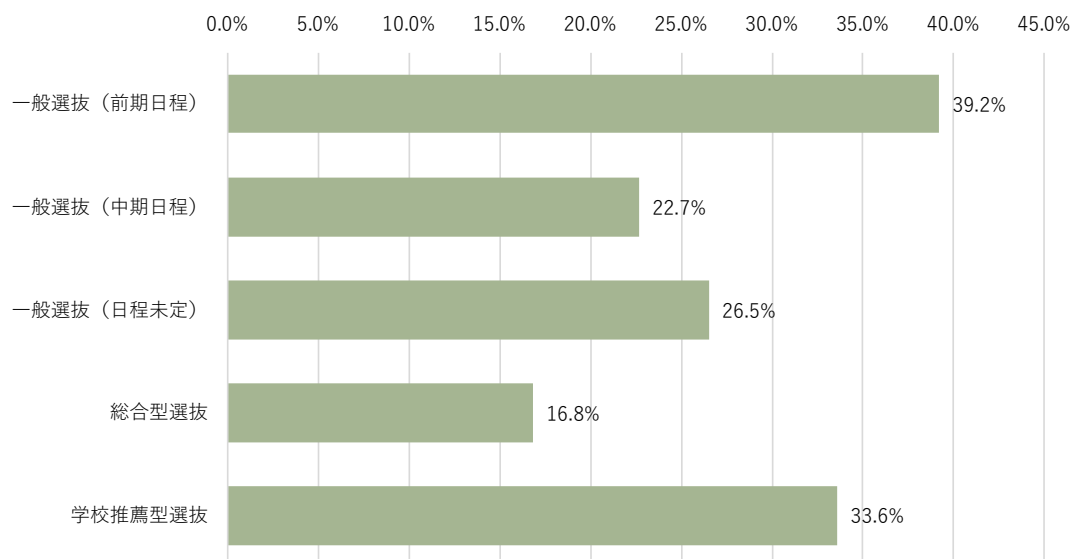
※学部学科名称は全て仮称

上表の通り、周南公立大学が構想する新設学部学科に「入学したい」と回答した件数は、各学部学科とも入学定員を上回る結果となっている。

⑥ 受験の際に利用したい入試方法-問9

周南公立大学の新設学部学科を「受験したい」と回答した 6,009 件に対し、受験の際に利用したい入試方法について質問したところ、「一般選抜（前期日程）」が 2,356 件（39.2%）で最も高く、「学校推薦型選抜」が 2,019 件（33.6%）と続いている。

選択肢	件数
一般選抜（前期日程）	2,356
一般選抜（中期日程）	1,363
一般選抜（日程未定）	1,594
総合型選抜	1,012
学校推薦型選抜	2,019



全体集計結果

※パーセンテージはいずれも、小数点第2位を四捨五入し記載。

問1 あなたが現在お住まいの地域について教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
岡山県	1,571	10.0%
広島県	3,532	22.4%
山口県	4,588	29.1%
鳥取県	361	2.3%
島根県	911	5.8%
香川県	628	4.0%
徳島県	83	0.5%
愛媛県	1,791	11.3%
高知県	372	2.4%
福岡県	374	2.4%
佐賀県	1	0.0%
長崎県	524	3.3%
熊本県	114	0.7%
大分県	240	1.5%
宮崎県	496	3.1%
鹿児島県	142	0.9%
沖縄県	8	0.1%
その他	28	0.2%
無回答	19	0.1%
合計	15,783	100.0%

問2 性別をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
男性	7,072	44.8%
女性	8,325	52.7%
回答しない	340	2.2%
無回答	46	0.3%
合計	15,783	100.0%

問3 高校卒業後の希望進路をお答えください。（現時点であてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
進学	14,179	89.8%
就職	856	5.4%
現時点では未定	716	4.5%
無回答	32	0.2%
合計	15,783	100.0%

問4 あなたが志向する学問分野について教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

選択肢	件数	構成比
文系志向	5,694	36.1%
どちらかといえば文系志向	1,732	11.0%
理系志向	4,307	27.3%
どちらかといえば理系志向	1,582	10.0%
現時点では決まっていない	1,533	9.7%
その他	874	5.5%
無回答	61	0.4%
合計	15,783	100.0%

問5 あなたが進学先の学部学科等を決定する際に重視することについて教えてください（あてはまるもの3つにマーク）

選択肢	件数	回答率
学部・学科等の学びの分野	10,919	69.2%
取得可能な資格	6,472	41.0%
就職状況のよさ	6,269	39.7%
校舎・施設の充実度	3,289	20.8%
学費	4,812	30.5%
奨学金制度の充実度	833	5.3%
学校の伝統・知名度	1,098	7.0%
アクセス・立地	3,159	20.0%
入試の難易度・入試科目	4,828	30.6%

※回答率＝件数÷15,783(全回答件数)

問6 志望校選びの際に誰の意見を参考にしますか (最もあてはまるもの1つにマーク)

選択肢	件数	構成比
主に父親	1,549	9.8%
主に母親	5,260	33.3%
兄弟姉妹	641	4.1%
高校教員	4,366	27.7%
塾・予備校教職員	1,048	6.6%
先輩・友人	1,027	6.5%
その他	1,806	11.4%
無回答	86	0.5%
合計	15,783	100.0%

問7 あなたは周南公立大学が構想中の新設学部学科のなかでどの学科を受験したいと思いますか (最もあてはまるもの1つにマーク)

選択肢	件数	構成比
経済経営学部「経済経営学科(仮称)」を受験したい	2,039	12.9%
人間健康科学部「スポーツ健康科学科(仮称)」を受験したい	1,140	7.2%
人間健康科学部「看護学科(仮称)」を受験したい	1,256	8.0%
人間健康科学部「福祉学科(仮称)」を受験したい	556	3.5%
情報科学部「情報科学科(仮称)」を受験したい	1,018	6.4%
いずれの学科も受験したいと思わない	9,117	57.8%
無回答	657	4.2%
合計	15,783	100.0%

問8～問9は、問7で「受験したい」と回答した者が対象。

問8 あなたは問7で「受験したい」と回答した学科に合格した場合、入学したいと思いますか (最もあてはまるもの1つにマーク)

選択肢	件数	構成比
入学したい	1,325	22.1%
入学するか検討したい	4,608	76.7%
無回答	76	1.3%
合計	6,009	100.0%

問 9 受験の際に利用したい入試方法をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

選択肢	件数	回答率
一般選抜（前期日程）	2,356	39.2%
一般選抜（中期日程）	1,363	22.7%
一般選抜（日程未定）	1,594	26.5%
総合型選抜	1,012	16.8%
学校推薦型選抜	2,019	33.6%

※回答率＝件数÷6,009（問7で「受験したい」と回答した件数）

問10は、問7で「いずれの学科も受験したいと思わない」と回答した者が対象。

問 10 あなたが問7で「いずれの学科も受験したいと思わない」と回答した理由について教えてください（あてはまるものすべてにマーク）

選択肢	件数	回答率
興味・関心のある学問分野ではないから	6,228	68.3%
興味・関心のある学問分野だが、他大学への進学を希望しているから	916	10.0%
興味・関心のある学問分野だが、新設学部学科への進学は不安だから	232	2.5%
大学名を知らないから	1,545	16.9%
通学距離が遠いから	1,047	11.5%
卒業後、進学を考えていないから	498	5.5%
その他	626	6.9%

※回答率＝件数÷9,117（問7で「いずれの学科も受験したいと思わない」と回答した件数）

【資料】 アンケート調査用紙



周南公立大学 新設学部設置構想についての高校生アンケート調査

対象：2022年度 高校2年生

周南公立大学（山口県周南市）は、2024年4月に現行の2学部3学科からの改組・新設により3学部5学科の設置を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、高校生の皆さんからさまざまなご意見をお伺いし、構想の参考にさせていただきたいと考えています。本アンケートから得た情報は設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

つきましては、アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。
※このアンケート調査は周南公立大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

【アンケート記入にあたっての注意事項】

- ・記入は必ず黒鉛のシャープペンシル、または黒鉛筆を使用してください。
- ・訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
- ・解答用紙（マークシート）を汚したり、折り曲げたりしないでください。



正しい回答のように丁寧に塗りつぶしてください。誤った回答の場合、正確に読み込めず判断できない場合があります。

問1 あなたが現在お住まいの地域について教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 岡山県 ☐ 広島県 ☐ 山口県 ☐ 鳥取県 ☐ 島根県 ☐ 香川県 ☐ 徳島県 ☐ 愛媛県
☐ 高知県 ☐ 福岡県 ☐ 佐賀県 ☐ 長崎県 ☐ 熊本県 ☐ 大分県 ☐ 宮崎県 ☐ 鹿児島県
☐ 沖縄県 ☐ その他（ ）

問2 性別をお答えください（あてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 回答しない

問3 高校卒業後の希望進路をお答えください。（現時点であてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 進学 ☐ 就職 ☐ 現時点では未定

問4 あなたが志向する学問分野について教えてください（あてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 文系志向 ☐ どちらかといえば文系志向 ☐ 理系志向 ☐ どちらかといえば理系志向
☐ 現時点では決まっていない ☐ その他

問5 あなたが進学先の学部学科等を決定する際に重視することについて教えてください（あてはまるもの3つにマーク）

- ☐ 学部・学科等の学びの分野 ☐ 取得可能な資格 ☐ 就職状況のよさ ☐ 校舎・施設の充実度 ☐ 学費
☐ 奨学金制度の充実度 ☐ 学校の伝統・知名度 ☐ アクセス・立地 ☐ 入試の難易度・入試科目

問6 志望校選びの際に誰の意見を参考にしますか（最もあてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 主に父親 ☐ 主に母親 ☐ 兄弟姉妹 ☐ 高校教員 ☐ 塾・予備校教職員 ☐ 先輩・友人 ☐ その他





以下の設問は、「別紙リーフレット」をご覧ください、回答をお願いします。

問 7 あなたは周南公立大学が構想中の新設学部学科のなかでどの学科を受験したいと思いますか（最もあてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 経済経営学部「経済経営学科（仮称）」を受験したい→問8～9にお答えください
- ☐ 人間健康科学部「スポーツ健康科学科（仮称）」を受験したい→問8～9にお答えください
- ☐ 人間健康科学部「看護学科（仮称）」を受験したい→問8～9にお答えください
- ☐ 人間健康科学部「福祉学科（仮称）」を受験したい→問8～9にお答えください
- ☐ 情報科学部「情報科学科（仮称）」を受験したい→問8～9にお答えください
- ☐ いずれの学科も受験したいと思わない→問10にお答えください

問8～問9は問7で「受験したい」と回答された方にお尋ねします。

問 8 あなたは問7で「受験したい」と回答した学科に合格した場合、入学したいと思いますか（最もあてはまるもの1つにマーク）

- ☐ 入学したい ☐ 入学するか検討したい

問 9 受験の際に利用したい入試方法をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- ☐ 一般選抜（前期日程） ☐ 一般選抜（中期日程） ☐ 一般選抜（日程未定） ☐ 総合型選抜
- ☐ 学校推薦型選抜

※問10は、問7で「いずれの学科も受験したいと思わない」と回答された方にお尋ねします。

問 10 あなたが問7で「いずれの学科も受験したいと思わない」と回答した理由について教えてください（あてはまるものすべてにマーク）

- ☐ 興味・関心のある学問分野ではないから
- ☐ 興味・関心のある学問分野だが、他大学への進学を希望しているから（大学名 ）
- ☐ 興味・関心のある学問分野だが、新設学部学科への進学は不安だから
- ☐ 大学名を知らないから
- ☐ 通学距離が遠いから
- ☐ 卒業後、進学を考えていないから
- ☐ その他

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。



【資料】学部学科概要

地域の成長エンジンとして
社会が求める人材を常に意識し
生涯に渡って活かせる学びを提供します



2022年4月に
開学しました！
(旧徳山大学)

周南公立大学は 新しい学部学科を構想中です

学部名	学科名
経済学部	- 現代経済学科 - ビジネス戦略学科
福祉情報学部	人間コミュニケーション学科

改編後 学部名	学科名
経済経営学部	経済経営学科(160名)
情報科学部	情報科学科(100名)
人間健康科学部	- スポーツ健康科学科(80名) - 看護学科(80名) - 福祉学科(60名)

2024年4月開設(仮称・設置構想中)
※記載の内容は現在計画中であり、変更される可能性があります。

2024年4月の 学部学科改編のポイント

- 3つの学部を開設、カリキュラムも一新
これまでの学びを再編し、新しく情報科学や看護学が学べるように。2学部3学科制から3学部5学科制となり専門性の高い学びを提供
- 「地域に求められる」学びを調査・研究
周南市の協力のもと、地元企業100社にアンケートを実施。必要とする人材像のアンケート結果をもとに、新学部・新学科を設置
- 学生たちの将来像に合わせた学びを展開
学生たちが社会で活躍する20、30年後を意識した教育を提供し、将来像に向けて学生自らが意欲的に学べるカリキュラムを導入

学びの 特徴

1

「変化する時代」に対応するために 育てる"3つの力"

1 地域の課題×課題解決力

学生が主体となって地域の身近な問題を発見し、解決に向けての調査・分析をはじめ、具体的解決策の提案を行うまでの一連の手法を必修科目として学修します。全ての学生が、課題発見能力と解決能力を身につけます。

2 フィールドワーク×実践力

アーリー・エクスポージャー（早期体験実習）を通して、キャリア形成の意識醸成と、必要となる知識・技能への気付きを得ます。希望・適性を明確に把握して、進路を選択する力と実社会に必要な実践力を身につけます。

3 データ×情報活用力

数理・データサイエンス・AIの基礎的素養に関する科目を通し、地域課題の発見・解決に重要な定量的な評価の手法を学修します。課題の把握、解決目標の設定を、エビデンスに基づき論理的に行う能力を身につけます。

新

2024年4月からの

学部・学科

※設置構想中

※学部、学科名は仮称

養成する
人材像

経済経営学部

経済経営学科

経済学、経営学の基礎・応用の学修を通して、地域社会の課題を発見し、解決方法を提言、実行できる地域社会の礎となる人材を養成



1 現代社会や企業経営の課題を発見、解決できる人材を養成

3つの履修プログラム（地域経済経営、グローバルビジネス、地域ビジネスデザイン）を用意し、各プログラムに沿って科目履修することで専門性を深めます。3つのプログラムを横断して履修し、知識や視野を広げることが可能です。

2 課題解決や目的達成にリーダーシップを発揮できる人材を養成

少人数ゼミ（教養ゼミ、地域ゼミ、専門ゼミ・II）などにグループワークやフィールドワークを積極的に導入。課題解決や事業目的の達成に必要なリーダーシップを発揮し、他者と連携・協働できる力を養います。

こんなに
やると
-時代に合わせた情報分野もしっかり学びたい
-数値から情報を分析する力を身につけたい

めざせる資格

中学校教諭一級免許状（国）〈社会〉／高等学校教諭一級免許状（国）〈地理歴史・公民〉／高等学校教諭一級免許状（国）〈商業〉／経済学検定／統計検定ほか

想定される進路

公務員／金融機関／インフラ企業／公益企業／一般企業（地元企業等）／グローバル企業／製造業／産社／サービス業／商品開発／事業開発担当者／起業家／ビジネスコンサルタント ほか

類似する大学・学部

山口大学経済学部、下関市立大学経済学部

情報科学部

情報科学科

地方創生に資するビジネスアナリスト、データサイエンティスト、情報エンジニアなど持続可能な地域産業を創るエキスパートを養成



1 これからのデジタル社会を支える情報技術者を養成

これからのデジタル社会を支える鍵となる、AI、データサイエンス、IoT、ビッグデータ解析、またこれらを活用したビジネス展開について学修し、ITの最前線で活躍するための実践的能力を身につけます。

2 ITを用いた課題解決能力のある人材を養成

「ビジネスアナリティクス」、「データサイエンス」、「情報エンジニアリング」の3分野において、IT系企業等で実務経験を積んだ教員から、ITで地域課題を発見・解決する手法を学び課題解決能力を身につけます。

こんなに
やると
-AI、データサイエンスなどに興味がある
-情報技術者として地域発展に貢献したい

めざせる資格

データサイエンティスト検定／統計検定データサイエンス基礎／統計検定データサイエンス発展ほか

想定される進路

データアナリスト／プロジェクトマネージャー／ビジネスデザイナー／データサイエンティスト／データアナリスト／データエンジニア／システムエンジニア／プログラマー／ネットワークエンジニア／WEBエンジニア ほか

類似する大学・学部

広島大学情報科学部、広島市立大学情報科学部

学びの 特徴 2

地域のwell-being向上のために、 "他業種協働"を推進

well-being

個人の権利や自己実現が保障され、
身体的・精神的・社会的に良好な状態
にあることを意味する概念。幸福と翻
訳されることも多い。

自分の学部における専門分野だけで
はなく、他分野の科目を履修すること
で幅広い学びを得ることができます。



連携の例

- 経営・情報の理論を習得し、仮説・検証・データに基づく企業経営に貢献できる人材の育成
- データ分析を得意とし、エビデンスに基づく医療・福祉・健康増進を提供できる人材をめざす
- 今後の発展が見込まれる健康産業に関する、確かな知識・視点を有する経営者をめざす

人間健康科学部

スポーツ健康科学科

多様な健康状態、生活環境にある人々に専門知識と技能をもって身体運動を促進させ、健康寿命の延伸に貢献する専門職者を養成



1 人と人をつなぐ、
地域健康増進のリーダーを養成
「健康運動」「アスリートサポート」「スポーツ健康マネジメント」の3つの履修プログラムを設け、身体運動を通じて学びの場でもある地域社会と積極的に関わり、人と人との交流を促進するリーダーを養成します。

2 地域住民の健康寿命の延伸に
貢献する専門職者を養成
人々の健康で幸福な生活の実現にとって不可欠な、医学・保健衛生学の基礎を学び、これらと密接に関わるスポーツ健康科学を基礎から応用まで体系的に学ぶことで、地域の健康寿命の延伸に貢献できる能力を養います。

こんな
ときに
-公立大学でスポーツ健康科学を学びたい
-スポーツで地域を活性化させたい

めざせる資格

中学校教諭一種免許状(国)(保健体育)/高等学校教諭一種免許状(国)(保健体育)/健康運動実践指導者受験資格/健康運動指導士受験資格/公認スポーツ指導者資格/アシスタントマネージャー受験資格ほか

想定される進路

病院や福祉施設、健康増進施設等での運動指導/トップスポーツ選手のコンディショニングケア/地域で展開されるスポーツクラブの運営/スポーツの団体・選手を支えるスポーツメーカーほか

類似する大学・学部
大阪大学人間健康学部

看護学科

人々が病気を治すのに必要な知識と技能を身につけて、その人らしい豊かな健康生活を実現することを支える看護師の養成



1 複雑化・多様化する
保健医療提供体制に対応できる人材
あらゆる健康状態の人々に対する看護場面を再現したシミュレーション教育および医療機関、在宅ケア、地域のさまざまな保健福祉施設での実習を通して、ひとりに応じた質の高い看護実践能力を身につけます。

2 地域の健康生活を創生する
実践力を備えた人材
チーム医療における多職種との連携はもとより他職種との連携を学ぶことによって、地域の保健、医療における課題を見出し、あらゆる健康状態にある地域住民の豊かな健康生活をつくり出す実践力を身につけます。

こんな
ときに
-看護の力で病気や障がいをもつ人を支えたい
-他職種と協働し地域の健康生活を支えたい

めざせる資格

看護師(国)受験資格/保健師(国)受験資格(看護課程修了)/第一種衛生管理員(国)(保健師養成課程修了者のみ)/看護教諭二種免許状(国)(保健師養成課程修了者のみ)

想定される進路

医療機関(病院・診療所)/保健所/保健センター/訪問看護ステーション/地域包括支援センター/企業の健康増進センター/進学(大学院、修士課程等)ほか

類似する大学・学部

山口県立大学看護学部、県立広島大学保健福祉学部

福祉学科

福祉の視点から地域を繋ぎ、さまざまな社会的資源を用いることで地域課題を解決できる、福祉力のある人材を養成



1 福祉力のあるコンシェルジュ・
福祉力のある生活の案内人
ソーシャルワークを基盤に保育や介護といったケアワークの専門知識や技能を備え、どのような健康状態にあっても、誰しも、住み慣れた地域で、安心して豊かに暮らすための福祉支援を提供できる能力を身につけます。

2 地域資源を活かし円滑な
地域づくりに寄与する人材を養成
地域課題を発見し、解決に必要な地域資源と結びつけるネットワークの構築能力はもとより、独自に社会的資源を作り出すための鋭い洞察力および柔軟な発想力の素地と、高いコミュニケーション能力を身につけます。

こんな
ときに
-地域と連携した、実践的な福祉を学びたい
-多様な世代の人に関わる福祉を学びたい

めざせる資格

社会福祉士(国)受験資格/社会福祉士主任資格/保育士(国)受験資格(選択制)/介護職員初任者研修(選択制)

想定される進路

児童相談所(児童福祉司)/児童養護施設(児童指導員)/地域包括支援センター(社会福祉士)/介護保険施設(生活相談員)/社会福祉協議会(福祉活動員)/公立・民間保育所(保育士)/福祉関連産業の企業ほか

類似する大学・学部

山口県立大学社会福祉学部、高知県立大学社会福祉学部

入学金・授業料 (2022年度実績)

	入学金	授業料
市外在住の方	282,000円	535,800円
市内在住の方	141,000円	

※市内在住の方とは、次のいずれかに該当する方です。

(1)入学の日の1年以上前から引き続き周南市内に住所を有する方 (2)入学の日の1年以上前から引き続き周南市内に配偶者または1親等の親族が住所を有する方
※入学金・授業料以外に課金費(120,000円程度、1年次のみ)の納入が別途必要となります。 ※その他、教科書代や学外実習費などが別途必要となります。

公立化、
学部学科
改編

周南公立大学は変わり続けます

本学のめざす未来

MISSION〈使命〉

地域の持続的発展と価値創造のための「成長エンジン」となる

VISION〈めざす姿〉

地域に根差し、地域の課題を地域とともに解決し、地域に愛され、地域に信頼され、地域が誇りに思う「地域に輝く大学」となる

VALUE〈価値観・判断の基準〉

学生のためになるかどうか、地域の発展につながるかどうか

教育・研究・社会貢献を通して地域のwell-beingを高めるべく、周南公立大学は邁進していきます。

The Latest News!

新校舎建設予定(2024年)



Access

- 「徳山」駅から「久米温泉口」または「ひばりヶ丘」バス20分
大学高専下 下車 徒歩3分
- 山陽自動車道「徳山東I.C.」より車で5分



お問い合わせ

法人経営課

〒745-8566 山口県周南市学園台843-4-2 TEL:0834-28-4600

競合校の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、定員充足率

2022年度

大学名	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
滋賀大学データサイエンス学部	100名	371名	285名	116名	104名
広島大学情報科学部	80名	252名	207名	88名	85名
高知大学理工学部情報科学科	30名	125名	106名	33名	33名
長崎大学情報データ科学部	110名	381名	278名	124名	113名
福知山公立大学情報学部	100名	427名	311名	121名	106名
北九州市立大学国際環境工学部 情報システム工学科	70名	380名	269名	86名	78名

2021年度

大学名	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
滋賀大学データサイエンス学部	100名	408名	299名	109名	100名
広島大学情報科学部	80名	280名	229名	90名	83名
高知大学理工学部情報科学科	30名	99名	77名	35名	32名
長崎大学情報データ科学部	110名	254名	162名	119名	111名
福知山公立大学情報学部	100名	290名	228名	119名	103名
北九州市立大学国際環境工学部 情報システム工学科	70名	429名	287名	81名	75名

2020年度

大学名	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
滋賀大学データサイエンス学部	100名	444名	341名	116名	105名
広島大学情報科学部	80名	243名	210名	88名	87名
高知大学理工学部情報科学科	30名	73名	68名	38名	30名
長崎大学情報データ科学部	110名	377名	268名	120名	116名
福知山公立大学情報学部	100名	233名	177名	123名	108名
北九州市立大学国際環境工学部 情報システム工学科	70名	424名	295名	83名	72名

周南公立大学 既存学部 of 過去5年間の入学志願状況 (2021年度まで徳山大学)

周南公立大学	2022	志願者数			受験者数			合格者数			入学	充足率	充足率(学部)
		延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願			
経済	現代経済	854	492	(28)	823	479	(27)	242	202	(1)	109	136.3%	122.6%
	ビジネス戦略	909	525	(30)	887	517	(30)	354	292	(1)	173	115.3%	
福祉情報	人間コミュニケーション	390	239	(19)	382	235	(18)	132	116	(0)	61	122.0%	122.0%
合計		2153	1256	(77)	2092	1231	(75)	728	610	(2)	343	122.5%	122.5%

第二合格
ビジネス戦略→福祉情報:1

徳山大学	2021	志願者数			受験者数			合格者数			入学	充足率	充足率(学部)
		延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願			
経済	現代経済	121	81	(3)	120	96	(3)	87	71	(3)	41	51.3%	70.4%
	ビジネス戦略	154	133	(1)	153	152	(1)	156	148	(2)	121	80.7%	
福祉情報	人間コミュニケーション	34	22	(2)	35	26	(2)	39	28	(2)	20	40.0%	40.0%
合計		309	236	(6)	308	282	(6)	282	247	(7)	182	65.0%	65.0%

第二合格
現経→ビジネス戦略:10
現経→福祉情報:2
ビジネス戦略→福祉情報:1

徳山大学	2020	志願者数			受験者数			合格者数			入学	充足率	充足率(学部)
		延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願			
経済	現代経済	160	134	(8)	155	132	(8)	126	113	(4)	69	86.3%	116.5%
	ビジネス戦略	263	248	(9)	260	246	(9)	231	228	(5)	199	132.7%	
福祉情報	人間コミュニケーション	46	41	(1)	44	41	(1)	38	36	(1)	28	56.0%	56.0%
合計		469	423	(18)	459	419	(18)	395	377	(10)	296	105.7%	105.7%

徳山大学	2019	志願者数			受験者数			合格者数			入学	充足率	充足率(学部)
		延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願			
経済	現代経済	104	90	(5)	101	89	(5)	92	81	(1)	62	77.5%	110.4%
	ビジネス戦略	227	217	(5)	226	217	(5)	216	211	(1)	192	128.0%	
福祉情報	人間コミュニケーション	52	49	(0)	52	47	(0)	50	46	(0)	33	66.0%	66.0%
合計		383	356	(10)	379	353	(10)	358	338	(1)	287	102.5%	102.5%

徳山大学	2018	志願者数			受験者数			合格者数			入学	充足率	充足率(学部)
		延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願	延べ数	実数	他学科併願			
経済	現代経済	113	106	(1)	112	106	(1)	104	98	(1)	72	90.0%	109.6%
	ビジネス戦略	204	201	(0)	203	201	(0)	197	194	(0)	180	120.0%	
福祉情報	人間コミュニケーション	37	31	(1)	37	32	(1)	37	32	(1)	28	56.0%	56.0%
合計		354	338	(2)	352	339	(2)	338	324	(2)	280	100.0%	100.0%

徳山大学公立化検討

第2回 有識者検討会議 参考資料

2020年10月14日

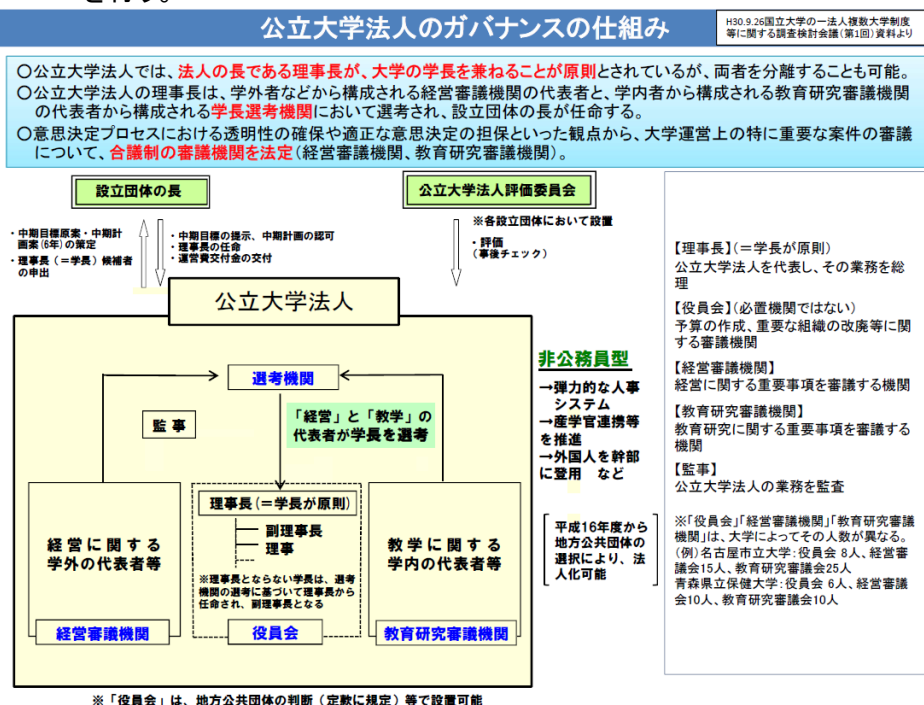
私立大学の公立化事例について

【公立大学の仕組み】

公立大学は国から地方交付税が交付されるが、設置団体が経営の責任を負うこととなる

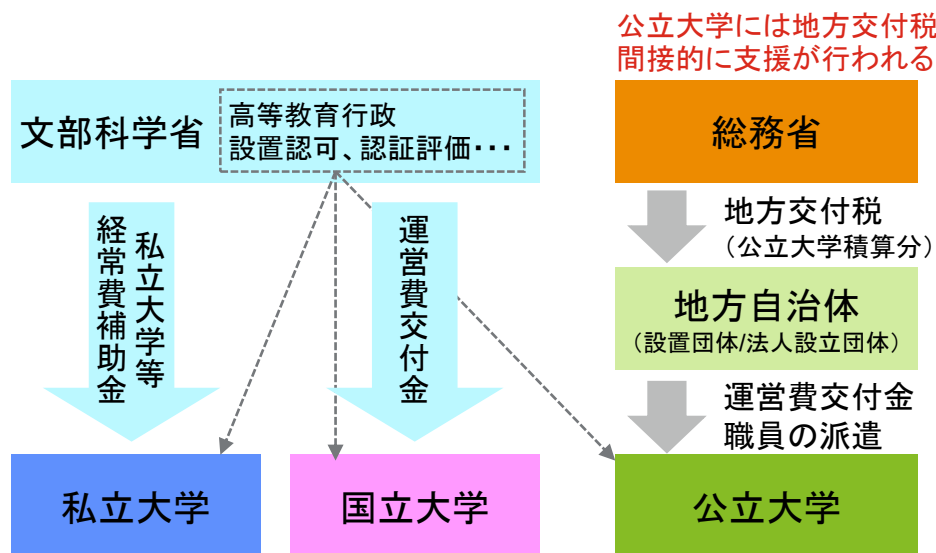
公立大学法人のガバナンス

- 設立団体(自治体)の関わり、責務
 - ✓ 設立団体は公立大学法人評価委員会を設置する。
 - ✓ 設立団体は大学運営の基礎となる中期目標を設定し、運営の成果、経営状況等について、評価委員会の評価を受け、改善項目の是正指導などを行なう。
 - ✓ 大学の運営をチェックし、設立団体が経営の責任を持つ。
- 大学(公立大学法人)の裁量
 - ✓ 教育研究、人事(理事長を除く)・組織、予算執行など、直接の運営を行う。



運営費交付金について

- 私立大学は、文部科学省から私立大学の教育又は研究に係る経常的経費を対象として補助金が交付される。
- 公立大学は、総務省から設置団体である地方自治体に、公立大学を設置・管理するための経費として地方交付税(一定の基準に基づく額)が交付され、地方自治体から大学に運営費交付金が交付される。



令和元年度 地方交付税算定に係る単位費用

	医学系 (種別補正後費用)	歯学系 (種別補正後費用)	理科系 (種別補正後費用)	保健系 (種別補正後費用)	社会科学系 (単位費用)	人文科学系 (種別補正後費用)	家政系・芸術系 (種別補正後費用)
単位費用 (千円) (種別補正後費用)	3,763	2,213	1,554	1,777	212	435	691

【公立大学の現状】

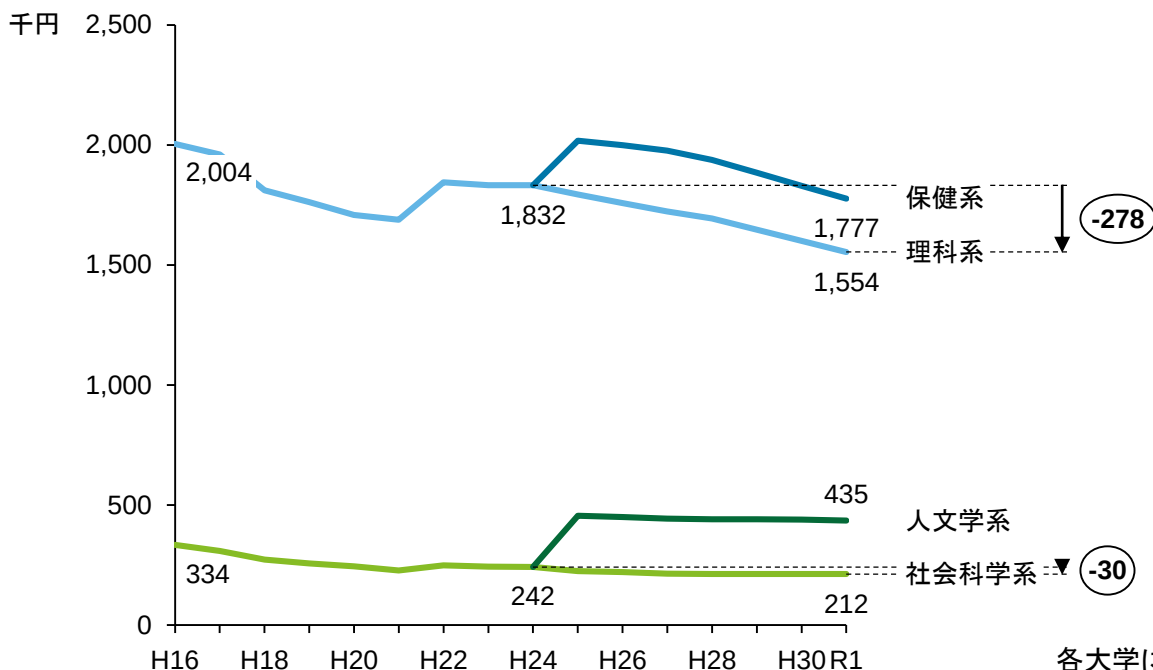
地方交付税基準財政需要額での学生1人あたり単位費用は漸減傾向にある

地方交付税基準財政需要額での学生1人あたり単位費用は漸減傾向にある。理科系は社会科学系に比べ、単位費用は高いが、近年は減少傾向にある。

地方交付税基準財政需要額での学生1人あたり単位費用

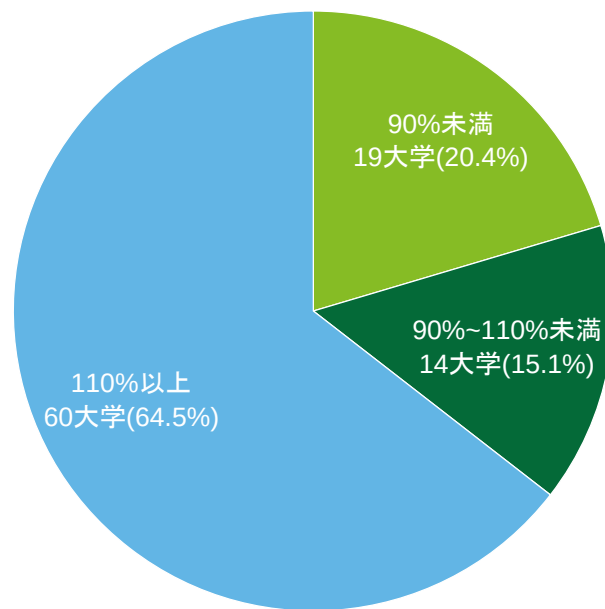
基準財政需要額に対する設置者負担額の割合

一人あたり単位費用は漸減傾向にある



平成25年度より保健系学部が理科系学部から分離、文科系学部が社会科学系と人文学系に分離

設置者負担額が基準財政需要額の90%未満の大学は19大学



各大学に係る基準財政需要額(※)を100%とした場合の設置者負担額について、基準財政需要額を上回る額(110%以上)を投じられている大学、ほぼ同程度(90%以上110%未満)の大学、下回っている(90%未満)大学に分類

(※)各大学に係る基準財政需要額は、単位費用をもとに公立大学協会事務局で試算した概算数値

出所:「公立大学ファクトブック2019」一般社団法人公立大学協会

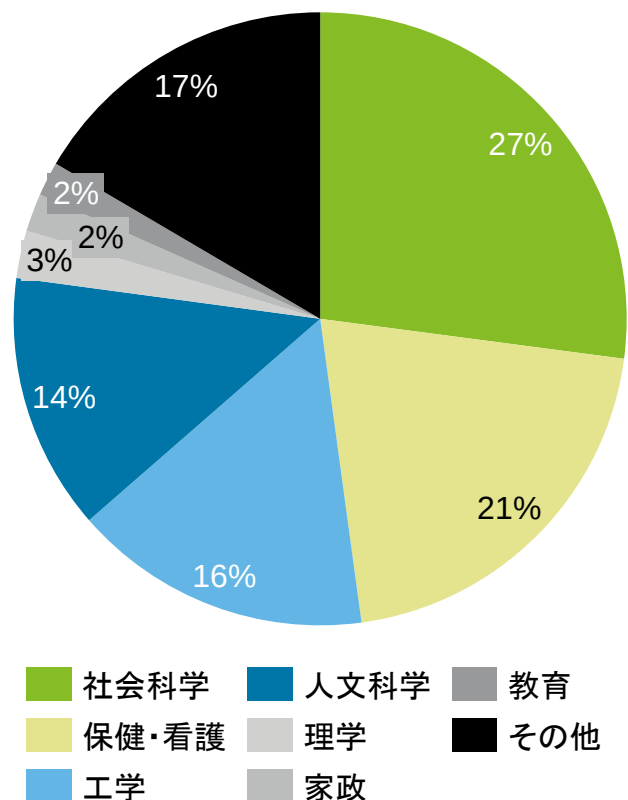
【公立大学の学科別学生数及び新設学部への動向】

学生数は社会科学系学科が多く、近年では情報系、保健・看護系学部の新設がある

関係学科別の学生構成比は社会科学が最も高い27%、次いで保健・看護の21%となっている。また、公立大学における近年の学部新設/再編動向をみると、社会科学系学部の再編や情報系学部、保健・看護系学部の新設がある。

関係学科別学生数の構成比(2019年度)

社会科学系学科に在籍する学生が最も多く、全体の3割程度を占める



近年の学部新設/再編動向(一部抜粋)

大学名	動向	年度	新設/再編学部
長崎県立大学	再編	2016	経済学部→経営/地域創造学部 国際情報学部→ 国際社会/情報システム学部
公立小松大学	大学設置	2018	生産システム科学/保健医療 /国際文化交流学部
山口東京理科大学	新設	2018	薬学部
島根県立大学	新設	2018	人間文化学部
東京都立大学	再編	2018	都市教養学部→ 人文社会/法/経済経営/理学部
都留文科大学	新設	2018	教養学部
長野県立大学	大学設置	2016	グローバルマネジメント学部 健康発達学部
名古屋市立大学	新設	2018	総合生命理学学部
横浜市立大学	新設	2018	データサイエンス学部
富山県立大学	新設	2019	看護学部
兵庫県立大学	再編	2019	経済/経営学部→ 国際商経/社会情報科学部
福知山公立大学	新設	2020	情報学部
新潟県立大学	新設	2020	国際経済学部

出所: 文科省「2019年度学校基本調査」「開設予定大学等一覧」「学部等設置意見お伺い書」「学科系統分類表」、河合塾「新增設大学一覧」、各大学HP

【私立大学の公立化事例】

志願倍率は上昇するが、地域内入学者率は低下傾向。地域内就職者が増加した大学もある

公立化後、入学志願倍率は大きく上昇する一方、地域内入学者率は低下傾向にある。地域内就職率は各大学でばらつきはあるものの、地域内就職者数が増加している大学もある。公立化後に新しい学部を新設する動きもみられる。

公立化した主な私立大学

*1 志願倍率は志願者数/募集人員で計算

*2 緑:市内 黒:地域内 黄:県内

大学名 ()は公立化年度	入学志願倍率(倍) *1			地域内入学者率(下段:人) *2			地域内就職者率(下段:人) *2				募集人員(人)		学部/学群 (赤字は公立化時もしくは公立化後に新設)
	公立化 前年	公立化 初年度	2019 年度	公立化 前年	公立化 初年度	2019 年度	公立化 前年	公立化 初年度	公立化 4年目	2018 年度	公立化 前年	2020 年度	
高知工科大学 (2009)	1.6	12.6	5.0	52.3% (220)	33.0% (171)	30.9% (174)	15.1% (43)	26.0% (56)	19.6% (61)	18.3% (65)	460	520	経済・マネジメント、システム 工、環境理工、情報
静岡文化芸術大学 (2010)	8.7	11.9	5.8	79.8% (288)	69.4% (236)	36.8% (130)	68.1% (194)	73.0% (189)	63.1% (166)	33.8% (93)	300	320	文化政策、デザイン
名桜大学 (2010)	1.2	2.7	4.1	18.8% (71)	24.1% (113)	12.1% (59)	-	-	19.2% (52)	8.3% (29)	455	455	国際、人間健康(ス ポーツ・看護)
鳥取環境大学 (2012)	1.7	10.0	5.9	43.5% (97)	23.6% (70)	15.7% (47)	46.9% (46)	43.7% (45)	21.0% (45)	23.7% (54)	276	276	経営、環境
長岡造形大学 (2014)	1.8	5.7	5.1	8.4% (20)	5.7% (14)	5.1% (13)	16.2% (21)	15.7% (21)	8.9% (16)	6.8% (14)	230	230	造形
福知山公立大学 (2016)	1.5	33.4	5.5	16.7% (6)	29.3% (5)	1.5% (2)	7.1% (3)	15.4% (4)	-	21.1% (4)	50	200	地域経営、情報(2020 年度開設)
山口東京理科大学 (2016)	7.4	23.0	8.3	1.9% (7)	3.2% (7)	3.8% (14)	2.1% (2)	2.1% (2)	-	6.4% (14)	200	320	工、薬
長野大学 (2017)	2.4	10.0	6.3	13.4% (45)	10.5% (38)	5.8% (20)	17.6% (42)	18.2% (44)	-	18.6% (55)	300	340	環境ツーリズム、社会福 祉、企業情報
諏訪東京理科大学 (2018)	5.3	7.9	5.0	4.1% (15)	4.1% (14)	4.2% (13)	18.8% (27)	22.8% (33)	-	22.8% (33)	300	300	工
千歳科学技術大学 (2019)	5.0	10.9		4.0% (11)		2.8% (7)	0.8% (1)		-		240	240	理工

下線は徳山大学が設置検討している分野と同系統

※ 新潟産業大学でも公立化検討が行われたが、柏崎市は大学の将来構想が不十分であると結論付け、公立化を断念した(平成30年2月)

出所: 文部科学省「私立学校の公立化に際しての経済上の影響分析及び公立化効果の見える化に関するデータ」、各大学HP

【私立大学の公立化事例】

徳山大学が検討している同系統の学部学科を設置する公立化した大学も多い

公立化した私立大学のうち、徳山大学が設置を検討している経済経営、看護、情報科学、スポーツ健康・福祉に同系統の学部学科を設置している例は多い。いずれも高い志願倍率となっている。

徳山大学が設置を検討している学部学科と同系統の学部学科

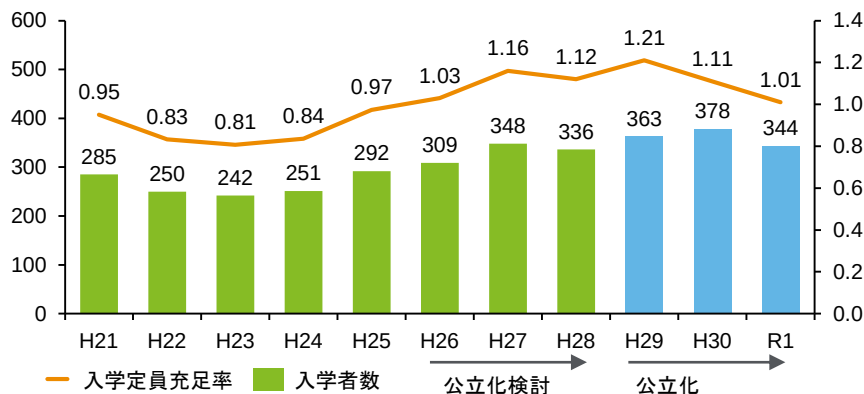
大学名	学部/学群 学科	入学定員	志願者数			志願倍率			入学者数			備考
			2018	2019	2020	2018	2019	2020	2018	2019	2020	
高知工科大学	情報学群	100	554	427	553	5.5	4.3	5.5	112	114	102	
	経済・マネジメント学群	160	804	729	716	5.0	4.6	4.5	186	166	165	
名城大学	人間健康学部(スポーツ健康学科)	95	416	439	455	4.4	4.6	4.8	102	102	100	
	人間健康学部(看護学科)	80	359	312	322	4.5	3.9	4.0	82	87	83	
鳥取環境大学	経営学部経営学科	138	1,129	985	805	8.2	7.1	5.8	142	158	154	
福知山公立大学	地域経営学部(地域経営学科)	75	386	447	396	4.1	4.7	5.3	93	101	79	
	地域経営学部(医療福祉経営学科)	25	375	218	114	15.0	8.7	4.6	27	31	25	
	情報学部	100	-	-	233			2.3	-	-	108	2020年度新設
長野大学	企業情報	95	651	648	528	6.9	6.8	5.6	105	95	99	
	社会福祉学部	150	709	866	638	4.7	5.8	4.3	164	150	150	

【公立大学法人長野大学】

長野大学は、上田市が設置する文系中心の大学であり、2017年に公立化している

大学概要

設置自治体	上田市	標準財政規模	400.9億円
公立化年度	2017年4月(H29)	公立化前金融資産	53億円(H26末)
学部構成	社会福祉学部(150人→150人) 環境ツーリズム学部(75人→95人) 企業情報学部(75人→95人)		



公立化時・公立化後の特徴的な取組

- 「地域枠」(上田地域定住自立圏域優先枠・長野県内高校在籍者優先枠)
 - ・ 推薦入試の募集人員の6割(計60名、入学定員の2割弱(60/340))
- 「地域づくり総合センター」を創設。産業界・地域団体と協業
 - ・ 大学授業「信州学・信州上田学講座」、人材育成事業「上田未来会議」、小中高大連携事業「ライフステージごとの信州上田学」など
- 将来的な学部再編を検討中
 - ・ 社会福祉系の大学院の設置、社会福祉学部の再編(福祉心理など)
 - ・ 企業情報学部と環境ツーリズム学部の再編(経営系・社会資源創造系)
 - ・ 理工学系の設置検討(情報・デザイン系、生物資源系)

	公立化2年前 H27	前年 H28	公立化初年度 H29	2年目 H30	3年目 R1
①入学志願倍率(a/b)	1.9倍	2.4倍	10.0倍	5.8倍	6.3倍
志願者(a)	578人	706人	2998人	1970人	2157人
募集人員(b)	300人	300人	300人	340人	340人
入学者	348人	336人	363人	378人	344人
入学定員充足率	1.16倍	1.12倍	1.21倍	1.11倍	1.01倍
②設置団体の地域内入学率	15.5%	13.4%	10.5%	5.8%	5.8%
上田定住自立圏入学率 ※1	21.6%	18.5%	14.0%	9.0%	8.4%
県内入学率	76.7%	74.7%	52.1%	33.3%	29.1%
③収容定員充足率	0.99倍	1.06倍	1.10倍	1.14倍	1.10倍
在籍者	1251人	1340人	1399人	1477人	1457人
収容定員	1270人	1270人	1270人	1300人	1330人
④設置団体の地域内就職率	13.5%	17.6%	18.2%	18.6%	-
上田定住自立圏就職者率	19.9%	23.9%	23.6%	24.3%	-
県内就職者率	71.9%	77.7%	79.3%	75.0%	-
運営交付金(A) 千円 ※2	97,307	138,162	288,194	299,855	308,348
自己収入等(B) 千円	-	-	1,115,474	1,110,709	1,270,802
①自己収入(B-C-D) ※3	1,268,620	1,423,624	1,085,205	1,073,080	1,228,846
資産見返運営費交付金等戻入(C)	-	-	1,337	7,881	13,954
資産見返寄付戻入(D)	-	-	28,932	29,748	28,002
②収入(A+①) 千円 ※4	1,365,927	1,561,786	1,373,399	1,372,935	1,537,194
③行政サービス実施コスト 千円 ※5	6,661	6,442	267,948	253,518	273,978
④人口 ※6	156827人	156383人	155715人	155323人	157143人
自己収入率(①/②)	92.3%	90.8%	79.0%	78.2%	79.9%
地域住民一人当たり負担額(③/④)	-	-	1.7千円	1.6千円	1.7千円

- ※1 上田地域定住自立圏:上田市、東御市、青木村、長和町、立科町、坂城町、嬭恋村
 ※2 学校法人時点は、私学助成金を計上
 ※3 学校法人時点は、(②収入)-(③行政サービスコスト)
 ※4 学校法人時点は、帰属収入合計を計上
 ※5 学校法人時点は、設立団体からの補助金を計上
 ※6 福知山市人口・世帯集計表(上田市HP、毎年10月1日時点)

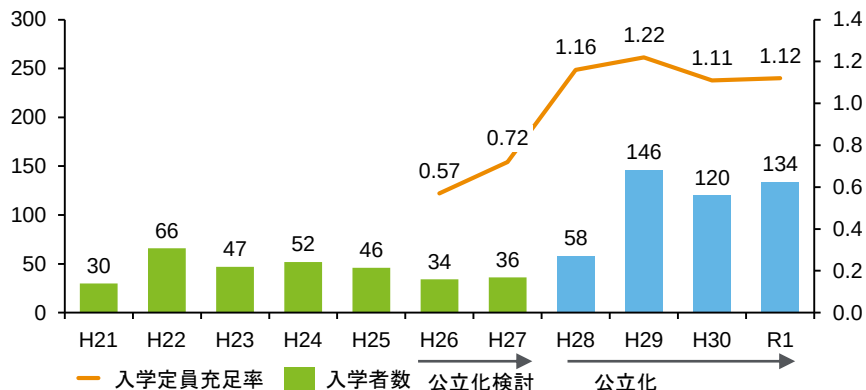
出所:文部科学省「私立学校の公立化に際しての経済上の影響分析及び公立化効果の見える化に関するデータ」、長野大学・上田市HP

【公立大学法人福知山公立大学】

福知山公立大学は、福知山市が設置する大学であり、2016年に公立化している

大学概要

設置自治体	福知山市	標準財政規模	236.6億円
公立化年度	2016年4月(H28)	公立化前金融資産	1.6億円*法人全体
学部構成	地域経営学部(公立化後に経営情報学部から名称変更) 地域経営学科 (40人→95人→75人) 医療福祉経営学科(10人→25人→25人) 情報学部情報学科 (R2新設 100人)		



公立化時・公立化後の特徴的な取組

- 公立化時に教員を大幅に入れ替え
 - ・ 教員23名のうち14名を新規採用(移籍は希望者17名のうち9名)
- 公立化後の2020年度に情報学部を新設
 - ・ 『教育のまち福知山「学びの拠点」基本構想』、『「知の拠点」整備構想』に基づき、2020年度に情報学部を新設
- 『教育のまち福知山「学びの拠点」基本構想』、『「知の拠点」整備構想』
 - ・ 隣接する京都工芸繊維大学福知山キャンパスとの連携により地域人材の育成・定着化、産業創出により地域の活性化を図る
- 北近畿地域連携機構を設置し、企業・行政との地域連携を推進
- 「地域枠」(12名、三たん地域)

	公立化2年前 H26	前年 H27	公立化初年度 H28	2年目 H29	3年目 H30	3年目 R1
①入学志願倍率(a/b)	0.7倍	1.5倍	33.4倍	7.7倍	6.3倍	5.5倍
志願者(a)	40人	73人	1669人	926人	761人	665人
募集人員(b)	60人	50人	50人	120人	120人	120人
入学者	34人	36人	58人	146人	120人	134人
入学定員充足率	0.57倍	0.72倍	1.16倍	1.22倍	1.00倍	1.12倍
②設置団体の地域内入学率	14.7%	16.7%	8.6%	2.7%	0.8%	1.5%
三たん地域内入学率 ※1	23.5%	25.0%	29.3%	7.5%	13.3%	9.7%
府内入学率	50.0%	50.0%	53.4%	15.8%	21.7%	19.4%
③収容定員充足率	0.47倍	0.51倍	0.58倍	0.91倍	1.03倍	1.11倍
在籍者	169人	156人	148人	267人	366人	469人
収容定員	360人	307人	254人	294人	354人	424人
④設置団体の地域内就職率	3.7%	7.1%	15.4%	13.0%	21.1%	-
府内就職者率	22.2%	21.4%	30.8%	17.4%	36.8%	-
運営交付金(A) 千円 ※2	45,082	40,819	309,812	307,080	282,104	279,248
自己収入等(B) 千円	-	-	177,801	206,262	257,871	368,297
①自己収入(B-C-D) ※3	1,401,444	1,405,277	171,015	199,299	248,862	359,046
資産見返運営費交付金等戻入(C)	-	-	7	184	1,238	2,730
資産見返寄付戻入(D)	-	-	6,779	6,779	7,771	6,521
②収入(A+①) 千円 ※4	1,446,526	1,446,096	480,827	506,379	530,966	638,294
③行政サービス実施コスト 千円 ※5	1,051	44,440	404,353	445,249	419,480	499,780
④人口 ※6	80781人	80076人	79602人	79144人	78532人	77741人
自己収入率(①/②)	92.3%	90.8%	79.0%	39.4%	46.9%	56.3%
地域住民一人当たり負担額(③/④)	-	0.6千円	5.1千円	5.6千円	5.3千円	6.4千円

※1 京都府(福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、京丹波町、伊根町、与謝野町)

兵庫県(豊岡市、篠山市、養父市、丹波市、朝来市、香美町、新温泉町)

※2 学校法人時点は、私学助成金を計上

※3 学校法人時点は、(②収入)-(①運営費交付金(A))-(③行政サービスコスト)

※4 学校法人時点は、帰属収入合計を計上

※5 学校法人時点は、設立団体からの補助金を計上

※6 福知山市人口・世帯集計表(福知山市HP、毎年9月末時点)

出所: 文部科学省「私立学校の公立化に際しての経済上の影響分析及び公立化効果の見える化に関するデータ」、福知山市・福知山公立大学HP

【徳山大学の公立化に対する地元事業者の期待-事業者アンケート】

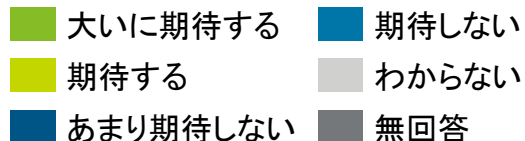
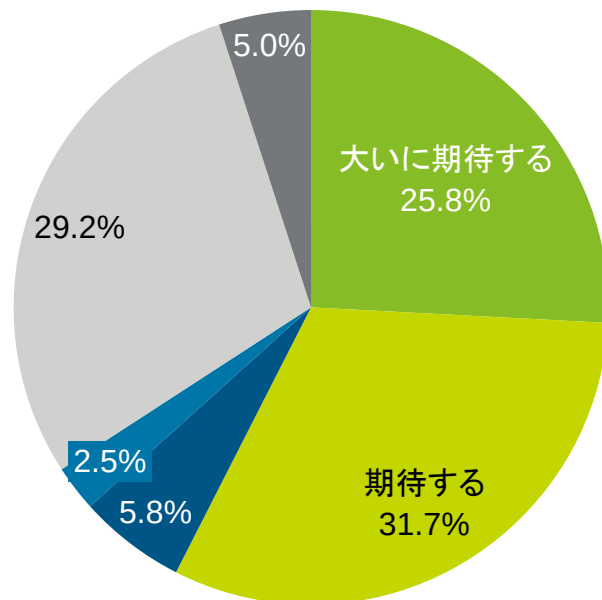
6割の事業者が公立化に期待しているが、公立化を懸念する声もある

事業者アンケートに回答頂いた120社の約6割が公立化に期待しており、優秀な学生の地元就職や地域の活性化・持続的発展を望む回答が多い。他方、大学の方向性や設置学科、公立化を懸念する声もある。

公立化に対する地元事業者の期待

回答頂いた120社中、58%(69/120社)が公立化に期待している

Q: 徳山大学の公立化に期待するか(n=120)



公立化に対する意見

期待
する

■ 学力水準が向上し、優秀な学生の地元定着への期待

- 公立化により、周南地区や山口県内からの入学者数が大きく増加することが期待される。また、大学の偏差値レベルが上がり、優秀な学生の入学者数が増え、優秀な学生の地元就職数が大きく増加すると期待される(金融・保険)
- 公立化により、より多くの優秀な学生が集まる事が期待でき、より優秀な学生の採用につながる(サービス)

■ 地域の活性化、持続的発展への期待

- 若い力が地域に貢献することは地域の活性化・持続的発展につながる(建設)
- 公立化により、全国から志望者が増えれば若者も増え、地域が活性化する(情報・通信)

わから
ない

■ 大学の方向性に対する懸念

- 地域貢献にどのような影響を及ぼすのか現時点では見えない。そもそも大学として取り組んでいた地域貢献活動が公立化により何が変化しそうなのかを知りたい(医療・福祉)
- 地域への貢献、地域との共存という点では大いに期待するが、その手段は公立化だけではないと思う(サービス)

期待
しない

■ 学力レベル・設置学科に対する懸念

- 高校生が期待する大学レベルに至っていない(交通・運輸)
- 製造業中心の地域において、文系学科のニーズはあまりないのではないか(製造)

■ 公立化そのものに対する懸念

- 優秀な学生が集まり、地域で活躍してくれる若者が増えてくれることは喜ばしい事だが、公立化ありきではないと思う。現段階ではリスクの方がはるかに大きいと思う(製造)
- 私立大学のままでも発展できるのではないか(サービス)

【徳山大学の公立化に対する地元高校生の期待-徳山大学による受容性調査】

3割の生徒が、公立化した徳山大学を進学先として興味・関心を持っている

徳山大学が実施した県内高校生の受容性調査(中間集計)によると、5%の生徒が進学先として「公立化した徳山大学」に「興味・関心がある」、25%が「やや興味・関心がある」との結果であった。なお、回答者の約30%が理系志向である。

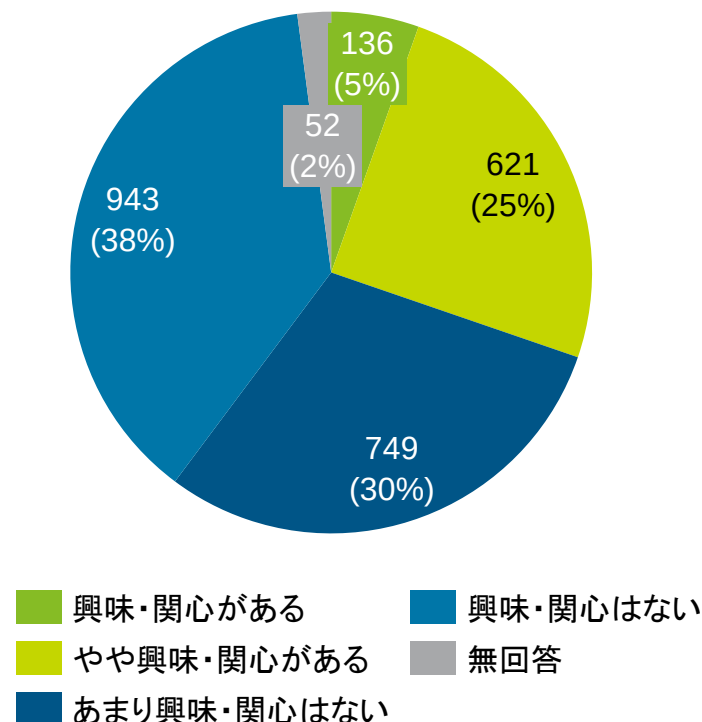
受容性調査の概要

概要	■ 徳山大学が「大学の改組」に関する高校生の受容性を調査したアンケート ※ 本資料では、中間集計(9月14日時点で集計完了分)時点での結果を使用した
調査対象	■ 山口県内の高校19校に在籍する生徒2,897名
設置種別	■ 県立:60.9%、私立:39.1%
学科	■ 普通科:94.9%、総合学科:5.1%
文/理	■ 文系:40.1%、理系:28.9%、あてはまらない:28.3%、無回答:2.7%
性別	■ 男性:50.8%、女性:48.5%、無回答:0.7%
居住地区	■ 周南地区35.4%、山口・防府地区:27.0%、岩国・柳井地区21.1%、下関地区8.5%、宇部・小野田地区5.8%、萩・長門地区0.3%

地元高校生の期待(興味・関心)

回答者の3割が進学先として興味・関心を持っている

Q:「公立化した徳山大学」に進学先として興味・関心がありますか。
(N=2,501、1つだけ回答可能)



出所: 徳山大学公立化改組受容性調査中間集計

徳山大学の将来構想について

【徳山大学の課題と解決策の方向性】

地域入学・就職率の向上策、体育奨学生・留学生の奨学費の縮小等を検討している

地域入学・就職率は低く、地域にとって「魅力ある大学」になりえていない。また、体育奨学生・留学生の奨学費負担により支出超過となっている。これらに対し、地域入学者・就職者の向上策や学費減免制度の縮小等の対応策を検討している。

徳山大学が抱える課題と解決策の方向性

項目	現状と課題	解決策の方向性
地域からの入学者比率	周南市内及び周南広域圏(周南市・下松市・光市)からの入学者率は直近5年間平均でそれぞれ4.3%、8.7%と低値であり、地域の大学進学者にとって「魅力ある大学」になっていない	■ 入学者に占める地域入学者を30%にする ➢ 周南市内からの志願者・入学者が増加する為の施策を実施する
地域の求める人財の育成と定着	周南市内及び山口県内への就職率は直近5年間平均でそれぞれ9.9%、27%と低値であり、卒業者の地域への就職者数が多いとはいえない	■ 就職希望学生に占める地域就職者を40%にする ➢ 企業や行政との情報共有や教員の研究力の活用により、地域の求める人財の明確化と教育プログラムの開発、人財育成の仕組みを強化
地域連携活動に対する認知度と効果	大学が実施する地域ゼミ、高大連携事業などの地域貢献活動は実施しているが、その認知度は高くない	■ 積極的な広報や研究力を活かした活動を推進 ➢ 「地域のエンジン」となる大学の使命を果たすため、積極的な広報や大学の研究リソースを用いた地域連携活動や産学連携活動を強力に推進
経営活動に関する課題	- 純資産96億円、金融資産53億円を保有し、無借金状態であり、将来の校舎等の施設整備に対する一定の投資余力を保持している - 近年は入学定員及び収容定員をほぼ満たしているが、体育奨学生や外国人留学生に対する奨学費負担により支出超過になっている	■ 奨学費など学費減免制度の縮小を検討 ➢ スポーツ振興や多文化共生キャンパスのメリットを検証し、奨学費など学費減免制度の縮小を検討 ■ キャンパス整備の検討 ➢ 学生の意見を取り入れ、老朽化した校舎の改修や中心市街地への第二キャンパス設置を検討

出所：徳山大学「徳山大学の現状と大学改革および将来像」

【改革の全体像】

「教育を通じた社会貢献」等の改革を掲げ、入学者確保のあり方等を再考している

「教育を通じた社会貢献」「IR活動に基づく教学および他の事業運営のマネジメント強化」「研究を通じた社会貢献」「地域共創センターの設置」の改革を掲げ、入学者確保の在り方等を再考している。

改革の全体像

教育を通じた社会貢献

■ 入学者の安定的な確保

- 魅力ある学部・学科の設置
- 学修成果の見える化
 - ✓ 思考力と人間力育成を目指したEQ教育などの評価を早急に実施
- キャンパスの整備
 - ✓ 老朽化した校舎や未利用設備について、学生の意見を取り入れつつ、キャンパス整備を進める。現キャンパスに加え、中心市街地に第二キャンパスを設けるなど、まちづくりの要素とすることも検討
- スポーツ・文化活動の魅力強化
 - ✓ 徳山大学における学生スポーツや課外活動の在り方を再考
- 留学生の獲得
 - ✓ 今年度上半期中に留学生の在り方を見直し、国際化戦略に繋げる

■ 地域からの入学者増加（地域入学者率 2019年度：8.4%^{*1} ⇒ 目標：30%）

- 高大連携の強化
 - ✓ ビジットプログラムの実施やWeb講義への参加などを呼びかける
- 地域推薦枠の設定
- 首都圏・近隣都市・海外大学とのジョイントプログラムの開発
 - ✓ 徳山大学在学中に都市圏や海外での教育を経験できるジョイントプログラムを開発し、徳山大学を選択する際の魅力の一つとする
- 広報戦略の強化

■ 卒業生の地域定着促進（地域就職率 2018年度：10.5%^{*2} ⇒ 目標：40%）

- Community Based Learningの強化、インターンシップの必修化
- 地域業界別キャリアアドバイザープログラムの実施
 - ✓ 地域の実務家教員による現場の視点や経験を教育プログラムへ反映させ、学生の希望する業界への就職を支援する

IR活動に基づく教学および他の事業運営のマネジメント強化

■ 学内データの収集・分析を強化

- 学内データの収集・分析を強化し、得られたデータに基づいた経営改善や広報活動、学生支援、教学の質的向上を目指す
- ※ 2020年4月からは、IR、戦略立案ならびに広報を担当する学長補佐を配置

研究を通じた社会貢献

■ 研究力の強化

- 研究力に関わるKPIを今年度中に定めて、教員の教育・研究力の強化を図りつつ、優れた実績を有する教員のリクルートを進める

■ 人文社会系分野の産学官連携の強化

- 社会科学系の研究リソースや特性を生かして、地域産業動向調査などの様々な場面で地域企業や自治体との連携に積極的に取り組む

■ 地域の成長エンジンとしての産学官連携の推進

- 「産学連携 周南創生コンソーシアム」を活用し、参加企業・機関に向けた研修や共同研究などを企画運営する

■ 地域の高等教育機関との戦略的連携強化

- 徳山高専と連携し、教育・研究機能を共有・強化することで地域の産業界や行政と効果的な産学連携を実施する

■ 学部・学科や大学院の新設及び研究の充実

- 高い研究力を基盤にした科学研究費などの補助金や受託事業費の獲得、産学連携活動を通じた外部資金の獲得を目指す

徳山大学地域共創センターの設置

- 教育ならびに研究を通じた社会貢献を産業界、行政、教育機関と一体となって連携する際の窓口を設立。産学官連携、新産業創出などをワンストップで行う専任ならびに兼任の教職員を配置

^{*1}: 周南広域圏（周南市・下松市・光市）からの入学者率 ^{*2}: 市内就職率

出所：徳山大学「徳山大学の現状と大学改革および将来像」

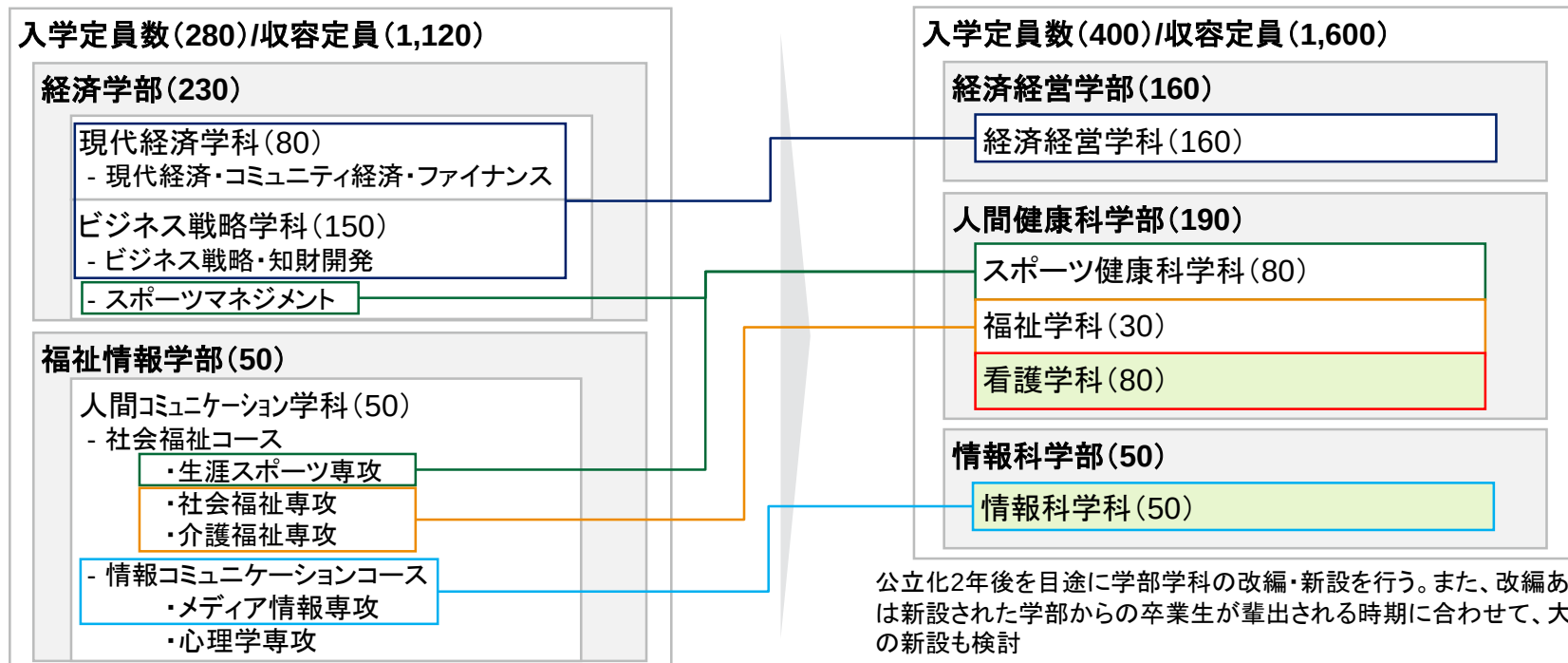
【魅力ある学部・学科の設置】

現在の学部学科を改編し、新たに看護学科・情報科学部を新設することを掲げている

学部学科の改編や看護学科・情報科学部の新設により、3学部5学科体制へ移行することを掲げている。また、学部学科の改編・新設により、入学定員は120名増の400名、収容定員は480名増の1,600名とすることを掲げている。

徳山大学が検討している新たな学部学科構成の概要

看護学科	既存の社会福祉士・介護福祉士養成課程に加え、<u>看護師養成のための看護学科を新設</u>することで、地域の医療現場でリーダーシップを取ることのできる看護師の養成とともに、教育研究者として次世代の看護人財の育成や看護学の発展を担う人材の育成を行う
情報科学部	<u>既存のメディア情報専攻の情報数理・データサイエンス・AI教育プログラムを充実するとともに、情報科学に関するプログラムや陣容を強化し、山口県で初めての独立した情報系学部として設置する</u> - データサイエンスをベースとして他学部と学部横断的な教育や研究を実施し、相乗効果を発揮する



【魅力ある学部・学科の設置】

3学部が有機的に連携し、専門領域の学びに加え学際的な学びの提供を構想している

公立化2年後を目途に開設を構想している3学部5学科

経済経営学部 経済経営学科

地域社会の発展のために経済と経営を生かす

経済学と経営学を合わせて学ぶ

広い視野を持ち地域で活躍できる人財の育成をめざします。1、2年次に経済と経営の基礎を獲得した後に、多様なテーマを専門的に学べる5つのコースに進みます。

複数のコースに分かれて専門性を深める

経営に必要な情報の収集と分析力を養う経営情報コース、グローバルな地域間の結びつきを学ぶ地域経済コースなどから希望のコースを選択することができます。



こんな
キミに

・経済と経営を基礎から実践までしっかり学びたい
・まちに飛び出し、フィールドワークをしたい

情報科学部 情報科学科

持続可能な地域産業を創るエキスパートになる

データサイエンスによって
地域を活性化する

地域社会・産業の持続・発展のためにビッグデータを活用し寄与できるデータサイエンティストになる能力を身につけます。

Society 5.0時代のエンジニアを育てる

AI技術等の情報科学を駆使して、私たちの町を来るべきSociety 5.0に対応させICT化を進める人財をめざします。



こんな
キミに

・地域のICT化を引っ張っていく人になりたい
・高度な情報科学技術を習得したい、時代の最先端の学びがしたい

人間健康科学部

スポーツ健康科学科

公立大学では珍しいスポーツ・健康科学を中心に学ぶ

スポーツを科学し、
スポーツ社会の構築に携わる人財になる

スポーツをレクリエーション、介護予防など様々な角度から捉え、スポーツ社会構築に携わる人財をめざします。保健体育教諭になるコースも設置します。

“生涯スポーツ”を学ぶ

生涯スポーツとは、いつでも、誰でもが気軽にスポーツに参加できるようにする取り組みです。すべての人が楽しみながら健康になる方法を研究します。



こんな
キミに

・子どもたちにスポーツを教える専門的な知識を身につけた体育教員になりたい
・身体を動かすことが好きで、地域を元気にする取り組みがしたい

看護学科

山口県東部待望の4年制大学看護学科で学ぶ

総合的な看護を提供する力を身につける

疾病構造の変化や超少子高齢化の進展に伴って複雑化・多様化する医療・介護提供体制に対応するために課題発見解決力など、総合的な能力を身につけます。

地域医療のリーダーとして活躍する

看護師としての総合的な能力に加えて、他の資格をめざす仲間と一緒に学びます。そしてチーム医療(多職種協働)の核になる力を身につけます。



こんな
キミに

・大学4年間でしっかり学び、将来は看護師として地域で活躍したい
・地元の医療を支えるため、地域のこともしっかり学びたい

福祉学科

複雑化・多様化する福祉現場で活躍できる人財に

地域での生活を創る人財になる

大きく変化する社会環境の中で、その人らしい生活を創ることをお手伝いする福祉の手法を学び、介護福祉士や社会福祉士国家資格の取得をめざします。



地域が生活を支える仕組みをつくる

すべての人が自分らしく暮らし続けられる地域をつくる専門職になります。医療や予防など地域をつくる視点を他の資格をめざす仲間と一緒に学びます。

こんな
キミに

・誰かの役に立つ仕事に興味がある、将来は福祉の現場で働きたい
・地域と連携した実践的な福祉を学びたい

【課題解決に資する主な取組(一部抜粋)】

奨学金による支出超過解消、地元入学・就職率向上に資する取組を検討している

徳山大学における学生スポーツや留学生のあり方を見直すとともにキャンパス整備、高大連携の強化、インターンシップの必修化等、地元入学・就職率向上に資する取組を検討している。

主な取組(一部抜粋)

主な取組	基本的な考え方	現状と具体的な課題	課題解決の方向性
スポーツ・文化活動の魅力強化	スポーツや文化活動などの課外活動も大学生活の重要な要素であり、受験者が大学を選択する際にも重要である	- 課外活動を強化クラブとして指定しているが、奨学金負担が大きく、財政的負担になっている - 強化クラブの多くが全国レベルで活躍をしているが、周南市における知名度は高くない	2020年3月の周南市学生スポーツ連盟の設置を機に、徳山大学における学生スポーツのあり方を再考する - 徳山大学における活動が周南市における文化の創造に寄与するという観点から、課外活動の在り方自体についても検討する
留学生の獲得	留学生の存在は、徳山大学におけるグローバル化にとって多文化共生型教育環境の構築という意義を持つ	- 日本語能力や経済的問題等で勉学を継続する上での課題が多く、極めて高い退学率の一因である 留学生募集費用や奨学金給付が財政的負担になっている	2020年度上半期中に徳山大学における留学生のあり方を見直し、2021年度の学生募集ならびに国際化戦略につなげる
キャンパスの整備	高校生にとって魅力があり、中高年者の学び直しの場として居心地の良いキャンパスを整備する	耐用年数を経過し、老朽化した校舎もあり、利用されていない設備も存在する	速やかに大学設置基準に照らして必要な施設設備整備案を作成する - 施設設備整備は保有する金融資産の範囲内でおこなうことを基本とする
高大連携の強化	周南市、周南広域圏からの入学生を増やす為に地元高校生が大学教育に触れる機会を提供する	地域ゼミや高大連携出前講義などの高大連携活動を進めているが、認知度や効果は高くない	- 高校の生徒や教員に徳山大学をより知ってもらう為に「大学の普段の一日」を体験してもらう - コロナ感染対策として取り入れたWeb講義の参加や地域連携活動への参加を呼びかける
インターンシップの必修化	インターンシップを必修化することで、地域の企業とのマッチングの機会を増やす	2018年度は140名、2019年度は161名がインターンシップに参加したが、地域企業への就職者数は多くはない	「産学連携 周南創生コンソーシアム」を窓口に関し、商工会議所や行政の支援を受けながら、受け入れ企業の開拓やプログラムの策定を行う

新たな学部・学科の検討

【社会ニーズ-国や企業が求める人材】

コミュニケーション能力・主体性・多様性など普遍的な能力を持つ人材を求めている

国はデータサイエンス等の基礎的リテラシーに加え、論理的思考力やコミュニケーション能力など普遍的な能力を持つ人材を求めている。企業でも同様に、コミュニケーション能力・主体性といった普遍的な能力を持つ人材を求めている。

2040年の展望と高等教育が目指すべき姿

● 必要とされる人材像

大量のデータを扱い、新たな価値を創造する人材

- 読解力や数学的思考力を含む基礎的で普遍的な知識・理解等に加えて、**数理・データサイエンス等の基礎的リテラシーを持ち、正しく大量のデータを扱い、新たな価値を創造する能力を有する人材**

幅広い教養・論理的思考力を持ち、積極的に社会を改善する人材

- 専攻分野についての専門性を有するだけではなく、思考力・判断力・俯瞰力・表現力の基盤の上に、**幅広い教養を身に着け、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、論理的思考力を持って社会を改善していく資質を有する人材**

コミュニケーション能力・多様性を持ち、様々な分野で活躍する人材

- 変化を受容し、ジレンマを克服することも含めた**コミュニケーション能力を持ち、様々な分野で多様性を持って活躍できる人材**

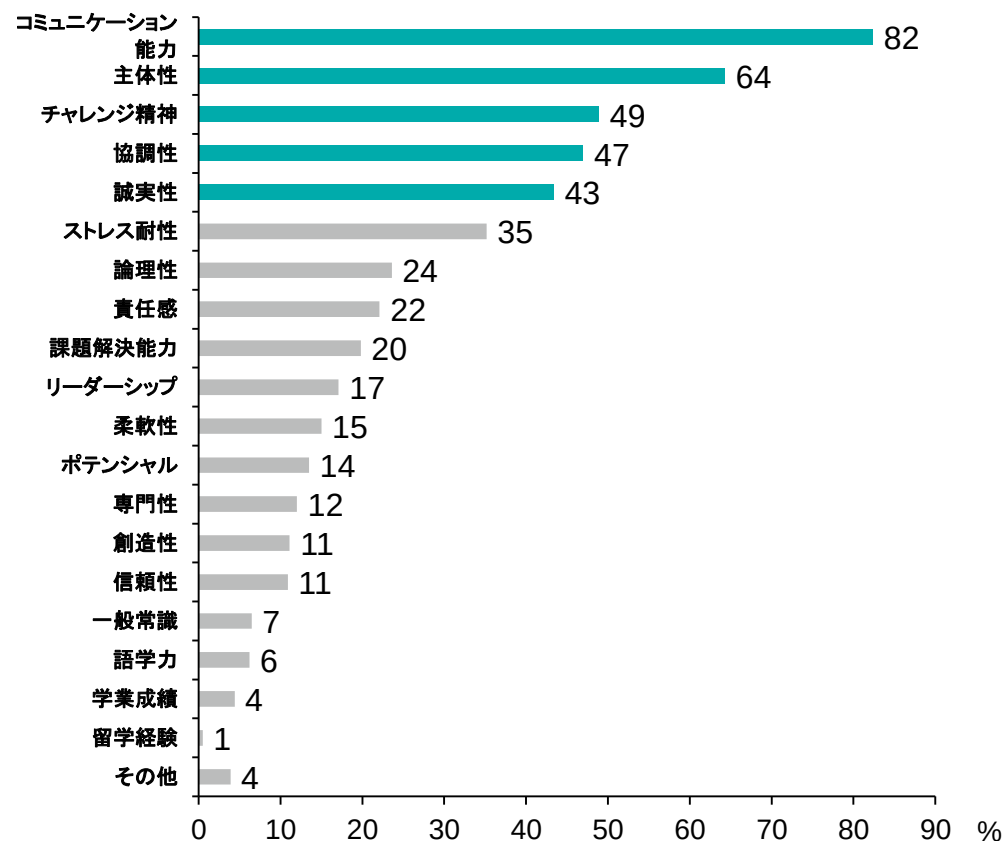
● 高等教育が目指すべき姿

学修者本位への教育への転換

- 「何を教えた」から「何を学び、身に着けることができたか」への転換
- 期末試験での評価で進級・卒業するという学年主義的・形式的システムではなく、**個々人の学修の達成状況がより可視化されるシステム**
- **学修者が生涯学び続けられるための多様で柔軟な仕組みと流動性**

企業が新卒採用時に重視する要素

経団連 2018年度調査「選考にあたって特に重視した点(20項目中5項目選択)」
回答社数: 経団連企業会員597社(製造業42.4%、非製造業55.9%、不明1.7%)



出所: 中央教育審議会「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」、経団連「2018年度 新卒採用に関するアンケート調査」

【社会ニーズ-近年の学部・学科新設動向】

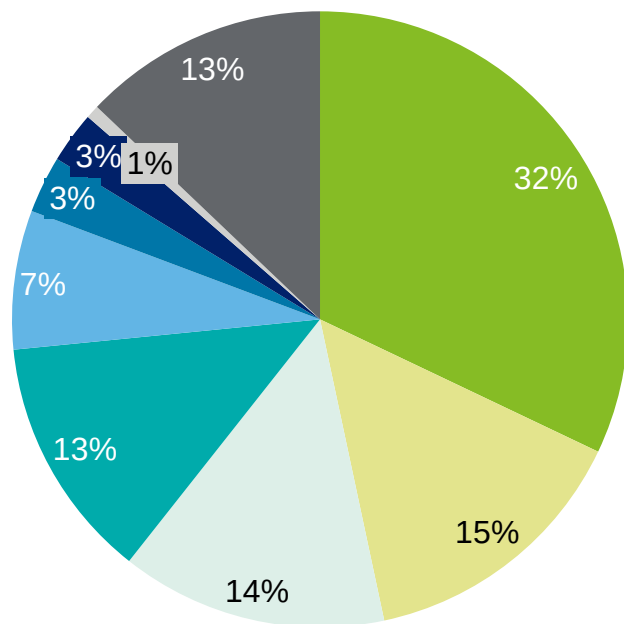
学生数は社会科学が多いものの、近年では保健・看護の開設が増加している

関係学科別の学生構成比は社会科学が最も高い32%、次いで工学の15%となっている。他方、2009年度以降に開設および2021年度に開設予定の学部構成比を見てみると、保健・看護が30%と最も高くなっている。

関係学科別学生数の構成比(2019年度)

社会科学に在籍する学生が最も多く、全体の3割以上を占める

- 2019年度の学校基本調査(文科省)の関係学科別学生数をグラフ化

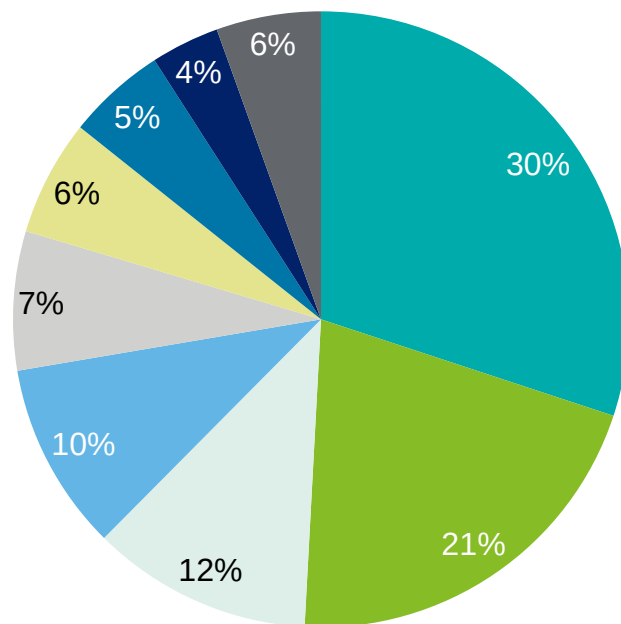


社会科学 工学 人文科学 保健・看護 教育 理学 家政 国際関係 その他

開設(予定)学部数の系統別構成比(2009-21年度)

2009年度以降は保健・看護の新設が多く、開設数全体の3割を占める

- 2009-18年度開設予定大学等一覧、2018-20年度学部等設置意見お伺い書(文科省)、2019-21年度学部新設動向(河合塾)を基に系統別に集計
 - 2009年度以降設置学部数:622学部、2021年度設置予定学部:53学部
- *ただし、純粋な新設だけでなく、学部再編・名称変更等を実施した学部も含む



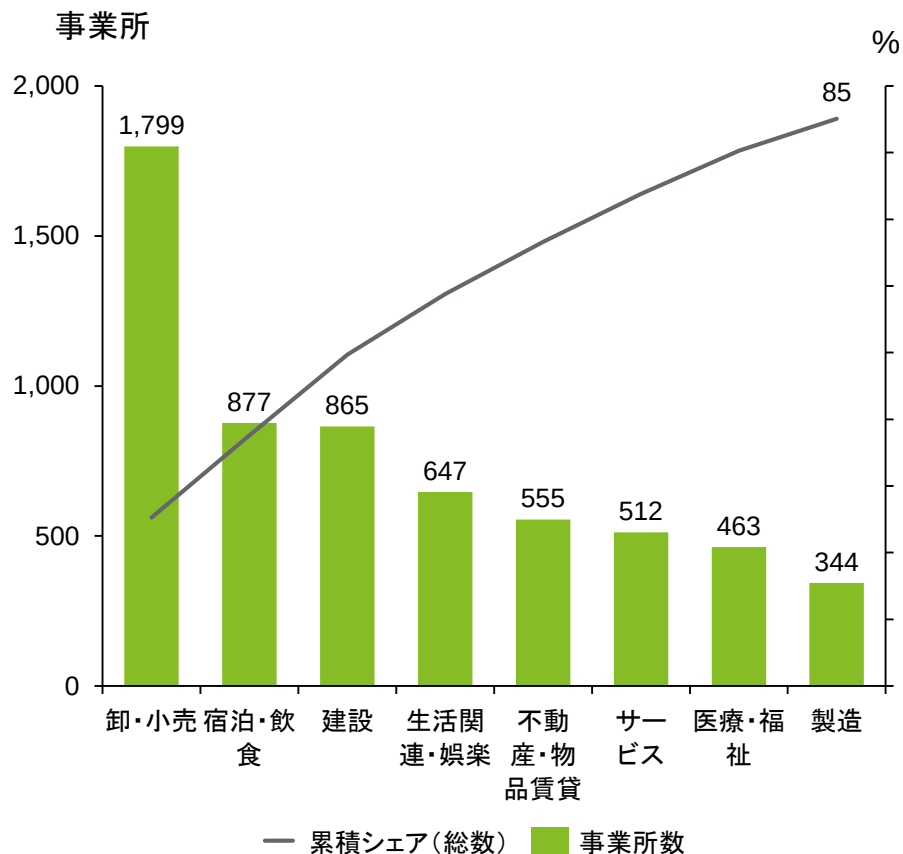
出所:文科省「2019年度学校基本調査」「開設予定大学等一覧」「学部等設置意見お伺い書」「学科系統分類表」、河合塾「新增設大学一覧」

【地域ニーズ-周南市の産業構造】

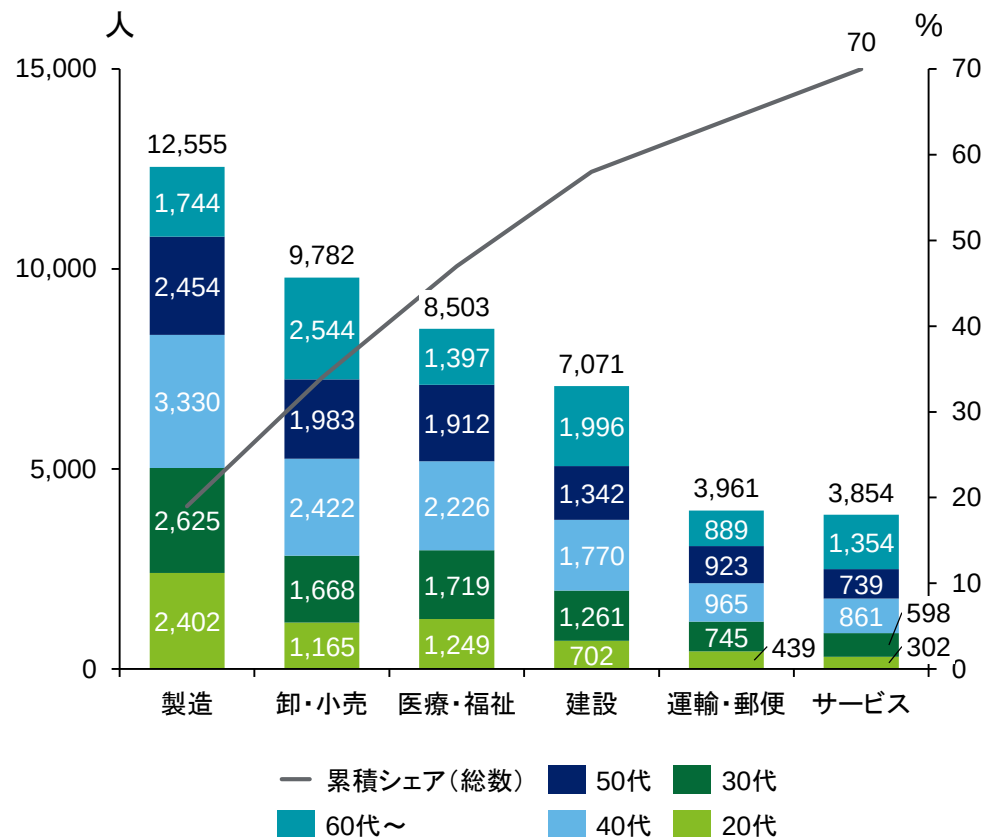
事業所数は卸・小売が25%を占めるが、就業者数では製造が最も多く約20%となる

事業所数では、卸・小売が最も多く、次いで宿泊・飲食、建設が多いが小規模事業者も多く、就業者数でみると製造が約20%を占めている。製造は20～30代の就業者のうち40%と、就業先として大きな役割を担っている。

周南市 産業大分類 事業所数(上位8分類)



周南市 産業大分類 就業者数(上位6分類)



出所: 周南市「統計書」

20 総務省「平成27年国勢調査就業状態等基本集計」

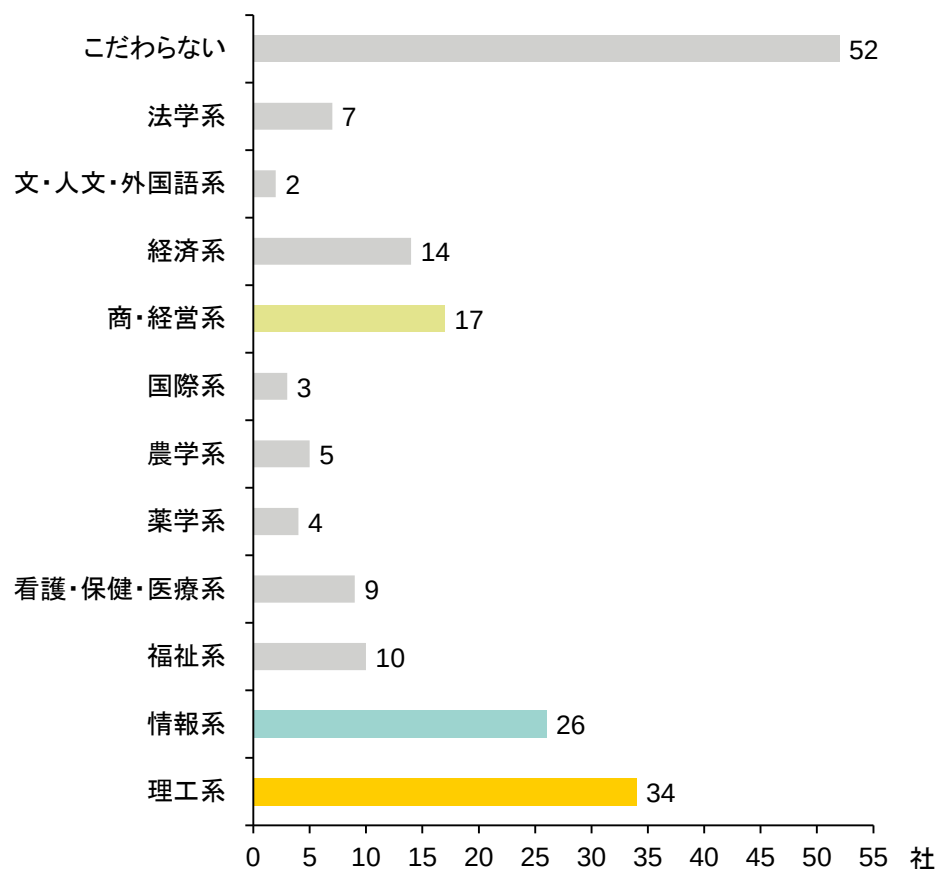
【地域ニーズ-事業者アンケート結果①】

理工、情報、商・経営、経済系学部を専攻した学生の採用を望む企業が多い

採用を望む人材/専攻について、理工系、情報系、商・経営、経済系を専攻した人材の採用を望むと回答した企業が多い。理工系学生は主に製造・建設業が採用を望んでいるが、情報、商・経営系学生は幅広い業種で採用を望んでいる。

採用を望む人材/専攻

Q: 採用にあたり、望む人材/専攻 (n=102、3学部まで回答可能)



回答数が多い人材/専攻の特徴

主に製造・建設業の企業が理工系学生の採用を望んでいる

- 理工系学生の採用を望む企業34社の業種内訳は、製造業が12社(35%)、建設業が9社(26%)となっており、**製造・建設業の企業で全体の約60%**を占めている
- 採用実績(過去3年平均)では、1名未満、1-2名がそれぞれ13社(38%)と**採用人数が2名未満の企業が全体の70%以上**を占めており、3-4名が5社、5-9名が1社、20名以上が2社となっている

幅広い業種(医療を含む)で情報系学生の採用を望んでいる

- 情報系学生の採用を望む企業26社の内訳は、金融・保険1社、交通・運輸3社、サービス4社、卸・小売3社、情報・通信4社、医療・福祉2社、建設3社、製造6社と**幅広い業種で採用を望んでいる**
- 採用実績(過去3年平均)では、1名未満が9社(36%)、1-2名が7社(28%)と**採用人数が2名未満の企業が全体の60%以上**を占めており、3-4名が5社、5-9名が2社、20名以上が3社となっている

幅広い業種(医療を除く)が商・経営系学生の採用を望んでいる

- 商・経営系学生の採用を望む企業17社の内訳は、金融・保険1社、交通・運輸2社、サービス3社、卸・小売3社、情報・通信2社、建設3社、製造3社と**幅広い業種で採用を望んでいる**
- 採用実績(過去3年平均)では、1名未満が6社(59%)、1-2名が4社(24%)と**採用人数が2名未満の企業が全体の80%以上**を占めており、5-9名が2社、20名以上が1社となっている

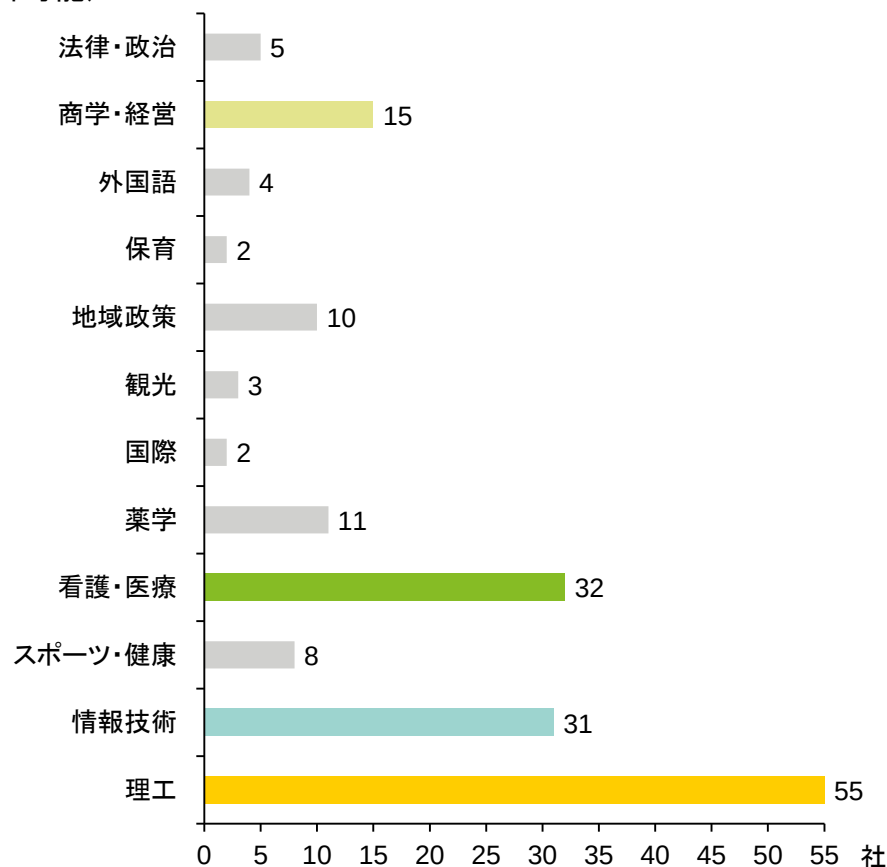
【地域ニーズ-事業者アンケート結果②】

理工学部、看護・医療学部、情報技術学部が必要であるとの回答が多い

周南市に必要な学部について、理工学部、看護・医療学部、情報技術学部と回答した企業が多い。特に理工学部は最も多い55社が必要と回答しており、周南市の基幹産業に従事する化学・機械系人材の育成を望む理由が多い。

周南市に必要な学部

Q: 周南市にとって、どのような学部が必要か (n=112、2学部まで回答可能)



必要な理由

必要な学部	必要な理由 (一部抜粋)
理工系	● 周南市の産業発展の為に<u>基幹産業に人材を投入</u>することが必要 (建設) ● 周南コンビナートを支える<u>メンテナンス人材を育成</u>してほしい (卸・小売) ● 周南地域の化学工場群に優秀な人材を送り込める大学であれば、企業にも学生にも魅力的な大学になりうる (建設)
看護・医療	● 専門学校が東部唯一の機関であるが、正看を育成する4年制大学に移管する方が今の時代に相応しく、病院・学生のニーズも高いと思う (金融・保険) ● 若い女性の市外流出が多いため (サービス) ● 看護師育成で<u>地域医療が充実</u>する (卸・小売)
情報技術	● データ処理はじめ<u>PC周りを良く理解できる人材が企業には不可欠</u> (情報・通信) ● コロナで直面したが、IT産業の遅れが国の危機につながっている (情報・通信) ● <u>需要が増しているIT, AIの技術者を充実</u>し、地域経済を活性化させてほしい (卸・小売)
商学・経営	● 工業の街ではあるが、そちらは工業高校や高専等に任せて、<u>会社経営や起業を目指す</u>若者の為の学部を設置してほしい (製造)

【地域ニーズ-事業者ヒアリング結果】

高校・高専卒の採用を望む傾向が強く、将来的には情報系人材を必要としている

製造業は現場で即戦力となる高校・高専卒の技術職の採用を望む傾向が強い。大手製造業では大卒技術職の採用人数が多いものの、大学院レベルの専門性を求めている。また、サービス業を含め、将来的には情報系人材を求めている。

事業者ヒアリング結果

ヒアリング項目	製造業(大手)	製造業(中小)	サービス業
求める人材像	- 学歴は考慮しておらず、採用の門戸は誰にでも開いている 事務系は人物面、技術職は多少の専門性を重視している	- 学歴は考慮しておらず、元気がある学生であれば採用したい 現場で即戦力として活躍できる工業高校・高専の学生を採用したい	「優秀・真面目」とされる学生ではなく、0から1を創造できる「行動力・発想力」のある学生を採用したい
現在の採用状況	- 採用者全体で大卒技術職は4割程度である 大卒技術職のほとんどが院卒である	- 高校・高専卒の学生は大手に取られてしまう為、採用ができていない - 新卒を確保することに苦戦しており、中途採用がメインである	毎年1-2名を大卒で採用している
専門(学部学科)の重要度	技術職はある程度の専門性(特に化学・電気系知識)を重視している。	専門性を重視しているわけではないが、工業高校レベルの機械工学系知識を求めたい	学部・学科は重視しておらず、基礎学力があれば問題ない。専門に関わらず、IT機器を使いこなせる情報・ITに強い学生であれば、なおさら良い
情報科学部への採用ニーズ・期待すること	プログラムを組み業務を自動化・効率化できるような人材が必要になる可能性はあるが、修士・博士卒相当の学力・知識を持った学生を求める	将来的に、プログラムを組み業務を自動化・効率化できるような人材が必要になってくる	学生の質が高まり、情報に強い学生が増えることが予想される。IT機器を使いこなし、業務を効率化できる学生を積極的に採用したい
公立化に期待すること	- 教育・研究実績・知名度を上げ、優秀な学生を地域に呼び込んでほしい - 地域特性を踏まえ、地元の技術者を再教育できる大学になってほしい	徳山高専と学問分野が重複しない学部・学科を新設し、地域に優秀な人材を供給してほしい	- 地域社会と連携した学びや社会人が学び直せる機会を提供してほしい - 実務家を講師として登用し、現場で使える知識・スキルを教育してほしい

【学生ニーズ-高校ヒアリング結果】

看護学科のニーズは高いが、情報科学部は現時点で看護ほど高いとはいえない

看護学科へのニーズは高く、比較的学力が高い生徒が進学する見込みがある。情報科学部については、看護学科ほど明確なニーズがあるわけではないが、今後さらに情報教育が身近になることを踏まえると、ニーズが増える見込みがある。

高校ヒアリング*1結果

ヒアリング項目	理系が強い高校	文系進学が中心の高校
進学地域・大学	- 国公立志望者は8割以上で、近隣地方のトップ大学への進学が中心。地元志向の生徒は山口大学へ進学する - 生徒が進学したいと思えるような大学や学びたいと思う学部が県内に少ない	地元志向の生徒が多くなっており、コロナの影響も考えると、今後2-3年は地元人気が高まる - 国公立大学進学者数自体は10-20名程度で、そのうちのほとんどの生徒が県内大学へ進学している
生徒から人気が高い学部・学科	- 公務員志望の生徒が多く、経済系学部などが人気。特に公務員受験の実績やサポートが充実している大学が人気である - 医療系のような専門資格が取得がしやすい学部が人気	経済系学部、資格取得がしやすい医療系・保育系学部を好む傾向が強い - 推薦やAO入試でスポーツ系学部への進学を希望する生徒も一定数いる
看護学科への進学ニーズ	- 毎年一定数が4年制看護大学に進学しており、その中でも地元志向の生徒が徳山大学への進学を希望する - 山口大学及び山口県立大学は難易度が高い為、2大学に学力が届かない生徒の現実的な進学先になりえる	- 進学希望者は一定数存在する。看護を志望する生徒のなかでも、比較的学力が高い層が進学を希望する - 公立化により、経済的理由で看護専門学校に進学せざるを得なかった生徒が進学する可能性も十分に考えられる
情報科学部への進学ニーズ	- 文理融合型の情報系学問を学びたい生徒数は着実に増えており、今後もニーズが高まると考えている 地元志向の生徒を除いて、徳山大学を積極的に志望するとは考えにくい	理系志望の生徒自体が少なく、ニーズが高いとは考えにくい - PC設置やタブレット端末配布等で情報教育がより身近になることを考えると、ニーズが高まる可能性はある
公立化に期待すること	- 地元志向の生徒が徳山大学への進学を希望する為、卒業後に「地元定着ができる」見通しを示せることが重要 - 取得可能資格を大学選びの判断基準とする生徒も多いため、資格取得等の実績も強化してほしい	- 学力で国公立大学への進学できる生徒が少ない為、地域枠を設定し、地元志向の生徒の受け皿となしてほしい - 地元就職先(特に文系学部)があるのかが最大の不安である為、地元企業との連携を強化するなどしてほしい

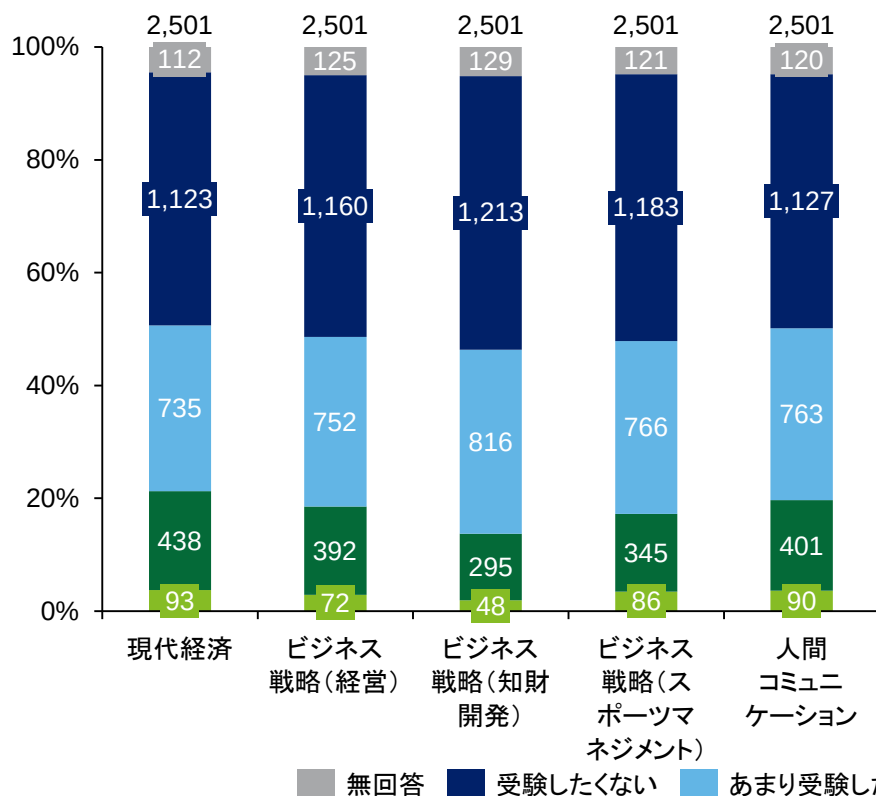
【学生ニーズ-徳山大学公立化改組受容性調査(中間集計速報値)】

新学科を設置した場合、看護学科・スポーツ健康科学科への受験を望む生徒が多い

既存学科と新学科を比較すると、新学科の方が受験意向(「受験したい」の回答割合)が高くなっている。特に看護学科では全体の7%にあたる162名が「受験したい」と回答しており、高校生からの期待が高くなっている。

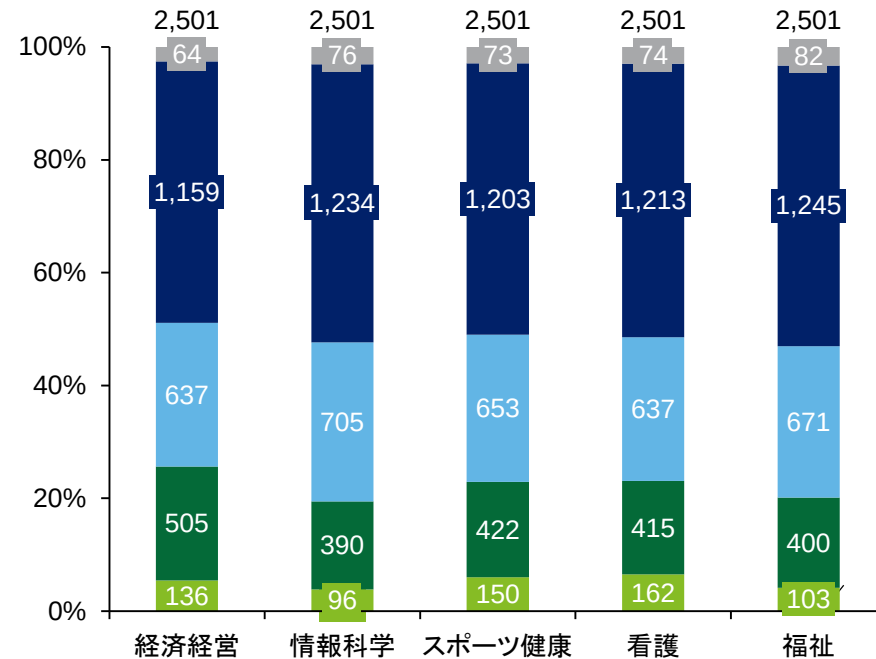
既存学科の受験意向

Q:「公立化した徳山大学」を、あなたはどの程度受験したいと思いますか。(N=2,501名、一つだけ回答可能)



新学科の受験意向

Q:「公立化した徳山大学」が以下のような学部・学科になった場合、あなたはどの程度受験したいと思いますか。(N=2,501名、一つだけ回答可能)



出所: 徳山大学公立化改組受容性調査中間集計

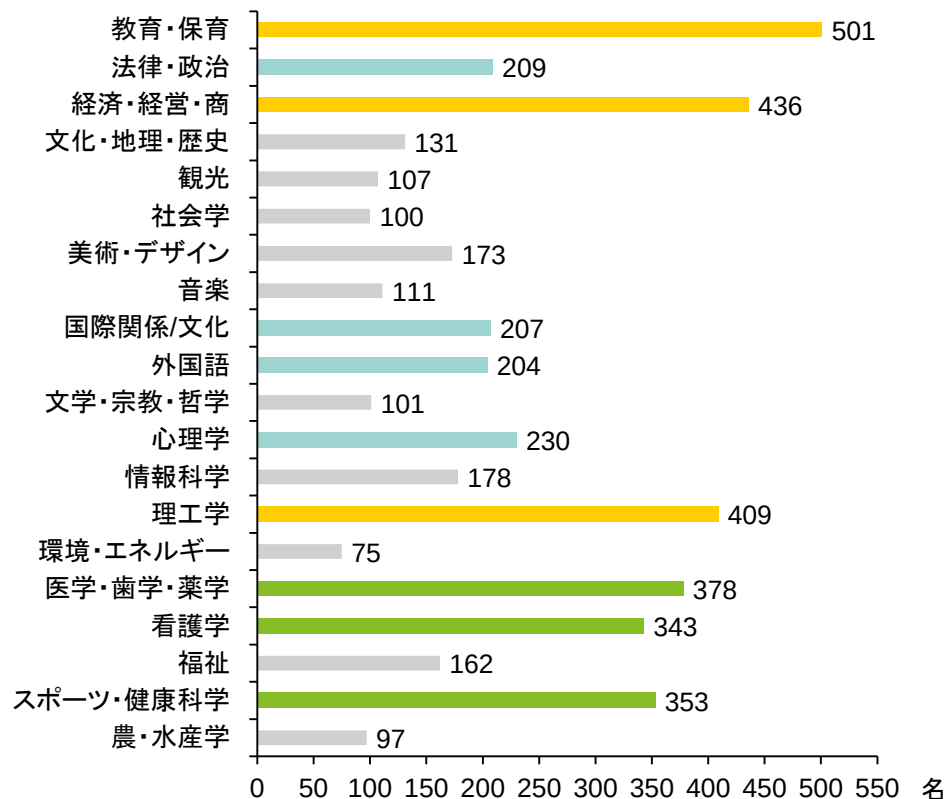
【学生ニーズ-徳山大学公立化改組受容性調査(中間集計速報値)】

教育・保育、医学・歯学・薬学系があれば、進学先候補として検討する生徒が多い

興味のある分野として、「教育・保育」「経済系」「理工」「医・歯・薬学」「看護」と回答する生徒が多い。公立化した徳山大学にあれば進学先として検討する分野には「教育・保育」と回答する生徒が最も多く、次いで「医・歯・薬学」となっている。

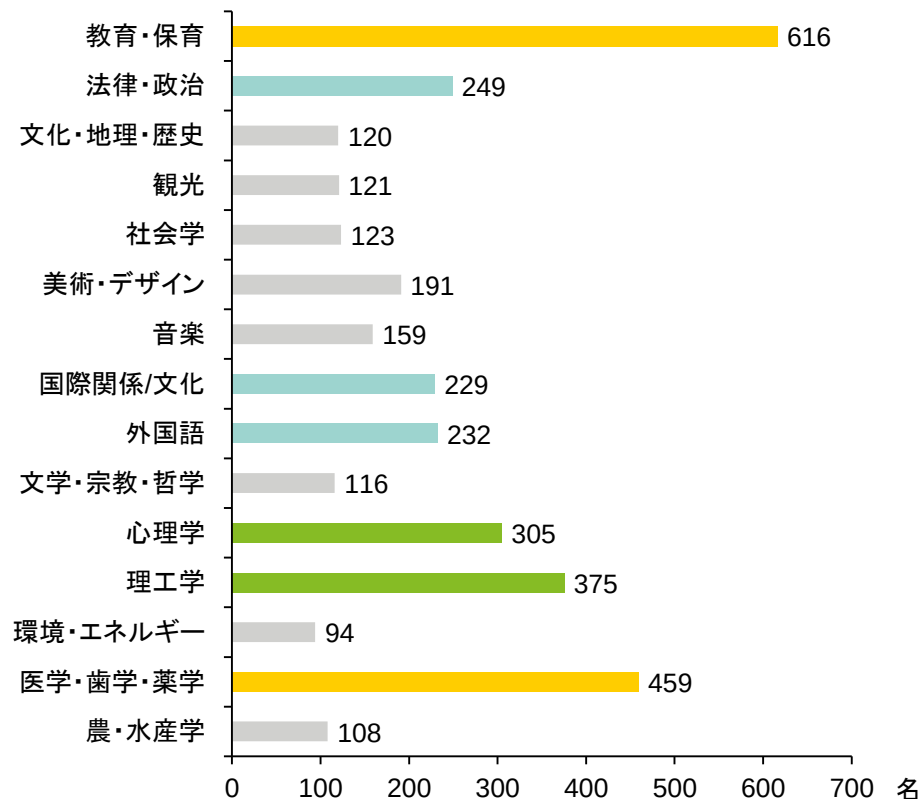
興味のある学問分野

Q: 進学先で学ぶ分野として、あなたはどの分野に興味を持っていますか。(N=2,501、いくつでも回答可能)



徳山大学にあれば進学を検討したい学問分野 (検討中の新学部を除く)

Q: もし「公立化した徳山大学」にあれば進学を検討したいと思うような分野はありますか。(N=2,501、いくつでも回答可能)



出所: 徳山大学公立化改組受容性調査中間集計

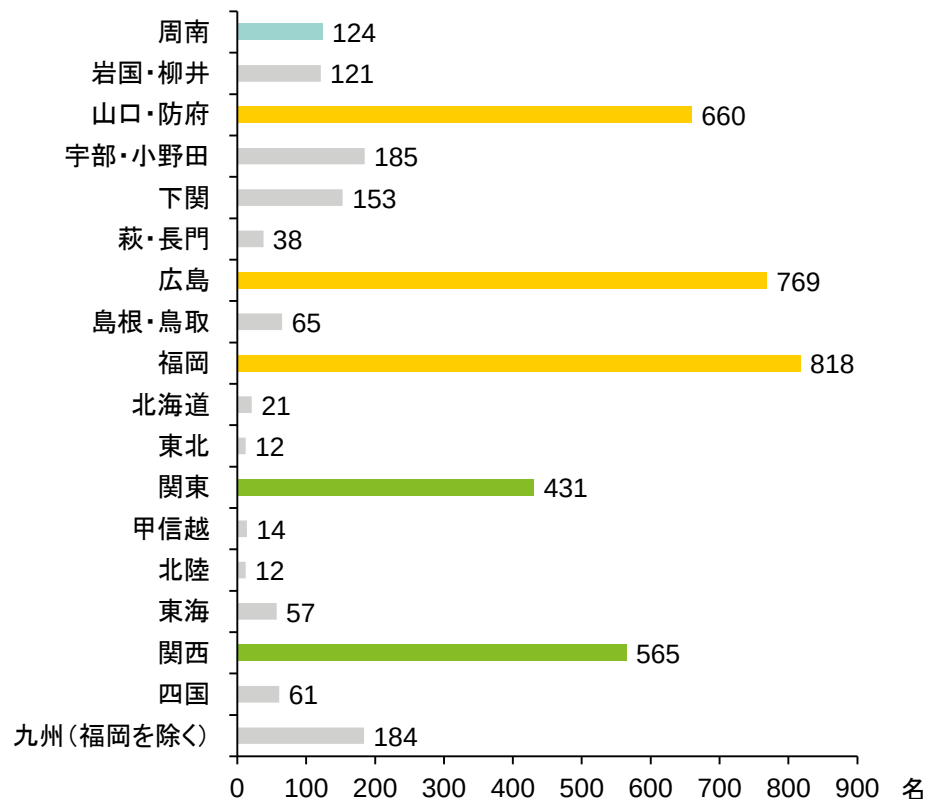
【学生ニーズ-徳山大学公立化改組受容性調査(中間集計速報値)】

県外は福岡・広島県、県内は山口・防府地区への進学・就職を希望する生徒が多い

福岡・広島県、関東・関西への進学・就職を希望する生徒が多く、県内では山口・防府地区への進学・就職を希望する生徒が最も多い。周南市への進学を希望する生徒は多くないが、就職を希望する生徒は県内2番目に多い。

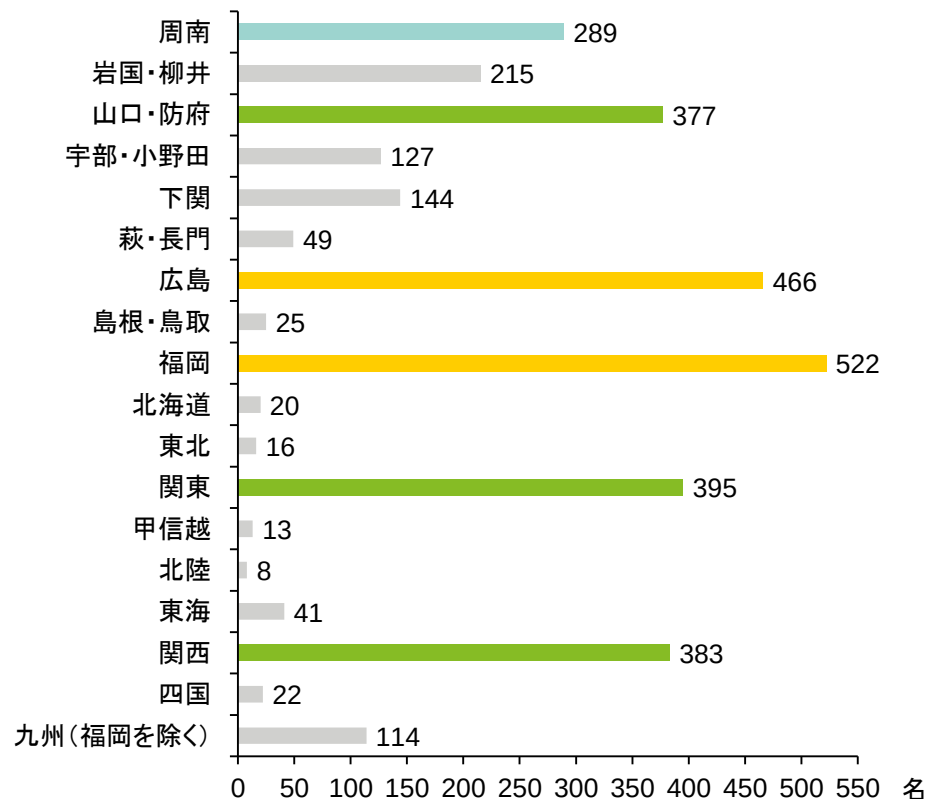
進学を希望する地域

Q: あなたは、高校卒業どのエリアでの進学を希望しますか。
(N=2,501、いつでも回答可能)



就職を希望する地域

Q: あなたは、将来どのエリアでの就職を希望しますか。
(N=2,501、いつでも回答可能)



出所: 徳山大学公立化改組受容性調査中間集計

【総括】

学部学科を看護、情報科学、経済経営、スポーツ健康・福祉に絞り、今後検討を行う

看護・情報科学、既存学部学科は社会・学生ニーズを満たし、既存設備等の活用が期待できる為、今後の検討対象とする。
社会・地域ニーズ、学生ニーズ、設備投資等の理由から、理工系学部の新設は公立化した場合、継続して検討を行う。

改組学部・学科案の整理

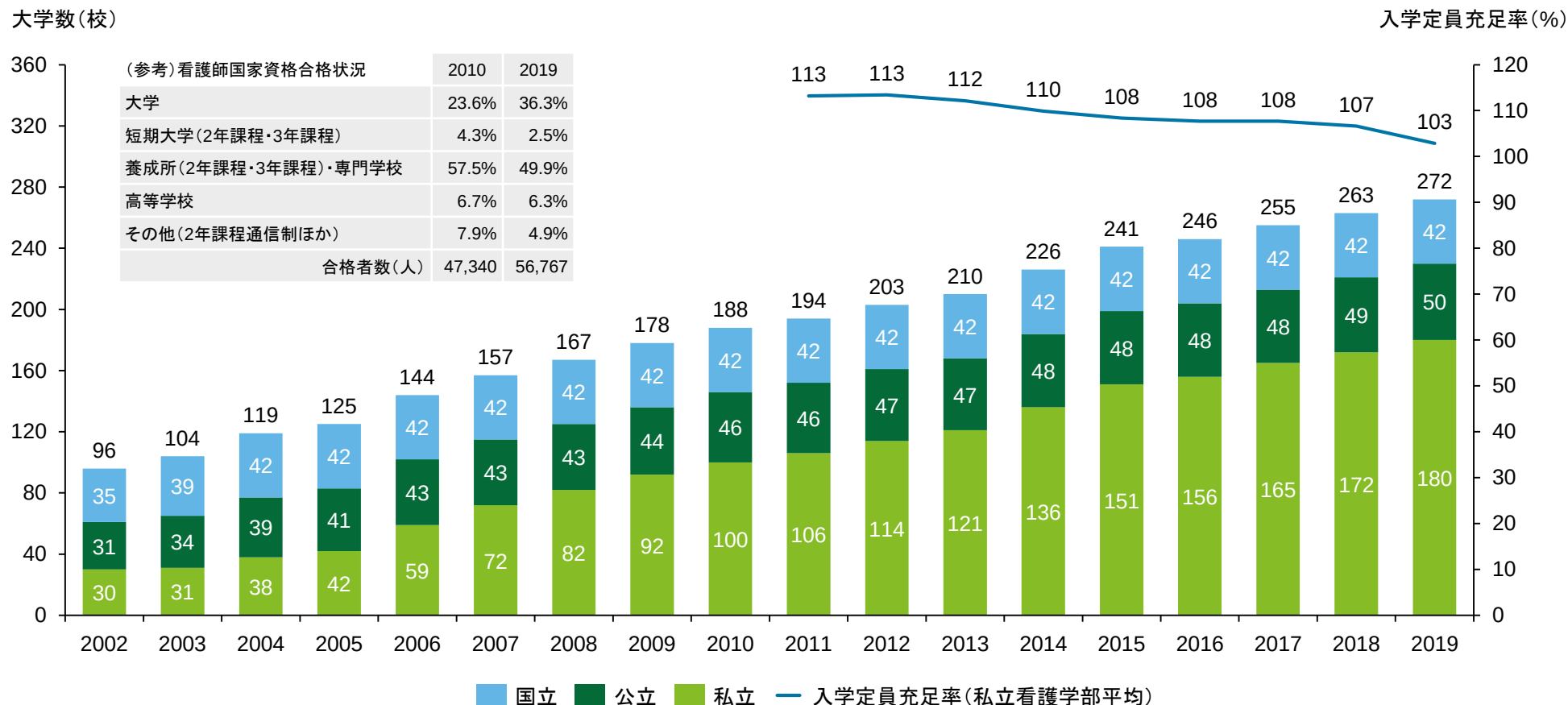
学部学科	社会・地域ニーズ	学生ニーズ	施設設備、教員等のリソース等
改組 経済経営	地元産業界では、「採用を望む人材(専攻)」と期待する意見が多い	県内高校生からの人気が根強く、興味のある学問分野では、2番目に人気である	既存設備・教員の活用も可能
改組 スポーツ健康・福祉	- 公立大学でスポーツ健康が学べる大学は全国的にも少ない(名桜大学など) - 高齢化社会の進展により、介護福祉士等の福祉職のニーズが高まると想定される	- 県内高校生からの人気が高い - 推薦やAO入試でスポーツ系学部への進学を希望する生徒も一定数存在する	- 既存設備・教員の活用も可能 - 保健系でのカリキュラム構成の実現性を整理する必要がある
新設 看護	- 県東部には4年制大学が存在していない(徳山看護専門学校との棲み分けは要整理) - 地元産業界では、「周南市に必要な学部」と期待する意見が多い	- 県内高校生からの人気が高い - 山大、県立大学に次ぐ、比較的学力の高い生徒が進学を希望する	新設には施設設備の投資を要するが、理工系学部ほどではない
新設 情報科学	- データサイエンス等の知識を保有し、価値を創造できる人材が求められる - 地元産業界では、「周南市に必要な学部」と期待する意見が多い	文理融合型の情報系学問を学びたい生徒数は着実に増えている - 情報教育が進み、情報科学が身近になれば、進学ニーズはより高まる	新設には施設設備の投資を要するが、理工系学部ほどではない
将来的課題 理工系	産業界からの期待は最も大きいが、採用を望んでいるのは現場で即戦力となる高校・高専卒の学生である - 大卒は院卒相当の知識が求められる	- 県内高校生からの人気は経済系に次いで、3番目に高い - しかし、理系が強い高校では、ほとんどの生徒が県外大学への進学を望んでいる	- 既に県内の他大学、高専で理工系学部が設置されている 新設には多額の施設設備の投資が必要 - 新たな教員の確保が必要

【看護系大学の状況】

大学数は272校(2019年度)に増加し、入学定員充足率は100%以上を維持している

看護系大学数は増加しており、11校(1991年度)から272校(2019年度)と急激に増加しており、特に私立大学の増加が顕著である。また、私立大学看護学部の2011年以降の入学定員充足率を見てみると、毎年100%以上を維持している。

国公立別看護系大学数の推移



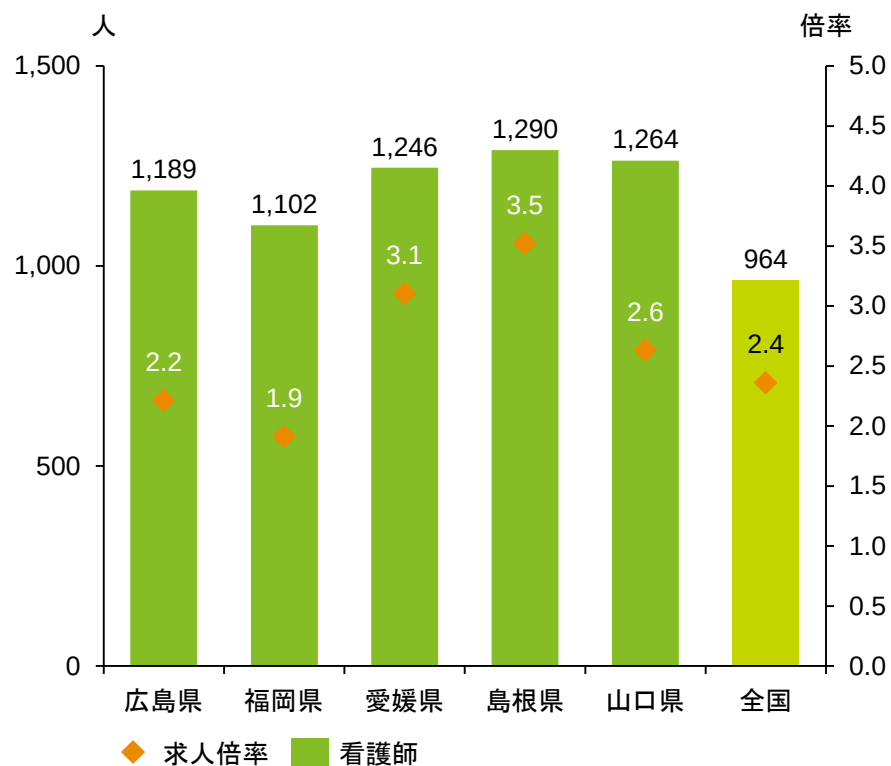
出所: 文科省「2019年度 看護系大学に係る基礎データ」、日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向(2011-2019年度)」

【近隣・県内の看護師需要】

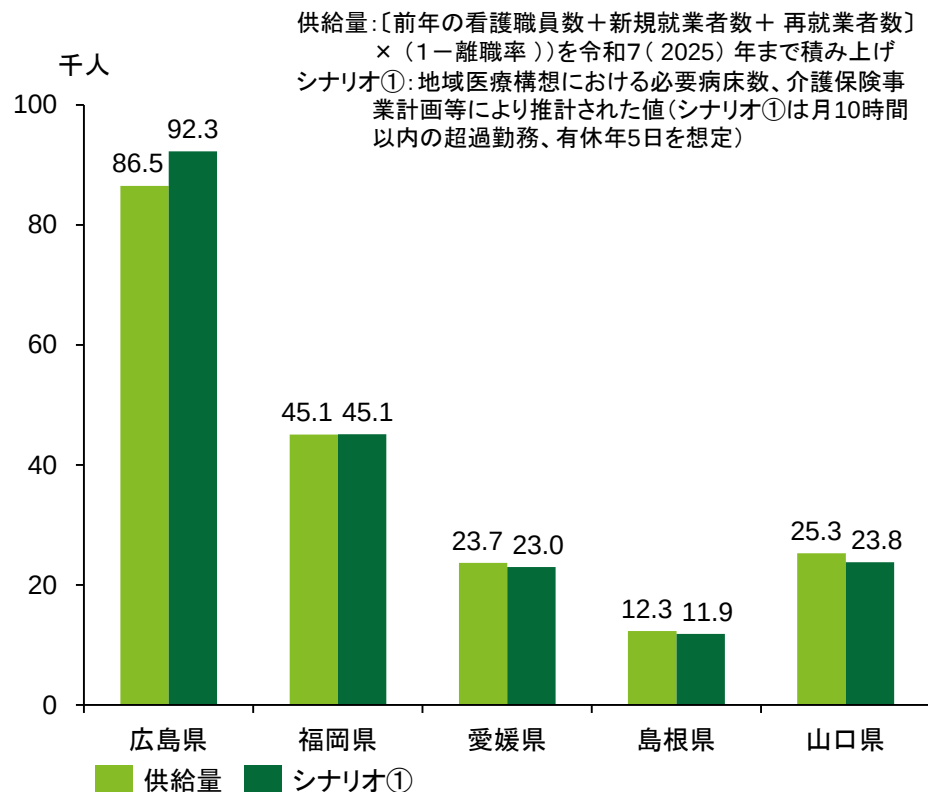
山口県の人口あたり看護師数は全国値より多いものの、求人倍率は高い水準にある

人口あたり看護師数は全国値より多いが、求人倍率は高い水準にあり、現場での採用ニーズは高いと想定される。
一方、2025年の需要では供給量を下回る推計となっている。

近隣県の看護師人数(人口10万対比)



看護職員需要推計(2025年)



出所: 厚生省「衛生行政報告例(平成30年12月末)」
「平成29年度ナースセンター登録データに基づく看護職の求職・求人に関する分析報告書」

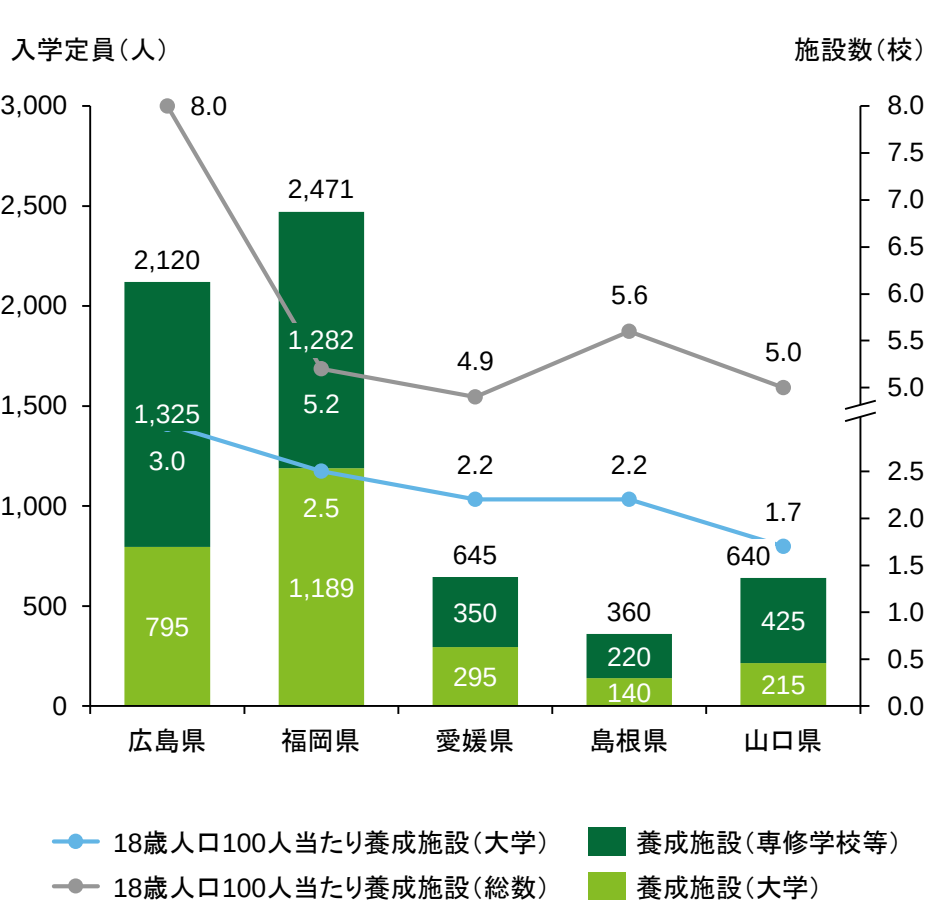
出所: 厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会看護職員需給分科
会中間とりまとめ」

【近隣・県内の看護師養成施設数】

4年制大学の看護師養成施設は人口あたりでも近隣県に比べて少ない状況である

山口県の4年制大学の看護師養成施設(入学定員)は、人口あたりでも近隣都道府県に比べて少ない状況である。
周南市内には徳山看護専門学校(入学定員70名)が存在している。

近隣県の看護師養成施設と入学定員



出所: 日本看護協会編集出版会編集「平成29年度 看護関係統計資料集」

山口県内の看護師養成施設

区分	名称	資格	修業 年限	入学状況 (H31.4)						就職状況(H31.3)		
	学校名			定員	受験者	合格者	入学者	競争率	充足率	看護職 で就職	県内 就職者	県内 就職率
大 学	山口大学	看護師 保健師 助産師	4 年	80	246	87	81	3.0	101.3	76	36	47.4
	山口県立大学 *別科助産専攻除く	看護師 保健師	4 年	55	206	57	56	3.7	101.8	40	19	47.5
	宇部フロンティア大学 (学校法人)	看護師 保健師	4 年	80	166	163	87	1.9	108.8	68	34	50.0
統 合 カ リ ヤ ル	岩国YMCA国際医療福祉 専門学校 (学校法人)	看護師 保健師	4 年	40	59	51	44	1.3	110.0	34	10	29.4
看 護 師 養 成 所	岩国医療センター附属岩 国看護学校	看護師	3 年	80	154	124	72	2.1	90.0	76	38	50.0
	大島看護専門学校 (周防大島町)	看護師	3 年	35	43	36	29	1.5	82.9	34	26	76.5
	徳山看護専門学校 (徳山医師会)	看護師	3 年	70	72	58	50	1.4	71.4	45	38	84.4
	YIC看護福祉専門学校 (学校法人)	看護師	3 年	80	74	71	63	1.2	78.8	38	30	78.9
	山口県立秋看護学校	看護師	3 年	40	70	54	36	1.9	90.0	34	27	79.4
	下関看護リハビリテー ション学校 (学校法人)	看護師	3 年	40	65	53	41	1.6	102.5	25	7	28.0
	ウエストジャパン看護専 門学校 (医療法人)	看護師	3 年	40	78	77	40	2.0	100.0	29	20	69.0
	計			640			599			499	285	57.1

出所: 山口県「山口県における看護の現状(令和2年3月作成版)」

【看護学科新設に係る今後の検討課題】

入学者の確保、就職の懸念はないが、教員・実習先確保・設備投資が課題となる

県内他大学、及び受容性調査結果からも、看護系学部・学科に対する学生ニーズは高い。また、県内他大学と同様、就職先も十分に期待できる。一方で、教員・実習先の確保、及び教育環境整備のための施設設備投資が必要となる。

今後の検討課題など

検討項目	概要
入学者の確保	- 看護系学部・学科は増加傾向にあるが、おおよそ定員充足している。また、山口県内の看護系学部はいずれも定員充足しており、山口大学、山口県立大学は志願倍率が3倍を超える難関となっている - 受容性調査(生徒アンケート)からも<u>看護系学部・学科を希望する生徒は多く(300名超)、また公立化した徳山大学の看護系学部・学科を受験したいと回答した者は162名おり、受験候補先とする者を含めると500名超が興味を示している</u> - 高校ヒアリングにおいても、山口大学、山口県立大学に次ぐ比較的学力が高い層が進学を希望する、確実に一定数の進学希望者は存在する、との声があった
就職先の確保	- 山口県の人口あたり看護師数は全国値より多く、2025年の需要推計では、供給量を下回る水準となっている。一方で、看護師の求人倍率は高い水準にあり、医療介護の現場での採用ニーズは高いと想定される - 県内大学の看護系学部・学科の<u>就職率は概ね100%で推移しており、就職先は安定的に確保</u>できている - 一方、県内大学卒業生の<u>県内就職率は約50%程度</u>であり、専門学校等の看護師養成所に比べて、低い水準となっている
教員等の確保	- 近年の看護系大学・学部の新設により、<u>教員の不足が顕著になっており、教員確保が大きな課題</u>となることが想定される - また、看護系学部には必須となる<u>実習病院等の確保も課題</u>となると想定される
設備投資	看護系学部の設置に必要な校舎面積は十分に充足しているが、実際の学部・学科設置においては、<u>既存の施設の改修(もしくは新築)</u>とともに、<u>看護教育実施のための設備投資が必要となる</u>

【社会・企業が求める情報系人材】

専門を問わず、数理的推論・データ分析を基に課題解決ができる人材が求められる

Society 5.0では、専門分野を問わず、数理的推論・データ分析等を基盤に課題発見・解決ができる人材が求められる。該当人材の不足を背景として、経団連は関連学部の新設を政策的に推進すべきとの政府に対する要望を表明している。

Society 5.0の特徴

Society5.0の特徴

- Society 5.0は、デジタル革命と多様な人々のソウゾウ(想像・創造)力で作る、人間中心の課題解決・価値創造型の社会
- 革新技术とビッグ・データを最大限活用してグローバル社会が直面する課題解決につながるコンセプトであり、基礎研究から応用研究、商品・サービス開発、社会実装まで一貫したイノベーション・エコシステムの構築が不可欠
- キープレイヤーである産業界と大学がビジョンを共有し、連携を進めることが鍵となる

Society 5.0 創造社会

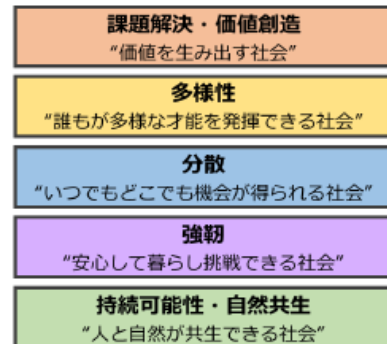


デジタル革新
(AI×データ)

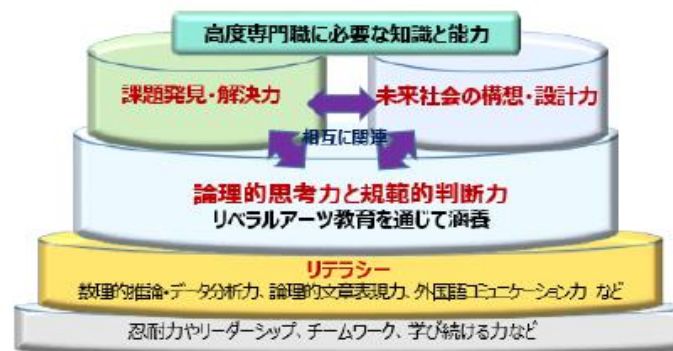
×

多様な人々の
想像力・創造力

||



Society 5.0で求められる人材



Society5.0で求められる人材

- 最終的な専門分野が文系・理系であることを問わず、論理的思考力、規範的判断力、課題発見・解決力、未来社会の構想・設計力、これらの基盤となるリベラルアーツ教育が求められる
- 文系を選択しても理数の基礎知識を身に付け、理系を選択しても人文・社会科学を学ぶべき

大学教育改革に関する経団連から政府への要望

- AI、データサイエンス人材の不足、育成する教員・学部の不足
 - AI、数理統計、データサイエンス学部・研究科の新設を政策的に推進(東京23区定員規制についても、該当学部等に限って例外扱いとすることを検討すべき)
 - 統計学を専門に教えられる人材の育成体制の構築

出所:経団連「Society 5.0に向けた大学教育と採用に関する考え方(2020年3月31日)」

【情報科学部の概要】

文理融合の学問を学び、データサイエンティストとして活躍する人財の育成を目指す

情報系学部はメディア論を学ぶ社会科学系、データサイエンス等の文理融合学問を学ぶ情報科学系、情報セキュリティ等を学ぶ情報工学系の学部に分類される。徳山大学はデータサイエンティスト等を育成する学部の新設を目指している。

情報系学部の概要・主な学問分野

系統	主な学問分野	主な大学/学部(学科)
社会科学系	■ 情報社会の仕組みやメディアリテラシーを学ぶ ➢ 情報社会論、社会調査論、ジャーナリズム論、ソーシャルメディア論、マスメディア論	● 静岡大学/情報(情報社会) ● 群馬大学/社会情報 ● 北九州市立大学/経済学部経営情報
情報科学系	■ 各種統計を理解し、データの背景を理解するスキルを学ぶ ➢ 公的統計、経営学、財務会計 ■ データを正しく管理・加工・処理・分析するスキルを学ぶ ➢ (統計系)統計数学、多変量解析、時系列解析、機械学習 ➢ (情報系)プログラミング、データベース、計算機ネットワーク	● 広島大学/情報科学 ● 滋賀大学/データサイエンス ● 長崎大学/情報データ科学 ● 横浜市立大学/データサイエンス ● 福知山公立大学/情報
情報工学系	■ 情報システムに関する知識を学び、システム構築を実践する ➢ (情報技術)コンピュータアーキテクチャ、オペレーティングシステム、情報セキュリティ、ソフトウェア工学 ➢ (システムデザイン)情報デザイン、画像処理、ヒューマンインターフェース、アプリ設計・開発	● 長崎県立大学/情報システム ● 高知工科大学/情報 ● 京都産業大学/情報理工 ● 九州産業大学/理工(情報科学)

出所:各大学HP

情報科学部の類似学部(例:福知山公立大学情報学部)

情報学の体系・知識・知見・技術を学び、情報技術を開発・提供・応用・活用する多様な分野で活躍できる人財を育成する	
学問領域 - 3つの領域(トラック)から専門的な学修を深める	
人間・社会情報学	■ AI技術やエンターテインメント技術 を地域社会に適用できる人財を育成 ➢ 主な授業:人工知能/IoT/メディア情報学
データサイエンス	■ 地域社会の持続と発展の為のシナリオ作成と評価のできるデータサイエンティスト を育成 ➢ 主な授業:データマーケティング/統計解析
ICT	■ 情報システムやアプリの開発 により、地域を豊かにする情報基盤社会を構築できる人財を育成 ➢ 主な授業:計算機アーキテクチャ/情報セキュリティ
地域連携教育-地域での現地調査を通じて、理論との結びつきを理解	
■ 観光:スマートフォンを使った観光案内システムを開発 ■ 農業:農業用ハウスの温度制御システムを開発 ■ 商品開発:電子機器と木材製品を組み合わせた新製品の開発 ■ ウェルネス:地域住民の見守り・支援システムの開発	
想定される就職先	
想定される就職先	■ ビッグデータの解析や経営学の知識を活かして企業等の経営戦略を担う職種 ■ 組織・企業の価値向上と課題解決の実現へ向け、情報技術を駆使した分析・提案を行う職種

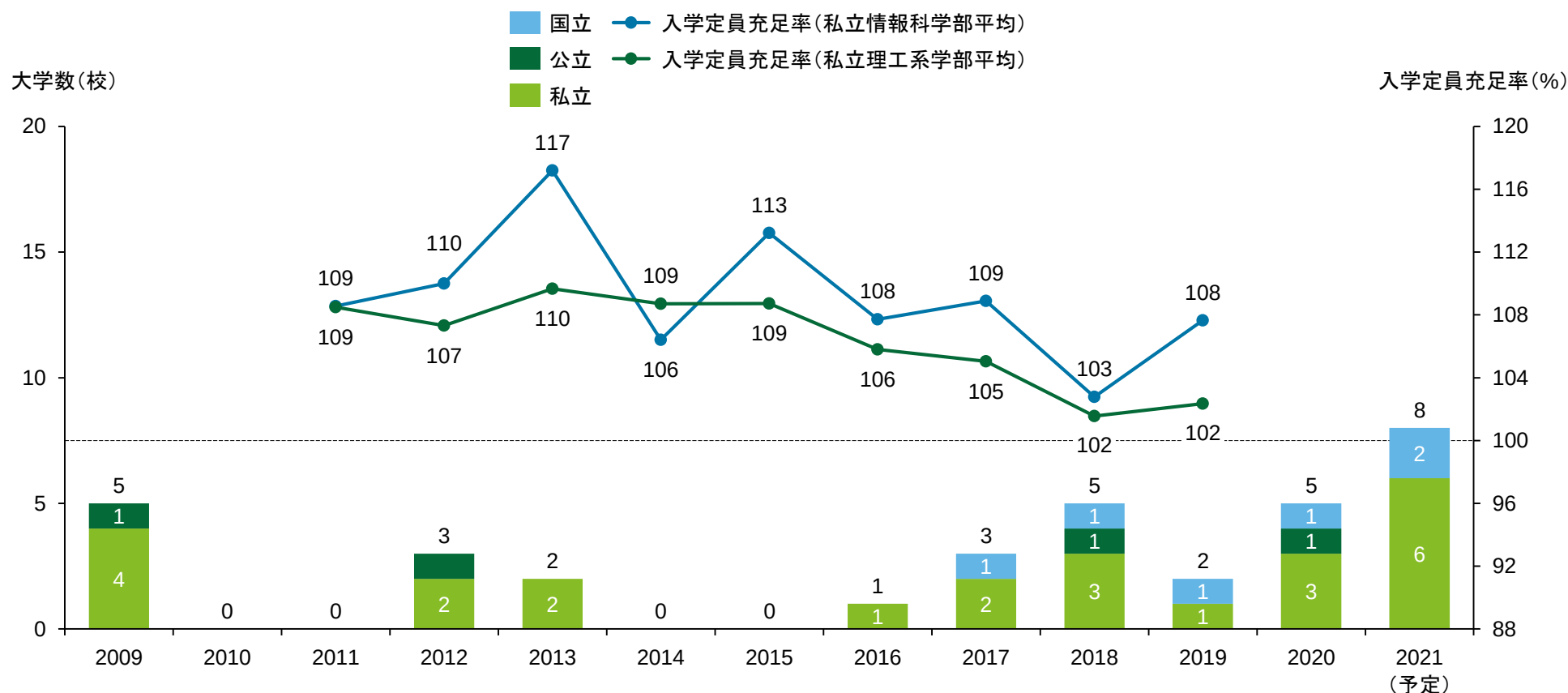
【情報系学部学科(情報科学・情報工学系)の新設動向】

直近12年では、26大学で該当学部学科が新設、来年度は8大学で新設予定である

2009年度から2020年度にかけて26大学で情報系の学部学科(情報科学・工学)が新設されており、2021年度には8大学で新設が予定されている。また、2011年度以降の私立大学情報科学部の入学定員充足率は100%以上で推移している。

情報科学・情報工学系学部学科の新設数*1と入学定員充足率

*1: 内訳は下記の通り。ただし、新設だけでなく、学部再編等も含む
 情報科学系学部学科: 情報科学、データサイエンス、数理科学、情報学
 情報工学系学部学科: 情報工学、情報システム、情報理工、
 知能・機械工学、電子情報、創造工学



出所: 文科省「年度別開設予定大学等一覧(2009-18年度)」「学部等設置意見お伺い書(2018-20年度)」
 日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向(2011-2019年度)」

【近年設置された情報科学・情報工学系学科の状況】

文理融合型学科が目立ち、直近の入学・収容定員も概ね充足することができている

文理融合型学科の新設が目立ち、データサイエンスなどの教育を実施している。直近の入学・収容定員充足率も概ね100%以上である。来年度には大阪工業大学や鈴鹿医療科学大学でデータサイエンス学科の新設が予定されている。

近年設置された(設置予定)情報科学・情報工学系学科の状況(一部抜粋)

凡例 ●**文理**: 情報科学系 ●**理**: 情報工学系

大学・高専名	学部名	学科名	開設 (予定) 年度	学科入学定員(名)		入学定員 充足率(%)		収容定員 充足率 (%)
				開設年度	2020年度	開設年度	2020年度	2020年度
● 理 大阪産業大学	デザイン工学	情報システム	2012	105	105	125	108	97
● 理 九州産業大学	理工学	情報科学	2017	140	140	102	105	102
● 文理 滋賀大学	データサイエンス	データサイエンス	2017	100	100	110	105	106
● 文理 広島大学	情報科学	情報科学	2018	80	80	105	109	108
● 理 京都産業大学	情報理工学	情報理工	2018	160	160	84	101	93
● 文理 長崎大学	情報データ科学	情報データ科学	2020	110	110		105	105
● 理 広島工業大学	情報科学	情報 コミュニケーション	2020	110	110		107*2	108*1
● 文理 福知山公立大学	情報科学	情報	2020	100	100		108	108
● 文理 大阪工業大学	情報科学	データサイエンス	2021	入学定員は70名を予定				
● 文理 鈴鹿医療科学大学	医用工学	医療健康 データサイエンス	2021	入学定員は40名を予定				

*1: 学科単体の数値が未公表である為、学部全体の数値を記載

出所: 文科省「年度別開設予定大学等一覧(2009-18年度)」「学部等設置意見お伺い書(2018-20年度)」、ナレッジステーション学部系統一覧、各大学HP

【県内大学・高専の情報系学科の概要】

システム設計等を学ぶ学科が多く、データサイエンスを専門的に学べる学科がない

県内では2大学3高専に設置されている情報系学科は入学・収容定員を充足している。いずれもシステム設計など情報工学系よりの学問分野となっている。

県内大学の情報系学科の概要



設置学科(2020年度入学定員/入学定員充足率/収容定員充足率)

- ・ 機械工学(90名/102%/117%)
- ・ 社会建設工学(80名/100%/118%)
- ・ 応用化学(90名/104%/105%)
- ・ 電気電子工学(80名/101%/112%)
- ・ **知能情報工学(80名/100%/105%)**
- ・ 感性デザイン工学(55名/100%/113%)
- ・ 循環環境工学(55名/100%/107%)

知能情報工学の主な学問分野(一部抜粋)

線形代数/確率統計/プログラミング/アルゴリズム/電気電子回路/システム設計/情報通信工学/システム制御/人口知能/パターン認識



設置学科(2020年度入学定員/入学定員充足率/収容定員充足率)

- ・ 機械工学(40名/105%/105%)
- ・ 電気工学(40名/100%/105%)
- ・ 物質工学(40名/108%/107%)
- ・ **制御情報工学(40名/100%/104%)**
- ・ **経営情報工学(40名/108%/105%)**

制御情報工学、経営情報工学の主な学問分野(一部抜粋)

(制御情報工学)プログラミング/アルゴリズム/電子工学/システム設計
(経営情報工学)財務会計/統計/経営戦略/経営管理/多変量解析

出所:各大学/高専HP



設置学科(2020年度入学定員/入学定員充足率/収容定員充足率)

- ・ 機械工学(60名/103%/111%)
- ・ 電気工学(60名/102%/103%)
- ・ 応用化学(80名/105%/105%)



設置学科(2020年度入学定員/入学定員充足率/収容定員充足率)

- ・ 機械電気工学(40名/115%/107%)
- ・ **情報電子工学(40名/100%/109%)**
- ・ 土木建築工学(40名/100%/106%)

情報電子工学の主な学問分野(一部抜粋)

基礎コンピュータ工学/プログラミング/電気回路/アルゴリズム/ソフトウェア工学/情報通信工学/画像工学/言語処理/デジタル情報処理



設置学科(2020年度入学定員/入学定員充足率/収容定員充足率)

- ・ 商船工学(40名/118%/120%)
- ・ 電子機械工学(40名/100%/109%)
- ・ **情報工学(40名/108%/108%)**

情報工学の主な学問分野(一部抜粋)

プログラミング/アルゴリズム/システムプログラム/オペレーティングシステム/ソフトウェア工学/信号処理/画像工学/電子回路/制御工学

【情報科学部新設に係る今後の検討課題】

入学者・就職先の確保、設備投資での懸念は少ないが、教員の確保が課題となる

近隣大学、受容性調査・高校ヒアリングから情報科学部に対する学生ニーズは高く、地元事業者からの採用ニーズも高い。一方で、教員の確保、及び教育環境整備のための施設設備投資が必要となる。

今後の検討課題など

検討項目	概要
入学者の確保	- 大学の情報科学系学部学科は増加傾向にあり、おおむね定員充足している。近隣地方で近年設置された情報科学系学科は全て入学・収容定員ともに充足している - 受容性調査(生徒アンケート)では、<u>公立化した徳山大学の情報科学部を受験したいと回答した生徒は96名おり、受験候補先とする生徒も含めると480名程度が興味を示している</u> - 高校ヒアリングにおいても、文理融合型の情報学を学びたいと希望する生徒数は着実に増加している、今後ますます情報教育が身近になる為、将来的に進学ニーズも高まっていくとの声があった
就職先の確保	- 事業者アンケートでは、<u>データ処理やPC周りを理解できる人材が企業に不可欠</u>と情報系人材の採用を望む声があった - 事業者ヒアリングにおいても、将来的にはプログラムを組み、製造業の現場業務を自動化・効率化できるような人材が必要になってくるとの声があり、<u>採用を望む企業が一定数存在する</u>と想定される
教員の確保	<u>情報科学の分野で著名な教員を確保する場合は大きな課題となる</u>ことが想定される(情報科学部でターゲットとする学問分野を特定する必要がある) - 一方、実社会での知識・スキル活用を想定した教育を重視する場合には、実務家の積極的な登用等も想定される
設備投資	情報科学部の設置に必要な校舎面積は充足しており、ターゲットとする学問分野にもよるが、<u>既存施設の改修(もしくは新築)とともに情報インフラなど一定の設備投資が必要</u>となる。

2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン (答申)

平 成 3 0 年 1 1 月 2 6 日

中 央 教 育 審 議 会

とができるよう、国は学校基本調査等を用いた基本的なデータの整理を行うことが必要である³⁸。

（国が提示する将来像と地域で描く将来像）

人口減少がより急速に進むこれからの 20 年間においては、地方における質の高い教育機会の確保が大きな課題となる。現状においては、全体としての学生数は増加する一方で、私立大学の約 4 割が定員割れとなっている。我が国においては、私立大学が多く、かつ、小規模の大学が多いのが特徴であり、特に小規模な大学が多い地方において学生確保が厳しくなっている。今後、産業形態が一極集中型から遠隔分散型へと転換する想定の中では、地方における高い能力を持った人材の育成に期待がかかっている。これは教育界だけの課題ではなく、産業界を含めた地方そのものの発展とも密接に関連する課題である。そういう意味では、高等教育の将来像を国が示すだけでなく、それぞれの地域において、高等教育機関が産業界や地方公共団体を巻き込んで、それぞれの将来像となる地域の高等教育のグランドデザインが議論されるべき時代を迎えていると考えられる。

この場合に、その地域の単位は、各高等教育機関が結びつきの強い地域を中心に、歴史や文化に裏打ちされた、経済圏や生活圏といった関わりや、昨今の国際化の状況も踏まえて捉えることが適切である。その際は、必要な関係者と議論していく必要がある。

そのために、地域の高等教育機関が高等教育という役割を越えて、地域社会の核となり、産業界や地方公共団体等とともに将来像の議論や具体的な連携・交流等の方策について議論する「地域連携プラットフォーム（仮称）」を構築することが必要である。各高等教育機関は地域の人材を育成し、地域の行政や産業を支える基盤である。これを十分に機能させていくためには、常に地域において何が必要とされているのか、地域に対して当該高等教育機関が何を提供できるのか、等の観点についての情報共有と連携が欠かせない。「地域連携プラットフォーム（仮称）」においては、18 歳の伝統的な人材育成ニーズのみならず、リカレント教育、共同研究の在り方、まちづくりのシンクタンクとしての機能など幅広い観点を議論する場とする必要がある。その際には、地域の高等教育機関の経営戦略が重要であり、学長等、トップの力量と覚悟が求められる。

「地域連携プラットフォーム（仮称）」を構築する際には、地域の高等教育機関を中心として、地方公共団体、産業界等が積極的に関わり、その果たせる役割も含め、当該地域の高等教育のグランドデザインを提示していくことが重要である。

³⁸ その他、jSTAT MAP などの統計 GIS（地理情報システム）を用いたデータの活用方法を紹介することも検討。

『徳山大学』 公立化および学部・学科に関する 受容性把握調査

最終報告書

2020年11月2日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

株式会社アンド・ディ

調査概要

▶調査目的

- ・徳山大学が計画している「公立化」および新学部学科設置について、周辺エリア所在高校の2年生に受験意向・入学検討意向を聴取し、受容性を確認する。

▶調査対象

- ・山口県にある公立・私立高等学校の2年生
- ・調査対象校に事前に調査協力を依頼し、承諾を得た対象校へ調査票を送付。ホームルームなど教室で配布・回収。

▶調査期間

- ・学校へのお渡し開始：2020年8月18日（火）～締め切り：2020年9月30日（月）まで到着分

▶有効回答数

- ・22校／3384件（有効回答率82.9%） 23校／4080票配布に対し

▶調査機関

- ・株式会社アンド・ディ

▶調査協力校

- ・学科の内訳：普通科95.6%、総合学科4.4%
- ・設置者の内訳：県立66.5%、私立33.5%

受験意向者数・入学意向者数

▶回答者全体3384人のうち

- ・大学・短期大学・専門学校への進学希望者は **2977人** 全体の88.0%
- ・大学への進学希望者は **2538人** 全体の75.0%

※大学＝大学(4年制・6年制)＋専門職大学(4年制・6年制)

▶『公立化した徳山大学』の受験意向は…

- ・進学希望者のうち、新学部学科のいずれかについて

「受験意向あり・計（受験したい＋検討してもよい）」 **1678人** 全体の46.6%

▶『公立化した徳山大学』への入学意向は…

- ・受験意向あり・計のうち、『公立化した徳山大学』の新学部学科のいずれかについて

「入学したい」 **565人** 全体の16.7%

- ・いずれの学部学科についても、「入学したい」とする人数が予定の定員数を大きく上回る
- ・大学進学希望者に限定した場合でも、「入学したい」人数は予定の定員数を十分に上回る

【新学部学科】 受験意向×入学意向		経済経営学部 経済経営学科	情報科学部 情報科学科	人間健康科学部 スポーツ健康科 学科	人間健康科学部 看護学科	人間健康科学部 福祉学科	新学部学科 いずれか 意向あり
		▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼
進学希望者	受験意向あり・計	782人	583人	642人	661人	585人	1,678人
	上記のうち「入学したい」	204人	122人	175人	213人	143人	565人
	上記のうち「入学したい・計」	696人	512人	567人	593人	513人	1,516人
		▼ (n=2537)	▼ (n=2537)	▼ (n=2537)	▼ (n=2537)	▼ (n=2537)	
大学進学 希望者	受験意向あり・計	688人	494人	526人	530人	464人	1,425人
	上記のうち「入学したい」	180人	104人	135人	169人	103人	457人
	上記のうち「入学したい・計」	613人	430人	462人	475人	402人	1,280人
入学したい・計＝入学したい＋入学を検討		定員数	160	50	80	80	30

【現学部学科】 受験意向×入学意向		経済学部 現代経済学科	経済学部 ビジネス戦略学 科 経営コース	経済学部 ビジネス戦略学 科 知財開発 コース	経済学部 ビジネス戦略学 科 スポーツマ ネジメントコース	福祉情報学部 人間コミュニケー ション学科	現学部学科 いずれか 意向あり
		▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	▼ (n=2977)	
進学希望者	受験意向あり・計	639人	557人	407人	495人	590人	1,128人
	上記のうち「入学したい」	134人	101人	71人	110人	116人	297人
	上記のうち「入学したい・計」	587人	502人	370人	458人	525人	1,025人
		▼ (n=2537)	▼ (n=2537)	▼ (n=2537)	▼ (n=2537)	▼ (n=2537)	
大学進学 希望者	受験意向あり・計	571人	473人	352人	406人	480人	949人
	上記のうち「入学したい」	122人	80人	60人	87人	83人	237人
	上記のうち「入学したい・計」	524人	427人	321人	373人	426人	859人
入学したい・計＝入学したい＋入学を検討		定員数	80	50	20	80	50

徳山大学公立化の検討に係る事業所等アンケート 調査結果

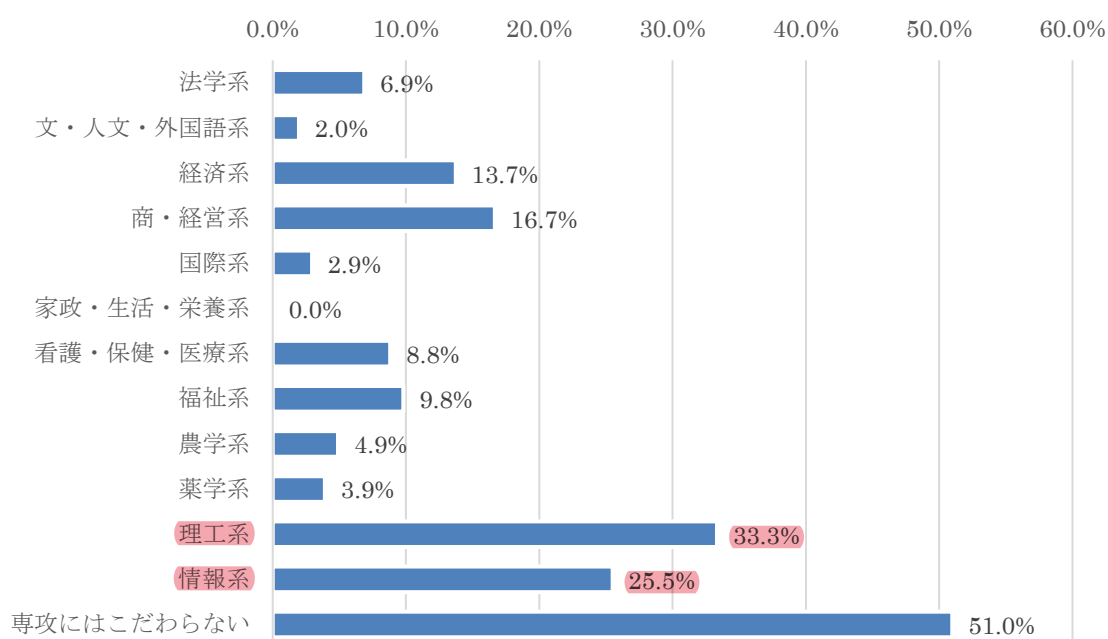
周南市 企画部 企画課 公立大学推進室

令和2年10月

問 9. 採用にあたり、大学でどのような専攻を修めた人材が望ましいか選んでください。

※3 つまで回答可 (n=102)

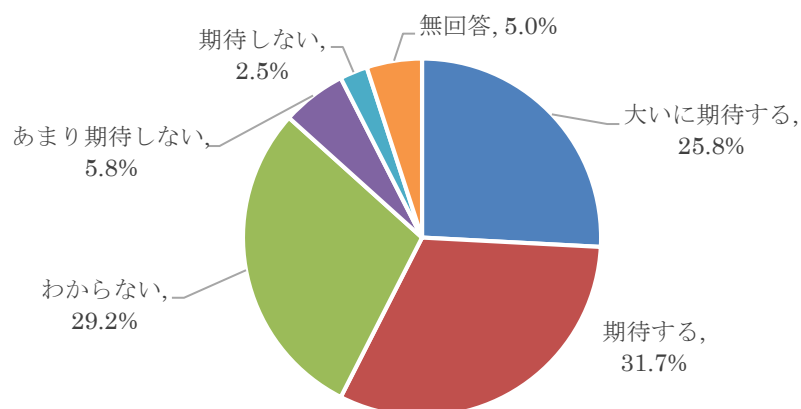
事業所に「どの専攻を修めた人材を採用したいか」伺ったところ、「専攻にはこだわらない」が 51.0%と最も多く、次いで「理工系」が 33.3%、「情報系」が 25.5%、「商・経営系」が 16.7%と続いている。



(2) 徳山大学の公立化について

問 10. 地域に貢献する大学として発展するため、徳山大学の公立化を期待しますか。(n=120)

事業所に「徳山大学の公立化について期待するか」伺ったところ、「期待する」が 31.7%と最も多く、次いで「大いに期待する」が 25.8%、「わからない」が 29.2%、「あまり期待しない」が 5.8%と続いている。



今後の高等教育の将来像の提示に向けた論点整理

平成 29 年 12 月 28 日

中央教育審議会大学分科会将来構想部会

1. 社会全体の構造の変化

(学術研究や教育の発展)

- 学術研究の発展により、高等教育機関においては、専門化・細分化された分野の中だけで収まらない学際的・学融合的な研究が進められるようになっている。知のフロンティアの拡大に伴い、知識や技術の全てを個人や一つの組織で生み出すことが困難な時代になっており、新たな知識や価値の創出に多様な専門性を持つ人材が結集し、チームとして活動することの重要性がますます高まっている。また、産業界においてオープンイノベーションを本格化させようという動きが活発化する中で大学等に対しても本格的な産学連携が実施できる体制の構築が求められている。さらに、教育においては、文系、理系の区別に捉われない学部等の設置や主専攻・副専攻制など伝統的な分野の区別を超えた教育が行われるようになっており、科学技術の進展に伴い、併せて倫理や感性など人間性にまつわる素養を育てることも重要となっている。

(第4次産業革命、Society5.0)

- 第4次産業革命が進み、Society5.0を目指して、既存の産業構造、社会構造が大きく変化していくと言われており、我が国の社会経済の発展のために革新的な技術の社会実装を進め、生産性の大幅な向上を図ることが必要となっている。既に様々な分野で、AIやIoT、ロボットといった共通基盤技術と、産業コア技術、関連データの多様な組み合わせ(※)により、革新的な製品・サービスが生まれてきており、今後も急速に技術開発が進んでいくと考えられる。同時に、産業の在り方も一極集中型から遠隔分散型へとパラダイムシフトしていくことが想定されている。こうした中で、高等教育機関においても、分野を超えて専門知や技能を組み合わせる実践力の育成や、新たなリテラシーとしての数理・データサイエンスの学修が求められている。

(※) 共通基盤技術、産業コア技術、関連データの組み合わせの例

AI × 運転制御技術 × カメラデータ = 自動運転

AI × ゲノム編集等 × 生物データ = 新規創薬等

(人生100年時代)

- 健康寿命が世界一の長寿社会を迎え、2007年に日本で生まれた子どもは107歳まで生きる確率が50%もあると言われている。こうした人生100年時代を迎えるに当たっては、人生の様々な段階で高等教育機関において学ぶことができるような環境整備が



平成26年度補正先端課題に対応したベンチャー事業化支援等事業
(ITベンチャー等によるイノベーション促進のための人材育成・確保モデル事業)

IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果

～ 報告書概要版 ～

平成28年6月10日

商務情報政策局 情報処理振興課

(委託先：みずほ情報総研株式会社)

IT人材の「不足規模」に関する推計結果

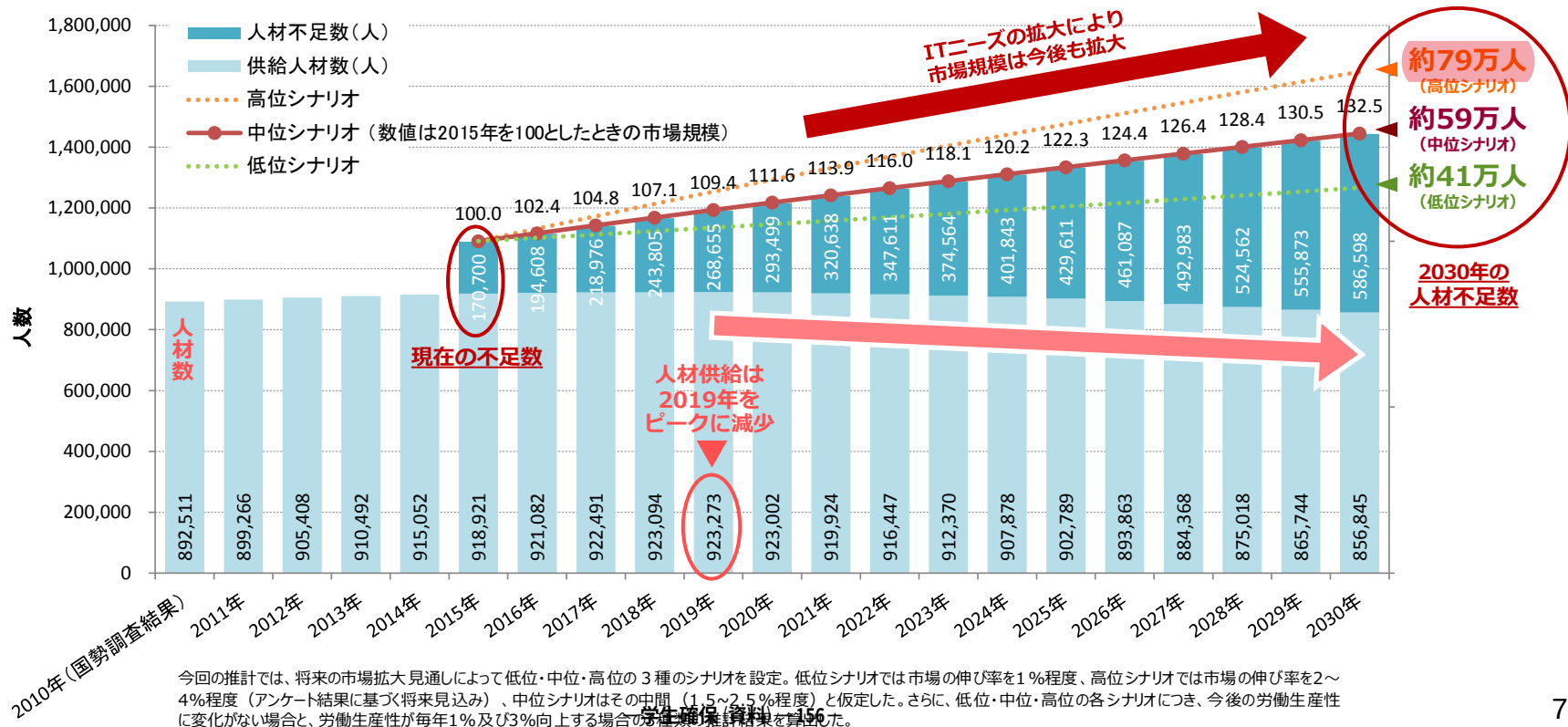
- IT関連産業の産業人口に関する将来推計（マクロ推計）の一環として、人材の不足状況や今後の見通しに関するアンケート調査結果に基づき、現在及び将来の人材不足数に関する推計も実施。
- マクロ推計によれば、**2015年時点で約17万人のIT人材が不足している**という結果になった。さらに、前頁で示されたとおり、今後IT人材の供給力が低下するにもかかわらず、ITニーズの拡大によってIT市場は今後も拡大を続けることが見込まれるため、IT人材不足は今後ますます深刻化し、**2030年には、（中位シナリオの場合で）約59万人程度まで人材の不足規模が拡大する**との推計結果が得られた。

2

今後のIT人材の不足規模

IT人材の不足規模に関する予測

- 2015年の人材不足規模：約17万人
 - 2030年の人材不足規模：約59万人（中位シナリオ）
- ⇒ IT人材不足は、今後ますます深刻化



2019 年 2 月 19 日

デル株式会社

De11 EMC、約 800 社の中堅企業を対象にした

「IT 投資動向調査」の最新結果を発表

IT 人材不足の深刻化が継続し、大幅に進むゼロ・ひとり情シス化（対前年比+7%）

さらに 6 割の情シス担当が他業務との兼任化であることが浮き彫りに

2019 年 2 月 19 日

デル株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：平手智行、URL：<http://www.dell.co.jp/>）（以下、De11 EMC）は、2018 年 1 月に発表した中堅企業 IT 投資動向調査に引き続き、3 度目の同調査を実施し、中堅企業における IT 投資規模および投資動向、潜在化している課題に関する分析結果を発表しました。全体として IT 関連の予算は増えている一方で、IT 人員は減少傾向にあること、ならびに、セキュリティー事故を経験した企業や複雑な OS マイグレーションも増加していることがわかりました。

De11 EMC は、最新の IT 投資動向調査から判明した 3 つのトレンド、「総務部が IT 部門を兼任する割合の急増」「ひとり情シスの退社が大幅に増加」「シャドー IT が実はデジタル化を推進している」に対する新しい「傾向」と支援策を策定しました。本調査は、2018 年 12 月～2019 年 1 月にかけて国内の中堅企業（従業員 100 名以上 1,000 名未満の会社）約 800 社を対象に実施しました。本調査により、最新の IT 環境の状況を把握し、中堅企業向けサービスのさらなる向上を目指します。

主な調査結果

1. 「ひとり情シス」「ゼロ情シス」が大幅に進む傾向が明確化

中堅企業の約 38%が情報システム担当者 1 名以下の体制で、昨年の 31%より 7 ポイントアップで急増。「ひとり情シス」が 14%から 18.8%、「ゼロ情シス（IT 専任担当者なし）」が 17%から 18.8%と昨年からの傾向がさらに進み、IT 人材不足の深刻化が継続している。

2. 情シス要員の退職が激増、同時に積極的な採用で流動化高まる

人材不足の裏側では、転職市場が活況化する中、情報システム要員の21%が退職している極めて高い離職率であることが判明した。しかしながら、その離職率の約2倍近くの37%の人材を外部から採用している。好調な業績により従業員が増える中で、増加する端末・デバイス管理や「Windows10」移行に必要なリソースとして人員増強に踏み切る企業が多い。

3. 専任情シス減少により、兼任情シスが過半数を超える

兼任型情シスとは、所属する部門がIT関係ではない状態のことである。中堅企業全体では56.6%が兼任型情シスであり、従業員が100名から200名未満の企業だと、69.4%にのぼり大きな割合を占めることが判明した。加えて、ITにかかる時間が減少傾向の45%未満であり、新技術のプロジェクトに苦慮する姿が明確になった。

4. 約半数の中堅企業が働き方改革に着手、質的充実は今から

「今後取り組む予定」(31.0%)を含めると8割近い企業が働き方改革着手に向けた取り組みを推進中である。しかしながら、実施企業の40.5%は、導入するも質的変革が伴わない場合には、「何も変わっていない」との反応を示し、約25%は、「家族と過ごす時間が増えた」「休養が十分とれるようになった」と回答。昨年、最も多い目的の「長時間労働の是正」は進捗が認められる。働き方の質的改善は今からが急務。

5. クラウド(IaaS)利用動向は大幅進捗、キャズム普及期を超える

クラウドの利用は、昨年から大幅に向上して、20.4%となった。一方、導入があまり進んでいない企業が67.1%と昨年から7ポイントダウンしており、キャズム普及期を超えたと言える。導入の機会が増え、障壁がなくなったことで、裾野が広がり利用企業が広がっているという変化がデータから読み取れる。

6. IT部門が忙殺される中、事業部門にシャドーITが急増

IT部門の人員減少や業務の忙殺状態によって、事業部門への対応に追い付かないケースが多くなってきている。この傾向は300名未満の企業で6割に達している。そのため、IT部門を通さずに事業部門で機器導入やクラウド利用をすることが増えてきており、特に初期のクラウド導入に関与している。セキュリティ

イー事故数には変化はないが、潜在的なヒヤリハット事案は増え続けており、注意喚起が必要。

7. 被災経験地を除くと BCP 計画はまだ途上

BCP 策定済み・策定中の企業は 39.7%で、約 6 割の企業が計画を保有していないことがわかった。エリア別では昨年大きな被災として、西日本豪雨、大阪北部地震、北海道胆振東部地震の影響で、北海道（44.4%）、大阪（44.8%）が進捗している。また、各種調査でも意識の高い地域とされる東海地域は 53.8%であり、製造業のサプライチェーンの重要性が実証されている。

8. セキュリティー事故増加傾向、組織内部者の不正行為も急増

中堅企業の 35.7%が直近 3 年でセキュリティー事故の被害を受けており、昨年と比べて約 5 ポイント上昇した。その要因として、SNS への軽率な情報公開、不正ログイン、不正利用といった、昨年から大幅に増加しているユーザーの個々の意識改善を必要とするものや、社員によると思われる不正行為からくる情報セキュリティー上のインシデントが 4.9%に達し、ユーザーのガバナンスに起因するリスクが急上昇している。

9. ひとり情シスも二極化、新技術研究タイプと現行踏襲タイプ

ひとり情シスには、さまざまなタイプが存在するが、IT リテラシーの点で二極化が進んできている。ひとり情シスの 55%が仮想化していない実情があり、そのタイプの企業は IT リテラシーの高い企業と比較して、会社業績が低迷している実態がわかった。

調査結果から判明した 3 つの新しい「傾向」と支援策

1. 総務部が IT 部門を兼務している割合が急増。

総務部兼任型情シスは、経営層に近く、今までブラックボックスであった IT 予算や保守などのコストにメスを入れて高い信頼を得る傾向があります。しかし、業務多忙で新技術を試す時間は切り出せないことが多く、革新的な技術を選択せず、枯れた技術を優先する一方で、中身を吟味してからアウトソーシングなどの外部サービスを活用する傾向が顕著です。Dell EMC は、喫緊課題となる「働き方改革」「BCP」「社内コミュニケーション」など積極的にリードする総務部兼任型情シスに必要な情報、使いやすいソリューションを提供します。

総務部情シスの「支援対策」

A I 戦略 2019

【概要】

令和元年7月9日

内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）



A I 戦略【基本的考え方】

- 「**人間尊重**」、「**多様性**」、「**持続可能**」の3つの理念を掲げ、Society 5.0を実現し、SDGsに貢献
- 3つの理念を実装する、**4つの戦略目標**（人材、産業競争力、技術体系、国際）を設定
- 目標の達成に向けて、「**未来への基盤作り**」、「**産業・社会の基盤作り**」、「**倫理**」に関する取組を特定

戦略目標Ⅰ：**人材**

人口比において最もAI時代に対応した人材を育成・吸引する国となり、持続的に実現する仕組みを構築

戦略目標Ⅱ：**産業競争力**

実世界産業においてAI化を促進し、世界のトップランナーの地位を確保

理念（実現する社会）

- 人間の尊厳の尊重（Dignity）
- 多様な人々が多様な幸せを追求（Diversity & Inclusion）
- 持続可能（Sustainability）

戦略目標Ⅲ：**技術体系**

理念を実現するための一連の技術体系を確立し、運用するための仕組みを実現

戦略目標Ⅳ：**国際**

国際的AI研究・教育・社会基盤ネットワークの構築

具体目標・取組

未来への基盤作り

教育改革

研究開発

産業・社会の基盤作り

社会実装

データ
関連基盤

デジタル・ガバメント
中小・新興企業支援

倫理

AI社会原則

AI戦略【主な具体目標と取組】

戦略目標の達成に向けて、「**未来への基盤作り**」、「**産業・社会の基盤作り**」、「**倫理**」の各分野（教育改革、研究開発、社会実装、データ、デジタル・ガバメント、中小・新興企業支援、社会原則）における各**具体目標**と**取組**を特定

		主な具体目標	主な取組
未来への基盤作り	教育改革	デジタル社会の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基礎などの必要な力を全ての国民が育み、あらゆる分野で人材が活躍	- リテラシー：外部人材の積極登用、生徒一人に端末一台 - 応用基礎：AI×専門分野のダブルメジャーの促進 - エキスパート：若手の海外挑戦拡充、AI実践スクール制度 優れた教育プログラムを政府が認定する制度の構築
	研究開発	世界の英知を結集する研究推進体制 日本がリーダーシップを取れるAI技術 - AI研究開発の日本型モデルの構築	多様な研究者による創発研究の支援拡充 - 世界をリードできる次世代AI基盤技術の確立 AI中核センター改革、AI研究開発ネットワーク構築
産業・社会の基盤作り	社会実装	- 実世界産業のサービス構造への転換 インクルージョン・テクノロジーの確立 - 標準化を推進し、開発成果の社会実装を促すシステム・アーキテクチャを先導	- 健康・医療・介護：世界の医療AIハブ、データ基盤整備 - 農業：スマート農業技術の現場導入、成長産業化 - 国土強靱化：インフラデータプラットフォームの構築 - 交通・物流：AIターミナルの実現、物流関連データ基盤構築 - 地方創生：スマートシティ共通アーキテクチャの構築
	データ関連基盤	国際連携による次世代AIデータ関連インフラの構築	- データ基盤：データ基盤の本格稼働と連携 - トラスト：トラストデータ流通基盤の開発
	デジタル・ガバメント 中小・新興企業支援	- 公共サービス・自治体行政のコスト削減、業務効率化 - AIを活用した中小企業の生産性向上	自治体が安心して利用できるAIサービスの標準化 - 中小企業支援方策の検討
倫理	AI社会原則	社会原則普及と国際連携体制構築	「人間中心のAI社会原則」の定着化、多国間枠組構築

教育改革に向けた主な取り組み

デジタル社会の「**読み・書き・そろばん**」である「**数理・データサイエンス・AI**」の基礎などの必要な力を**全ての国民**が育み、あらゆる分野で人材が活躍

主な取組

育成目標【2025年】

エキスパート

先鋭的な人材を発掘・伸ばす環境整備

- 若手の自由な研究と海外挑戦の機会を拡充
- 実課題をAIで発見・解決する学習中心の課題解決型AI人材育成

トップクラス育成
100人程度/年

2,000人/年

応用基礎

AI応用力の習得

- AI×専門分野のダブルメジャーの促進
- AIで地域課題等の解決ができる人材育成（産学連携）

25万人/年

（高校の一部、高専・大学の**50%**）

認定制度・資格の活用

- 大学等の優れた教育プログラムを政府が認定する制度構築
- 国家試験（ITパスポート）の見直し、高校等での活用促進

50万人/年

（大学・高専卒業生**全員**）

リテラシー

学習内容の強化

- 大学の標準カリキュラムの開発と展開（MOOC※活用等）
- 高校におけるAIの基礎となる実習授業の充実

100万人/年

（高校卒業生**全員**）

（小中学生**全員**）

小中高校における教育環境の整備

- 多様なICT人材の登用（高校は1校に1人以上、小中校は4校に1人以上）
- 生徒一人一人が端末を持つICT環境整備

※Massive Open Online Course：大規模公開オンライン講座

研究開発に関する主な取組

- **AI中核センター群の抜本的改革**と**研究開発ネットワーク**によってAI研究開発の**日本型モデル**を構築し、日本を世界の研究者から選ばれる**魅力的な拠点化**
- **次世代AI基盤技術**等の戦略的推進、世界レベルの自由かつ独創性を発揮できる**創発研究**の推進

研究環境整備



制度・インフラの整備

- 計算資源強化
- 研究や勤務・生活に関する環境整備（サバティカル、報酬等）

創発研究支援体制

- 世界をリードする研究者の確保
- 海外大学・機関との連携強化

中核研究開発の立ち上げ

基礎理論

- 現在の深層学習で太刀打ちできない難題解決
- 革新的自然言語処理技術・音声処理技術の研究開発
- 脳モデルを利用したAI技術の研究開発

コンピューティング・デバイス

- エッジ向けコンピューティング・デバイス：革新的センサ・アクチュエータ、革新的AIチップ技術等
- クラウド型コンピューティング・デバイス：DRAMの容量100倍以上のストレージクラスメモリの開発等
- 次世代型コンピューティング・デバイス：量子情報処理、脳を模倣した情報処理等

高品質かつ信頼できるAI

- 個人データなどの保護と流通を促す技術
- AIの倫理的課題を理数的観点を踏まえて解決
- 説明できるAI技術
- AIからのアウトプットの品質保証

AIのシステムコンポーネント

- 創造発見型AI：AIを用いた材料研究開発、AIとシミュレーションの融合、AIによる科学的発見
- 実世界適用AI：リアルタイムテキストストリーム対応、日本の強みである分野への適応等
- 人間共生型AI：ヒューマンインタラクション技術、人と共進化するAI、翻訳・通訳ができるAI等

社会実装に関する主な取組

地球規模課題及び我が国の課題を克服し、多様性を内包した持続可能な社会を実現するため、**我が国の強い技術とAIを融合**して、価値創造と生産性向上、産業競争力を強化

システム・アーキテクチャの設計・構築

- 米国NIST等を参考に、国全体の研究開発成果の社会実装を促すための**システム・アーキテクチャを設計・構築**
- まずは**重点5分野**において、アーキテクチャ設計に基づくデータ基盤を踏まえた社会実装を**世界に先駆けて実現**
- アーキテクチャ設計を行う**専門家による体制を構築**、加えて米国NISTやドイツの**関係機関との連携を検討**

①健康・医療・介護

データ基盤の整備

日本が強い分野（画像診断等）のAI技術開発

予防・介護へのAI導入

世界最先端の医療AIハブ

医療従事者リカレント教育

②農業

スマート農業技術の現場導入

スマート農業の実現による、農業の成長産業化

農業分野におけるAI人材の育成

③国土強靱化（インフラ・防災）

インフラ業務における新技術等の開発・導入

インフラデータプラットフォームの構築

AIを活用した強靱なまちづくり

④交通インフラ・物流

人的要因による事故のゼロ化

移動に伴う社会コストの最小化

物流網における生産性向上・高付加価値化

⑤地方創生（スマートシティ）

日本発のスマートシティを再定義し、その実現に向けた**インクルージョン・テクノロジー**の開発と、**スマートシティプラットフォーム**の形成

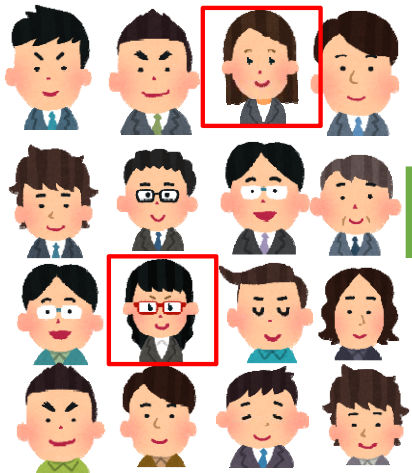
データ品質

- ノイズや偏ったデータによっては、AIが信頼できる結果を出ることができない可能性
- AIを安全・安心に社会実装するためには、信頼できる品質のデータによりAI製品・サービスの信頼性を担保する仕組みが必要

課題

■ 過去のデータで不適切な判断

過去の採用者データ
(男性多い)



採用

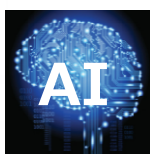


不採用



学習データの
バイアスによる
AIの不適切な判断

■ 少しのノイズで誤認識



SPEED
LIMIT
50

STOP標識に文字のテープを貼っただけで、速度制限に読み間違えてしまった例

実現政策

AIを安全・安心に社会実装するため、
**AI製品・サービスの信頼性を担保する
仕組みを構築**



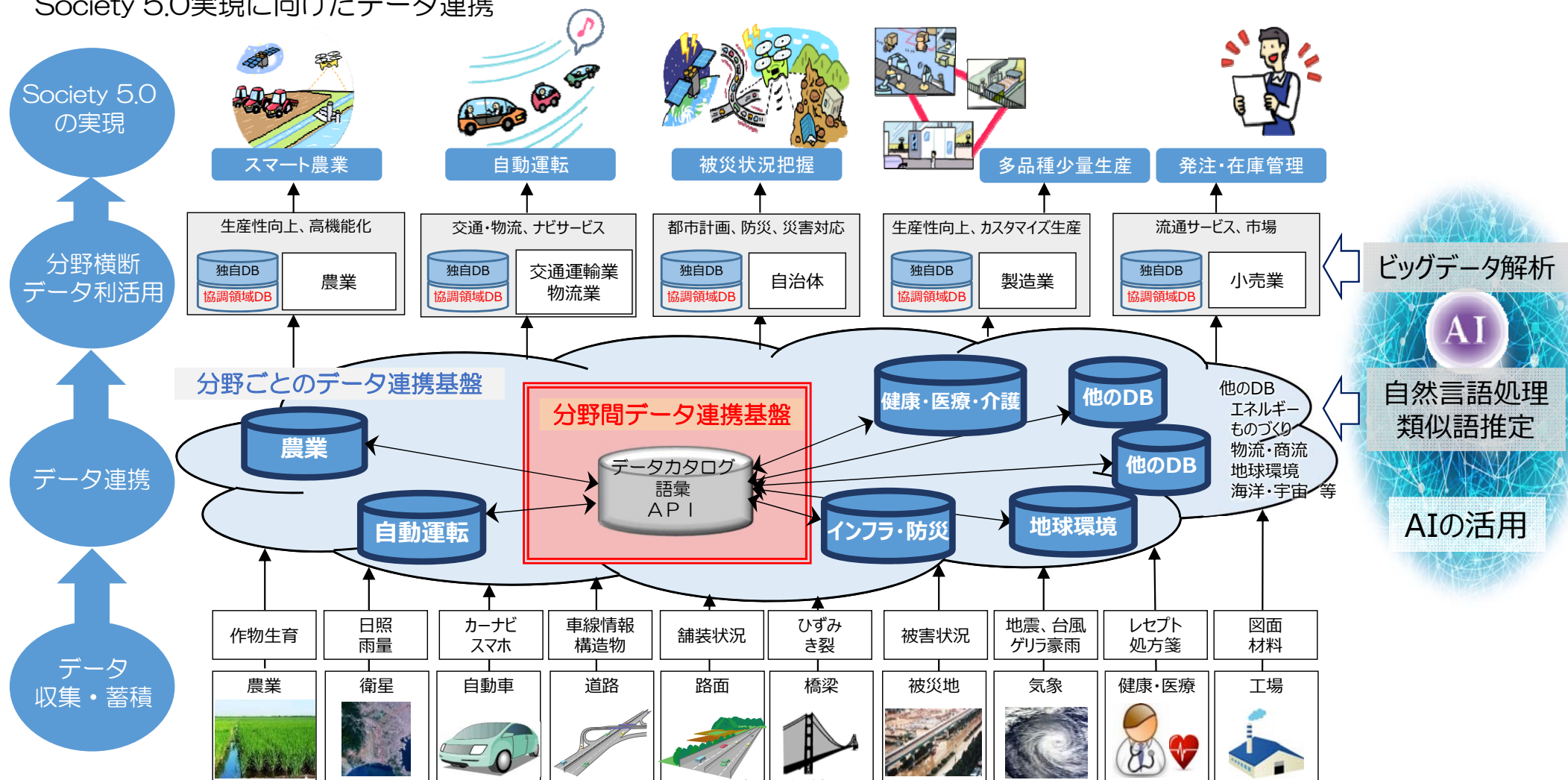
- データ品質指標とその測定手法の策定
及び国際標準化
 - ✓ データの設計及び生成、利用に関する信頼性を指標化、評価方法の確立
 - ✓ 国際標準化を日本が主導
- 第三者評価プロセス（+ガイドライン）
の整備
 - ✓ 第三者機関における客観評価環境の整備

データ連携基盤

➤ あらゆるデータが安全にAIで解析可能なレベルで利用するためのデータ連携基盤を構築。

- ① オープン性 : 誰もがデータを提供でき、かつ欲しいデータを探して入手できるオープンなデータ流通環境
- ② 官民連携 : 官だけでもなく、民だけでもない、官民が連携して構築
- ③ 包括性 : あらゆる分野のデータ基盤を連携。国境を越えた連携も想定。

Society 5.0実現に向けたデータ連携



倫理【人間中心のAI社会原則】

- 世界でAIの倫理的側面に関する議論が進展
- AIに関する人々の不安を払拭し、積極的な社会実装を推進するため、我が国としての原則を3月に策定
- 今後、AI社会原則に関する多国間の枠組みを構築

世界の動向

欧州委員会

・信頼できるAIのための倫理ガイドライン（2019.4）

OECD（閣僚理事会）

・AIに関する勧告（2019.5）

ユネスコ

・AIに関するフォーラム（アフリカ）（2018/12）

・AIの原則に関する世界会議（2019/3）



米国

・大統領令「American AI Initiative」に署名（2019.2）

中国

・AI倫理に関する特別委員会設置（2019.1）

シンガポール

・AIのガバナンスと倫理のイニシアチブ（2018.6）

G20 サミット/貿易・デジタル経済大臣会合

・「人間中心」を踏まえたAI原則（2019.6）

日本の「人間中心のAI社会原則」

「AI-Readyな社会」※実現のための7つの原則

※AI-Readyな社会：社会全体が変革し、AIの恩恵を最大限享受できる、又は必要なときにいつでもAIを導入しその恩恵を受けられる状態となること

プライバシー確保の原則

➤ パーソナルデータの利用において、個人の自由・尊厳・平等が侵害されないこと

人間中心の原則



➤ AIは人間の能力を拡張
➤ AI利用に関わる最終判断は人が行う

教育・リテラシーの原則



➤ リテラシーを育む教育環境を全ての人々に平等に提供

公正競争確保の原則



➤ 支配的な地位を利用した不当なデータの収集や主権の侵害があってはならない

セキュリティ確保の原則



➤ 利便性とリスクのバランス
➤ 社会の安全性と持続可能性の確保

イノベーションの原則



➤ データ利用環境の整備
➤ 阻害となる規制の改革

公平性、説明責任及び透明性の原則



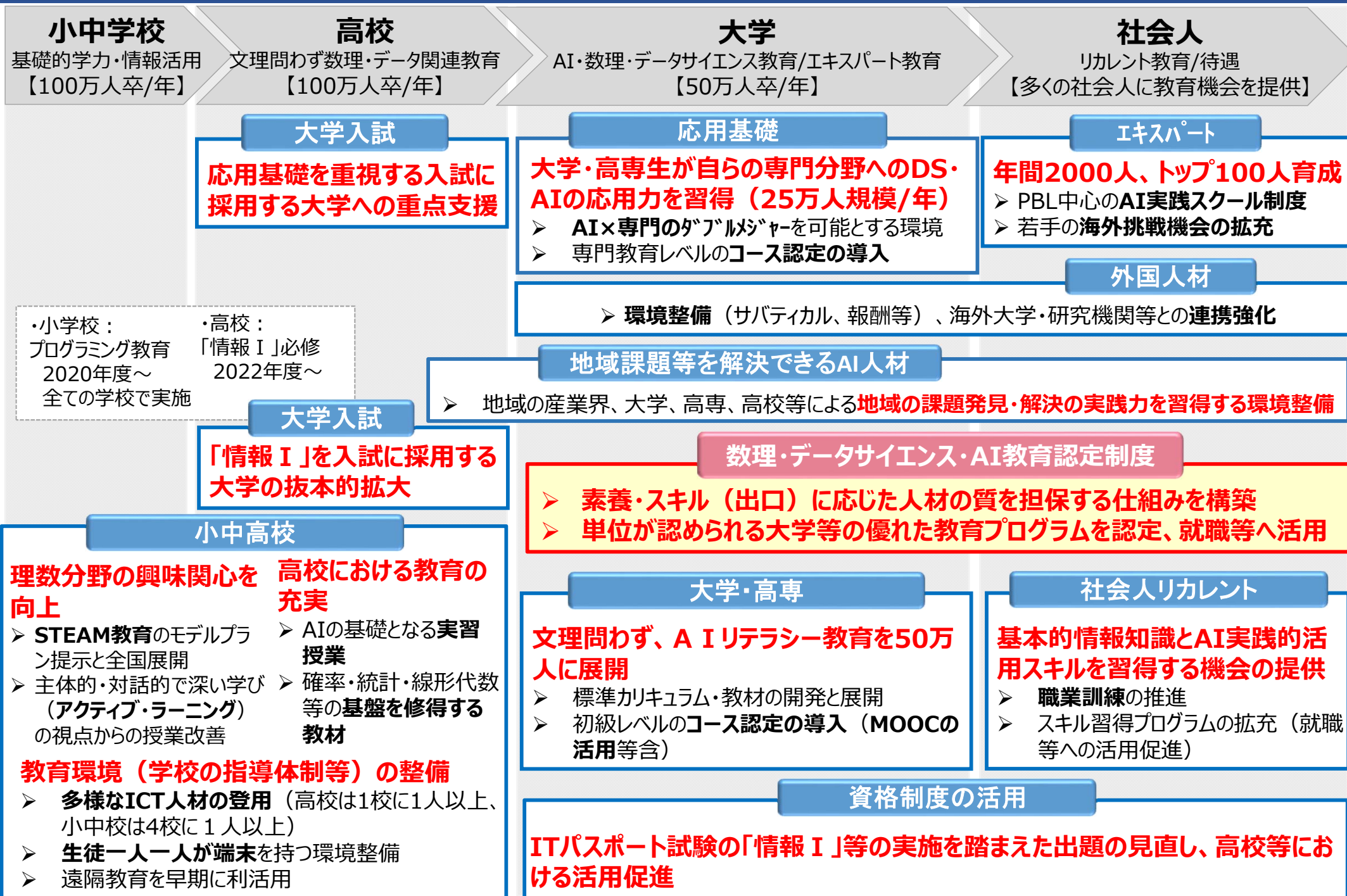
➤ 不当な差別をされない
➤ 適切な説明の提供
➤ AI利用等について、開かれた対話の場を持つ

教育改革に向けた主な取り組み【年代別】

参考

ITパスポート/応用基礎

リテラシー



令和2年度 第1回山口県デジタル推進本部会議 次第

- 1 本部長あいさつ
- 2 デジタル化に係る全庁的推進体制の整備について
- 3 デジタル社会の実現に向けた国の動向について

- ・「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」について
- ・2020年改定版「デジタル・ガバメント実行計画」について
- ・「自治体DX推進計画」について

日 時:令和3年1月14日(木)

11:00～

場 所:共用第1会議室

《会議資料》

資料1 デジタル化に係る全庁的推進体制及び市町との連携体制の整備

資料2 「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」について

資料3 2020年改定版「デジタル・ガバメント実行計画」について

資料4 「自治体DX推進計画」について

資料5 デジタル改革の推進において特に注力すべき事項

資料6 山口県デジタル推進本部設置要綱

デジタル化に係る全庁的推進体制及び市町との連携体制の整備

1 全庁的推進体制

【名 称】 山口県デジタル推進本部

【設置時期】 令和3年1月14日

【構成】 本部長 知事
副本部長 副知事
本部員 公営企業管理者、教育長、警察本部長、各部局長、
東京事務所長

【所掌事項】 ① 県政各分野におけるデジタル化及びDXの総合的な推進に関すること
② デジタル・ガバメントの構築に関すること
③ デジタル化に必要な社会基盤の整備促進に関すること
④ デジタル人材の確保・育成に関すること 等

【事務局】 デジタル推進準備室（令和3年1月14日設置）
室 長 総合企画部次長
室 次 長 政策企画課長（総括）、情報企画課長（情報担当）
室 員 政策企画課、情報企画課（15名）

「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」について

令和2年12月25日閣議決定

デジタル社会の将来像、IT基本法の見直しの考え方、デジタル庁設置の考え方等について、政府としての方針を示したものの。

1 デジタル社会の将来像

(1) ビジョン

デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会

(2) 基本原則

- ①オープン・透明 ②公平・倫理 ③安全・安心 ④継続・安定・強靱
- ⑤社会課題の解決 ⑥迅速・柔軟 ⑦包摂・多様性 ⑧浸透
- ⑨新たな価値の創造 ⑩飛躍・国際貢献

2 IT基本法見直しの考え方

(1) 目的

デジタル化は手段であり、デジタル化によって、多様な国民がニーズに合ったサービスを選択でき、国民一人ひとりの幸福に資する「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を進める。

(2) デジタル社会の形成に向けた取組事項

- ①ネットワークの整備・維持・充実
- ②データ流通環境の整備
- ③行政や公共分野におけるサービスの質の向上
- ④人材の育成、教育・学習の振興
- ⑤安心して参加できるデジタル社会の形成

3 デジタル庁設置の考え方

- デジタル庁は、デジタル社会の形成に関する司令塔として、強力な総合調整機能を有する組織とし、基本方針を策定するなどの企画立案や、国、地方公共団体、準公共部門等の情報システムの統括・監理等を行う。
- 全国規模のクラウド移行に向け、デジタル庁が、総務省と連携し、地方公共団体の情報システムの標準化・共通化に関する企画・総合調整を行う。
- デジタル庁が、補助金の交付されるシステムについて統括・監理する。
- 住民に関する事務に係る情報システムで、相互に連携が行われているシステム（住民基本台帳、地方税等）について、人的・財政的負担の軽減と、サービスの利便性向上を図る。
- 医療、教育、防災など、生活に密接に関連している分野において、デジタル庁が、情報システムに関する整備方針を関係府省と共同で策定・推進し、当該情報システムの整備を統括・監理する。

「【2020年改定版】デジタル・ガバメント実行計画」について

令和2年12月25日閣議決定

「デジタル改革基本方針」の策定にあわせ、デジタル・ガバメントの取組を加速させるため本計画を今回改定。

1 本計画の位置づけ等

- 「官民データ活用推進基本法」及び「デジタル・ガバメント推進方針」を実行するため、平成30年1月策定
- 令和元年12月、デジタル行政手続法における国の行政機関等の情報システムの整備計画として位置付け

2 計画の概要

アンダーラインは今回の改定部分

(1) 利用者中心の行政サービス改革

サービス設計 1 2 箇条に基づくサービスデザイン思考の導入・展開

(利用者から見て一連のサービス全体が「すぐ使えて」「簡単」で「便利」な行政サービスの実現)

(2) 国・地方デジタル化指針

緊急時の迅速・確実な給付の実現など、マイナンバー制度及び国と地方のデジタル基盤の抜本的改善に向けた取組

ガバメントクラウド

①国・地方の情報システムの共通基盤「(仮称)Gov-Cloud」の仕組の整備

②強力な司令塔となるデジタル庁の設置

③マイナンバーカード機能のスマートフォン搭載等、一層の利便性向上

(3) デジタル・ガバメント実現のための基盤の整備

新たなデータ戦略に基づく、ベースレジストリ（法人、土地等に関する基本データ）の整備、行政保有データのオープン化の強化

(4) 一元的なプロジェクト管理の強化等

デジタル庁の設置に併せ、外部の高度専門人材活用の仕組み、公務員試験によるIT人材採用の仕組みの早期導入

(5) 行政手続きのデジタル化、ワンストップサービスの推進等

書面・押印・対面の見直しに伴う、行政手続きのオンライン化の推進

(6) デジタルデバйд対策・広報等の実施

身近なところで相談を受けるデジタル活用支援員の仕組みの本格的実施

(7) 地方公共団体におけるデジタル・ガバメントの推進

①自治体の業務システムの標準化・共通化の加速（国が財源面を含め支援）

②地方公共団体の行政手続きのオンライン化の推進

③クラウドサービスの利用、AI・RPA等による業務効率化の推進

④「自治体DX推進計画」に基づく自治体の取組の支援

「自治体DX推進計画」について

令和2年12月25日 総務省策定

「デジタル・ガバメント実行計画」における、自治体が重点的に取り組むべき事項や国の支援策等について、総務省がとりまとめた計画。

1 趣旨等

(1) DX推進の意義

「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」の実現には自治体の役割は極めて重要であることから、自治体によるDX推進は意義が大きく次の点が求められる。

- ◆ 自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させること
- ◆ デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくこと

(2) 目的

「デジタル・ガバメント実行計画」における自治体のデジタル社会の構築に向けた取組について、国が主導的な役割を果たしつつ、全自治体において足並みを揃えながら着実に進める。

(3) 対象期間

令和3年1月～令和8年3月（適宜見直し・改定見込み）

2 推進体制の構築

(1) 組織体制整備

首長、CIO(最高情報統括責任者)、CIO補佐官、情報政策担当部門など、全庁的なマネジメント体制の構築に速やかに着手する。

(2) デジタル人材の確保

CIO補佐官等の任用に当たっては、国の支援も活用して外部専門人材を積極的に活用するとともに、情報化担当職員等に対する研修を通じて、内部人材の育成を進める。

(国の主な支援)

- ・総務省、デジタル庁、県の連携による外部人材確保の仕組の構築
- ・総務省、デジタル庁の連携による「共創プラットフォーム」の創設、自治体職員への研修等の実施
- ・新たに市町が外部人材を雇用する場合の経費への特別交付税措置

(3) 計画的な取組

重点取組事項に示す目標時期や国の動向（標準仕様策定等）を踏まえ、工程表の策定等により計画的に取り組むことが必要となる。

（国の主な支援）

- ・令和3年の夏を目途に、自治体情報システムの標準化・共通化や行政手続オンライン化の標準的な手順を示す「自治体DX推進手順書」を総務省が策定

＜手順の提示内容＞

1. DXを推進するための組織体制の在り方
2. 外部人材登用に当たっての検討事項・手法
3. 自治体情報システムの標準化・共通化に伴う検討事項整理・実施手順
4. 行政手続のオンライン化に伴う検討事項整理・実施手順
5. AI・RPA導入に伴う検討事項整理・実施手順
6. テレワーク導入に伴う検討事項整理・実施手順
7. 国による支援策

(4) 県による市町支援

デジタル人材の確保に係る調整、デジタル技術の共同導入・共同利用の主導など、市町の自治体DX推進の計画的な取組に対して県が支援を行う。

3 取組事項

(1) 重点取組事項

【自治体の情報システムの標準化・共通化】

自治体主要 **17 業務** を処理するシステム(基幹系システム)を国が整備・運用する「**(仮称)Gov-Cloud**」^{ガバメントクラウド}に移行させるため、自治体は、今後国が示す標準仕様にシステムを準拠させる準備を早期に始める。

【マイナンバーカードの普及促進】

令和4年度末には、ほぼ全国民にマイナンバーカードが行き渡ることを目指し、交付円滑化計画に基づき出張申請受付等の実施により申請を促進させ、臨時交付窓口の開設など交付体制を充実させる。

【行政手続のオンライン化】

原則、全自治体で、特に国民の利便性向上に資する手続について、マイナポータルからマイナンバーカードを用いたオンライン手続を可能にする。

【その他】

A I ・ R P A の利用推進、テレワークの推進、セキュリティ対策の徹底

(2) 自治体DXの取組とあわせて取り組むべき事項等

地域社会のデジタル化、デジタルデバイト対策、B P R (業務改革)の取組の徹底、オープンデータの推進、官民データ活用推進計画策定の推進

【自治体の情報システムの標準化・共通化】

区 分	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)
「(仮称)Gov-Cloud」提供 【内閣官房】	R7年度を目標に自治体の基幹系システムを(仮称)Gov-Cloudに移行					
自治体基幹系17システムの 標準仕様の策定 【内閣官房・各府省】	法案提出 仕様策定・仕様の調整(データ要件・連携要件等、17業務の機能要件) ①住民記録システム：R2年策定の標準仕様書を必要に応じて改定 ②第1グループ(7業務) ：R3年夏までに標準仕様書を作成 ③第2グループ(8業務) ：R4年夏までに標準仕様書を作成 ④国民健康保険：R4年夏までに標準仕様書を作成 第1グループ：介護保険、障害者福祉、就学、固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税 第2グループ：選挙人名簿管理、国民年金、後期高齢者医療、生活保護、健康管理、児童手当、児童扶養手当、子ども・子育て支援					
標準準拠システムの開発 【事業者】	標準準拠システムの開発((仮称)Gov-Cloud上でのサービス提供前提)					
自治体	(仮称)Gov-Cloudを活用し標準準拠システムを利用					
	(仮称)Gov-Cloud利用地方公共団体 順次拡大					
国の主な支援策等	・ 国が策定する標準仕様書に基づく情報システムの利用を義務づけるなど、実効的に推進するための法案の提出 ・ 自治体等の意見を聞きながら17業務の標準仕様書を作成 ・ 自治体の基幹系システムの「(仮称)Gov-Cloud」への移行に必要な準備経費、システム移行経費に対する補助(国費10/10)					

12

【自治体の行政手続のオンライン化】

区 分	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)
地方公共団体マイナポータル接続実現【内閣府】	システム開発 全地方公共団体のマイナポータル接続の実現					
申請項目の自動入力機能の実現等【内閣府】	システム開発 継続的な点検・改善の実施					
オンライン接続に係る標準仕様の提供【総務省】	標準仕様の提供					
自治体	利便性向上に資する31手続のオンライン化 その他手続の積極的なオンライン化					
国の主な支援策等	・子育て、介護、被災者支援等手続の共通申請様式の策定、市町で共同利用可能なクラウド型被災者支援システム構築による罹災証明書の電子申請やコンビニ交付の実現 ・マイナポータルと自治体基幹システムの接続に必要な機器設定、連携サーバー等設置に要する経費に対する補助(国庫1/2)					

都道府県対象手続(4手続)：
自動車税環境性能割の申告納付、
自動車税の賦課徴収に関する事項の
申告又は報告、自動車税住所変更届、
自動車の保管場所証明の申請

市区町村対象手続(27手続)：
子育て関係15、介護関係11、
被災者支援関係1

周南市スマートシティ構想

令和 3 (2021) 年 3 月

周南市

活力ある豊かな周南の実現を

近年、A I や I o T、5 G、ロボット等の技術革新が急速に進み、医療、教育、交通、産業など、社会のあらゆる分野で変革が期待されています。

本市では、こうした先端技術、ビッグデータ等の積極的な活用が、経済的発展や社会的課題の解決、そして、次世代社会に必要な新たな価値の創造を実現していくことにつながることから、スマートシティの推進を最重点施策として進めているところです。

本構想は、市民や企業、行政等の多様な主体が、分野横断的な主体間の連携・協働に加えて、様々なデータや先端技術等を連携しながら、誰もが安心して生き活きと快適に暮らせる持続可能な社会を目指し、「多様なデータや先端技術等を活用し、活力ある豊かなスマートシティ周南へ変革する」をまちづくりの理念としております。

また、S D G s の理念にもある「誰一人取り残さない」を念頭に、市民の皆様の声聞き、寄り添い「分かり合える市政の実現」を一層目指していくためにも、本構想を進めるにあたっては、全ての市民がデジタル化の恩恵を享受できる社会を実現してまいります。

これから10年間、本構想に基づき、市民や企業、関係者の皆様と連携しながら、先端技術、ビッグデータ等を活用した“時代を先取る”まちづくりに本格的に着手し、スピード感をもって先端技術等を社会実装することにより、活力ある豊かなまちを実現してまいります。

結びに、本構想の策定にあたり、数多くの貴重なご意見、ご提言をいただきました市民や関係者の皆様に心よりお礼と感謝を申し上げます。

令和3(2021)年3月

周南市長 藤井 律子



目次

1-1	背景と目的	1
1-2	Society5.0 とスマートシティ	2
1-3	位置付け	4
1-4	期間	4
1-5	SDGs との関係	5
2	周南市を取り巻く社会経済情勢と課題	6
2-1	社会経済情勢	6
2-2	情報通信技術等の動向	7
2-3	周南市の状況	11
2-4	主な課題	14
3	基本方針	16
3-1	まちづくりの理念	16
3-2	基本方針	18
4	分野別方針	21
4-1	安心安全×先端技術	22
4-2	医療・福祉×先端技術	23
4-3	学び・子育て×先端技術	24
4-4	暮らし×先端技術	25
4-5	交通×先端技術	26
4-6	産業×先端技術	27
4-7	観光交流・文化×先端技術	28
4-8	環境・エネルギー×先端技術	29
4-9	行政×先端技術	30
4-10	社会基盤×先端技術	31
5	推進体制	32
5-1	公民連携	32
5-2	推進体制	32
5-3	推進手法	33
5-4	情報セキュリティ	33
	用語解説	34

1 序論

1-1 背景と目的

わが国では、人口減少・超高齢社会が進行し、経済規模の縮小、労働力人口の不足、都市のスポンジ化、インフラの老朽化など、様々な問題が深刻化しています。そうした中、平成 28 (2016) 年 1 月に閣議決定された「第 5 期科学技術基本計画」において、ICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術) を最大限に活用し、サイバー空間 (仮想空間) と フィジカル空間 (現実空間) とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす 超スマート社会「Society5.0」 を実現していく方針が示されました。

また、令和元 (2019) 年 12 月以降の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大により、経済社会や国民生活に大きな変革が求められ、企業、行政等あらゆる業界において DX (Digital Transformation) が急速に進められているところです。

本市においても、急速に発達している AI (Artificial Intelligence) や IoT (Internet of Things)、ロボット 等の先端技術、ビッグデータ 等を積極的に活用することが、こうした社会的課題の解決や次世代社会に必要な新たな価値の創造につながることから、本構想を策定し、最重点施策としてスマートシティを推進します。

図表 1-1 : Society5.0 のイメージ

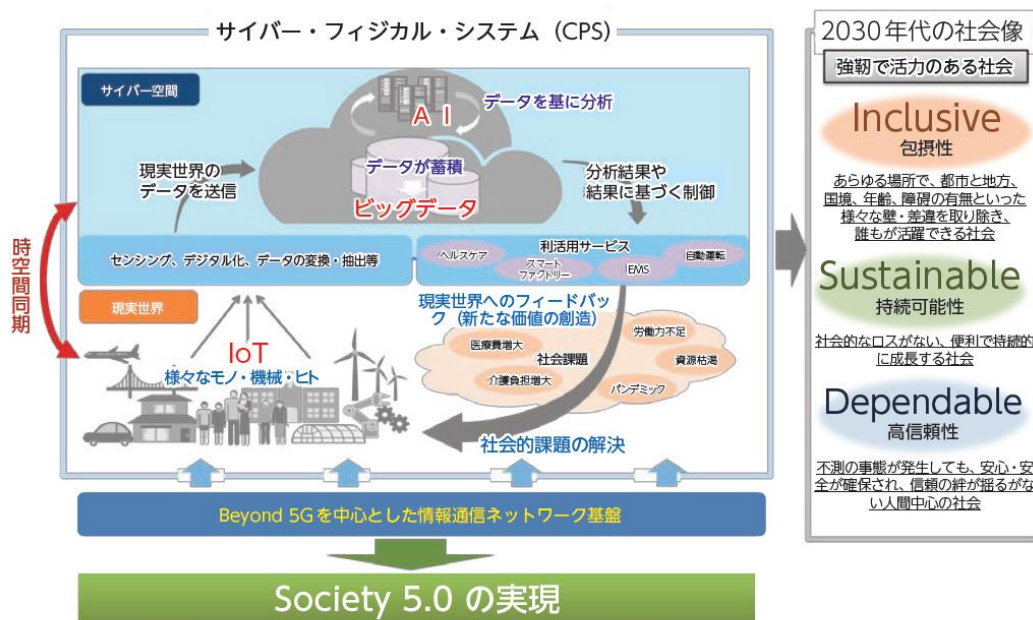


1－2 Society5.0 とスマートシティ

Society5.0とは、「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させることにより、地域、年齢、性別、言語等による格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供することで経済的発展と社会的課題の解決を両立し、人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる、人間中心の社会」と定義されています。

5G（5th Generation：第5世代移動通信システム）の生活への浸透とともに、AIやIoTの社会実装が進むことによって、サイバー空間とフィジカル空間が一体化するサイバー・フィジカル・システム（Cyber-Physical System：CPS）が実現し、データを最大限活用したデータ主導型の超スマート社会に移行します。そこでは、デジタル時代の新たな資源である大量のデータから新たな価値創造が行われ、暗黙知の形式知化、過去解析から将来予測への移行、部分最適から全体最適への転換が可能となります。これにより、必要なモノ・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供できるようになるなど、様々な社会課題解決と経済成長を両立する Society5.0が実現します。

図表1－2：CPSのイメージ



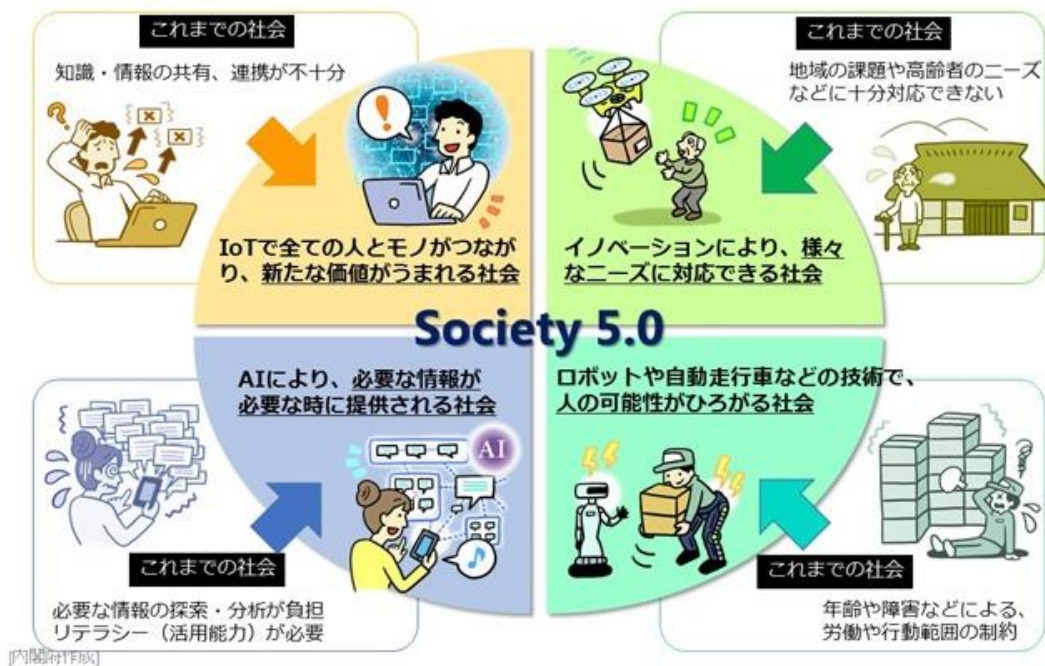
（出典）総務省「Beyond 5G推進戦略」（2020）

そして、将来的には、サイバー空間とフィジカル空間の一体化が更に進展し、フィジカル空間の機能がサイバー空間により拡張されるだけでなく、フィジカル空間で不測の事態が生じた場合でもサイバー空間を通じて国民

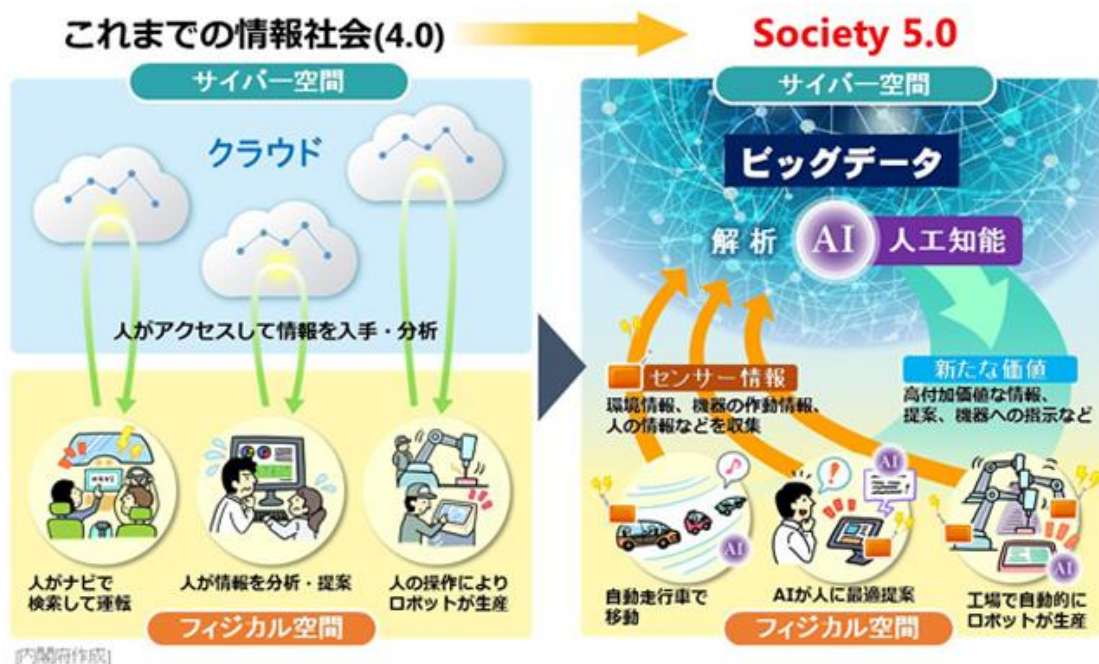
生活や経済活動が円滑に維持される強靱で活力のある社会が実現します。

こうした前提のもと、本構想におけるスマートシティとは、「市民生活や企業活動等に先端技術、データ等を活用しつつ、連携したプラットフォーム等によりマネジメントが行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市であり、Society5.0を具現化したもの」と定義します。

図表 1－3：Society5.0 による課題解決



図表 1－4：情報社会から Society5.0 へ



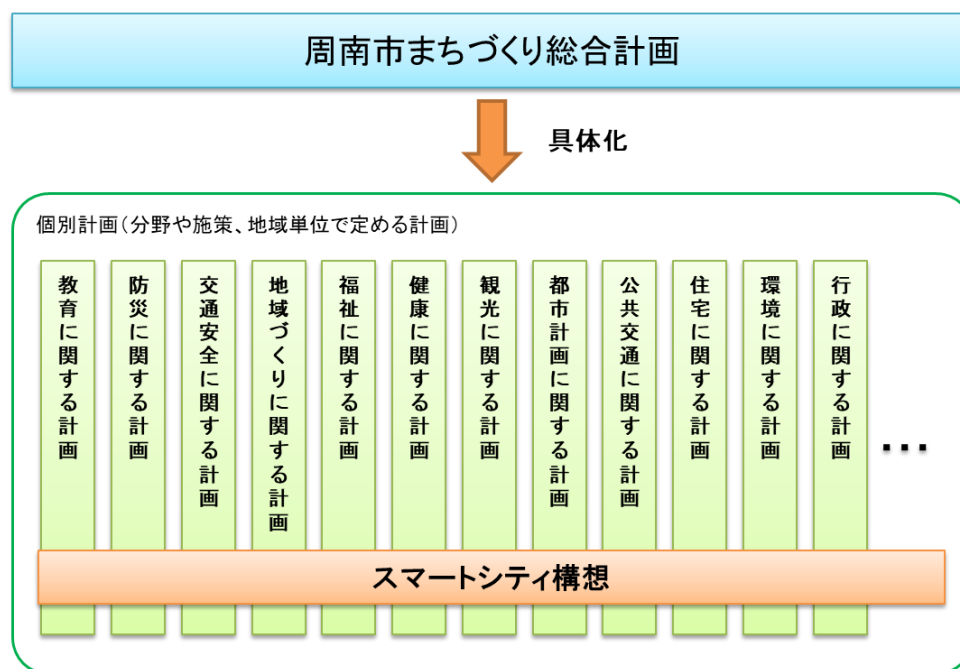
1－3 位置付け

Society5.0の実現に向けたスマートシティの推進にあたり、教育、医療、福祉、産業、交通等の各分野で収集された各種データや各施策を連携させながら、課題解決等を図っていくことが重要となります。

また、急速に変化する科学技術等に対して迅速に対応するためには、現実と構想との齟齬が生じにくい、柔軟かつ包括的な中長期構想が必要です。

本構想は、市の最上位計画である総合計画に即して分野や基本施策、地域ごとに策定した個別計画を推進する手法の一つであるスマートシティ推進施策について、その体系と方向性を示す分野横断的な構想として位置付けます。

図表 1－5：位置付け



1－4 期間

Society5.0の実現に向けて、中長期的に先端技術等の導入に取り組む必要があることから、本構想は令和3（2021）年度から令和12（2030）年度までの10年間の構想期間とします。また、科学技術の動向、社会経済情勢の変化、国の制度や法令の改正等を勘案しながら、必要に応じて見直しを行うこととします。

1－5 S D G s との関係

S D G s (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、平成 27 (2015) 年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中で掲げられた、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す、17 の国際目標です。

わが国では、令和 12 (2030) 年の目標達成に向けて、S D G s と連動する「Society5.0」の推進に取り組んでおり、本市においても、S D G s を達成するため、スマートシティを推進します。

図表 1－6：S D G s



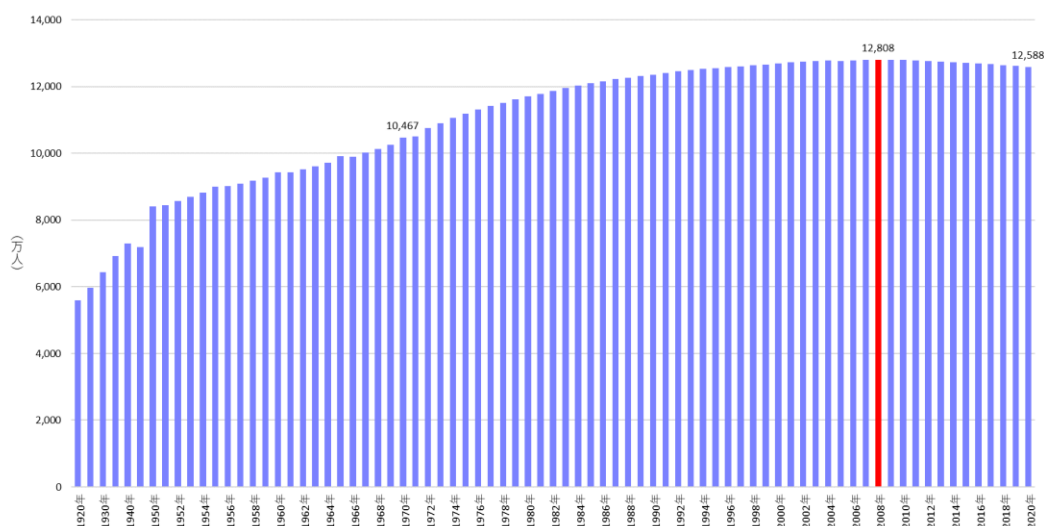
2 周南市を取り巻く社会経済情勢と課題

2-1 社会経済情勢

わが国の人口は、未婚率の上昇や晩婚化、出生率の低下による少子化が進み、平成 20（2008）年の約 1 億 2,808 万人をピークに減少に転じ、約 10 年後の 2030 年に約 1 億 1,913 万人、約 40 年後の 2060 年に約 9,284 万人まで減少すると推計されています。

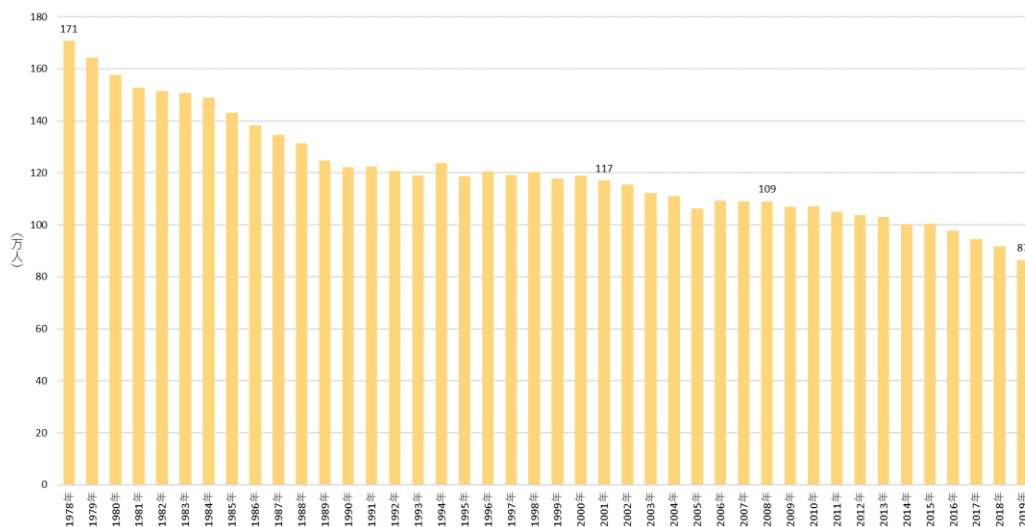
また、医療技術の進歩等による高齢化も進んでおり、約 20 年後の 2040 年に約 3,921 万人まで増加すると推計されています。

図表 2-1：日本の総人口の推移



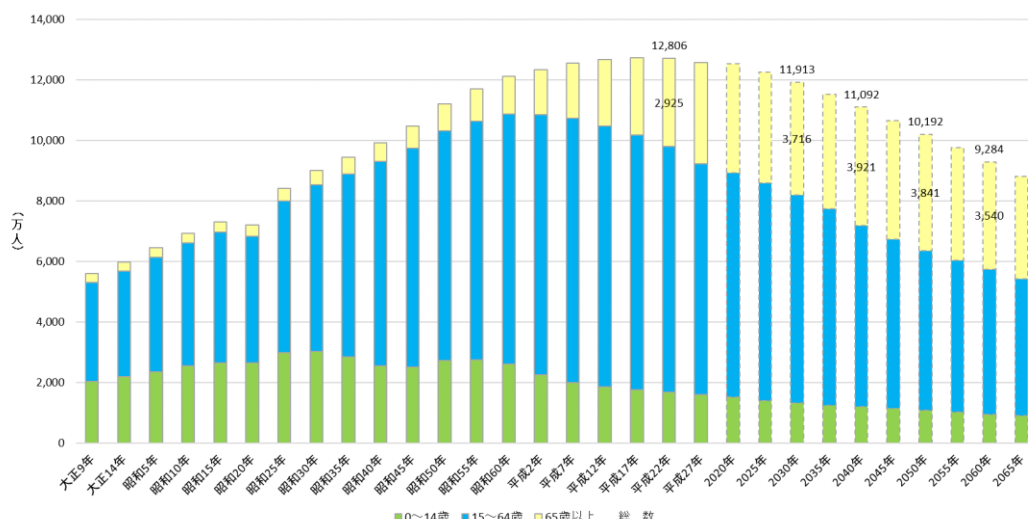
出典：総務省統計局「国勢調査」等

図表 2-2：日本の出生数の推移



出典：厚生労働省「人口動態調査」

図表 2－3：日本の将来人口の予測



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」

このような人口減少・超高齢社会の到来と大都市圏、特に東京圏への過度な人口集中は、経済規模の縮小、社会保障費の増大、担い手の不足など、様々な社会的・経済的問題を生じさせ、地域経済社会に甚大な影響を与えることから、出生率の低下によって引き起こされる人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的とした地方創生の動きが加速化しています。

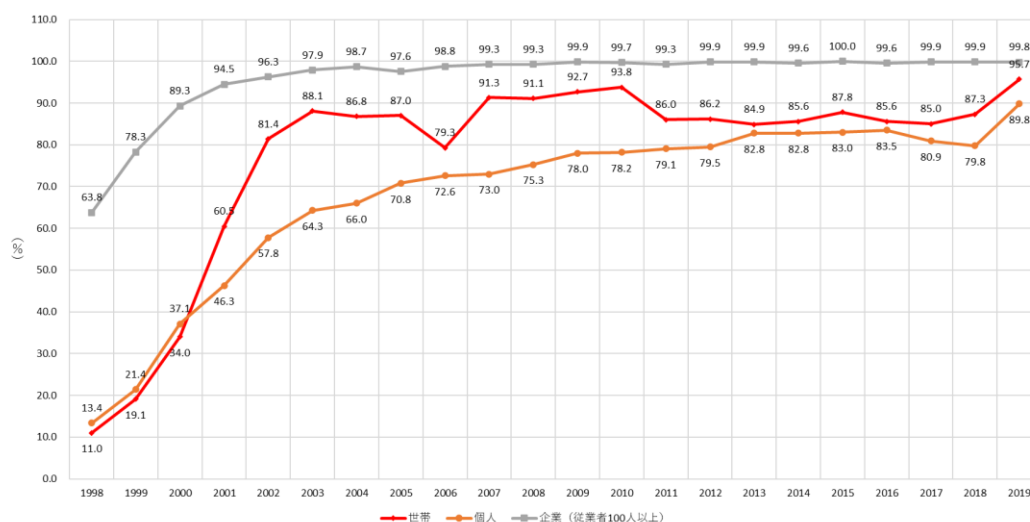
2－2 情報通信技術等の動向

昭和 62（1987）年の携帯電話サービス開始以来、事業者間競争により、携帯電話の料金の低廉化や高性能化が起こり、携帯電話は広く一般に普及しました。さらに、1990 年代以降、P C（Personal Computer）やインターネットが急速に普及すると、通信品質の向上、サービスの多機能化、通信料金の低廉化、利用範囲の拡大により、わが国の I C T やそれを活用したサービスも発展し、利便性が飛躍的に向上してきました。特にスマートフォンが広く利用されるようになると、インターネット利用の中心は P C から モバイル端末 へ移行しました。それに伴い、個対個のリアルタイムのコミュニケーションが容易になるとともに、文字だけでなく写真や動画等を用いた直感的なコミュニケーションが容易となるなど、人々のコミュニケーションスタイルは大きく変容しました。

インターネット利用時間は年々増加しており、インターネットと移动通信システムは、通信基盤から生活基盤へと進化し、国民生活や経済活動に

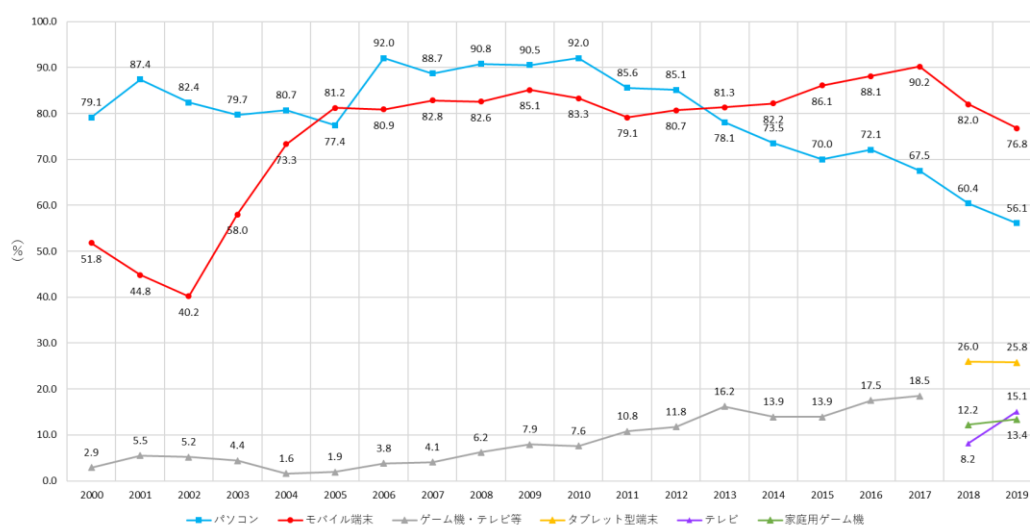
大きな影響を及ぼす存在となっています。

図表２－４：インターネット利用状況の推移



出典：総務省「通信利用動向調査」

図表２－５：端末別インターネット利用割合



出典：総務省「通信利用動向調査」

I C Tの発展・普及により、近年、人々はモノを所有するのではなく、使いたいときに使うという「所有から利用へ」と言われる思考・行動様式に変化したり、自ら撮った動画や自作の音楽などを各種の共有サイトやSNS（Social Networking Service）上に投稿できたりするなど、新しい経済・社会の仕組みとしてデジタル経済が進化しています。

そして、I C Tは、経済活動に不可欠な様々な情報のやり取りをデジタルデータで行うことを可能にするを通じ、コスト構造を大きく変える

ことで、時間・場所の制約を超えた経済活動を可能とする「市場の拡大化」や、従来は成り立たなかったニッチ市場を創出する「市場の細粒化」をもたらし、規模の制約を超えた経済活動も可能とするとともに、企業同士や人と企業との関係にも変化が生じています。

図表 2－6：デジタル経済の特質



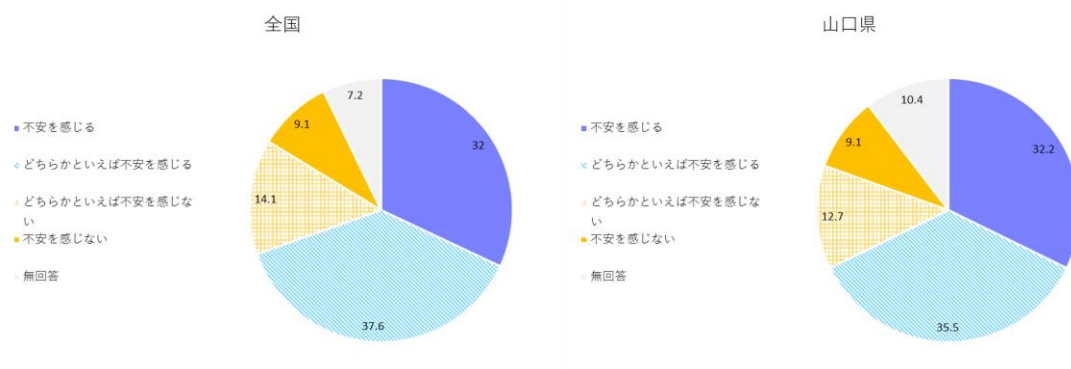
こうしたデジタル経済の進化によって、あらゆる産業にICTが一体化し、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるDXが推進されており、「労働の質の向上」「市場の拡大」「関係人口の拡大」「就労機会の拡大」といった効果が期待されています。

令和2（2020）年3月には、わが国においても5Gの商用サービスが開始され、超高速・大容量、超低遅延及び多数同時接続といった要件を備えることにより、IoTの基盤としての活用が見込まれるなど、非常に重要な役割を果たすものと期待されています。近年、動画や音楽配信等のコンテンツの大容量化、IoTデバイスの普及等により、データ流通量は爆発的に拡大しており、今後、5Gの普及やデジタル化の進展により、さらに流通量が伸びていくことが予測されています。既に、5Gの特長の更なる高度化に加えて、あらゆる機器が自律的に連携し、最適なネットワークを構築する自律性、地球上のどこでも通信を可能とする拡張性、セキュリティ・プライバシーが常に確保される超安全・信頼性、データ処理量の激増に対応できる超低消費電力といった機能を実装した次世代の移動通信システム＝Beyond 5Gの実現に向けた取組も始まっています。

このように社会全体のデジタル化が進む一方で、インターネット利用者におけるセキュリティなどの不安の有無について、「不安を感じる」又は「どちらかといえば不安を感じる」と回答した者の割合が合わせて69.6%となっています。その具体的な不安の内容としては、「個人情報やインターネット利用履歴が外部にもれていないか」の割合が86.1%と最も多く、

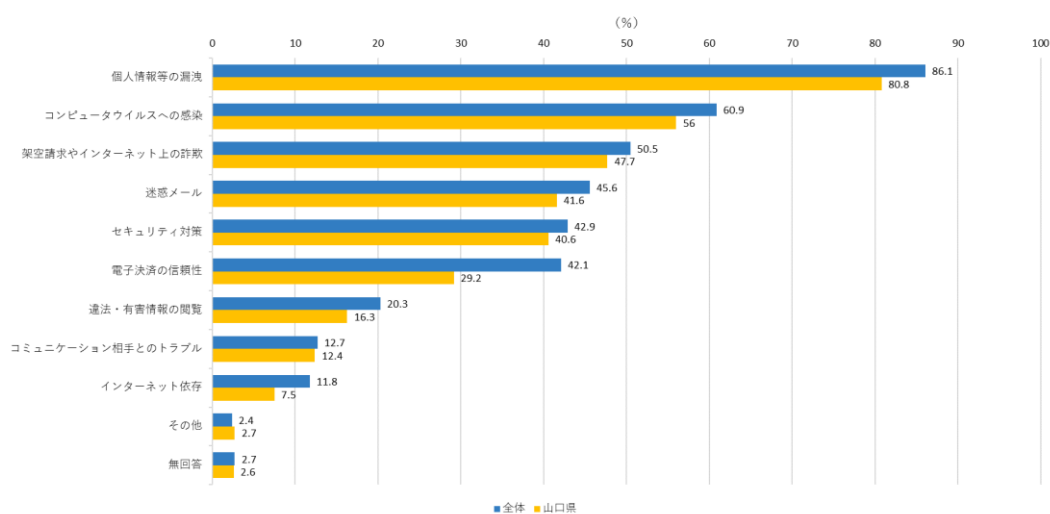
次いで、「コンピュータウイルス感染していないか」(60.9%)、「架空請求やインターネットを利用した詐欺にあわないか」(50.5%)となっているなど、いまだ社会全体にデジタル化が受容され、市民が安心してＩＣＴ等を利活用している状態ではありません。

図表２－７：インターネット利用の不安の有無



出典：総務省「令和元年通信利用動向調査」

図表２－８：インターネット利用の不安内容



出典：総務省「令和元年通信利用動向調査」

わが国では、平成 27（2015）年 5 月、行政の効率化、国民の利便性の向上、公平・公正な社会の実現のための社会基盤を構築するため、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」、いわゆるマイナンバー法が成立しました。マイナンバーが、社会保障、税、災害対策の 3 分野で、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるとともに、マイナンバーカードの公的個人認証サービスを活用することにより、オンラインでの本人確認・本

人認証を安全かつ確実に行うことができます。

平成 28（2016）年 12 月には、国が官民データ利活用のための環境を総合的かつ効率的に整備するため、「官民データ活用推進基本法」が公布・施行されました。それを受けて、平成 29（2017）年 5 月に、官民データ活用推進戦略会議により、デジタル・ガバメント推進方針が決定され、令和元（2019）年 12 月には、デジタル・ガバメント実行計画が閣議決定されています。

令和元（2019）年 5 月には、「情報通信技術の活用による行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律」、いわゆるデジタル手続法が成立しました。

さらに、令和 2（2020）年 12 月には、「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」をビジョンとして「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を進める「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が示されるとともに、「自治体デジタル・トランスフォーメーション（D X）推進計画」が定められました。

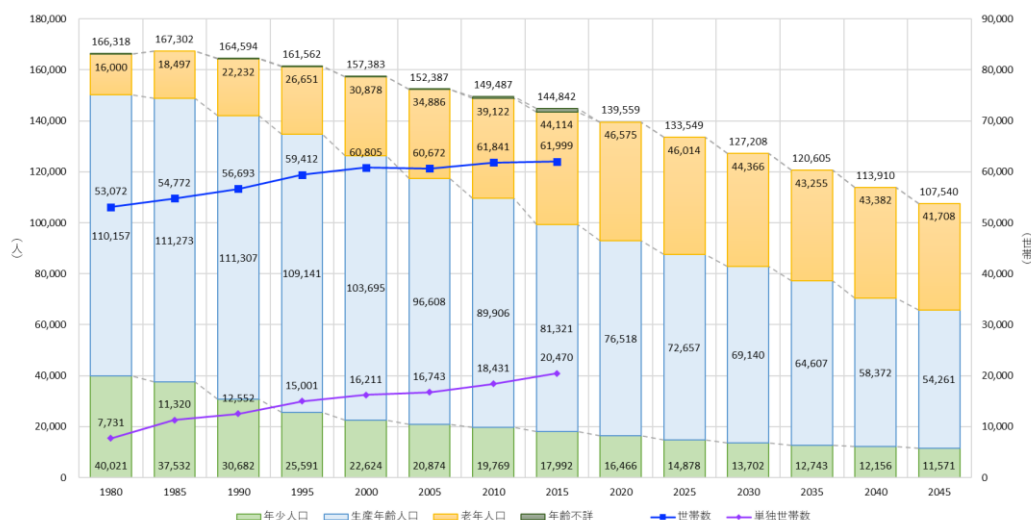
こうした中、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、感染を予防しながら社会・経済活動の維持を図る観点から、これまでオンライン化があまり進まなかった領域においてもデジタル化が進んでおり、I C T は、国民生活や経済活動の維持に必要不可欠な“Essential Tech”（基幹技術）として、これまで以上にその重要性が増してきています。今後、長年にわたる慣行が崩され、デジタル化・リモート化を前提とした活動が定着することで、個人、産業、社会といったあらゆるレベルにおいて変革が生まれ、新たな価値の創造へとつながっていくことが予想されます。

2－3 周南市の状況

国勢調査によると、本市の人口は、昭和 60（1985）年の約 16 万 7 千人をピークとして、平成 27（2015）年には約 14 万 5 千人となり約 2 万 2 千人減少しています。年齢 3 区分別人口の推移をみると、年少人口（14 歳以下）は約 3 万 8 千人（22.4％）から約 1 万 8 千人（12.4％）まで約 2 万人の減少、生産年齢人口（15～64 歳以下）は約 11 万 1 千人（66.5％）から約 8 万 1 千人（56.1％）まで約 3 万人の減少となっている一方で、老年人口（65 歳以上）は約 1 万 8 千人（11.1％）から約 4 万 4 千人（30.5％）まで約 2 万 6 千人の増加となっています。世帯数は、昭和 60（1985）年の約 5 万 5 千世帯から平成 27（2015）年の約 6 万 2 千世帯まで約 7 千世帯増加し、単独世帯の増加が顕著です。

将来推計人口をみると、本市の人口は 2045 年に約 10 万 8 千人となり、平成 27（2015）年より約 3 万 7 千人減少すると推計されています。その間の年齢 3 区分別人口の推移をみると、年少人口は約 1 万 2 千人（10.8%）となり約 6 千人の減少、生産年齢人口は約 5 万 4 千人（50.5%）となり約 2 万 7 千人の減少、老年人口は約 4 万 2 千人（38.8%）となり約 2 千人の減少が推計されています。

図表 2－9：周南市の年齢 3 区分別人口の推移



出典：総務省統計局「国勢調査」等

図表 2－10：年齢 3 区分別人口割合の推移

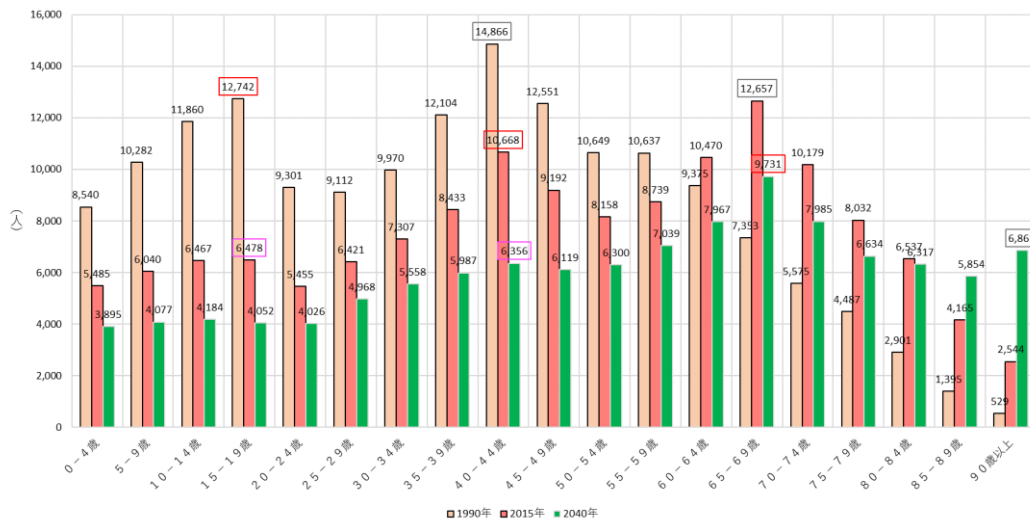


出典：総務省統計局「国勢調査」等

また、平成 2（1990）年と平成 27（2015）年、2040 年における 5 歳階級別人口を比較すると、60 歳未満の各階級において大きく人口が減少してい

ます。40 歳から 44 歳までの階級をみると、いわゆる団塊の世代（1947～49 年生まれ）の約 1 万 5 千人と団塊ジュニアの世代（1971～74 年生まれ）の約 1 万 1 千人では約 4 千人（28.2％）の減少、団塊世代とその孫相当の世代（1995～99 年生まれ）の約 6 千人では約 9 千人（57.2％）の減少となっています。

図表 2－11：5 歳階級別人口（年齢不詳除く）



出典：総務省統計局「国勢調査」等

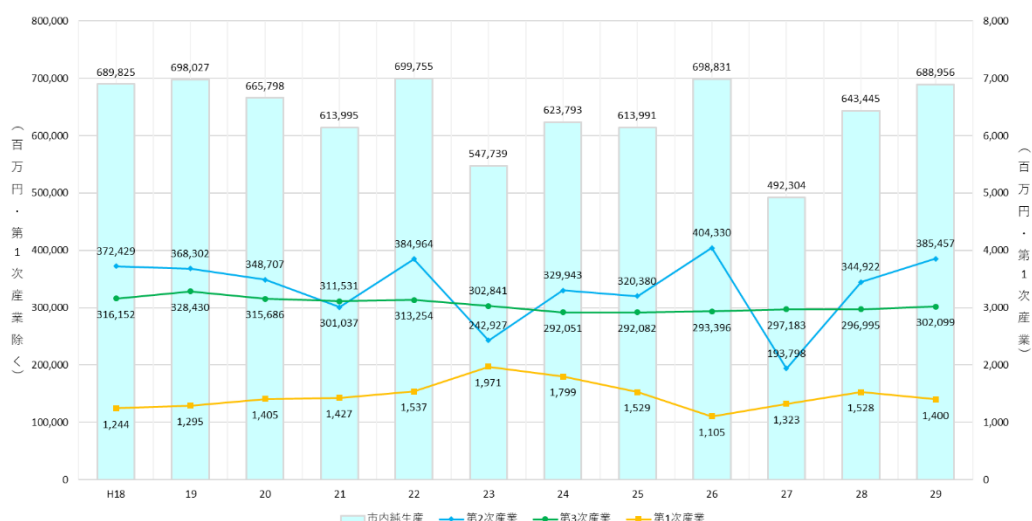
本市の就業者数は、平成 7（1995）年の約 8 万 3 千人から平成 27（2015）年の約 6 万 6 千人まで、20 年間で約 1 万 6 千人（19.6％）減少しています。産業別就業者数をみると、第 1 次産業は約 5 千人から約 2 千人まで約 3 千人（58.5％）、第 2 次産業は約 2 万 8 千人から約 2 万人まで約 8 千人（28.6％）、第 3 次産業は約 4 万 9 千人から約 4 万 2 千人まで約 7 千人（13.9％）、それぞれ減少しています。平成 18（2006）年度以降の市内純生産をみると、第 2 次産業は年度により上下動があるものの、全体として横ばい又は微減傾向で推移しています。

図表 2－12：産業別就業者数



出典：総務省統計局「国勢調査」

図表 2－13：周南市の市内純生産の推移



出典：山口県「市町民経済計算」

2－4 主な課題

社会経済情勢の変化や本市の状況を踏まえ、Society5.0の実現に向けた本市の主な課題を以下のとおり整理します。

- 労働力不足・後継者不足への対応
- 付加価値の向上や業務効率化による生産性の向上
- 地域経済の好循環構造の構築
- 働き方、生活スタイル等の多様性への対応
- 新しい生活様式への対応
- 生活の質（Q o L：Quality of Life）やウェル・ビーイング（Well-

Being) の向上

また、周南市の主な課題をデジタル化により解決していく際には、情報通信技術等の動向等を踏まえ、社会全体として以下のような取組が必要です。

- トラヒックの増加等への対応
- デジタル化を前提とした業務・慣習の見直し
- 現状に満足しない、デジタル化の意識の醸成
- 情報システム等の整備とその利用ルール、費用負担モデルの構築
- データの適正管理やセキュリティ対策
- 公共の福祉とプライバシー等との調整
- 情報リテラシーや I C Tリテラシー等の向上
- データ分析等の専門人材の育成

3 基本方針

本市の課題を踏まえ、Society5.0の実現の観点から、まちづくりの理念と基本方針を以下のとおり定めます。

3-1 まちづくりの理念

地方においては、都市部に比べて人口減少や高齢化が深刻な状況にあるため、地域経済の担い手が不足しているほか、市民生活を支えるサービスの維持が困難となるなど、防災・減災、医療・介護、インフラ、交通、産業振興、働き方、教育など様々な地域課題が存在する中、各地域の特性や実情に合わせて、先端技術等の導入による課題解決の必要性が高まっています。

さらに、デジタル・ディスラプションにより従来のビジネスモデルが継続できない可能性があったり、集積のメリットにより特定の地域へ便益がもたらされたりするなど、デジタル化のマイナスの影響も想定されることから、ICTインフラの整備、価値創出の源泉となるデータの活用、新たな連携相手の開拓に取り組みながら、DXを進めていくことが重要です。

しかしながら、これまで、本市では、先端技術等に関するノウハウの不足、先端技術の導入・管理コストの負担、データの収集・管理コストの負担、専門人材の不足、個人情報の提供への不安感などから、住民や企業、行政の活動においてデジタル化が進んできませんでした。

また、各分野において、企業、住民、行政等の多様な主体が独立して活動してきたため、個別分野の最適化に止まり、必ずしも都市全体の最適化にはつながってきませんでした。今後、全体最適を実現するためには、都市全体の観点から、分野横断的な主体間の連携・協働に加えて、様々なデータや先端技術等の連携が重要となります。

そこで、本市では、Society5.0を実現するため、以下の理念のもとでスマートシティを推進し、地域課題の解決や新たな価値の創造に取り組みます。

**多様なデータや先端技術等を活用し、
活力ある豊かなスマートシティ周南へ変革する**

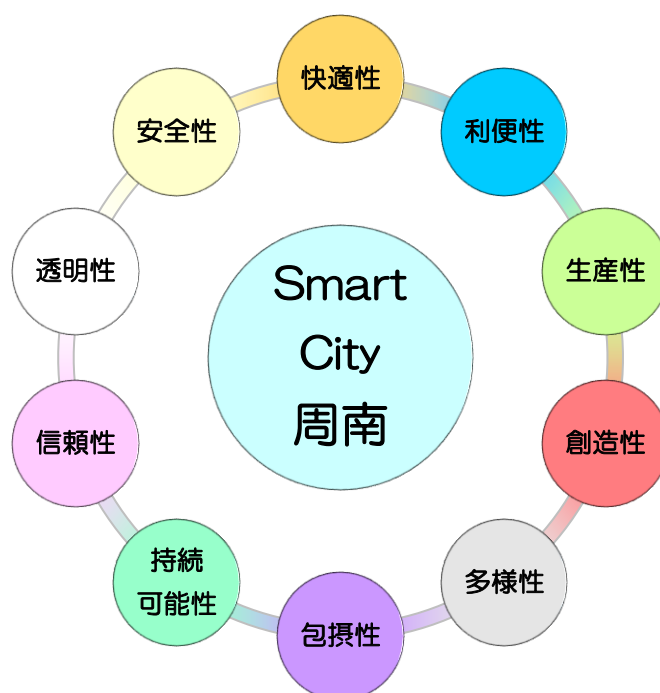
I o Tの普及により、あらゆるモノがインターネットとつながり、フィジカル空間から I S D T（Internet, Sensor, and Digital Technology）を通じてより多くの情報が収集可能となります。あらゆる事象や行動が、リアルタイムにきめ細かくセンシングされ、A Iにより分析されるようになることで、生活を便利にする様々なサービスを、その受け手に合わせてパーソナライズ化させることが可能になるとともに、サイバー空間に蓄積されたビッグデータは、A Iによって分析・活用されることで、フィジカル空間における新たな価値の創造につなげることができます。

また、C P S等により、エネルギー、物流、人流、交通といったあらゆる社会インフラが最適化され、社会全体としての効率化や低コスト化を図ることができます。

このようなスマートシティの推進により、住民生活や企業活動等において、「これまでできなかったことができる」「いつでも・どこでも、より効率的に・簡単にできる」など、必要なモノやサービスを必要なときに享受できるとともに、その結果として生じた余剰の時間やコスト等を自らの生活の質を高める活動や付加価値の高い活動等に充てることができるようになります。

そして、空間や時間の制約がなく、それぞれの能力の拡張や最大化が図られることによって、誰もが安心して生き活きと快適に活動できる持続可能な社会へ変革し、ウェル・ビーイングを高めていきます。

図表３－１：周南市版スマートシティの構成要素



3-2 基本方針

まちづくりの理念「多様なデータや先端技術等を活用し、活力ある豊かなスマートシティ周南へ変革する」に基づき、以下の基本方針に従ってスマートシティを推進します。

① あらゆる分野における先端技術等の積極的な活用により、地域課題の解決や新たな価値の創造を実現する

人口減少、高齢化等が進む中、労働力や地域の担い手の確保、低未利用地の活用、老朽化したインフラの更新、地域経済の活力維持等、様々な課題に加えて、近年、防災・減災、多様化する生活スタイルや働き方への対応等の新たな課題も生じています。

5G等のICTやIoTの進歩とともに、民間企業や行政機関等が保有するビッグデータと、AIやドローン、4K・8K等の超高精細映像といった様々な先端技術等を組み合わせ、飛躍的に精度が向上した予測やリアルタイムのシミュレーション、個人の嗜好に合ったモノやサービスの提供等が可能になっています。

本市は、公民連携のもと、多様な主体があらゆる分野において先端技術等を積極的に活用し、地域課題の解決や新たな価値の創造を実現していきます。

② 多様なデータやサービスが連携したデータ駆動型・知識集約型都市の構築により、社会と暮らしの最適化を実現する

従来は、数年に一度実施される統計等に基づくデータの分析等により、まちの状況や課題等を把握していましたが、ICTやセンシング技術等の発展により、より詳細でリアルタイムなデータを幅広く大量に収集することや、AIを活用してそのビッグデータをより正確に解析することが可能になっています。

また、民間企業や行政機関等が保有する様々な分野のビッグデータを情報や知識に変換する共通連携基盤により、EBPM（Evidence-Based Policy Making）等に基づく最適な意思決定を行えるようになっていきます。

本市は、多様なデータやサービスが連携するデータ駆動型都市や知識集約型都市を構築しながら、社会全体や個人生活の最適化を実現し

ていきます。

③ICTリテラシーの向上、ICT人材の育成・活用により、デジタル・トランスフォーメーションを加速する

人口減少により産業や地域を担う「人」の重要性が増す中で、年齢、性別、障害の有無等に関わらず、誰もが自らの能力を発揮し、社会をみんなで支えていくことが必要となります。特に、企業や行政機関等においてDXが推進されており、AIやIoT等について専門性を有するICT人材は、超スマート社会を担う非常に重要な役割を果たすことが期待されているものの、今後、様々な分野においてICT人材が不足することが予測されています。

また、デジタル化が進む中で、専門人材だけではなく、住民をはじめ社会全体がプログラミング、データ分析、ICTの活用能力等を修得することで、シビックテック（Civic Tech）等による地域課題の解決、ICTを活用した快適な暮らしを実現することが重要となります。

本市は、一般教育課程やリカレント教育等を通じて、Society5.0において必要な知識や思考、技術を習得する機会をつくり、情報リテラシーやICTリテラシーの醸成、これからの社会を牽引するICT人材の育成と活用を図りながら、DXを加速していきます。

④デジタル・ディバイドの解消により、誰もが快適に暮らせる社会を実現する

市民生活や経済活動等における様々な分野でデジタル化が進む中で、インターネット利用環境や身体的・社会的条件の相違に起因して、PCやスマートフォン、インターネット等のICTを利用できる者と利用できない者との間に生じる格差を解消することが必要となります。

そして、高齢者や低所得世帯等の孤立化を防ぐとともに、全ての市民がデジタル化の恩恵を享受できる、社会的包摂が確保された、誰一人取り残さない社会を構築することが重要となります。

本市は、ユニバーサルデザインを取り入れながら、地域間や個人間・集団間のデジタル・ディバイド（情報格差）を解消し、誰もが快適に暮らせる社会を実現していきます。

⑤スマート市役所の推進により、市民サービスと生産性を向上させる

デジタル手続法では、行政手続等の利便性の向上や行政運営の簡素化・効率化のため、デジタル技術を活用した行政の基本原則（デジタルファースト、ワンスオンリー、コネクテッド・ワンストップ）や行政手続におけるデジタル技術の活用等が定められました。

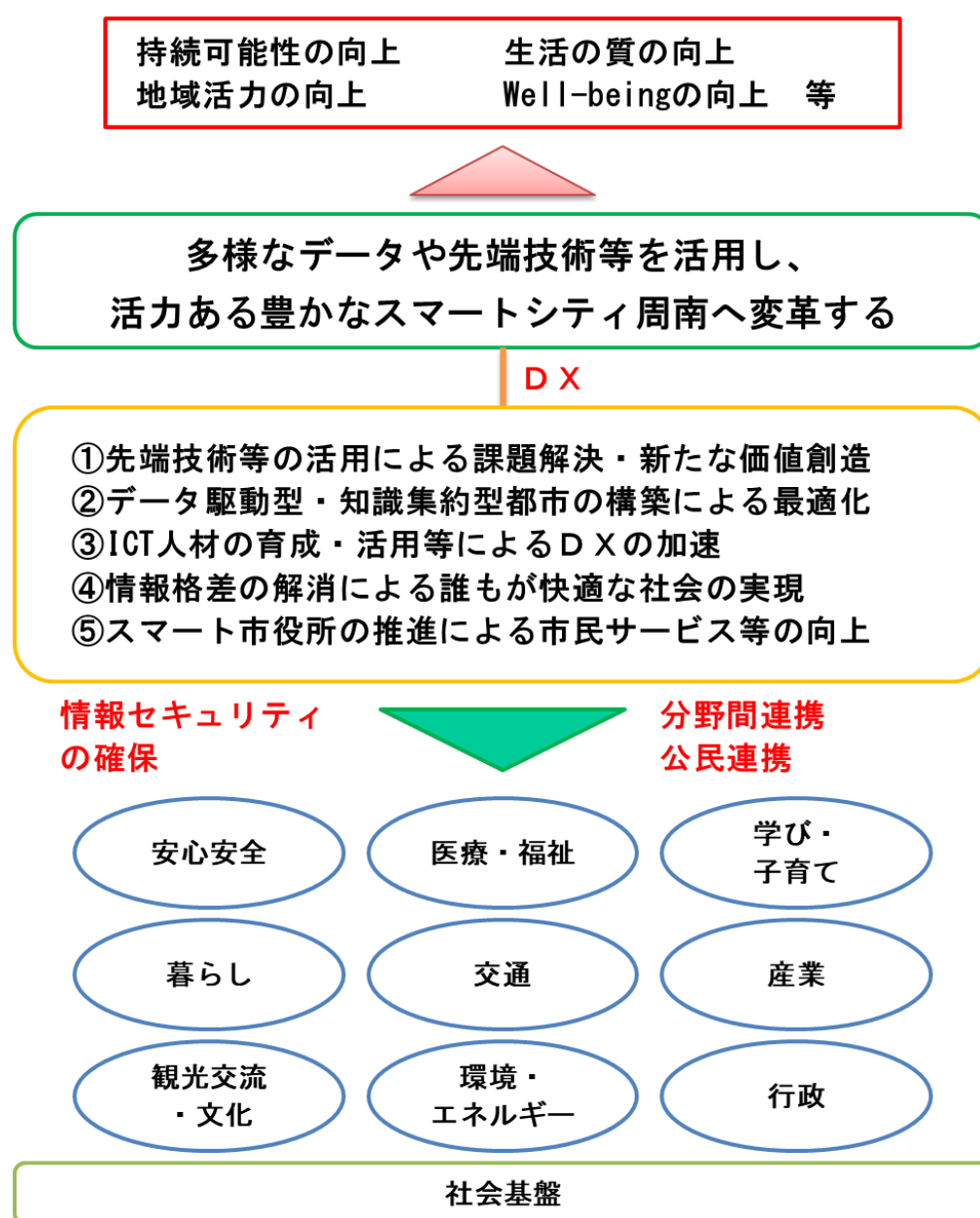
また、生産年齢人口の減少、公共施設の老朽化が進行する中、行政機関においても、限られた財源と人的資源で、市民サービスや公共施設を維持するとともに、S N SやA I、R P A（Robotic Process Automation）、ドローン、ビッグデータ等を活用することで、分かりやすく効果的な情報発信、業務の自動化・省力化、W e b会議・テレワークによる働き方改革、E B P M等に取り組む必要があります。

本市は、先端技術やビッグデータ等を活用した、効率的で効果的なスマート市役所を推進しながら、市民サービスと生産性の向上を図っていきます。

4 分野別方針

Society5.0の実現に向けたまちづくりの理念及び基本方針に基づき、企業や市民、行政等の各主体が、データ連携プラットフォームのもと、相互連携又は分野間連携しながら取り組むべき施策の方向性を定めます。なお、推進方針については、課題解決等に向けて活用することが想定される先端技術等を例示していますが、実際の取組内容は、科学技術の動向、公民連携の進捗、企業等の経営状況、財政状況等を勘案して、各主体が具体化していきます。

図表4－1：全体概要図



4－1 安心安全×先端技術

先端技術やデータ等の連携により、様々なリスクの予防、被害の軽減等に取り組み、安心安全な地域社会を実現します。

【主な課題】

- 気候変動による自然災害の増加、大規模地震の発生等の災害リスクが高まる中、災害の予防、被害の軽減、被災状況等の情報収集・伝達、迅速な災害活動、円滑な避難所の運営、早期の災害復旧等が求められています。
- インターネット利用の増加やS N Sの普及等により、サイバー攻撃の脅威や情報漏洩、誤情報の流布、プライバシー侵害、インターネット上のトラブル等が増大しており、情報セキュリティの確保、I C Tリテラシーの向上、信頼性の確保が必要です。
- 街頭犯罪や侵入犯罪等に加えて、サイバー犯罪、特殊詐欺、ストーカー、DV、野犬、火災等の日常生活における危険や不安から、市民の安心安全な生活を守る必要があります。
- 交通事故の発生件数は減少傾向にあるものの、ドライバーの高齢化対策、歩行者の安全確保、自転車の安全利用の推進が必要です。

【推進方針】

- センサーネットワークによる情報収集・伝達、3 D都市モデルとビッグデータのA I解析等による自然災害の予測・見える化、V R・A R、ロボット等の活用による避難行動支援、被害の軽減、迅速な救助・災害復旧など、防災・減災力の強化等を図ります。
- I C Tの学びの場の確保、情報セキュリティ人材の育成等により、I C Tリテラシーやメディアリテラシーの向上、情報セキュリティの強化等を図ります。
- 見守りカメラ、スマート街路灯等の導入、A I、G I S（Geographic Information System）、ロボット等の活用により、犯罪・野犬被害の抑止や注意喚起情報の伝達、火災の早期発見など、安全な生活環境の整備や消防力の強化等を図ります。
- ビッグデータ、A I、位置情報、センサー等の活用により、安心安全な交通環境の整備、交通事故の防止・被害の軽減等を図ります。

4－2 医療・福祉×先端技術

先端技術やデータ等の連携により、高度な医療・福祉ネットワークを構築し、誰もが必要な医療・福祉サービスを楽しむことができる社会を実現します。

【主な課題】

- 高齢者や単独世帯の増加等により医療・介護のニーズ等が複雑化・複合化する一方で、医療・福祉従事者の不足が懸念されており、医療・福祉サービスの安定的な供給が必要です。
- 医療・福祉ニーズの増加、生活課題の複雑化・複合化、労働力不足等により増大する医療・福祉現場の負担を軽減する必要があります。
- 市民の生命や身体を守るため、迅速かつ的確な救急救助活動や、消防機関と医療機関等との緊密な連携が必要です。
- 単独世帯や高齢者世帯が増加する中、高齢者や障害者をはじめ、誰もが孤立することなく、住み慣れた地域で安心して元気に暮らし続けることができる地域共生社会を実現する必要があります。
- ユニバーサルデザインの導入とともに、高齢者や障害者などの自立した生活や社会参加に向けた見守りや支援が必要です。

【推進方針】

- 高精細映像技術、ロボット等の活用、診断支援システムの導入等により、遠隔診療・手術の導入、医療・福祉のデータ連携など、医療・福祉格差の是正や医療・福祉サービスの充実等を図ります。
- ウェアラブル端末、センサー、AI、介護ロボット等の活用、オンライン相談の導入等により、医療・福祉従事者の負担軽減を図ります。
- ドローン、ロボット、5G、ビッグデータ等の活用により、迅速で的確な救急救助活動の実現、高度な救急医療ネットワークの構築等を図ります。
- AIカメラ、ドローン、ロボット等の活用、見守りや買い物支援、配食といった福祉サービスの提供等により、地域の活動と組み合わせ、高齢者等が安心して在宅生活ができる環境の充実等を図ります。
- センサー、位置情報等の活用、バリアフリー情報のオープンデータ化、音声案内、遠隔手話サービス、テレワークの推進等により、情報バリアフリーの推進、見守りや自立生活支援、社会参加の促進を図ります。

4－3 学び・子育て×先端技術

先端技術やデータ等の連携により、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境、保護者や子どもを社会全体で支えながら安心して子育てができる環境、誰もがICT等を容易かつ主体的に利用し個々の能力を創造的かつ最大限に発揮できる環境を実現します。

【主な課題】

- グローバル化や情報化等が進む中で、子ども一人ひとりの個性に着目し、主体性や自立性、能力を伸ばす教育が必要です。
- 多様化・複雑化する教育ニーズに対し、教員不足、教員の負担増加等が生じており、教育の質の確保、教員の働き方改革が必要です。
- 共働き世帯の増加、核家族化等による保育ニーズの増加、子育て世帯の不安や負担の増大等が生じており、生活スタイルに応じた、子育てしやすい環境の整備が必要です。
- デジタル化が進む一方、少子化や過疎化、人口の偏在等によりICT人材の不足、デジタル・ディバイド等が生じており、地域でのICT人材の育成、社会的包摂の確保が必要です。

【推進方針】

- 対面とオンライン授業のハイブリット化、教育環境のデジタル化、学習履歴（スタディログ）やAI等の活用といったEdTechの推進等により、多様で一人ひとりに最適化された、創造性を育む学びの実現を図ります。
- 学校手続のオンライン化や校務デジタル化といった学校BPRの推進等により、教員の業務効率化、きめ細かな学習指導・生徒指導の実現を図ります。
- AI、ビッグデータ等の活用、電子母子健康手帳の導入、相談・申請のオンライン化、テレワークの推進等により、ライフステージに応じたきめ細かな子育てサポートの充実を図ります。
- 公民連携によるリカレント教育、STEAM教育等の推進、デジタル講習会等のデジタル活用支援、電子図書館の導入等により、デジタル化の裾野を拡大しながら、市民のICTリテラシーの向上や多様な生涯学習機会の確保を図ります。

4-4 暮らし×先端技術

先端技術やデータ等の連携により、買い物、スポーツ、趣味、働き方等の日常生活において、時間や場所を問わず、多様なニーズに合わせたサービスの提供とともに、健康で快適な暮らしを実現します。

【主な課題】

- 過疎化、生活サービス機能の撤退、流通・交通機能の低下が進む中、人やモノの移動が困難になっており、買い物や通院・通学等の生活行動をしやすい環境を整備する必要があります。
- 人生 100 年時代を迎え、若者から高齢者まで、全ての市民に活躍の場があり、元気に活躍し続けられる社会の構築が必要です。
- 社会のパラダイムの転換とともに市民ニーズが多様化する中、ライフステージや生活スタイルに合わせて快適に暮らせる人間中心の都市を構築する必要があります。
- 人口流出、少子化、高齢化等により、担い手不足、空き家・空き地の増加等が深刻化しており、地域人材の確保、低未利用地等の有効活用、地域コミュニティの維持等が必要です。

【推進方針】

- ドローン、自動運転等の活用、キャッシュレス、スマートハウス、オンライン診療の推進等により、時間や空間の制約のない利便性の高い暮らしができる生活基盤の確保、C a a S (City as a Service)の推進等を図ります。
- A I、ウェアラブル端末、ビッグデータ等の活用、A I 保健指導、テレワーク、リカレント教育、サテライトオフィスの推進等により、活躍の場や居場所の創出など、健康増進とともに、高齢者をはじめ多様な人材の社会的活動の促進等を図ります。
- 5 G、ドローン、V R、A R等の活用により、スポーツ、娯楽等の環境が充実した、自分らしい豊かな暮らしの実現を図ります。
- 5 G、A I、ビッグデータ等の活用、テレワーク、働き方改革の推進等により、利便性や生活の質の向上等を図ります。
- 自動運転、ビッグデータ、S N S等の活用、スマート・プランニング、テレワークの推進等により、関係人口の創出拡大や移住の促進、持続可能な地域コミュニティの形成、低未利用地の利用促進等を図ります。

4－5 交通×先端技術

先端技術やデータ等の連携により、時間や場所の制約なく、誰もが容易に移動できる公共交通サービス、持続可能な交通・物流ネットワークを実現します。

【主な課題】

- 自家用車の普及、公共交通利用者の減少、運転士不足等により、鉄道、路線バス等の公共交通や物流の維持が困難となっており、効率的で利便性の高い持続可能な公共交通及び物流サービスの維持が必要です。
- 自家用車の普及や自動車の交通手段分担率の増加等により、自動車交通量の増加、交通渋滞が生じているため、円滑な移動や物流を確保する必要があります。
- インターネット通販普及に伴う配送量の急増、運転士不足による運転の長時間化等により、物流等における負担の増加や人員の確保が深刻になっており、輸送交通の担い手の環境を改善する必要があります。
- 自己の移動手段を持たない人に対する移動手段の確保が必要です。

【推進方針】

- A I、自動運転、アプリ等を活用した M a a S の推進、ロケーションシステム、キャッシュレスの導入等により、効率的で利便性の高いシームレスな交通システムの構築を図ります。
- G P S、配送アプリ、センサー、A I 等の活用、G T F S、ビッグデータ等を活用した情報発信、高度道路交通システムの導入等により、交通の見える化、効率的かつ円滑な交通環境や輸送環境の整備等を図ります。
- 自動運転、ロボット、A I、I o T 等の活用により、持続可能な公共交通ネットワーク及び物流ネットワークの構築を図ります。
- 自動運転、ロボット、A I、I o T 等の活用により、徒歩・自転車交通、公共交通等にも配慮した道路環境の再構築、自転車利用の促進等を図ります。

4－6 産業×先端技術

先端技術やデータ等の連携により、各産業の生産性やサービスの向上、新たなモノやサービスの創出を実現します。

【主な課題】

- 労働力人口の減少、高齢化が進んでいるため、各産業における働き手不足の解消、技術の承継、生産基盤の強化等が必要です。
- 顧客ニーズの多様化等に対応するため、多品種少量生産できる柔軟な生産体制や生産性の向上、新しいサービスの提供が求められています。
- 消費者の購買行動がオンライン・ショッピングへ移行する中、実店舗や商店街において利便性や集客力を向上させる必要があります。
- Society5.0 に向けて、情報通信産業の育成とともに、行政機関や民間事業者、特に中小事業者におけるデジタル化への対応が必要です。
- 生産性を向上させつつ、ワーク・ライフ・バランスを実現するため、働き方改革が必要です。

【推進方針】

- 5G、ウェアラブル端末等の活用、ICTインフラの整備、テレワーク、サテライトオフィスの推進等により、労働力の確保、起業・創業支援、資金の有効かつ効率的配分等を図ります。
- AI、IoT、ロボット、ドローン、GIS、ビッグデータ等の活用、スマート農林水産業、スマート工場、スマート港湾、FinTechの推進等により、作業の効率化・自動化・高度化、遠隔の生産工程・品質の管理、人員の適正配置、高付加価値化など、生産性の向上、産業基盤の強化、新しいサービスの創出等を図ります。
- AI、ビッグデータ等の活用、キャッシュレス、スマート・プランニングの推進等により、居心地がよく歩きたくなる都市空間の形成とともに、消費者ニーズに合った商品やサービスの提供等を図ります。
- リカレント教育の推進、デジタル活用支援、スタートアップの創出・育成、電子申請・契約の導入等により、ICT人材育成やデジタル化の促進、イノベーションの創出等を図ります。
- テレワーク、サテライトオフィス、Web会議の推進等により、副業・兼業、フリーランスなど、多様な就労機会の創出、業務の効率化等を図ります。

4－7 観光交流・文化×先端技術

先端技術やデータ等の連携により、観光の魅力の向上、文化・芸術活動の振興、郷土の特色ある歴史・文化の継承、心豊かな文化風土の醸成、多様な価値観を持つ人材の育成等を実現します。

【主な課題】

- 観光ニーズが多様化する中、歴史や文化、自然等の観光資源の魅力を磨き上げるとともに、広域連携や効果的な情報発信により、観光客やコンベンションの誘致につなげる必要があります。
- 観光客の行動特性等を正確に把握して、円滑な移動とともに、快適に滞在し観光ができる環境を整備する必要があります。
- 人口流出、少子化、高齢化等が進む中、美術博物館、文化会館等の文化施設等を有効活用して、市民の暮らしや社会全体を豊かにする芸術文化振興とともに、歴史や文化・芸術の継承と発展、創造が必要です。
- 国際化が進む中、英語教育と併せて、国際交流の機会をつくり、多様な価値観を持つ人材を育成する必要があります。

【推進方針】

- SNS、VR・AR、ビッグデータ等の活用、アプリ開発の推進等により、観光資源の魅力創出、ニーズに合わせた観光情報発信の強化等を図ります。
- AI、IoT、ビッグデータ等の活用、デジタルサイネージ、キャッシュレス、多言語対応、スマート・プランニングの推進等により、スマート動物園など、回遊性や魅力の向上、観光客の受入環境の整備等を図ります。
- SNS、5G、VR等の活用、デジタルアーカイブ、キャッシュレスの推進等により、地域文化の保存・継承や魅力発信、文化・芸術活動を行う施設の快適な利用環境の整備、文化・芸術活動の発表機会・情報の提供等を図ります。
- 5G、VR、AI等の活用により、姉妹都市をはじめ、言語・生活スタイル・宗教等が異なる世界中の人との交流、地域文化の再構築、多文化共生等を図ります。

4－8 環境・エネルギー×先端技術

先端技術やデータ等の連携により、効率的なエネルギーマネジメントの導入、再生可能エネルギーの普及促進、排水や廃棄物処理施設の適正な維持管理など環境負荷の低減を進め、脱炭素・循環型都市を実現します。

【主な課題】

- 環境保全を進めるため、自然生態系の保全とともに、廃棄物の発生抑制・再利用・再資源化の推進が必要です。
- 下水道及び浄化槽の整備により、公衆衛生の向上に寄与し、公共用水域等の水質保全を図る必要があります。
- 地球温暖化防止、エネルギーの安定供給確保の観点から、再生可能エネルギーを普及させるとともに、省エネルギーによるエネルギー効率を改善する必要があります。
- 3E+S (Energy Security、Economic Efficiency、Environment + Safety) の達成に向けて、再生可能エネルギーの普及、環境に優しいエネルギーである水素の利活用等による多層的なエネルギーの供給構造をつくることが重要です。

【推進方針】

- I o T、アプリ、ビッグデータ等の活用により、廃プラスチック・食品ロスの発生抑制、分別回収・リサイクルの徹底を図ります。
- A I、I o T等の活用により、施設の位置情報や管理情報等を収集・蓄積・解析する効率的なアセットマネジメント、グリーンインフラの整備等を図ります。
- A I、I o T、ビッグデータ等の活用、バイオマス発電・太陽光発電等の整備、H E M S (Home Energy Management System)、B E M S (Building Energy Management System)、C E M S (Community Energy Management System) の推進等により、スマートハウス、スマートメーター、スマートビルディングなど、市民の環境意識の醸成と併せて、電力供給の合理化・最適化等を図ります。
- バイオマス発電・太陽光発電等の整備、燃料電池自動車 (F C V)、燃料電池の普及促進等により、新事業の創出とともに、グリーンモビリティの推進、環境負荷の低減、非常用エネルギーの確保等を図ります。

4－9 行政×先端技術

先端技術やデータ等の連携により、スマート市役所へ転換し、行政サービスの向上や業務改革を実現します。

【主な課題】

- 戸籍謄本や住民票、税証明、契約等の各種行政手続について、時間や場所に制約されることなく、簡易に申請、取得等ができるオンライン化が求められています。
- 高齢者や障害者、外国人等、誰にも分かりやすく簡単に利用しやすい行政窓口が求められています。
- 若者や子育て世帯、高齢者、観光客等の対象者ごと、また安心安全や行事、行政情報等の分類ごとに、必要な情報を即時にきめ細かく伝達・共有する仕組みが必要です。
- 生産年齢人口が減少する中、限られた財源と人的資源で行政サービスの効率化・高度化を図る必要があります。
- 厳しい財政状況の中、限られた資源を効率的かつ効果的に配分するため、従来のような局所的な事例や体験等に基づく政策形成ではなく、客観的データ等の合理的根拠に基づく政策立案が必要です。

【推進方針】

- マイナンバーカードの普及促進、ぴったりサービス、キャッシュレス、電子署名の導入等により、行政手続のオンライン化を進め、デジタル化3原則の実現を図ります。
- A I、ロボット、タブレット端末等の活用により、多言語翻訳など、窓口環境の改善、デジタルコミュニケーションの推進等を図ります。
- アプリ、A I チャットボット等の活用により、デジタルサイネージなど、効果的な情報発信・検索手段の構築等を図ります。
- A I、R P A、タブレット端末等の活用、W e b会議、テレワーク、A I会議録作成、ペーパーレス化の推進等により、全ての業務について、自動化・効率化・高度化などの業務改善等を図ります。
- A I、G I S、ビッグデータ等の活用により、データサイエンティストの育成とともに、詳細なデータ解析、E B P M等を図ります。

4-10 社会基盤×先端技術

先端技術やデータ等の連携とICTインフラの整備により、社会基盤の高度化・全体最適化を実現します。また、都市OSやデジタルツインの構築等により、サイバー・フィジカル・システムを実現します。

【主な課題】

- 人口密度の低下等により都市のスポンジ化、土地利用の変化が進んでおり、生活サービス等の都市機能が維持・更新される持続可能な都市を構築する必要があります。
- 厳しい財政状況が続く中、道路や橋梁、上下水道等のインフラ施設等が老朽化しているため、インフラ施設の維持管理や更新を計画的に進めていく必要があります。
- 企業や行政、個人が保有する多種多様なデータの収集・蓄積と解析、利活用を進める必要があります。
- デジタル化への対応とデジタル・ディバイドの解消に向けて、ICTインフラ整備に取り組む必要があります。

【推進方針】

- AI、統合GIS、ビッグデータ等の活用、センサーネットワークの構築、スマート・プランニングの推進等により、居住や都市機能等の適正な立地、快適な生活環境の整備等を図ります。
- 統合GIS、AI、センサー、ドローン、高精細映像技術、ロボット、ビッグデータ等の活用により、インフラ施設や建築物の遠隔監視・点検など、インフラ維持管理の最適化・高度化、グリーンインフラの整備等を図ります。
- ブロックチェーン技術の活用、都市活動のモニタリング、各主体が保有するデータのオープン化、多種多様なデータが連携した共通プラットフォーム（都市OS）の構築等により、情報銀行など、新たなサービスの創出、シビックテックの促進等を図ります。
- 5Gや光ファイバー、Wi-Fi等の通信ネットワークの整備等により、ICTインフラの強靱化、ICT利用環境のユニバーサル化の促進等を図ります。

5 推進体制

5－1 公民連携

本構想に基づきスマートシティを実現するためには、本市単独で取り組むことは不可能であり、先端技術やビッグデータ、専門人材等を有する企業、研究（高等教育）機関等の幅広い協力が必要となります。

また、新しい技術を活用するためには、関係する法令等を所管する国や山口県の協力のもと、新しい制度や仕組みをつくっていくことも必要となります。

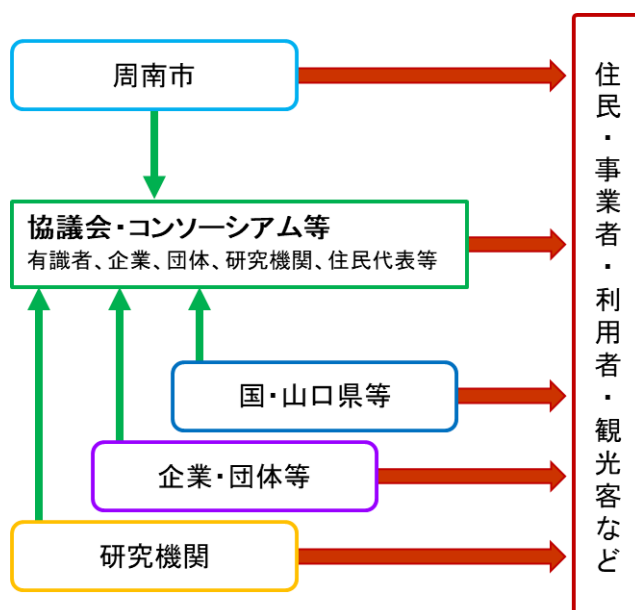
そして、先端技術、ビッグデータ等を導入する際に最も重要なのは、市民の受容と理解、関係者との合意形成です。

Society5.0の実現に向けて、本市では、効率的かつ効果的に具体的施策を実施するため、協議会、コンソーシアム（共同事業体）、協定などにより、市民はもとより企業、研究（高等教育）機関等と緊密に連携しながら各施策に取り組みます。

5－2 推進体制

スマートシティの実現に向けて、必要に応じて協議会、コンソーシアム等を結成するなど、公民連携のもと、それぞれの関係主体が持つ技術やノウハウ、専門人材を最大限に活用しながら、施策を実施します。

図表 5－1：スマートシティの推進体制

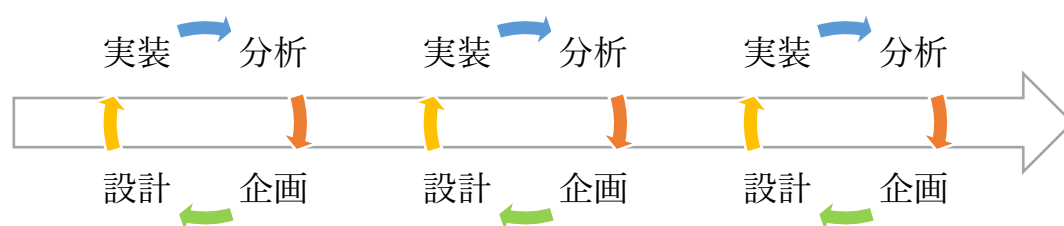


5－3 推進手法

急激な科学技術の進歩や社会経済情勢の変化に迅速かつ適切に対応するため、技術と制度、運用のバランスをとって社会的コンセンサスを得るとともに、L Q C（Lighter, Quicker, Cheaper）の観点やユーザー・ドリブン・イノベーション、デザイン・ドリブン・イノベーション、アジャイル型の実施手法等も取り入れながら、包括的かつ柔軟に各施策を推進していきます。

また、総合的に施策を講じて地域課題を解決する必要がある場合に、地域の実情等を考慮してモデル地区を選定し、先行的に先端技術等を導入した実証実験等を行うとともに、将来的に社会実装と各施策の横展開を行います。

図表 5－2：アジャイル型の実施手法



5－4 情報セキュリティ

C P S では、課題の解決や新たな価値の創造、全体最適化のために、先端技術や各分野のデータ等を連携させたデータ連携プラットフォームにおいて、あらゆる分野から収集した膨大な量のデータを A I 等により解析することになります。

そのため、個人情報等の情報資産やプライバシーについて、市民の理解と情報セキュリティの確保に留意しながら、スマートシティを推進します。

用語解説

(アルファベット、数字、五十音順)

用語	内容
A I	Artificial Intelligence の略。人工知能。
A R	Augmented Reality の略。拡張現実。スマートフォンやタブレット端末などの機器を使って、CG を現実世界に映し出すことができる技術。
B E M S	Building Energy Management System の略。ビル・エネルギー管理システム。室内環境とエネルギー性能の最適化を図るためのビル管理システム。
B P R	Business Process Re-engineering の略。業務の本来の目的に向かって、既存の組織や制度を抜本的に見直し、業務フロー、管理機構、情報システム等を再構築すること。
C a a S	City as a Service の略。先端技術等を活用し、より良いサービスを提供する場としてのまちのこと。
C E M S	Community Energy Management System の略。地域における電力の需要・供給を統合的に管理するシステム。
D X	Digital Transformation の略。企業等がビジネス環境等の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。
E B P M	Evidence-based Policy Making の略。証拠に基づく政策立案。
E d T e c h	Education（教育）と Technology（技術）を組み合わせた造語で、教育における A I、ビッグデータ等の様々な新しいテクノロジーを活用したあらゆる取組のことを示す。
F i n T e c h	Finance（金融）と Technology（技術）を組み合わせた造語で、金融サービスと技術を組み合わせた領域のこと。
G I S	Geographic Information System の略。コンピュータ上で様々な地理空間情報を重ね合わせて表示する地理情報システム。
G T F S	General Transit Feed Specification の略。公共交通機関の情報に関するオープンフォーマット。
H E M S	Home Energy Management System の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。

I C Tリテラシー	情報通信技術の活用能力。
I o T	Internet of Things の略。モノのインターネット。センサーや通信機能等を持ったモノが、ネットワーク経由でデータ連携や相互制御をする仕組み。
I o Tデバイス	固有の I P アドレスを持ちインターネットに接続が可能な機器及びセンサーネットワークの末端として使われる端末等。
L Q C	Lighter, Quicker, Cheaper の略。より簡単に、より早く、より安くというアプローチ。
R P A	Robotic Process Automation の略。これまで人間のみが対応可能と想定されていた作業又はより高度な作業を、人間に代わって実施できるルールエンジンや AI、機械学習等を含む認知技術を活用して代行・代替する取組。
S N S	Social Networking Service の略。Twitter（ツイッター）や Facebook（フェイスブック）、Line（ライン）、Instagram（インスタグラム）など、ネットワーク上で社会的なつながりを構築するサービス。
Society5.0	サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会
S T E A M教育	科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）。アート（Art）、数学（Mathematics）の 5 つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育。
V R	Virtual Reality の略。仮想現実。人の視覚、聴覚、触覚などを刺激し、自分が仮想世界にいるかのような体験ができる技術。
3 D都市モデル	都市空間に存在する建物や街路といったオブジェクトに名称や用途、建設年といった都市活動情報を付与することで、都市空間そのものを再現する 3D 都市空間情報プラットフォーム。
3 E + S	安全性(Safety)を大前提とした、自給率(Energy Security)、経済効率性(Economic Efficiency)、環境適合(Environment)を同時達成する取組。
5 G	5th Generation の略。超高速、超低遅延、多数同時接続といった特徴をもつ第 5 世代移動通信システム。

アジャイル	顧客のニーズや技術進化などに臨機応変に対応するため、計画、設計、実装、テストのイテレーション（反復）を繰り返しながら、短期間に開発するソフトウェア開発アプローチ。要求を開発初期段階に確定し、確定した要求に基づいて設計、実装、統合、テストを順次的に行うウォーターフォール型開発と対になるもの。
アセットマネジメント	資産管理。
暗黙知	経験、勘、直感などに基づく知識やノウハウで、言語、数式、図表などで表現されていない主観的なもの。
ウェアラブル端末	データの処理・通信を行うことができる装着可能な端末。
ウェル・ビーイング	個人や集団が身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを示す概念。
オープンデータ	国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるよう、①営利目的、非営利目的を問わず二次利用可能なルールが適用され、②機械判読に適し、③無償で利用できる公開されたデータ。
関係人口	移住した定住人口でもなく、観光にきた交流人口でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々。
形式知	主に言語、数式、図表などで表現できる客観的な知識やノウハウ。
コネクテッド・ワンストップ	行政と民間が関連する各種手続きにおいて、手続きを1カ所（ワンストップ）で完結させる原則。
サイバー・フィジカル・システム	Cyber Physical Systems。現実空間におけるデータを収集し、仮想空間でデジタル技術などを用いて分析し、活用しやすい情報や知識とし、それを現実空間にフィードバックすることで、付加価値を創造する仕組み。
サイバー空間	主にコンピュータやネットワークによって構築された仮想的な空間。
シビックテック	Civic（市民）と Tech（テクノロジー）を掛け合わせた造語。市民がテクノロジーを活用して、地域が抱える課題を解決しようとする取組や考え方。
情報リテラシー	情報活用能力。
スタートアップ	これまでにない新しいビジネスモデルや製品でイノベーションを起こそうとしている企業。

スマート・プランニング	個人単位の行動データをもとに、人の動きをシミュレーションし、施策実施の効果を予測した上で、施設配置や空間形成、交通施策を検討する計画手法。
スマートハウス	情報通信技術の活用により、家庭内の照明器具、冷暖房設備などの機器を制御し、エネルギー消費を最適に制御する住宅。
チャットボット	「対話（chat）」と「ロボット（bot）」を組み合わせた造語。テキストや音声を通して人と話ができるシステム又はツール。
超スマート社会	必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、生き活きと快適に暮らすことのできる社会
データサイエンティスト	ビッグデータを収集・分析し、それをマーケティング等に活かしてビジネス的な価値を生み出す役割を持った専門人材。
デザイン・ドリブン・イノベーション	モノやサービスの意味付けを追求してイノベーションを実現する方法。
デジタル・ディスラプション	デジタルによる破壊。デジタル技術によって起きる破壊的イノベーション。
デジタル・ディバイド	インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差。
デジタルファースト	行政手続きやサービスを一貫してデジタルで完結させる原則。
テレワーク	情報通信技術を利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。
都市OS	都市に存在する医療や教育、交通、金融等の膨大なデータを収集・蓄積・分析するとともに、他の行政機関や企業、研究機関などと連携しながら、それらのデータを活用してイノベーションを生み出すためのプラットフォームや仕組み。
都市のスポンジ化	都市の内部で空き地や空き家がランダムに数多く発生し、多数の小さな穴を持つスポンジのように都市の密度が低下すること。都市のスポンジ化の進展は、サービス産業の生産性の低下や行政サービスの非効率化、地域のコミュニティの存続危機、治安や景観の悪化などにつながり、都市の衰退を招く恐れがあると懸念されている。
トラヒック（トラフィック）	インターネットやLANなどの通信回線において、一定時間内にネットワーク上で転送されるデータ量。

ドローン	回転翼航空機であって構造上人が乗ることができないもののうち、遠隔操作又は自動操縦により飛行させることができるもの。
ニッチ市場	ニッチ（niche）＝隙間。市場全体の一部を構成する特定のニーズ（需要、客層）を持つ規模の小さい市場。
パラダイム	ある時代や分野において支配的規範となる物の見方や捉え方のこと。
ビッグデータ	情報通信技術の進展により生成・収集・蓄積等が可能・容易になる多種多量のデータ。
フィジカル空間	現実空間。
ブロックチェーン技術	分散型ネットワークを構成する複数のコンピュータに暗号化技術を組み合わせ、取引情報などのデータを同期して記録する技術。
マイナンバー	日本に住民票を有するすべての人（外国人も含む。）が持つ12桁の番号。行政を効率化し国民の利便性を高め公平公正な社会を実現する社会基盤。
マイナンバーカード	プラスチック製のICチップ付きカードで券面に氏名、住所、生年月日、性別、マイナンバー（個人番号）と本人の顔写真等が表示される。本人確認のための身分証明書として利用できるほか、自治体サービス、e-Tax等の電子証明書を利用した電子申請等、様々なサービスにも利用できる。
メディアリテラシー	インターネットやテレビ、新聞などの媒体（メディア）の伝える情報を理解し活用する能力。
モバイル端末	ノートパソコン、スマートフォン、タブレット型端末など、小型軽量で持ち運ぶに適した情報端末装置。
ユーザー・ドリブン・イノベーション	ユーザーに製品等の開発プロセスに参加してもらい、利用者の経験や考えを活かしてイノベーションを実現する方法。
リカレント教育	義務教育または基礎教育の修了後、生涯にわたって教育と他の諸活動（労働、余暇など）を交互に行う教育システム。
リモート	remote＝複数の対象が離れている状態。
ロボット	センサー、知能・制御系、駆動系等の要素技術を有する、知能化した機械システム。人の代わりに作業を自律的に行う装置又は機械。
ワンスオンリー	一度提出した情報は再提出不要とする原則。

「周南市スマートシティ構想」

令和3(2021)年3月

【編集・発行】

周南市企画部情報企画課

〒745-8655 山口県周南市岐山通1番1号

TEL：0834-22-8236

FAX：0834-31-6507

まち・ひと・しごと創生基本方針2021について

令和3年6月

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局
内閣府地方創生推進事務局

2. 「ヒューマン」視点からの具体的な取組②

子育て世帯の移住等の更なる推進

【子育て世帯の移住の推進】

- 若い世代にとっては、子育てが移住の大きなきっかけの一つ。**子どもを帯同して地方に移住する場合を重点的に支援**し、今後の地域社会を支える子育て世代の移住を強力に推進。
- また、移住の推進に当たっては、地方公共団体の受入れ体制も重要であることから、**地方公共団体の移住支援体制の強化を後押し**する。

【結婚・出産・子育てしやすい環境の整備に向けた取組】

- 子育て世帯の移住を推進するためには、地方においても安心して子育て等ができる環境を整えることが必要。**少子化対策や女性活躍の推進の観点から、結婚・出産・子育てしやすい環境の整備に向けた取組**をあわせて進める。

（主な取組）

- ・「少子化社会対策大綱」に基づく総合的な少子化対策の推進
- ・地域の実情に応じた少子化対策の推進
- ・女性デジタル人材の育成、女性農業者が能力を発揮しやすい環境の整備

関係人口の創出・拡大

- **地域課題の解決と地方移住の裾野の拡大**につながる、関係人口の創出・拡大を推進。
都市と地域の両方の良さを楽しむ関係人口を増やすため、仲立ちする**民間組織**をモデル的に**支援**。



(公益社団法人 中越防災安全推進機構)



複業による地域企業と
都市部人材のマッチング
(岩手県、一関市、釜石市)



ふるさと納税寄付者を対象とした
東京でのイベント
(上士幌町)

（関係人口の例）

- ・ふるさと納税を通じて地域とのつながりを持つ人々。
- ・都会に住んでいながら地方の祭りに毎年参加し、運営にも参画する人。
- ・副業・兼業で週末に地方の企業で働く人々。

魅力ある地方大学の創出

- 昨年末の有識者会議報告書も踏まえ、地方創生に資する**魅力的な地方大学の実現**に向け、地方国立大学の特例的定員増を含め、**地域のニーズ等に応じた特色ある取組や、ガバナンス改革を促進**。

- 産官学の連携により地域に特色のある研究開発や人材育成等の取組について、地方大学・地域産業創生交付金等により支援し、**「キラリと光る地方大学づくり」を推進・加速**。

- 東京圏の大学等の地方への**サテライトキャンパス**の設置の推進や、奨学金返還支援の推進により地方への人の流れを創出。

徳山大学公立化検討

第2回 有識者検討会議 参考資料

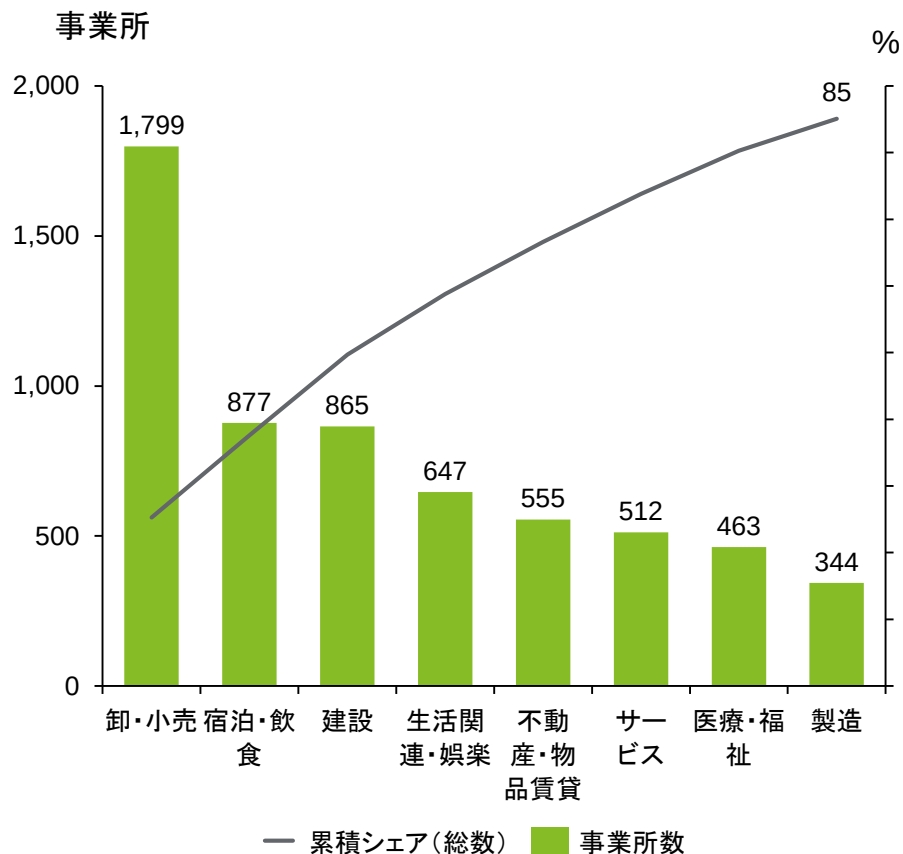
2020年10月14日

【地域ニーズ-周南市の産業構造】

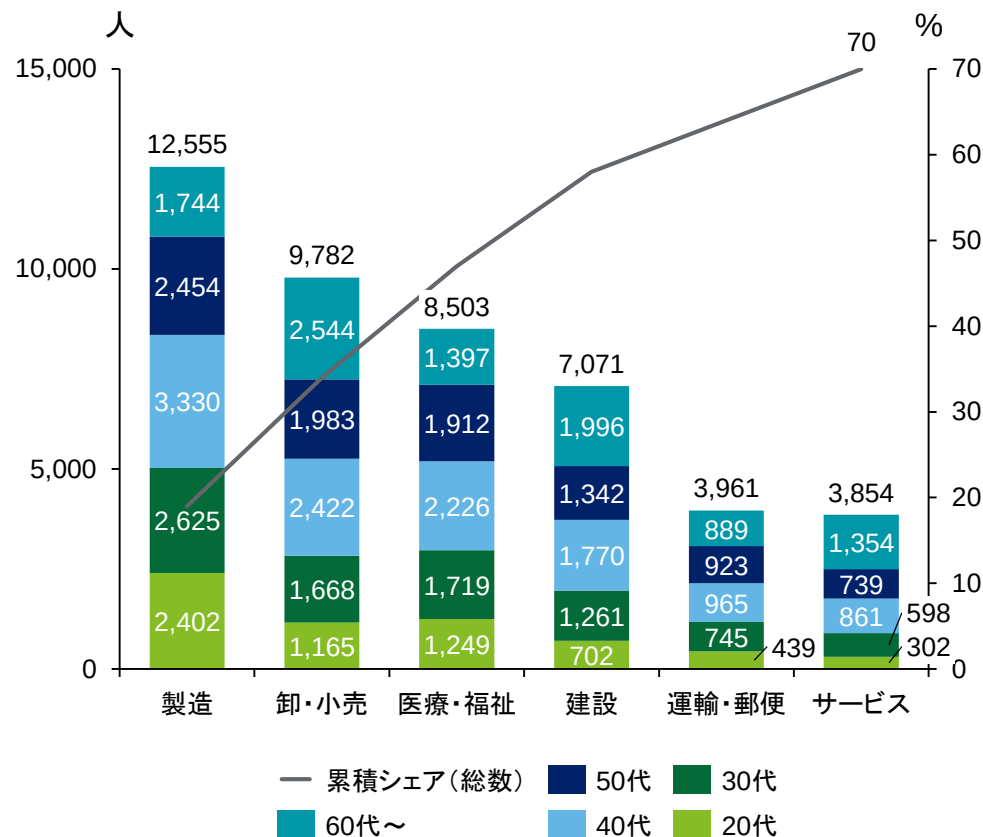
事業所数は卸・小売が25%を占めるが、就業者数では製造が最も多く約20%となる

事業所数では、卸・小売が最も多く、次いで宿泊・飲食、建設が多いが小規模事業者も多く、就業者数でみると製造が約20%を占めている。製造は20～30代の就業者のうち40%と、就業先として大きな役割を担っている。

周南市 産業大分類 事業所数(上位8分類)



周南市 産業大分類 就業者数(上位6分類)



出所: 周南市「統計書」

20 総務省「平成27年国勢調査就業状態等基本集計」

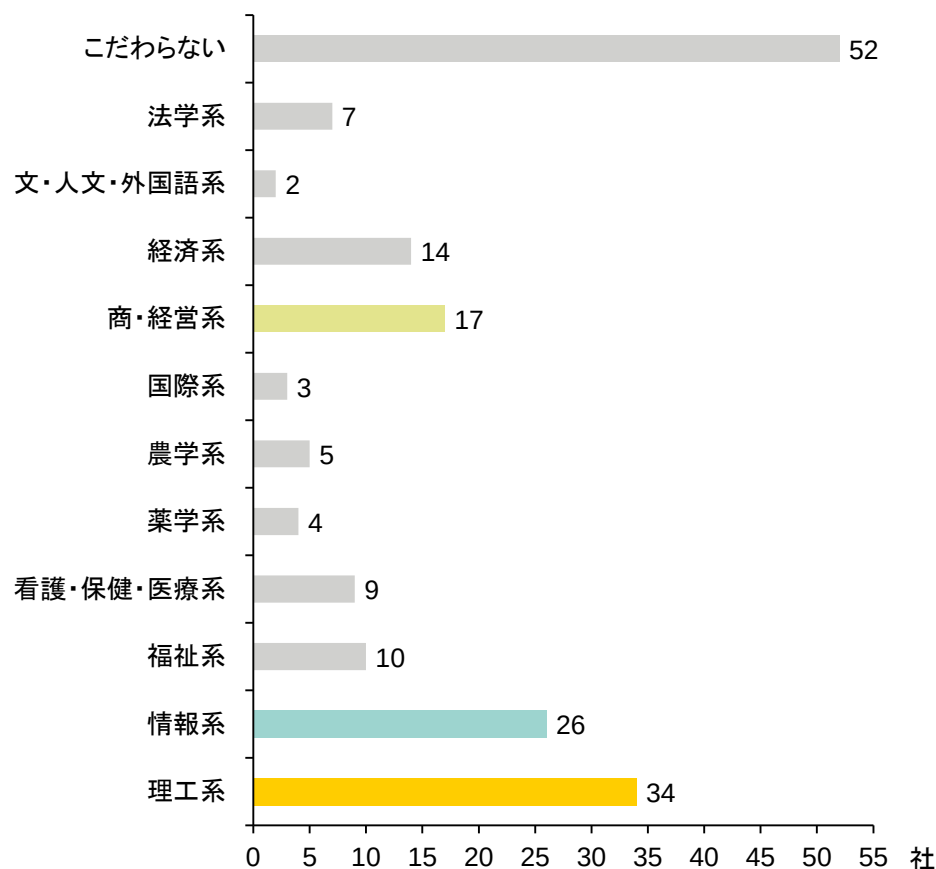
【地域ニーズ-事業者アンケート結果①】

理工、情報、商・経営、経済系学部を専攻した学生の採用を望む企業が多い

採用を望む人材/専攻について、理工系、情報系、商・経営、経済系を専攻した人材の採用を望むと回答した企業が多い。理工系学生は主に製造・建設業が採用を望んでいるが、情報、商・経営系学生は幅広い業種で採用を望んでいる。

採用を望む人材/専攻

Q: 採用にあたり、望む人材/専攻 (n=102、3学部まで回答可能)



回答数が多い人材/専攻の特徴

主に製造・建設業の企業が理工系学生の採用を望んでいる

- 理工系学生の採用を望む企業34社の業種内訳は、製造業が12社 (35%)、建設業が9社 (26%)となっており、**製造・建設業の企業で全体の約60%**を占めている
- 採用実績 (過去3年平均) では、1名未満、1-2名がそれぞれ13社 (38%)と**採用人数が2名未満の企業が全体の70%以上**を占めており、3-4名が5社、5-9名が1社、20名以上が2社となっている

幅広い業種 (医療を含む) で情報系学生の採用を望んでいる

- 情報系学生の採用を望む企業26社の内訳は、金融・保険1社、交通・運輸3社、サービス4社、卸・小売3社、情報・通信4社、医療・福祉2社、建設3社、製造6社と**幅広い業種で採用を望んでいる**
- 採用実績 (過去3年平均) では、1名未満が9社 (36%)、1-2名が7社 (28%)と**採用人数が2名未満の企業が全体の60%以上**を占めており、3-4名が5社、5-9名が2社、20名以上が3社となっている

幅広い業種 (医療を除く) が商・経営系学生の採用を望んでいる

- 商・経営系学生の採用を望む企業17社の内訳は、金融・保険1社、交通・運輸2社、サービス3社、卸・小売3社、情報・通信2社、建設3社、製造3社と**幅広い業種で採用を望んでいる**
- 採用実績 (過去3年平均) では、1名未満が6社 (59%)、1-2名が4社 (24%)と**採用人数が2名未満の企業が全体の80%以上**を占めており、5-9名が2社、20名以上が1社となっている

AI戦略等を踏まえた AI人材の育成について



令和元年11月1日



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

教育改革に向けた主な取り組み（AI戦略より）

デジタル社会の「**読み・書き・そろばん**」である「**数理・データサイエンス・AI**」の基礎などの必要な力を**全ての国民**が育み、あらゆる分野で人材が活躍

主な取組

エキスパート

先鋭的な人材を発掘・伸ばす環境整備

- 若手の自由な研究と海外挑戦の機会を拡充
- 実課題をAIで発見・解決する学習中心の課題解決型AI人材育成

応用基礎

AI応用力の習得

- AI×専門分野のダブルメジャーの促進
- AIで地域課題等の解決ができる人材育成（産学連携）

認定制度・資格の活用

- 大学等の優れた教育プログラムを政府が認定する制度構築
- 国家試験（ITパスポート）の見直し、高校等での活用促進

リテラシー

学習内容の強化

- 大学の標準カリキュラムの開発と展開（MOOC※活用等）
- 高校におけるAIの基礎となる実習授業の充実

小中高校における教育環境の整備

- 多様なICT人材の登用（高校は1校に1人以上、小中学校は4校に1人以上）
- 生徒一人一人が端末を持つICT環境整備

育成目標【2025年】

トップクラス育成
100人程度/年

2,000人/年

25万人/年

（高校の一部、高専・大学の50%）

50万人/年

（大学・高専卒業者全員）

100万人/年

（高校卒業者全員）

（小中学生全員）

※Massive Open Online Course：大規模公開オンライン講座

教育改革に向けた主な取り組み【年代別】

ITパスポート/応用基礎

コンピュータ

小中学校

文理問わず全ての高等学校卒業生が「理数・データサイエンス・AI」の基礎的リテラシーを習得【100万人卒/年】

高校

大学

AI・数理・データサイエンス教育/エキスパート教育
【50万人卒/年】

社会人

リカレント教育/待遇
【多くの社会人に教育機会を提供】

大学入試

応用基礎を重視する入試に
採用する大学への重点支援

応用基礎

大学・高専生が自らの専門分野へのDS・
AIの応用力を習得（25万人規模/年）

- AI×専門のダブルメジャーを可能とする環境
- 専門教育レベルのコース認定の導入

エキスパート

年間2000人、トップ100人育成

- PBL中心のAI実践スクール制度
- 若手の海外挑戦機会の拡充

外国人材

- 環境整備（サバティカル、報酬等）、海外大学・研究機関等との連携強化

地域課題等を解決できるAI人材

- 地域の産業界、大学、高専、高校等による地域の課題発見・解決の実践力を習得する環境整備

大学入試

「情報Ⅰ」を入試に採用する
大学の抜本的拡大

数理・データサイエンス・AI教育認定制度

- 素養・スキル（出口）に応じた人材の質を担保する仕組みを構築
- 単位が認められる大学等の優れた教育プログラムを認定、就職等へ活用

小中高校

「理数・データサイエンス・AI」の基礎的リテラシーを習得

- 主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの授業改善
- データサイエンス・AIの基礎となる実習授業
- 確率・統計・線形代数等の基盤となる知識を修得するための教材作成
- STEAM教育のモデルプラン提示と全国展開

教育環境（学校の指導体制等）の整備

- 多様なICT人材の登用（高校は1校に1人以上、小中学校は4校に1人以上）
- 生徒一人一人が端末を持つ環境整備
- 遠隔教育を早期に利活用

大学・高専

文理問わず、A Iリテラシー教育を50万
人に展開

- 標準カリキュラム・教材の開発と展開
- 初級レベルのコース認定の導入（MOOCの活用等含）

社会人リカレント

基本的情報知識とAI実践的活
用スキルを習得する機会の提供

- 職業訓練の推進
- スキル習得プログラムの拡充（就職等への活用促進）

資格制度の活用

ITパスポート試験の「情報Ⅰ」等の実施を踏まえた出題の見直し、高校等における活用促進

「A I 戦略」実行に向けた人材育成の推進に関する令和 2 年度概算要求の概要



文部科学省

大学・大学院

「A I × 専門分野」人材の輩出

保健医療分野におけるAI研究開発加速に向けた人材養成産学協働プロジェクト

【14億円(新規)】

- ・保健医療分野におけるAI技術開発を推進する医療人材を養成
- ・保険医療分野でのAI実装に向けた教育拠点を構築

文系／理系に関係なくリテラシーを身に付けられる環境の構築

大学の数理及びデータサイエンス教育の全国展開

【12億円(9億円)】※国大法人運交金の内数

- ・文系理系を問わず、全学的な数理・データサイエンス教育を実施
- ・協力校の設置により、標準カリキュラム等を通じた全国の大学への普及・展開を加速化

知識集約型社会を支える人材育成事業

【18億円(新規)】

- ・幅広い教養と深い専門性を持った人材育成を実現するための新たな教育プログラムを構築・実施

大学入学者選抜改革推進委託事業

(数理・データサイエンス・AIを応用できる人材育成のための入試に関する調査研究)

【0.3億円(新規)】

- ・大学入試において、文理を問わず、「数学」及び「情報」の入学試験問題を作成する大学を支援

エキスパート人材の育成

研究インターンシップ・若手研究者支援

AIPプロジェクト

【96億円(92億円)】

- ・人工知能の革新的な基盤技術の研究開発と人材育成を一体的に実施。

博士人材等へのデータサイエンス教育

データ関連人材育成プログラム

【6億円(3億円)】

- ・博士人材等への研修プログラムを開発・実施するとともに、高等学校等でのAI等に関する探究的な学習を促進。

小学校・中学校・高等学校

数理・データサイエンス・A I 等に関する教育の充実

情報教育指導充実事業

【0.6億円(新規)】

- ・教員研修用教材の作成、情報教育関係教科における免許外教科担任を減少に向けた調査研究、学校における情報関係人材の活用促進の調査研究を実施
- ・これらにより情報活用能力の育成に向けた、情報教育の強化・充実を加速化

学校教育における外部人材の活用促進事業

【0.7億円(新規)】

- ・教師としての勤務経験がない社会人等を対象としたリカレント教育プログラムの開発、民間企業等と教育委員会の連携による外部人材の活用の仕組みの調査研究等を実施
- ・これらにより、多様な人材の学校教育への参画を支援し、より効果的な学校教育を実現

先端技術の活用のための学校のICT環境の整備を加速

新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業

【19億円(3億円)】

- ・学校における先端技術の活用やICT環境整備の実証を実施
- ・先端技術等の効果的な活用を加速化

G I G A スクールネットワーク構想の実現

【375億円(新規)】

- ・高速かつ大容量な通信ネットワークの整備を実施
- ・一人一台環境に対応した通信環境の整備を加速化

— 学生確保(資料) — 234 —



初等中等教育段階の人材育成

＜大目標＞ 新学習指導要領の下で、**全ての高等学校卒業生（約100万人卒 / 年）に、「理数・データサイエンス・AI」に関する基礎的なリテラシーを習得させるとともに、問題発見・解決学習の体験等を通じた創造性を涵養する。**

情報活用能力の育成

- 新学習指導要領において、情報活用能力を「**全ての学習の基盤となる資質・能力**」と位置付け
- 発達の段階に応じた**プログラミング教育**の充実

小学校	プログラミング教育の必修化	プログラミングを体験しながらコンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を計画的に実施
中学校	プログラミングに関する内容の拡充	「計測・制御のプログラミング」に加え、「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」について学ぶ
高等学校	情報科の共通必修科目「情報Ⅰ」を新設	全ての生徒がプログラミングのほか、ネットワーク（情報セキュリティを含む）やデータベースの基礎等について学習

- 高等学校情報科の共通必修科目「**情報Ⅰ**」では、データサイエンス・AIの基礎となる**実習授業**を実施
- 新学習指導要領に基づく情報活用能力の育成を着実に進めていくため、来年度予算として**関連の予算を要求**
○小・中・高等学校を通じた情報教育充実事業〔2.1億円〕
 - ・情報教育指導充実事業
 - －教員研修用教材の作成、情報教育関係教科における免許外教科担任の減少に向けた調査研究、学校における情報関係人材の活用促進の調査研究
 - ・プログラミング教育促進事業
 - －指導事例などの教員等にとって有益な情報提供等
- 学校教育における外部人材の活用促進事業〔0.7億円（新規）〕
 - －教師としての勤務経験がない社会人等を対象としたリカレント教育プログラムの開発、民間企業等と教育委員会の連携による外部人材の活用の仕組みの調査研究等を実施

理数素養の習得

- 新学習指導要領において、小・中・高等学校を通じ、算数・数学の中で**統計教育を充実**

小学校	（例）算数において「データの活用」の領域を新設。第6学年において、中央値や最頻値に関する内容を追加
中学校	（例）第1学年で累積度数、第2学年で四分位範囲、箱ひげ図に関する内容を追加
高等学校	（例）共通必修科目「数学Ⅰ」において仮説検定の考え方、「数学A」において期待値、「数学B」において区間推定、仮説検定に関する内容を新設

- 大学等における数理・データサイエンス教育との接続を念頭に、**確率・統計・線形代数等の基盤となる知識**を高等学校段階で修得するための**教材を作成**
- 理数分野における主体的・対話的で深い学び（**アクティブ・ラーニング**）の視点からの授業改善に関する**優良事例収集・普及**

新たな社会を創造していくために必要な力の育成

- 各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科等横断的な教育である**STEAM教育**を、新学習指導要領において、**総合的な探究の時間※1**や**「理数探究」※2**などの中で着実に実施
⇒**スーパーサイエンスハイスクール等における既存の先導的な取組を生かしつつ、事例の構築・収集やモデルプランの提示、全国展開等を行う**
- **特色ある高等学校教育を推進するための普通科改革**等を推進

※1…全ての生徒が履修 ※2…選択科目として新設

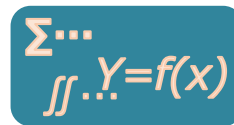
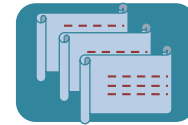
これらの実現のため、ICT環境整備や学校の指導体制等、教育環境の整備を進める

高等教育段階の人材育成

＜大目標＞ 入口（入試）から出口（就職）までの数理・データサイエンス・AI教育の促進に繋がるシステム構築により、文理を問わず、**全ての大学・高専生（約50万人卒／年）がA Iリテラシー教育を習得するとともに、一定規模の大学・高専生（約25万人卒／年）が自らの専門分野への数理・データサイエンス・A Iの応用基礎力を習得**
数理・データサイエンス・A Iを育むリカレント教育を多くの社会人（約100万人／年）に実施（女性の社会参加を促進するリカレント教育を含む）

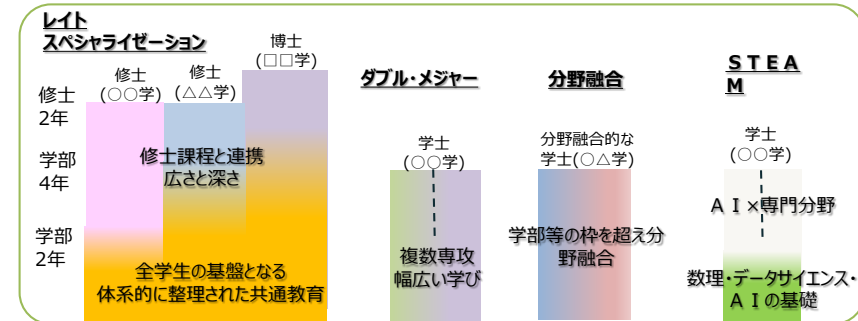
入口（入試改革）

- 新学習指導要領に対応した2024年度からの**大学入学共通テスト**に向けて、**必修科目「情報Ⅰ」**の追加を検討
 - 大学入試センターにおいて、教科「情報」に関する問題素案を学校関係者から募集し、モデル問題を検証



カリキュラム

- 「数理・データサイエンス・A I 教育モデルカリキュラム」の策定・活用
 - 6 拠点大学（※）において、全学的な数理・データサイエンス教育の成果を踏まえ、モデルカリキュラムを作成（※）北海道大学、東京大学、京都大学、大阪大学、滋賀大学、九州大学
 - 作成したモデルカリキュラムは、学習指導要領改訂や高大接続改革の状況を踏まえ随時改訂
 - 新たに20の協力校を設置し、全国展開をより一層加速
 - 各校が地域の核となり、FD活動等を実施
- **幅広い教養と深い専門性を兼ね備えた人材育成の推進**
 - ダブル・メジャー、分野融合、学部等の枠を越えた学位プログラムの構築促進



出口（就職）

- 「数理・データサイエンス・A I 教育プログラム認定制度」（仮称）を産学官連携により創設
 - 産業界のニーズを踏まえた教育プログラムを、複数のレベルを設けて認定
 - 関係省庁（内閣府・文部科学省・経済産業省）・産業界と連携して検討
 - 採用活動時等に学修成果を産業界で活用する仕組みを構築

学び直し（キャリアアップ）

- **社会人や企業のニーズを踏まえた実践的なリカレント教育の充実**
 - 大学・専修学校における、産学連携による実践的な社会人向けプログラムの開発・実施
 - IT技術者等を対象とした実践的な教育プログラムの開発や、放送大学におけるオンライン講座の制作等
 - 学び直しを支える実務家教員を育成・活用するシステムの構築
 - 大学・高専における数理・データサイエンス・AI教育の初級レベルのコースを履修できる環境の構築
 - 大学等における社会人向け講座や支援制度等の情報を提供するポータルサイトの構築

これらの実現のため、産業界とも連携した好事例の創出・普及を進める

エキスパート・トップクラス人材育成

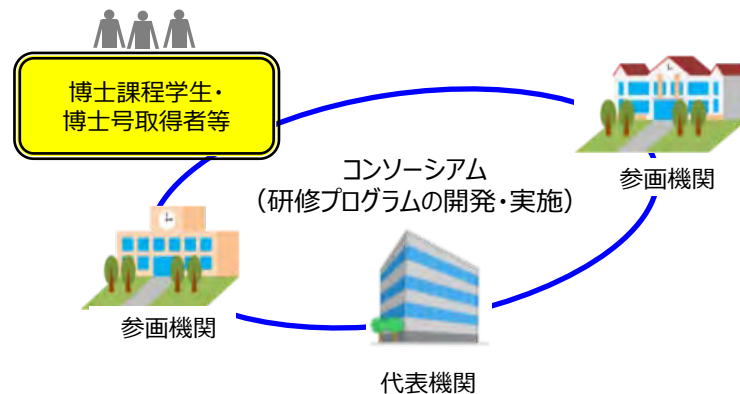
＜大目標＞ 将来グローバルに活躍し得る次世代の傑出した科学技術人材の育成や、若手研究者の研究支援により、**エキスパート人材（約2,000人/年、そのうちトップクラス約100人/年）を育成する。**

飛びぬけた才能の伸長

- 情報オリンピックなどの**科学オリンピック**で**優秀な成績を収めた高校生等に国際的な研究活動の機会**等を与え、学校教育では対応しきれない個に応じた学習により、飛びぬけた才能を伸長
 - 国際的に著名な大学・研究機関との先進的教育・研修プログラムの共同開発・実施、研究活動の機会提供

博士人材の育成・活躍促進

- 各分野の博士人材等について、**データサイエンス等を活用しアカデミア・産業界・教育分野を問わず活躍できるトップクラスのエキスパート人材を育成する育成プログラムを開発・実施。**
- 博士人材の活用による高等学校教育の充実
 - 大学等が、AI・数理・データサイエンスに関する教育について先進的な取組を行う高等学校等と連携し、博士人材等を派遣することなどにより、高等学校等における探求的な学習を促進
 - 博士課程学生・ポスドク等の社会の多様な人材も含め、ICTに精通した人材登用の推進（2024年度までに高等学校1校に1人以上）



若手研究者の支援・人材育成

- JSTの戦略的創造研究推進事業（競争的資金）の中で、「**AIPネットワーククラブ**」として、全国の大学・研究機関等の情報科学技術分野の研究者を支援。**令和元年度より、「ACT-X」（独創的・挑戦的なアイデアを持つ若手研究者を支援する個人型研究支援）による支援を開始**するなど、**若手研究者の支援を充実。**
- **理研AIPセンター**（革新知能統合研究センター）において、学生を研究補助などとして受入れ（2019年9月時点で142名）、**OJTを通じ、研究人材を育成。**
- 本分野の研究人材が、海外の優れた研究者等と切磋琢磨することができる環境の醸成（**海外の大学・研究機関等との連携（国際共同研究等）、海外挑戦機会の拡充等**）についても推進。

報道発表



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

令和4年8月24日

**「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」について
令和4年度の認定・選定結果をお知らせします**

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度実施要綱」（令和3年2月24日文部科学大臣決定）に基づき、本日、令和4年度「認定教育プログラム（リテラシーレベル）／（応用基礎レベル）」の認定を行いました。また、併せて認定された教育プログラムの中から、先導的で独自の工夫・特色を有するものを「認定教育プログラム（リテラシーレベル）／（応用基礎レベル）プラス」として選定しましたのでお知らせいたします。

1. 本制度の目的

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それを適切に理解し活用する基礎的な能力（リテラシーレベル）や、課題を解決するための実践的な能力（応用基礎レベル）を育成するため、数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行う大学等の正規の課程（教育プログラム）を文部科学大臣が認定及び選定して奨励するものです。これにより数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な能力及び実践的な能力の向上を図る機会の拡大に資することを目的としています。（参考資料1）

2. 認定及び選定状況

令和4年3月15日から5月20日までの間、大学・短期大学・高等専門学校を対象に公募を行い、リテラシーレベル139件、応用基礎レベル68件の申請があったものについて、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度審査委員会」による審査の上、認定しました。

また、認定（昨年度認定を含む）された教育プログラムの中から、先導的で独自の工夫・特色を有するものを「認定教育プログラム（リテラシーレベル）プラス」として7件、「認定教育プログラム（応用基礎レベル）プラス」として9件選定しました。

これにより、本制度における「認定教育プログラム（リテラシーレベル）」は217件、「認定教育プログラム（リテラシーレベル）プラス」は18件となります。※応用基礎レベルは今年度初認定（別添資料1）（別添資料2）

3. 公開等

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/suuri_datascience_ai/1413155_00011.htm

(参考資料 1)

AI戦略2019と数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度について

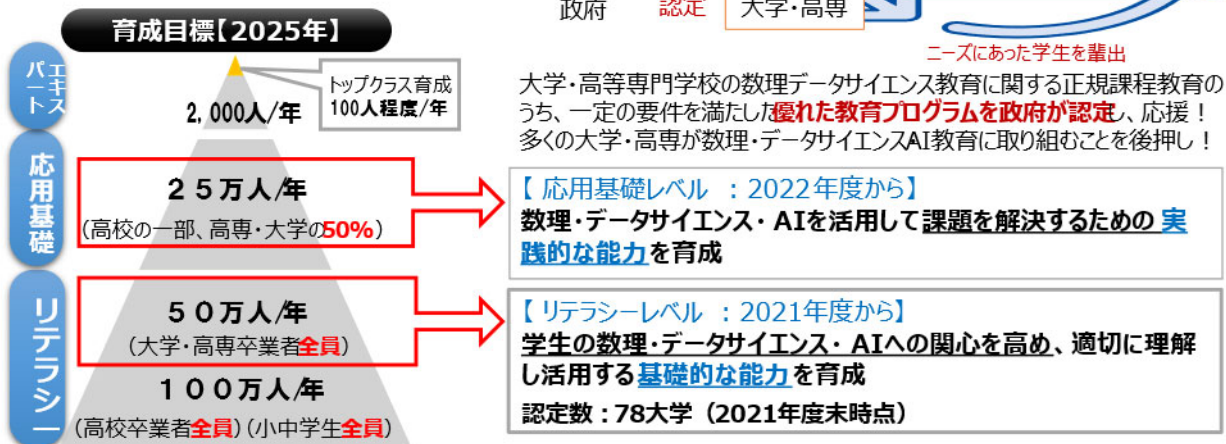
●背景・目標

- ✓ デジタル時代の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基礎などの必要な力を全ての国民が育み、あらゆる分野で人材が活躍する環境を構築する必要
- ✓ AI戦略2019の育成目標（2025年度）
 - ①リテラシー：約50万人/年（全ての大学・高専生） ②応用基礎：約25万人/年 ③エキスパート：約2,000人/年 ④トップ：100人程度/年

●主な取組

- (1) トップ人材の育成・学位のブランド化
- (2) コンソーシアム活動
- (3) 認定制度の構築・運用

●認定制度とAI戦略2019との関係



<担当>

文部科学省 高等教育局専門教育課

企画官 鈴木 顕（内線 2516）

課長補佐 木谷 慎一（内線 2097）

情報教育推進係長 高橋 佳奈（内線 3308）

電話：03-5253-4111（代表）

令和4年度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）プラス選定結果」について

学校種別	区分	選定数
大学	国立	5
	公立	0
	私立	1
	小計	6
短期大学	公立	0
	私立	0
	小計	0
高等専門学校	国立	1
	公立	0
	私立	0
	小計	1
合計		7

No.	学校種別	区分	学校名	プログラム名	各大学等の特性に応じた特色ある取組
1	大学	国立	弘前大学	数理・データサイエンス・リテラシープログラム	・日本医師会医療情報管理機構と連携、市民の健康に関する情報を匿名加工して提供可能としているとともに、様々な領域におけるPBLの実践している取組を実施している。
2	大学	国立	群馬大学	数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシープラス）	・群馬県内19団体と協同して小学生から高校生までを対象としたICT教育の学習機会を提供する取組を実施している。
3	大学	国立	豊橋技術科学大学	GIKADAI数理・データサイエンス・AI教育プログラム	・専門分野に適した実験データ等の取り扱い、統計分析・解析、表記・表現方法等を各テーマ毎に適した内容を学ぶとともに、近隣の大学が教材を活用、また提携している地元企業に対しての研修を行う取組を実施している。
4	大学	国立	和歌山大学	データサイエンスへの誘い	・地元企業提供のデータを利用した演習など、学生意欲の向上・学習効果が認められる取組を行うとともに、身近なLINEやYouTubeを活用し、補完的な教育だけでなく、接点の強化に繋がる取組を実施している。
5	大学	国立	宮崎大学	宮崎大学データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシー）	・データサイエンス・AIの全体像を把握でき、実例を統計の専門家が解説する動画を提供、地域のデータを利用した演習を行うとともに、データサイエンスコンペティションを実施している。
6	大学	私立	大正大学	データサイエンス	・地元自治体および企業と連携し、実課題・実データを活用したリアリティのある学修内容を提供しているとともに、実務家教員を多く配置するなど、学習効果の高い教育を提供する取組を実施している。
7	高等専門学校	国立	富山高等専門学校	富山高等専門学校数理・データサイエンス・AI教育プログラム	・学生が企業のDX化の現状等を企業の担当者に調査するなど、産業界の動向を肌で感じることができる取組を実施している。

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度実施要綱」（令和3年2月24日文部科学大臣決定）に基づき、以下のプログラムを「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」として認定及び「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）プラス」として選定したので、同要綱第6条第1項に基づき公示する。

令和4年8月24日

文部科学大臣 永岡 桂子

令和4年度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）認定結果」について

学校種別	区分	認定数 (大学等単位)	認定数 (学部・学科単位)
大学	国立	15	18
	公立	2	2
	私立	9	15
	小計	26	35
短期大学	公立	0	0
	私立	0	0
	小計	0	0
高等専門学校	国立	1	6
	公立	0	0
	私立	0	0
	小計	1	6
合計		27	41

○認定有効期限：令和9年3月31日まで

No.	学校種別	区分	学校名	プログラム名	取組概要
○大学等単位					
1	大学	国立	北海道大学	北海道大学数理・データサイエンス教育プログラム 専門教育プログラム	https://www.mdsc.hokudai.ac.jp/curriculum/
2	大学	国立	北見工業大学	数理データサイエンス教育プログラム	https://www.kitami-it.ac.jp/campuslife/kyouikukatei/mdashprogram/
3	大学	国立	東北大学	東北大学挑戦カレッジ コンピュータショナル・データサイエンス・プログラム(CDS)	https://aimd.cds.tohoku.ac.jp/wp/curriculum-program
4	大学	国立	東京大学	数理・データサイエンス・AI教育応用基礎プログラム	http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/advanced_literacy_program.html
5	大学	国立	電気通信大学	実践型UECデータサイエンティスト養成プログラム	https://www.uec.ac.jp/education/undergraduate/advanced_literacy/index.html
6	大学	国立	新潟大学	データサイエンスリテラシー	https://www.iess.niigata-u.ac.jp/clc/ds_advanced.html
7	大学	国立	金沢大学	データサイエンス《応用基礎アドオン》	https://note.w3.kanazawa-u.ac.jp/news/239
8	大学	国立	名古屋工業大学	数理情報履修モデル スタンダードコース	https://www.nitech.ac.jp/edu/tackle.html
9	大学	国立	豊橋技術科学大学	GIKADAI数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://cite.tut.ac.jp/program-series/mdash
10	大学	国立	京都大学	データ科学群応用基礎プログラム	https://ds.k.kyoto-u.ac.jp/ouyo-kiso/
11	大学	国立	大阪大学	数理・DS・AI応用基礎教育プログラム	https://www.mmds.sigmath.es.osaka-u.ac.jp/faculty/certification_program/ouyokiso-level/subject/index.html
12	大学	国立	広島大学	AI・データサイエンス応用基礎特定プログラム	https://www.hiroshima-u.ac.jp/prog/program/tokutei/ai_data_science
13	大学	国立	香川大学	数理・データサイエンス・AI応用基礎プログラム	https://www.kagawa-u.ac.jp/high-edu/students/dri/mmdsai_program
14	大学	国立	九州大学	低年次データサイエンス教育(応用基礎)	http://mdsc.kyushu-u.ac.jp/%E4%BD%8E%E5%B9%B4%E6%AC%A1%E6%95%99%E8%82%B2

15	大学	国立	琉球大学	データサイエンティスト養成履修カリキュラム	http://www.ged.skr.u-ryukyu.ac.jp/ds_literacy
16	大学	公立	公立千歳科学技術大学	数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）	https://www.chitose.ac.jp/course/535
17	大学	公立	周南公立大学	徳山大学数理・データサイエンス・AI応用教育プログラム	https://www.shunan-u.ac.jp/edu/ai-program/
18	大学	私立	敬愛大学	副専攻「AI・データサイエンス」	https://www.u-keiai.ac.jp/datascience/
19	大学	私立	放送大学	科目群履修認証制度 データサイエンスアドバンスプラン	https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/expert/datascience_plan.html
20	大学	私立	亜細亜大学	データサイエンス副専攻	https://www.asia-u.ac.jp/academics/minor/1/
21	大学	私立	早稲田大学	GEC、CDSデータ科学教育プログラム（初級）	https://www.waseda.jp/inst/cds/education/assessment
22	大学	私立	創価大学	データサイエンス応用基礎教育（応用基礎科目）	https://www.soka.ac.jp/ds/
23	大学	私立	サイバー大学	AI応用基礎レベル	https://www.cyber-u.ac.jp/about/advanced_level.html
24	大学	私立	阪南大学	AIデータサイエンス応用基礎パッケージ	https://www.hannan-u.ac.jp/n5fenj000004uepw.html
25	大学	私立	久留米工業大学	地域課題解決型AI教育プログラム（応用基礎）	http://aail.kurume-it.ac.jp/education/#ai-program
26	大学	私立	九州情報大学	KIIS数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.kiis.ac.jp/general/department/kp/
27	高等専門学校	国立	苫小牧工業高等専門学校	苫小牧工業高等専門学校 数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.tomakomai-ct.ac.jp/datascience

○学部・学科単位					
1	大学	国立	筑波大学（情報学群）	数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.dsp.cs.tsukuba.ac.jp/advanced_literacy/about/
2	大学	国立	富山大学（工学部）	富山大学工学部数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://ds.ctg.u-toyama.ac.jp/education-about/
3	大学	国立	静岡大学（情報学部）	情報学部数理データサイエンスAI教育プログラム	https://www.inf.shizuoka.ac.jp/approach/MDSAI/
4	大学	国立	名古屋大学（情報学部）	名古屋大学情報学部数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.mds.nagoya-u.ac.jp/mda-program/school-of-informatics
5	大学	国立	滋賀大学（データサイエンス学部）	滋賀大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.shiga-u.ac.jp/campuslife/registration/mdash/
6	大学	国立	滋賀大学（教育学部）	滋賀大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.shiga-u.ac.jp/campuslife/registration/mdash/
7	大学	国立	滋賀大学（経済学部）	滋賀大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.shiga-u.ac.jp/campuslife/registration/mdash/
8	大学	国立	大阪大学（基礎工学部）	数理・DS・AI応用基礎教育プログラム（基礎工学部）	https://www.mmds.sigmath.es.osaka-u.ac.jp/faculty/certification_program/ouyoukiso-level/subject/index.html
9	大学	国立	大阪大学（工学部）	数理・DS・AI応用基礎教育プログラム（工学部）	https://www.mmds.sigmath.es.osaka-u.ac.jp/faculty/certification_program/ouyoukiso-level/subject/index.html
10	大学	国立	大阪大学（法学部）	数理・DS・AI応用基礎教育プログラム（法学部）	https://www.mmds.sigmath.es.osaka-u.ac.jp/faculty/certification_program/ouyoukiso-level/subject/index.html
11	大学	国立	大阪大学（理学部）	数理・DS・AI応用基礎教育プログラム（理学部）	https://www.mmds.sigmath.es.osaka-u.ac.jp/faculty/certification_program/ouyoukiso-level/subject/index.html
12	大学	国立	大阪大学（経済学部）	数理・DS・AI応用基礎教育プログラム（経済学部）	https://www.mmds.sigmath.es.osaka-u.ac.jp/faculty/certification_program/ouyoukiso-level/subject/index.html
13	大学	国立	大阪大学（薬学部）	数理・DS・AI応用基礎教育プログラム（薬学部）	https://www.mmds.sigmath.es.osaka-u.ac.jp/faculty/certification_program/ouyoukiso-level/subject/index.html
14	大学	国立	島根大学（総合理工学部）	数理・データサイエンス応用基礎プログラム（総合理工）	https://www.ds.shimane-u.ac.jp/student/mdash.html
15	大学	国立	山口大学（工学部）	データサイエンス技術	https://www.dsc.yamaguchi-u.ac.jp/subject/ouyoukiso-program/210917_index.html
16	大学	国立	長崎大学（情報データ科学部）	データサイエンス応用基礎教育プログラム	https://www.idsci.nagasaki-u.ac.jp/current/mda_edu/
17	大学	国立	宮崎大学（工学部）	宮崎大学工学部データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎）	http://www.miyazaki-u.ac.jp/tech/introduction/mdash/mdash-e.html
18	大学	国立	鹿児島大学（工学部）	数理・データサイエンス・AI応用基礎力育成プログラム	https://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/mdash/
19	大学	公立	横浜市立大学（データサイエンス学部）	データサイエンス人材育成プログラム	https://www.yokohama-cu.ac.jp/academics/ds/suuriouyoukiso.html
20	大学	公立	福知山公立大学（情報学部）	数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）	https://www.fukuchiyama.ac.jp/institutions/mdsc/advancedliteracy

21	大学	私立	工学院大学（先進工学部）	先進工学のための数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.kogakuin.ac.jp/about/action/mdash_program_advanced.html
22	大学	私立	工学院大学（工学部）	工学のための数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.kogakuin.ac.jp/about/action/mdash_program_advanced.html
23	大学	私立	工学院大学（情報学部）	情報学のための数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.kogakuin.ac.jp/about/action/mdash_program_advanced.html
24	大学	私立	立正大学 （データサイエンス学部）	データサイエンス応用基礎プログラム	https://www.ris.ac.jp/ds/curriculum/mdash.html
25	大学	私立	神奈川工科大学 （応用バイオ科学部）	データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム	https://www.kait.jp/about/datascience/
26	大学	私立	神奈川工科大学 （創造工学部）	データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム	https://www.kait.jp/about/datascience/
27	大学	私立	神奈川工科大学（工学部）	データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム	https://www.kait.jp/about/datascience/
28	大学	私立	神奈川工科大学 （情報学部）	データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム	https://www.kait.jp/about/datascience/
29	大学	私立	嘉悦大学（経営経済学部）	嘉悦大学ICT・データサイエンスプログラム（応用基礎）	https://sites.google.com/kaetsu.ac.jp/ictds-program
30	大学	私立	開志専門職大学 （情報学部）	AI・データサイエンスコース 応用基礎プログラム	https://kaishi-pu.ac.jp/department/ict/dsc/
31	大学	私立	富山国際大学 （現代社会学部）	数理・データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム	https://www.twins.ac.jp/about/disclosure/mathematical/
32	大学	私立	京都光華女子大学 （キャリア形成学部）	光華EDUAL（応用基礎レベル）	https://www.koka.ac.jp/introduction/edual-ca.html
33	大学	私立	広島工業大学（情報学部）	Society5.0時代に向けたAI・データサイエンス応用教育プログラム	https://www.it-hiroshima.ac.jp/about/gp/data-sci-edu/
34	大学	私立	福山大学（工学部）	数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.fukuyama-u.ac.jp/edu-center/literacy-level/
35	大学	私立	崇城大学（情報学部）	崇城データサイエンティスト育成プログラム（応用基礎・情報）	https://www.cis.sojo-u.ac.jp/~horibe/DSAdvanced/
36	高等専門学校	国立	旭川工業高等専門学校 （電気情報工学科）	旭川工業高等専門学校 数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）	https://www.asahikawa-nct.ac.jp/COMPASS/advanced_literacy_prg2021.html
37	高等専門学校	国立	富山高等専門学校 （電子情報工学科）	富山高等専門学校数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.nc-toyama.ac.jp/about/evaluation/3rdparty/suuri_datascience_ai/
38	高等専門学校	国立	富山高等専門学校 （電気制御システム工学科）	富山高等専門学校数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.nc-toyama.ac.jp/about/evaluation/3rdparty/suuri_datascience_ai/
39	高等専門学校	国立	石川工業高等専門学校 （電子情報工学科）	数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.ishikawa-nct.ac.jp/k-itls/DSAl_literacy
40	高等専門学校	国立	石川工業高等専門学校 （電気工学科）	数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.ishikawa-nct.ac.jp/k-itls/DSAl_literacy
41	高等専門学校	国立	佐世保工業高等専門学校 （電子制御工学科）	佐世保工業高等専門学校数理・データサイエンス・AI教育プログラム	https://www.sasebo.ac.jp/education/mdash/advanced-literacy



データサイエンティストの 採用に関するアンケート

2022年3月31日

一般社団法人 データサイエンティスト協会

調査・研究委員会

データサイエンティストの採用に関するアンケート

調査対象 : 日本国内一般企業（人事担当者向け）
※従業員30名以上の企業を対象に、
企業規模別にランダム抽出

調査手法 : 郵送またはWeb

調査期間 : 2021年9月10日～10月21日

有効回答数 : 計333社（発送5,400社、回収率6.2%）
※郵送140社、Web193社

注：本調査資料の百分率表示は小数点以下を四捨五入しているため、
合計しても100%とならない場合がございます。

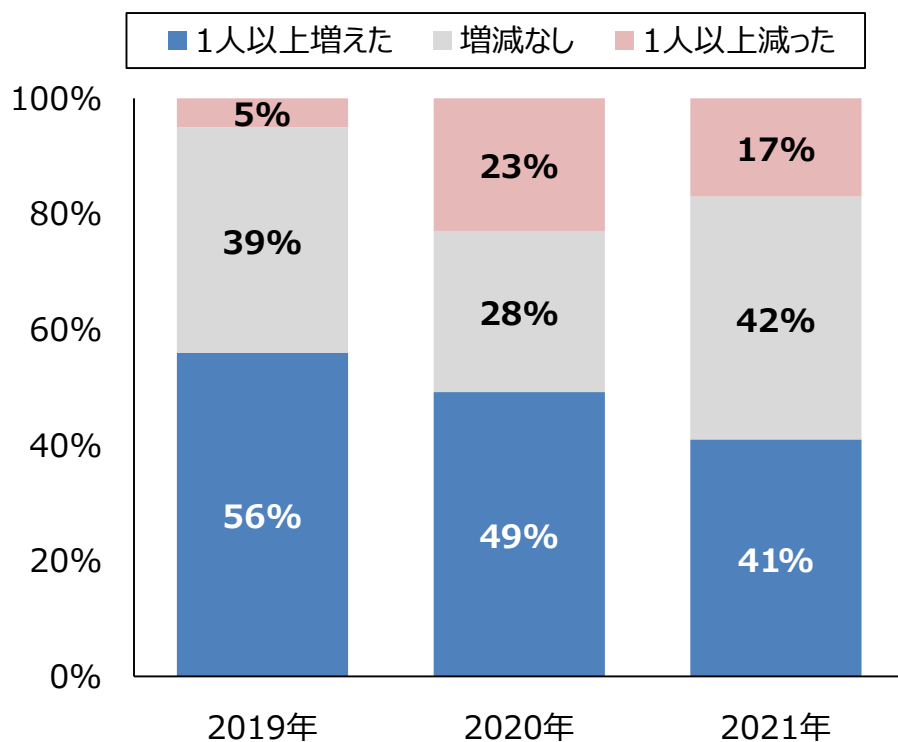
データサイエンティスト人材の増減と内訳

Q. データサイエンティスト人材の増減と、増やした人数の増員方法をお答えください。

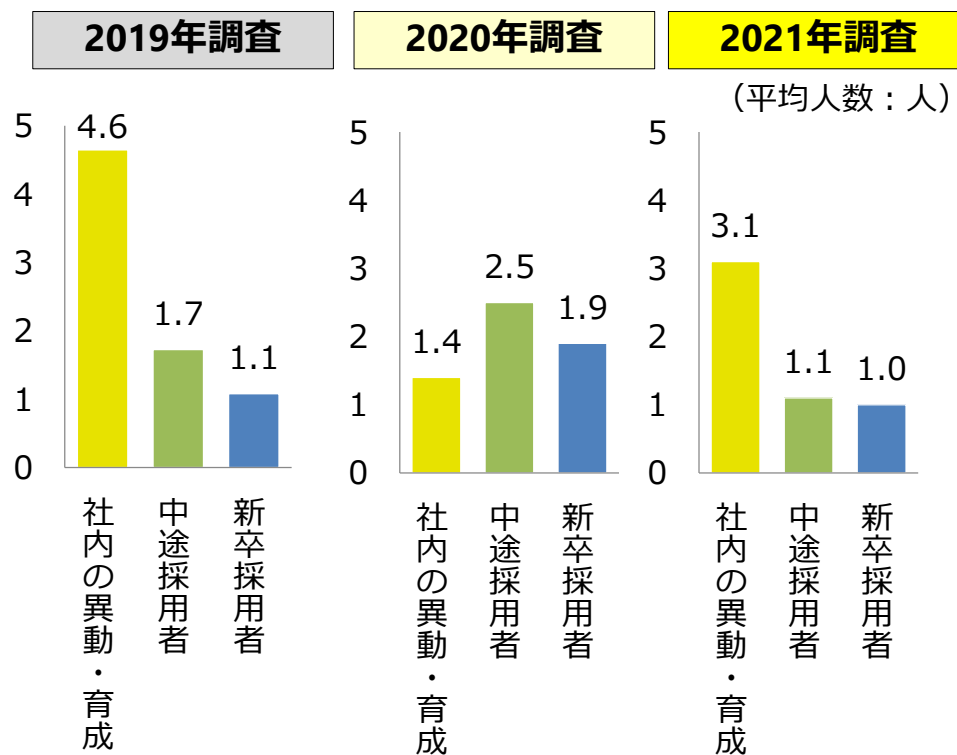
この1年でデータサイエンティストを増やした企業は41% 内訳では、社内での異動・育成が増加している

直近1年間のデータサイエンティストの増減

直近1年間で増えたデータサイエンティストの内訳



データサイエンティスト在籍者が1人以上の企業
(2019 n=82, 2020 n=61, 2021 n=69)



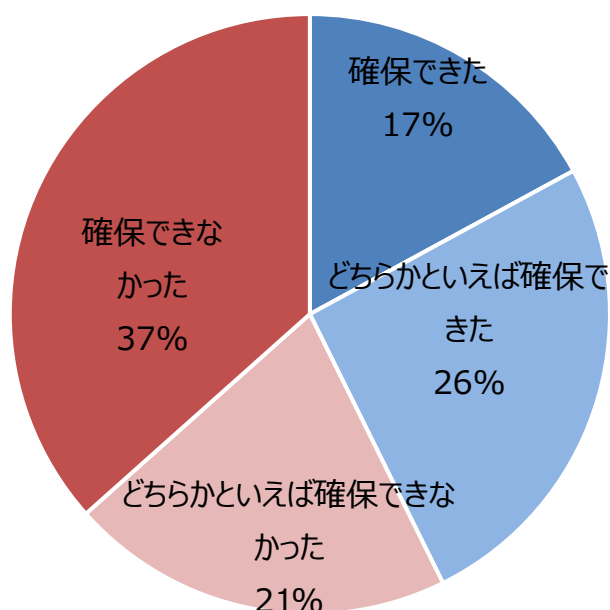
データサイエンティストの在籍者が1人以上で、直近1年間で1人以上増員があった企業(2019 n=52, 2020 n=30, 2021 n=28)

データサイエンティスト採用の充足度

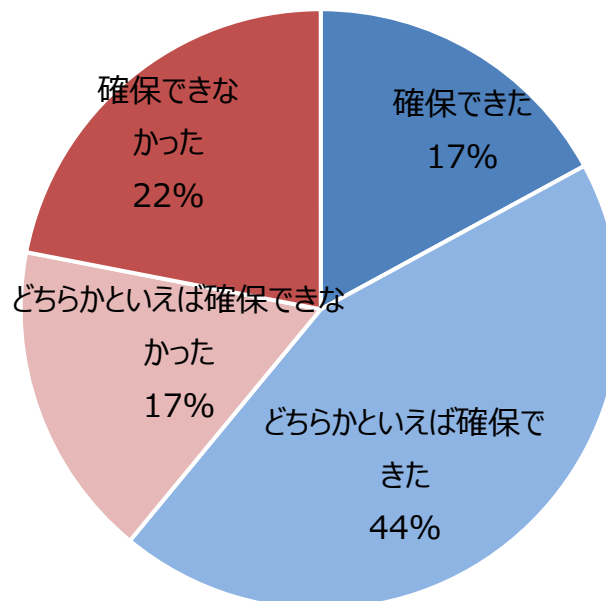
Q. この1年間で、貴社が目標としていた人数のデータサイエンティストを確保できましたか。(SA)

2021年は、データサイエンティストを 目標通り確保できなかった企業が62%と増加

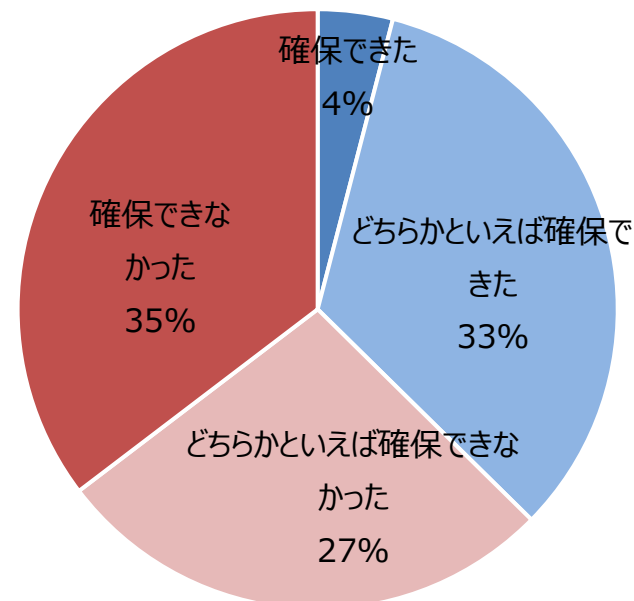
2019年調査



2020年調査



2021年調査



この1年間でデータサイエンティストを確保する予定だった企業(2019 n=82, 2020 n=41, 2021 n=51)